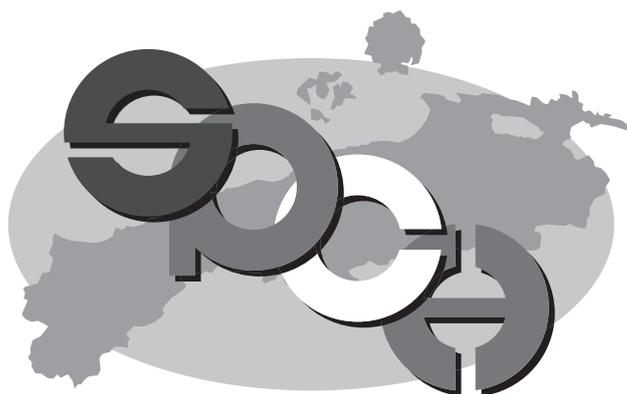


年 報

2025年度
(2024年度統計)



島根県立中央病院
Shimane Prefectural Central Hospital

目 次

巻 頭 言	1
第 1 章 医療理念	2
1. 1 島根県立中央病院 基本理念	2
1. 2 島根県立病院 憲 章	2
1. 3 島根県立中央病院 医療方針	2
1. 4 島根県立中央病院 倫理規定	2
1. 5 患者さんの権利と守っていただきたいこと	2
第 2 章 沿 革	5
第 3 章 概 要	10
3. 1 病 床 数	10
3. 2 施設概要	10
3. 3 建物に付随する設備	12
3. 4 主な医療機器	14
3. 5 職 員 数	15
3. 5. 1 局室センター別職員数	15
3. 5. 2 医療局 診療科別医師数	16
3. 5. 3 看護局 部門別看護師数	17
3. 5. 4 薬剤局 職員数	18
3. 5. 5 医療技術局 職員数	18
3. 5. 6 事務局 職員数	18
3. 5. 7 入退院支援・地域医療連携センター 職員数	19
3. 5. 8 医療安全推進室 職員数	19
3. 5. 9 情報システム管理室 職員数	19
3. 5. 10 臨床教育・研修支援センター 職員数	19
3. 5. 11 広報室 職員数	20
3. 5. 12 臨床研究・治験管理室 職員数	20
3. 5. 13 統合運用・業務改善室 職員数	20
3. 5. 14 臨床ゲノム医療推進室 職員数	20
3. 6 診療科目	21
3. 7 院内標榜診療科目	21
3. 8 特殊外来	21
3. 9 救急医療体制	21
3. 10 施設基準届出事項	21
3. 11 法定指定	27
3. 12 学会による教育・研修施設認定	27
3. 13 その他の施設認定	29
第 4 章 統合情報管理システム (IIMS) と医療情報ネットワーク	30
4. 1 統合情報管理システム	30

4.1.1	はじめに	30
4.1.2	統合情報管理システム導入の経緯	30
4.2	統合情報管理システムの運用と構成	32
4.3	医療情報ネットワーク	35
4.3.1	『医療ネットしまね』	35
4.3.2	『医療ネットしまね』の基本機能	36
4.3.3	『しまね医療情報ネットワーク（まめネット）』	37
4.3.4	『しまね医療情報ネットワーク（まめネット）』における各種サービス	38

第5章 部門紹介 40

5.1	組織図	40
5.2	医療局	41
5.2.1	体制	41
5.2.2	中央診療部	42
5.2.2.1	リハビリテーション科	42
5.2.2.2	放射線科	43
5.2.2.3	放射線治療科	43
5.2.2.4	検査診断科	45
5.2.2.5	病理診断科	46
5.2.3	内科診療部	47
5.2.3.1	精神神経科	47
5.2.3.2	脳神経内科	48
5.2.3.3	呼吸器科	49
5.2.3.4	消化器科	50
5.2.3.5	内視鏡科	50
5.2.3.6	肝臓内科	50
5.2.3.7	循環器科	52
5.2.3.8	リウマチ・アレルギー科	54
5.2.3.9	血液腫瘍科	55
5.2.3.10	内分泌代謝科	56
5.2.4	外科診療部	57
5.2.4.1	外科・消化器外科	57
5.2.4.2	乳腺科	59
5.2.4.3	整形外科	60
5.2.4.4	脳神経外科	61
5.2.4.5	呼吸器外科	62
5.2.4.6	心臓血管外科	63
5.2.4.7	泌尿器科	64
5.2.4.8	腎臓科	65
5.2.5	皮膚感覚器診療部	66
5.2.5.1	形成外科	66
5.2.5.2	皮膚科	67
5.2.5.3	眼科	68
5.2.5.4	耳鼻咽喉科	69
5.2.5.5	歯科口腔外科	70

5.2.6	救命救急診療部	71
5.2.6.1	救命救急科	71
5.2.6.2	集中治療科	71
5.2.6.3	麻酔科	73
5.2.6.4	手術科	74
5.2.7	母性小児診療部	75
5.2.7.1	小児科	75
5.2.7.2	産婦人科	76
5.2.8	総合診療部	77
5.2.8.1	総合診療科	77
5.2.8.2	感染症科	78
5.2.8.3	臨床腫瘍科	79
5.2.8.4	緩和ケア科	80
5.2.8.5	地域総合医育成科	81
5.2.9	医師事務作業補助部	82
5.3	看護局	83
5.3.1	看護の基本方針	83
5.3.2	看護目標	83
5.3.3	看護管理体制	83
5.3.4	救命救急看護部	85
5.3.5	中央診療看護部	86
5.3.6	外来看護部	86
5.3.7	母性小児病棟看護部	86
5.3.8	第一総合病棟看護部	87
5.3.9	第二総合病棟看護部	88
5.3.10	第三総合病棟看護部	88
5.3.11	看護局主な動き	89
5.3.12	教育体制	90
5.3.13	実習受け入れ体制	94
5.3.14	専門看護師・認定看護師・特定看護師	94
5.3.15	院外組織役員一覧	100
5.4	薬剤局	101
5.5	医療技術局	110
5.5.1	放射線技術科	111
5.5.2	検査技術科	115
5.5.3	栄養管理科	117
5.5.4	臨床工学科 (ME センター)	119
5.5.5	リハビリテーション技術科	124
5.5.6	医療情報管理科	126
5.5.7	心理スタッフ	127
5.5.8	歯科スタッフ	128

5.6	入退院支援・地域医療連携センター	130
5.6.1	運営目的	130
5.6.2	組織体制	130
5.6.3	入退院支援スタッフ	130
5.6.4	地域医療連携・医療福祉相談スタッフ	131
5.6.5	地域医療・ケア研修会	134
5.7	医療安全推進室	136
5.8	情報システム管理室	142
5.8.1	設置目的	142
5.8.2	体制	142
5.8.3	情報システムスタッフ	142
5.8.4	医療情報管理スタッフ	142
5.9	臨床教育・研修支援センター	144
5.9.1	組織体制	144
5.9.2	活動報告	144
5.9.3	臨床研修医 行事	154
5.9.4	図書室	159
5.10	臨床研究・治験管理室	160
5.10.1	臨床研究・治験管理室の目的と展望	160
5.10.2	臨床研究・治験管理室の業務	160
5.10.3	審査件数実績	161
5.11	統合運用・業務改善室	162
5.11.1	統合運用・業務改善室の目的	162
5.11.2	統合運用・業務改善室の業務	162
5.11.3	統合運用・業務改善室の構成	162
5.11.4	統合運用・業務改善室の経緯と活動	163
5.11.5	委託業務水準の維持と向上	163
5.12	臨床ゲノム医療推進室	165
5.13	スタッフ支援室	166
5.14	院内チーム	167
5.15	会議、協議会、委員会	172
第6章	資料（電子カルテ（IIMS）データ）	173
6.1	患者統計	173
6.1.1	診療科別新規入院患者数	173
6.1.2	診療科別外来患者数（救急外来含む）	174

6.1.3	年齢別新規入院患者数	175
6.1.4	年齢別外来患者数（救急外来含む）	175
6.1.5	都道府県別新規入院患者数	176
6.1.6	都道府県別外来患者数（救急外来含む）	177
6.1.7	ICD10コード大分類別 退院患者数（転科含む）	179
6.2	死因統計	180
6.2.1	診療科別死亡患者数及び剖検件数	180
6.2.2	直接死因 ICD10コード中分類別 死亡患者数	181
6.3	病棟稼動状況	184
6.3.1	病棟別稼動状況	184
6.3.2	無菌室稼動状況	184

第7章 各部門統計 185

7.1	救命救急診療部統計	185
7.1.1	入院患者数	185
7.1.2	救急外来患者数	185
7.1.3	ICU 新規入室患者数	189
7.1.4	ドクターヘリ出動件数	190
7.2	母性小児診療部統計	191
7.2.1	産科編	191
7.2.2	新生児編	194
7.3	薬剤局統計	198
7.3.1	外来処方件数	198
7.3.2	TPN 調製件数	198
7.3.3	初期投与量設計件数、TDM 解析件数	198
7.3.4	薬剤管理指導件数	199
7.3.5	麻薬管理指導加算件数、退院時薬剤情報管理指導料件数	199
7.3.6	常用薬鑑別件数	199
7.3.7	入退院サポートセンター対応件数	199
7.3.8	院内製剤払出し実績	200
7.3.9	疑義照会件数	201
7.3.10	診療科別 外来化学療法混注対象延べ人数	202
7.3.11	診療科別 入院化学療法混注対象延べ人数	203
7.3.12	がん患者指導管理料ハ算定件数	203
7.3.13	連携充実加算算定件数	203
7.3.14	がん薬物療法体制充実加算件数	203
7.4	放射線技術科統計	204
7.5	検査技術科統計	205
7.5.1	生理検査年度別実施件数	205
7.5.2	生理検査実施件数	206
7.5.3	輸血	208
7.5.4	病理・細胞診検査	210
7.5.5	その他の検査	210
7.5.6	その他の業務	210
7.5.7	検体検査件数	211

7.6	栄養管理科統計	213
7.6.1	食種別・月別延食数	213
7.6.2	食種別・月別延患者数	214
7.6.3	食種別栄養指導 外来・入院別延患者数	215
7.6.4	診療科別 栄養指導延患者数	216
7.6.5	栄養指導状況	217
7.6.6	個別・アレルギー対応状況	218
7.7	臨床工学科 (ME センター) 統計	219
7.7.1	定期点検件数	219
7.7.2	修理実施件数	220
7.8	リハビリテーション技術科統計	221
7.8.1	療法区分別 初回処方件数	221
7.8.2	疾患分類別 療法実施単位数	221
7.8.3	疾患別療法実施件数	222
7.9	内視鏡診療部統計	224
第8章	医事統計 (診療報酬請求データ)	226
8.1	病棟種別平均在院日数	226
8.2	診療科別平均在院日数	226
8.3	紹介率	226
8.4	地域医療支援病院紹介率	227
8.5	地域医療支援病院逆紹介率	228
8.6	術式別算定件数	230
8.7	診療科別麻酔件数	241
第9章	研究実績	242
9.1	学術書、原著・総説、症例報告	242
9.1.1	学術書	242
9.1.2	原著、総説	243
9.1.3	症例報告、研究報告	247
9.1.4	その他の論文	248
9.2	学会、研究会発表	249
9.2.1	指定講演 (特別講演、教育講演)	249
9.2.2	シンポジウム	250
9.2.3	講演、発表	252
9.2.4	その他の講演	265
9.3	その他の業績 (主催等)	267
9.4	院内・院外開催イベント (当院主催等)	271
第10章	当院関係報道記事	274
	編集後記	275

2025年度 病院紹介

巻 頭 言

統計の数字を吟味しよう

島根県立中央病院 病院長

小 阪 真 二

朝日新聞の天声人語に、食糧難だった終戦直後に数百万人の餓死者が出るという推計をもとに、吉田茂外相はGHQに救援を求め、後に、あの数字はでたらめだったとマッカーサー総司令官に叱られると、吉田氏「当たり前だ。統計が正確なら、あんなばかげた戦争はしない」と言った、と掲載されていました。実際は日米開戦前にも、しっかりした検討はされており、秋丸機関は、対米戦争は時間が経てば経済力で優位に立っている米国の軍事力が増大し、日本は確実に敗北する、との報告をしていました。

しかし、日本の指導者たちは「確実な敗北」よりも「万一の僥倖」にかけて開戦することになったと牧野邦昭氏は著書『経済学者たちの日米開戦』に書いています。統計の正しさも大切ですが、それらをどのように解釈し、真摯に受け止めるかが大切になってきます。

アメリカのトランプ大統領は、雇用統計のずれを理由に労働省雇用統計局長を解雇すると発表しました。『統計でウソをつく法』という本が、1954年に出版されているように、恣意的に統計を作り上げること、表などの見せ方により、印象を操作することなどもできるようです。しかし、特に意図的にごまかさなくても、データ収集のタイムラグなどである程度の誤差は生じるものです。彼はこれまでもハイチ移民がペットを食べているなど、全く根拠のない発言を繰り返しています。今回も、根拠なく、自分の意に沿わないことを排除するトランプ氏らしい行動だと思われそうですが、このような人物が長期的に米国民、諸外国から信頼を得られるとは思えません。米メディアも「トランプ大統領の突然の行動は、統計局やその業務への信頼を損ねる恐れがある」と述べています。

前出の天声人語にも書かれていましたが、統計と政策は「車の両輪」です。種々の統計をとり、それらを真摯に受け止め、その意味を吟味した上で病院運営を行う。このようなプロセスを忘れないようにしたいものだと思います。

第1章 医療理念

1.1 島根県立中央病院 基本理念

職員が誇りと働きがいを持って挑戦し、
患者中心の高度専門医療を提供することで、
県民が安心して暮らせる持続可能な地域社会の実現に貢献します。

1.2 島根県立病院 憲章

1. 患者さん中心の医療を実現するため、患者さんの意思を尊重し、高い倫理観と安全性に基づいた、高度で専門的な医療を提供します。
2. 県立病院として、県の医療計画に則り、救急・周産期・災害・精神・へき地医療などの政策医療を積極的に担い、地域に必要とされる医療機能を発揮します。
3. 医療・福祉・行政など多職種・他機関との連携を深化させ、持続可能な地域包括ケアの構築に貢献します。
4. 地域に根ざした医療人の育成と継続的な専門性の向上に取り組み、未来の医療を支える人材を育てます。
5. 職員が誇りと働きがいを持ち、安心して挑戦できる職場環境の整備と組織文化の醸成に努めます。
6. 公共性と透明性を重視し、合理的・効率的かつ柔軟な病院経営を通じて、地域に信頼される病院を目指します。

1.3 島根県立中央病院 医療方針

私たちは 心と心のふれ合いのある 温かな医療を提供します

1.4 島根県立中央病院 倫理規定

《職業倫理》

1. 職員は、「患者さんの権利」を守ります。
2. 職員は、医療に携わるものとしての責任を自覚し、知識と技術の習得に努め、教養を深め、人格を高めるよう心がけます。
3. 職員は、互いに尊重し、協力して最善の医療を提供します。
4. 職員は、各専門職種団体が定める倫理指針を順守します。

《臨床倫理》

1. 終末期医療、脳死判定、臓器移植等についてはそれぞれの関係法規や指針に準拠し、診療を行います。
2. 医療行為の妥当性が問題になったときには、医の倫理委員会等の審議に基づいた医療を提供します。
3. 医学・医療の発展のための臨床研究・治験の実施に際しては、ヘルシンキ宣言およびそれぞれの関係法規や指針を順守し、臨床研究・治験審査委員会等において十分に審議を行います。

1.5 患者さんの権利と守っていただきたいこと

島根県立中央病院では、安心して受診していただける医療環境の実現を目指し、「患者さんの権利」及び「子どもの患者さんと家族の権利」を明確にして、これを職員一同が認識するとともに、患者さんに守っていただきたいこと（責務）についても定めました。

患者さんの権利

1. 人としての尊厳が守られる権利

人格や価値観が尊重されるとともに、一人の人間としての尊厳が保たれる権利があります。

2. 良質な医療を受ける権利

どなたでも差別されることなく、平等に良質な医療を受ける権利があります。

3. 説明を受ける権利

病気の内容やその治療、検査などの効果・危険性について、わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受ける権利があります。

4. 自己決定の権利

十分な説明と情報提供を受けた上で、検査や治療方法などを自らの意思で選択・決定、または拒否する権利があります。なお、拒否しても一切の不利益を被ることはありません。

5. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利

納得した医療を受けるために、いかなる治療段階においても、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

6. 情報の開示を求める権利

自分の診療記録の開示を含め、自分の診療情報に関して十分な説明を受ける権利があります。また、必要があれば自分に代わって情報を受ける人を選択する権利があります。

7. 個人情報の秘密が守られる権利

診療の過程で得られた自分の個人情報の秘密が守られる権利があります。また、診療、療養の様々な場面でプライバシーが守られる権利があります。

こどもの患者さんと家族の権利

1. あなたはひとりの人間として大切にされ、自分らしく生きる権利があります。

2. あなたは、あなたにとって一番よいと考えられる治療を受けることができます。

3. あなたが安心してできる人と、出来る限りいっしょにすることができます。

4. あなたとご家族は、十分に説明してもらったうえで、自分の考えや気持ちを家族や病院の人に伝えることができます。

5. あなたとご家族は、病気のことや病気を治していく方法について、わからないことや不安なことがあるときは、いつでも病院の人に聞いて、何度でもわかりやすく教えてもらうことができます。

6. あなたとご家族には、病気のことや病気を治していく方法について、ほかの病院の人の意見を聞くことができます。

7. あなたとご家族はあなたのところやからだを傷つけるあらゆることから守られます。

8. あなたとご家族は、知られたくないことがあれば、家族や病院の人に伝えることで、秘密にすることができます。

9. あなたは、入院しているときでも、勉強したり、遊んだりすることができます。

10. あなたとご家族は希望すれば診療記録（カルテ）を見ることができます。

患者さんに守っていただきたいこと

1. 情報を提供する責務

良質な医療の提供を受けるために、ご自分の健康に関する情報をできる限り正確に医療従事者に提供してください。

2. 医療従事者と共同して診療に参加する責務

治療効果を高めるためには、医療従事者とともに患者さん自らも病気を治していくという姿勢が重要です。そのために必要な治療や検査等には積極的に取り組んでください。なお、治療の進め方に疑問がある場合は、医療従事者にその旨をきちんと伝えてください。

3. 適切な医療環境づくりに協力する責務

すべての方が適切な医療環境で治療に専念できるように、社会的ルールや病院の規則、職員の指示を守ってください。また、医療費の支払請求を受けた時は、速やかにお支払いください。

4. 医療人の育成に協力する責務

当院は、教育機関でもあるため、医学生・看護学生などの実習・研修を行っていますので、ご理解の上、ご協力ください。

第2章 沿革

昭和15年 1月	1940年	田部朋之氏の独力出資により私立松乃舎病院として新設 錦織 末富 病院長就任
昭和23年 4月	1948年	経営を日本医療団から島根県に移管、島根県中央病院として開設 内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科 開設 病床数 80床（一般39床、結核41床）
昭和26年 4月	1951年	島根県看護学院（乙種看護婦養成所）が付設される
昭和26年10月	1951年	結核病棟を増築 病床数 111床（一般39床、結核72床）
昭和26年12月	1951年	政府管掌健康保険結核療養所出雲荘を設置 病床数 157床（一般39床、結核118床）
昭和28年 5月	1953年	出雲市外13カ町村組合立伝染病棟（30床）が付設される 病床数 187床（一般39床、結核118床、伝染30床）
昭和28年 9月	1953年	眼科、皮膚泌尿器科、精神神経科、歯科 開設 病理検査室新設、結核病棟増築、手術室増築（手術台 3台、无影灯 3基設置） 病床数 241床（一般67床、結核144床、伝染30床）
昭和28年10月	1953年	島根県看護学院が島根県中央病院附属高等看護学院（3年過程）となる
昭和29年 4月	1954年	精神科病棟を新設 病床数 295床（一般67床、結核148床、精神50床、伝染30床）
昭和29年 9月	1954年	内科病棟および小児科病棟を増築 病床数 334床（一般122床、結核132床、精神50床、伝染30床）
昭和30年 9月	1955年	結核病棟を増築 病床数 378床（一般122床、結核176床、精神50床、伝染30床）
昭和30年11月	1955年	地方職員共済組合結核病棟を設置 病床数 418床（一般122床、結核216床、精神50床、伝染30床）
昭和31年 7月	1956年	加古 齊 二代病院長就任
昭和32年	1957年	総合病院として承認される
昭和34年 1月	1959年	一般病棟を看護婦宿舎に転用、結核病棟を一般病棟に転用 病床数 349床（一般117床、結核152床、精神50床、伝染30床）
昭和35年	1960年	精神神経科病棟、小児科病棟、臨床検査室の増築 病床数 385床（一般130床、結核152床、精神73床、伝染30床）
昭和37年	1962年	本館改築のため病棟撤去 病床数 320床（一般142床、結核70床、精神78床、伝染30床）
昭和38年 9月	1963年	病院の名称を「島根県立中央病院」と改称
昭和38年12月	1963年	1号棟および2号棟 竣工 病床数 409床（一般200床、結核70床、精神107床、伝染30床、人間ドック 2床） 安岡 英武 三代病院長就任
昭和39年 6月	1964年	臨床検査室を地元開業医師に開放
昭和40年 6月	1965年	一般病棟を増床 病床数 440床（一般231床、結核70床、精神107床、伝染30床、人間ドック 2床） 看護婦寄宿舍、剖検室、霊安室 竣工
昭和40年11月	1965年	労災病棟の設置に伴い労災福祉事業団と診療受託契約を締結 病床数 465床（一般256床、結核70床、精神107床、伝染30床、人間ドック 2床）
昭和41年 2月	1966年	救急病院の指定を受ける
昭和41年	1966年	コバルト60遠隔照射装置、回転横断断層装置、エックス線テレビ装置などを整備
昭和42年 3月	1967年	結核病棟出雲荘を買収
昭和42年10月	1967年	放射線科病棟を新設 病床数 483床（一般273床、結核70床、精神107床、伝染30床、人間ドック 3床）
昭和42年	1967年	島根県中央病院附属高等看護学院が島根県立高等看護学院として独立

昭和43年 6月	1968年	旧本館の解体、駐車場および庭園の造成
昭和43年 6月	1968年	手島 弘毅 四代病院長就任
昭和44年10月	1969年	湖陵病院の開設および第1新館建設着工に伴う病床数変更 病床数 443床（一般319床、結核50床、精神41床、伝染30床、人間ドック 3床）
昭和46年 3月	1971年	脳神経外科 開設 血管連続撮影装置 設置
昭和46年 5月	1971年	第1新館竣工による病床数変更 病床数 555床（一般421床、結核59床、精神40床、伝染30床、人間ドック 5床）
昭和46年 6月	1971年	リハビリ棟竣工
昭和47年 7月	1972年	患者集中監視装置（CCU）設置 検査棟竣工
昭和47年 3月	1972年	ペーパートロン治療装置 設置
昭和47年 8月	1972年	血液透析装置（人工腎臓）設置
昭和47年10月	1972年	野手 信哉 五代病院長就任
昭和50年10月	1975年	島根医科大学の開学に伴い、関連教育病院に指定される
昭和51年 4月	1976年	岩宮 公平 六代病院長就任
昭和51年 7月	1976年	結核患者の減少により、結核病床数変更 病床数 549床（一般454床、結核20床、精神40床、伝染30床、人間ドック 5床）
昭和52年 1月	1977年	診断用 X 線装置（手術室）設置
昭和52年 3月	1977年	第2新館（手術室、剖検室、凶書病歴室、研究室等）竣工
昭和52年 8月	1977年	自動分析装置（中央検査科）設置
昭和52年	1977年	離島および僻地住民に対する医療活動を推進するために地域連携室を開設
昭和53年 2月	1978年	ガンマカメラ（放射線科）設置
昭和53年 3月	1978年	リハビリ訓練室増築
昭和53年 7月	1978年	人工透析センター開設
昭和53年10月	1978年	院内改造による病床数変更 病床数 568床（一般470床、結核20床、精神40床、伝染30床、人間ドック 5床、CCU 3床）
昭和54年 4月	1979年	院内改造による婦産病棟の病床数変更 病床数 574床（一般476床、結核20床、精神40床、伝染30床、人間ドック 5床、CCU 3床）
昭和54年	1979年	玄関ホール拡張 外来受付増設 薬局増築
昭和55年 1月	1980年	第3次救命救急センター指定を受ける
昭和55年 2月	1980年	CT スキャナー室設置
昭和55年 8月	1980年	教育棟竣工
昭和56年	1981年	杉浦 純宣 七代病院長就任 NICU を整備した周産期センターを設置
昭和56年 4月	1981年	神経内科、理学療法科 開設 ICU（特定集中治療室）設置 救急病棟の病床数変更 病床数 604床（一般502床、結核20床、精神40床、伝染30床、人間ドック 5床、CCU 3床、ICU 4床）
昭和57年 3月	1982年	5号病棟建築および病床再編成計画に基づく伝染病棟の病床数変更 病床数 614床（一般502床、結核20床、精神40床、伝染40床、人間ドック 5床、CCU 3床、ICU 4床）
昭和57年 4月	1982年	5号病棟建築および病床再編成計画に基づく結核病床の廃止、一般病床数の変更 病床数 639床（一般542床、精神40床、伝染40床、人間ドック10床、CCU 3床、ICU 4床） 島根県立高等看護学院が島根県立総合看護学院に改称
昭和57年 6月	1982年	医事会計業務にコンピュータ導入
昭和58年 1月	1983年	5号病棟建築および病床再編成計画に基づく一般病床数の変更

		病床数 665床 (一般568床、精神40床、伝染40床、人間ドック10床、CCU 3床、ICU 4床)
昭和58年 4月	1983年	外来食堂、職員食堂の拡充
昭和59年 1月	1984年	駐車場の拡張のため福寿庭園移転
昭和59年 8月	1984年	病床再編成計画に基づく一般病床数の変更 病床数 667床 (一般570床、精神40床、伝染40床、人間ドック10床、CCU 3床、ICU 4床)
昭和61年 4月	1986年	心臓血管外科 開設 シネアングリオ室 設置
昭和62年12月	1987年	自動分析装置室の整備
昭和63年 7月	1988年	厨房改修、栄養管理事務室の増改築
昭和63年	1988年	第4世代 CT スキャナー室、ガンマカメラ室 設置 「病院の在り方に関する研究会」発足
平成元年	1989年	玄関ホール拡張
平成2年	1990年	MRI 設置 内科外来を増築
平成3年	1991年	整形外科外来を増築
平成4年 4月	1992年	瀬戸山 元一 八代病院長就任
平成5年	1993年	救命救急科、形成外科、小児外科、中央手術科 開設 地域医療室を地域医療科に改称 医療技術局を新設し、4局体制とする NICU を10床から18床に増床 CT スキャナー機器更新、体外衝撃波結石破壊装置 設置 医療技術局に臨床工学科を新設
平成6年	1994年	総合診療科 開設 医療局の組織編成を内科診療部、外科診療部、中央診療部に変更 内科を消化器科、循環器科、呼吸器科に分割 外来の再診予約制を実施
平成7年	1995年	内科診療部を除く診療科において院外処方の実施 新病院新築工事着工 血管連続撮影装置を機器更新 腎臓移植および骨髄移植の実施
平成8年	1996年	血液免疫科、内分泌代謝科、腎臓科 開設
平成8年	1996年	基幹災害拠点病院に指定される
平成9年	1997年	内視鏡科、病理組織診断科、アレルギー科、呼吸器外科 開設 医療局の部を中央診療部、内科診療部、外科診療部、救命救急診療部、母性小児診療部に変更 医療技術局に医療情報管理科を新設
平成10年	1998年	新病院竣工
平成11年	1999年	医療局に皮膚感覚器診療部を新設
平成11年 8月	1999年	新病院開院 病院統合情報システム (SHIMANE) および電子カルテシステム (IIMS) 稼動開始 NICU を18床から24床に増床 PICU (母体胎児集中治療室) 3床設置
平成12年 4月	2000年	中川 正久 九代病院長就任
平成14年	2002年	地域医療連携室を新設し、医療技術局の医療相談科を地域医療連携科と改称し、医療情報管理科と共に改組
平成15年	2003年	感染症病棟を16床から12床へ減床 (財)日本医療機能評価機構による評価認定更新
平成16年	2004年	薬剤局を新設し、5局1室体制となる 女性専門外来を開始 地域がん診療連携拠点病院に指定される

平成17年	2005年	新生児科を新設 総合周産期母子医療センターに指定される PICUをMFICUに変更
平成18年	2006年	診断群分類別包括評価(DPC)による支払対象病院に指定される 外来化学療法室の整備 ICUを8床から10床に増床 アレルギー科をリウマチ・アレルギー科に、血液免疫科を血液腫瘍科に改名 周産期ドクターカーを導入
平成19年	2007年	地方公営企業法の全部適用導入(病院局県立病院課を中央病院に設置) 中川 正久 初代病院事業管理者就任 医療安全推進室、情報システム管理室を設置し、5局3室体制となる 放射線治療科を新設 MEセンター設立
平成20年	2008年	乳腺科を新設 地域医療連携室の地域医療連携科を医療連携・医療相談科と改称し、図書室を同室内に改組 看護科(病棟)の名称を見直し 一般病床を633床に減床 感染症病棟を6床に減床
平成21年	2009年	中山 健吾 十代病院長就任 歯科を歯科口腔外科に改名 新病院開院十周年記念式典
平成22年	2010年	院内保育所を開設 NPO 法人卒後臨床研修評価機構から認定を受ける(島根県初) 中国北京市昌平区病院との友好病院協定の締結 がん専門薬剤師研修施設認定を受ける 認定薬剤師制度研修施設認定を受ける
平成23年 4月	2011年	院内感染症対策等の強化を図るため、感染症科を新設
平成23年 6月	2011年	島根県ドクターヘリの基地病院として運航開始
平成24年 4月	2012年	薬剤局を薬剤管理科、臨床薬剤科の2科体制とした 感染症外来棟を増築 研修棟を増築
平成24年 7月	2012年	集中治療科を新設
平成24年 8月	2012年	島根県立中央病院、県立広島病院及び山口県立医療センターにおける「病院間相互協力に関する協定」の締結(平成27年3月まで)
平成25年 1月	2013年	「中国地方5県ドクターヘリ広域連携に係る基本協定」の締結
平成25年10月	2013年	集中治療室を12床に増床
平成26年 2月	2014年	院内保育所を増築
平成26年 5月	2014年	総合医療相談窓口「やおよろず相談プラザ」を開設
平成26年 5月	2014年	スタッフ支援室「S-Café」を設置
平成26年10月	2014年	(公財)日本医療機能評価機構から認定を受ける (病院機能評価 Ver.3 一般病院2)
平成27年 4月	2015年	菊池 清 十一代病院長就任 医療技術局に医療情報管理科を新設 地域医療連携室を入退院支援・地域医療連携センターと改称し、地域医療連携・医療福祉相談スタッフ、入退院支援スタッフ、在宅医療支援スタッフ、図書室の4体制とした
平成28年 3月	2016年	一般病床を588床に減床
平成28年 4月	2016年	臨床教育・研修支援センターを設置し、図書室を同センター内に改組
平成28年 6月	2016年	原子力災害拠点病院に指定される

平成29年 4月	2017年	小阪 真二 十二代病院長就任 臨床腫瘍科、肝臓内科を新設 入退院支援・地域医療連携センターを入退院支援スタッフ、地域医療連携・医療福祉相談スタッフの2体制とした
平成29年 8月	2017年	高度救命救急センターに指定される
平成30年 5月	2018年	外来手術センター稼働開始
平成30年10月	2018年	ハイブリッド型手術室の整備
平成31年 4月	2019年	山口 修平 二代病院事業管理者就任 消化器外科を新設 広報室を新設
令和元年 6月	2019年	一般病床を588床から572床へ減床 院内助産システムを導入
令和元年10月	2019年	病棟再編
令和元年11月	2019年	(公財)日本医療機能評価機構から認定を受ける (一般病院 2 3rdG:Ver.2.0、救急医療機能 Ver.2.0) 新病院開院20周年記念式典
令和 2年 3月	2020年	総合診療科、循環器内科の初診患者にAI問診を開始
令和 2年 4月	2020年	医療局に総合診療部と医師事務作業補助部を新設
令和 2年 8月	2020年	新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定される
令和 2年11月	2020年	病院ボランティア「ハーモニー」が島根県各種功労者表彰を受賞
令和 3年 4月	2021年	一般病床を572床から522床へ減床
令和 3年 4月	2021年	2階外来ホールに院内ギャラリー「えにし」オープン
令和 3年 6月	2021年	ドクターヘリの運航10周年
令和 3年 8月	2021年	総合周産期母子医療センターから地域周産期母子医療センターに移行
令和 3年 8月	2021年	8階に外来化学療法センター、口腔ケア診察室を整備
令和 4年 1月	2022年	脳ドック検診を開始
令和 4年 3月	2022年	広報誌「えにし」が山陰広告賞2022パンフレット部門金賞を受賞
令和 4年 3月	2022年	患者向け院内 Wi-Fi を整備
令和 4年 4月	2022年	小児外科、新生児科、地域医療科を廃止し、緩和ケア科、地域総合医育成科を新設
令和 4年 4月	2022年	NPO 法人卒後臨床研修評価機構から「エクセレント賞」を受賞
令和 4年 6月	2022年	宿泊型産後ケアの開始
令和 4年 7月	2022年	第72回日本病院学会を開催
令和 5年 3月	2023年	乳がん検診 WEB 予約開始
令和 5年 4月	2023年	事務局に企画広報部を新設
令和 5年 5月	2023年	手術支援ロボット「ダビンチ」を導入
令和 5年 6月	2023年	健診センターを整備
令和 5年 6月	2023年	広報誌「えにし」が「病院広報アワード2023」優秀賞を受賞
令和 5年 7月	2023年	1階小児科外来付近に「ベビーケアルーム」を2台設置
令和 5年 9月	2023年	1階外来採血処置室を整備
令和 5年11月	2023年	高機能ドックを開始
令和 6年11月	2024年	当病院内にドトールコーヒーショップ OPEN
令和 7年 2月	2025年	ブラジル料理のお祝い膳の提供開始
令和 7年 4月	2025年	一般病床を522床から520床へ減床 精神病床を40床から36床へ減床
令和 7年 6月	2025年	精神病床を36床から28床へ減床

第3章 概 要

設置者	島根県知事 丸山 達也
病院名	島根県立中央病院
所在地	島根県出雲市姫原四丁目1-1
開院日	1948年（昭和23年）4月
病院事業管理者	山口 修平
病院長	小阪 真二
参与	金 聲根
副院長	山森 祐治、磯和 理貴、小田 強、田根 圭子
医療局長	山内 正信
看護局長	田根 圭子（副院長）
薬剤局長	金澤 旭宣
医療技術局長	高下 成明
事務局長	勝部 恵治
入退院支援・地域医療連携センター長	岡田 千秋（看護局次長）
医療安全推進室長	磯和 理貴（副院長）
情報システム管理室長	若山 聡雄（医療局次長）
臨床教育・研修支援センター長	磯和 理貴（副院長）
広報室長	中島 隆（事務局企画広報部長）
臨床研究・治験管理室長	井川 房夫（医療局次長）
統合運用・業務改善室長	山内 正信（医療局長）
臨床ゲノム医療推進室長	金澤 旭宣（薬剤局長）

3.1 病床数 554床

内訳	一般病棟	520床（うち休床23床）
	精神病棟	28床
	感染症病棟	6床

3.2 施設概要

3.2.1 地域指定 第一種住居地域

3.2.2 敷地面積 66,917.13㎡

3.2.3 延べ床面積 (病院本館) 53,220.24㎡
(エネルギー棟) 2,592.54㎡
(研修棟) 1,223.72㎡
(感染症外来棟) 256.95㎡
(保育所) 431.46㎡
(附属舎9棟) 745.66㎡

3.2.4 容積率 87.38%

3.2.5 建築面積 15,529.48㎡

3.2.6 建蔽率 23.21%

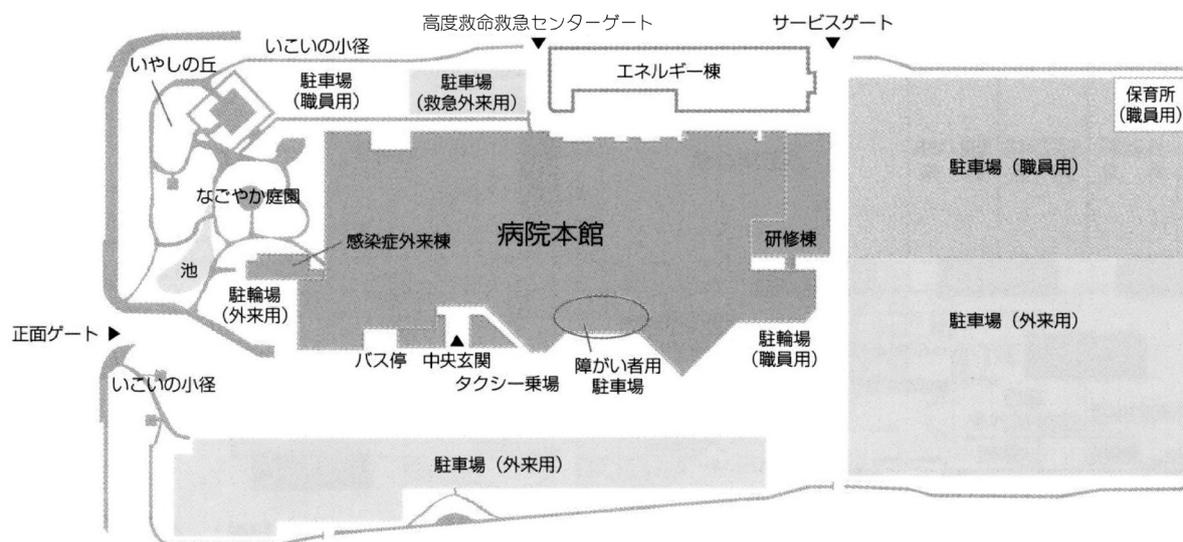
3.2.7 駐車場台数 外来633台、職員579台

3.2.8 総延床面積

(㎡)

階	病院本館	エネルギー棟	研修棟	感染症外来棟	計
P 2	730.46				730.46
P 1	899.42				899.42
10	2,999.75				2,999.75
9	2,999.75				2,999.75
8	2,999.75				2,999.75
7	2,999.75				2,999.75
6	2,999.75				2,999.75
5	3,701.88				3,701.88
4	4,526.67				4,526.67
3	6,753.14		399.00		7,152.14
2	9,949.18	1,194.11	428.23		11,571.52
1	11,660.74	1,398.43	396.49	256.95	13,712.61
合計	53,220.24	2,592.54	1,223.72	256.95	57,293.45

3.2.9 施設配置図



3.2.10 フロア概略図



3.3 建物に付随する設備

3.3.1 電気設備

電力引込方式	3相3線 22,000V 60Hz 常用線・予備線2回線受電
契約電力	2,600kW (特別高圧電力 TOUS)
受電設備	変電用遮断 C-GIS ガス絶縁 24kV 600A RC25kA 変圧器 SF ₆ ガス絶縁自冷式変圧器22,000V/6,600V 4,000KVA 2台
非常用発電機	3相3線 6,600V 60Hz 1,000kVA (ガスタービン) 2台
無停電電源装置	250kVA (医療用) 1台 120kVA (情報用) 1台 30kVA (情報用及び中央監視用) 1台 20kVA (情報用) 1台
電話設備	デジタル交換機 実装1050回線 使用739回線 ダイヤルイン方式 火災通報装置1台 火災通報専用電話機1台
院内携帯電話	デジタルコードレス主装置 (電話設備交換機と接続) ナースコール連動型 コードレス電話機 603台 (うち、ナースコール連動190台)
ナースコール	ナースコール親機 病棟センター、ナースカウンターに設置 タッチ操作式、CRT ディスプレイ、院内 PHS に表示
防犯システム 監視カメラ	防災センターにて電気錠の施開錠、ガラス破壊センサー等にて状態監視 監視カメラ 66台 防災センターと警備員室にてモニター監視 タイムラプスビデオで、終日録画

3.3.2 空調設備

熱源設備	吸収式冷温水機 600USRT × 3基 ターボ冷凍機 250USRT × 2基 蒸気ボイラー 小型貫流式 2.0t/h × 4基 炉筒煙管式 8.4t/h × 1基 常用0.5MPa (吸収式冷温水機・蒸気ボイラーの燃料は、灯油・都市ガス併用)
空調機	エアハンドリングユニット 126系統 空冷パッケージエアコン 102系統 (ルームエアコン含) ファンコイルユニット 16ゾーン 1,047台

3.3.3 医療ガス

酸素ガス供給装置 [予備]	液化酸素タンク 5,000リットル (液量) [全館] 酸素マニホールド 7,000リットルボンベ×12本×2バンク
窒素ガス供給装置	窒素マニホールド 7,000リットルボンベ×12本×2バンク [OP]
圧縮空気供給装置 [予備]	コンプレッサー 3.7kW × 4台 2台交互運転 [全館] (スクロール式) 空気マニホールド 7,000リットルボンベ×2本 コンプレッサー 2.2kW × 4台 2台交互運転 [歯科]
吸引装置	吸引ポンプ 8kW × 2台 交互運転 [全館] (油回転式) コンパクト吸引装置 0.75kW [歯科] コンパクト吸引装置 0.75kW [口腔外科]

3.3.4 昇降設備

エレベーター	乗 用	1階～P1階	4台 [患者、一般]	メインエレベーター
	乗 用	1階～10階	2台 [職員]	サブエレベーター (小型)
	寝台用	1階～10階	2台 [患者搬送]	サブエレベーター (大型)
	寝台用	1階～P1階	1台 [患者搬送]	サブエレベーター (9番)
	非常用	1階～10階	1台 [消防用]	廃棄物エレベーター
	(通常時は清掃・リネン用)			
	非常用	1階～10階	1台 [消防用]	給食用エレベーター
	(通常時は給食用)			
	乗 用	1階～3階	1台 [一般、来客]	管理部門用エレベーター
	乗 用	1階～3階	1台 [患者、一般]	外来用エレベーター
乗 用	2階～3階	1台 [手術器具]	消毒滅菌エレベーター	
寝台用	P1階～ヘリポート	1台 [緊急患者]	ヘリポートエレベーター	
乗 用	1階～3階	1台 [職員]	研修棟エレベーター	
小荷物専用昇降機	薬剤移送用	1台		
	手術機材移送用	1台		
エスカレーター	階高 4.8m	上下	2台	

3.3.5 搬送設備

エアシューター	154φ型	3系統	19ステーション
---------	-------	-----	----------

3.3.6 防災設備

GR型受信機	(アナログ式・自動試験機能付)	173区域
	防災監視操作卓	1台
	副表示機	1台
特殊警報システム	手術室 ICU・CCU 分娩室 NICU	
非常放送設備	防災センター1台	61回線 360w×5台
ガス漏れ火災警報設備	3区域	
スプリンクラー	ポンプユニット	150φ×1,800リットル/min×83m
(屋内散水栓兼用)	アラーム弁	15系統
二酸化炭素消火設備	8系統 (電気室他)	
フード消火設備	14系統 強化液 (主厨房、職員食堂厨房、喫茶)	
泡消火設備	ポンプ11kW	水槽8t 原液槽300リットル
消火水槽	64m ³	
防火水槽	3槽	
窒素消火設備	1系統 (サーバ室)	

3.3.7 給排水設備

給水設備	飲用水受水槽 (市水)	130t×2基
	飲用水高架水槽	20t×2基
	雑用水受水槽 (市水、井水)	500t
	雑用水高架水槽	25t×2基
	雑用水槽2 (井水)	100t
	雑用水槽3 (市水)	512t
	井水貯留槽	20t
排水設備	厨房排水処理装置 処理能力	45t/日
	中和排水処理装置 処理能力	5t/h
	有菌系排水処理装置 処理能力	4.2t/回/2.5h
給湯設備	貯湯槽	8t×2基
	電気温水器	35リットル 13台

3.4 主な医療機器（購入価格3,000万円以上の医療機器）

(2025年6月1日現在)

品名	型式	メーカー	数量	購入年月日
リニアックシステム	TRILOGY SYSTEM	バリアンメディカルシステムズ20	1	2008/03/31
超音波診断装置	Vivid E9	GEヘルスケア・ジャパン	1	2009/09/18
デジタルX線TVシステム	ZEXIRA DREX-ZX80	東芝メディカルシステムズ	1	2010/03/30
放射線治療計画装置	Eclipse 他	バリアン 他	1	2010/03/31
全身用X線CT（コンピュータ断層撮影）装置	Aquilion PRIME (TSX-302A)	東芝メディカル	1	2012/02/24
手術用モバイル型Cアーム	Veradius 他	フィリップスエレクトロニクスジャパン	1	2012/12/26
デジタルガンマカメラ（2検出器型）	SYMBIA E/4C	東芝メディカルシステムズ	1	2012/12/26
手術用顕微鏡システム	OME-9000 他	オリンパスメディカルシステムズ	1	2013/02/22
注射薬自動払出装置	Pix1613B	CMCCメディカル	1	2013/08/05
デジタルラジオグラフィ一般撮影装置（撮影室⑥）	CALNEO-C 17×17Wireless SQ 他	富士フィルムメディカル	1	2013/09/30
簡易型体内放射能測定装置（検出部）		富士電機	1	2014/03/19
全身用磁気共鳴断層撮影装置（MRI装置）	MAGNETOM Skyra	シーメンスジャパン	1	2014/03/31
PET/CT装置システム	Biograph mCT 64 Flow 他	シーメンスジャパン	1	2014/03/31
内視鏡システム	CV-290 他	オリンパスメディカルシステムズ	1	2015/02/22
デジタルX線TVシステム	ZEXIRA	東芝メディカル	1	2015/02/24
デジタルラジオグラフィ一般撮影システム（撮影室3）	CALNEO-C 17×17Wireless SQ 他	富士フィルムメディカル	1	2015/03/19
簡易型体内放射能測定装置		富士電機	1	2015/03/30
デジタルガンマカメラ（3検出器型）	GCA-9300R	東芝メディカルシステムズ	1	2016/12/20
1.5テスラ磁気共鳴断層撮像システム（MRI装置）	Ingenia 1.5T Omega HP	フィリップスジャパン	1	2018/03/26
生理検査システム	Prime Vita Plus	日本光電工業	1	2018/08/31
デジタルX線透視撮影システム	VersiFlex VISTA17	日立製作所	1	2018/09/26
ハイブリッドOR血管撮影システム	Azurion B20/15	フィリップス	1	2018/10/29
全身用X線CT診断システム	PrimeSP（TSX-303B）	キャノンメディカルシステムズ	1	2019/01/28
内視鏡システム	1688内視鏡カメラシステム	日本ストライカー	2	2022/03/31
デジタル乳房X線撮影装置	AMULET Innovality 他	富士フィルムメディカル	1	2022/06/23
心臓血管撮影システム	Azurion7 B12/12 他	フィリップスジャパン	1	2022/09/29
手術支援ロボット	Da Vinci システム	インテュイティブサージカル	1	2023/05/22
動画ネットワークシステム	Cardio Agent pro	キャノンメディカルシステムズ	1	2023/05/29
採血業務支援システム	AI-500 他	テクノメディカ	1	2023/09/28
血管撮影装置	Atris zee SX BA Twin 他	シーメンスヘルスケア	1	2023/10/27
高解像度手術顕微鏡	MM51/YOH 他	三鷹光器	1	2024/03/06
全身用X線CT（コンピュータ断層撮影）装置	AquilionONE INSIGHT	キャノンメディカルシステムズ	1	2025/3/31

3.5 職員数 (2025年6月1日現在)

3.5.1 局室センター別職員数

局室	区分	正規職員	会計年度 任用職員	計
医療局	医師	141	39	180
	技師	0	2	2
	事務職	0	43	43
	計	141	84	225
看護局	看護師等	649	47	696
	事務職	0	61	61
	計	649	108	757
薬剤局	医師	1	0	1
	技師	37	0	37
	事務職	0	9	9
	計	38	9	47
医療技術局	医師	1	0	1
	技師	161	18	179
	看護師	0	2	2
	事務職等	18	9	27
	計	180	29	209
事務局	事務職	28	43	71
	技師	1	0	1
	計	29	43	72
入退院支援・地域 医療連携センター	事務職等	11	7	18
	看護師	17	5	22
	計	28	12	40
医療安全推進室	看護師	3	0	3
	事務職	0	1	1
	計	3	1	4
情報システム管理室	事務職等	0	0	0
	計	0	0	0
臨床教育・ 研修支援センター	事務職等	0	7	7
	看護師	0	0	0
	計	0	7	7
広報室	事務職	0	3	3
	計	0	3	3
臨床研究・治験管理室	技師	1	0	1
	看護師	1	1	2
	計	2	1	3
統合運用・業務改善室	事務職等	0	0	0
	計	0	0	0
臨床ゲノム医療推進室	技師	0	2	2
	計	0	2	2
計		1,070	299	1,369

3.5.2 医療局 診療科別医師数

診療科	正規医師	嘱託医	臨床研修医 臨床研修歯科医	計
リハビリテーション科	2	0	0	2
放射線科	7	1	0	8
放射線治療科	2	0	0	2
内視鏡科	2	0	0	2
検査診断科	1	0	0	1
病理診断科	1	1	0	2
精神神経科	3	1	0	4
脳神経内科	4	1	0	5
呼吸器科	4	0	0	4
消化器科	9	1	0	10
肝臓内科	1	0	0	1
循環器科	9	0	0	9
リウマチ・アレルギー科	0	0	0	0
血液腫瘍科	4	0	0	4
内分泌代謝科	3	1	0	4
外科・消化器外科	8	0	0	8
乳腺科	3	0	0	3
整形外科	6	0	0	6
脳神経外科	5	0	0	5
呼吸器外科	4	0	0	4
心臓血管外科	5	0	0	5
泌尿器科	4	0	0	4
腎臓科	4	0	0	4
形成外科	4	0	0	4
皮膚科	3	0	0	3
眼科	1	0	0	1
耳鼻咽喉科	1	1	0	2
歯科口腔外科	4	0	0	4
救命救急科	11	0	0	11
麻酔科	5	1	0	6
手術科	1	0	0	1
集中治療科	1	0	0	1
小児科	7	1	0	8
産婦人科	3	4	0	7
総合診療科	8	0	0	8
感染症科	1	0	0	1
臨床腫瘍科	1	0	0	1
緩和ケア科	1	0	0	1
地域総合医育成科	0	0	0	0
臨床研修部	0	0	26	26
計	143	13	26	182

※正規医師には、病院長、参与、副院長（3名）、薬剤局長、医療技術局長を含む

	医療クラーク・医療アシスタント	計
医師事務作業補助部	45	45

3.5.3 看護局 部門別看護師数

部門	部署名	副院長・局長・次長・部長	看護師長	副看護師長	主任助産師	主任看護師	助産師	看護師	会計年度任用職員						計
									助産師・准看護師	フルタイム看護師・フルタイム看護助手	パート看護師・パート看護助手	パート看護師・パート看護助手	アシスタント	医療・看護	
看護局		13	2	3	0	7	0	0	0	0	0	0	2	27	
救命救急看護部	救命救急外来	0	1	1	0	22	0	0	0	0	0	0	0	24	
	3階東病棟	(1:兼務)		1	0	7	0	17	0	3	0	2	1	31	
	HCU	0	1	1	0	11	0	10	0	0	0	0	0	23	
	集中治療室	0	1	2	0	25	0	12	0	0	0	0	0	40	
	手術室	0	1	2	0	22	0	12	0	0	2	0	1	40	
中央診療看護部	中央検査血液浄化	0	1	2	0	20	0	1	1	0	6	0	0	31	
外来看護部	外来	(1:兼務)		2	0	25	0	1	0	0	21	2	1	52	
母性小児病棟看護部	GCU	0	1	0	1	8	0	5	0	0	0	0	0	15	
	NICU	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	6	
	小児病棟	(1:兼務)		1	1	9	0	11	1	1	1	0	0	25	
	母性病棟	0	1	2	24	0	7	0	0	2	5	1	1	43	
第一総合病棟看護部	6階東病棟	0	1	2	0	12	0	18	0	3	0	1	0	37	
	6階西病棟	0	1	2	0	9	0	19	0	2	2	3	0	38	
	7階病棟	0	1	3	0	12	0	20	0	4	1	4	1	46	
第二総合病棟看護部	8階病棟	0	1	3	0	11	0	22	0	3	2	3	1	46	
	9階東病棟	0	1	2	1	12	0	19	0	2	1	3	0	41	
	9階西病棟	0	1	2	0	12	0	16	0	3	1	0	0	35	
第三総合病棟看護部	10階東病棟	(1:兼務)		2	0	12	0	16	0	2	1	2	0	35	
	10階西病棟	0	1	2	0	12	0	16	0	3	0	0	1	35	
	4階東病棟	0	1	1	0	14	0	6	0	3	0	0	0	25	
育休・産休等	0	0	0	7	23	2	30	0	0	0	0	0	62		
計		13	17	37	35	289	9	251	2	31	43	21	9	757	

3.5.4 薬剤局 職員数

区分	医師	薬剤師	医療アシスタント	計
局長・次長	1	1	0	2
薬剤管理科	0	19	5	24
臨床薬剤科	0	17	4	21
計	1	37	9	47

3.5.5 医療技術局 職員数

区 分	医 師	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	視 能 訓 練 士	管 理 栄 養 士	栄 養 士	調 理 師	臨 床 工 学 技 士	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	言 語 聴 覚 士	診 療 情 報 管 理 士	臨 床 心 理 士	歯 科 衛 生 士	看 護 師	医 療 ア シ ス タ ン ト	計
局長	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
放射線技術科	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	32
検査技術科	0	0	51	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	56
栄養管理科	0	0	0	0	16	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
臨床工学科	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	2	26
リハビリテーション技術科	0	0	0	0	0	0	0	0	24	12	7	0	0	0	0	3	46
医療情報管理科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	1	11
心理スタッフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
歯科スタッフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
計	1	31	51	3	16	3	5	24	24	12	7	10	5	8	2	7	209

3.5.6 事務局 職員数

区 分	行政職							臨 床 工 学 主 任	医 療 ア シ ス タ ン ト ・ 相 談 員 ・ ワ ー ク セ ン タ ー 等	計							
	・ 局 部 長 ・ 次 長	専 門 幹 事 長	企 画 幹 事 長	課 長	係 長 ・ 主 幹	主 任	主任 主事・主事 主任 技師・技師				医 療 情 報 主 任	医 療 情 報 技 師					
局長・次長・企画幹	(2:兼務)	(1:兼務)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総務部	部			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総務課		(1:兼務)		2	0	3	0	0	0	0	0	0	10	0	0	15
	人事課	0	(1:兼務)		0	2	1	0	0	0	0	0	0	20	0	0	23
	給与課		(1:兼務)	(1:兼務)	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
経営部	部	(1:兼務)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経営課		(1:兼務)		1	2	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	7
	施設管理課	0	(1:兼務)		1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5
	業務課			1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	7
企画 広報部	部	(1:兼務)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	企画広報課			1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	情報システム課	0		1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3	0	0	7
計	0	3	7	6	11	0	1	1	43	72							

※事務局長、事務局次長、総務部長、企画広報部長、企画幹、総務課長等は病院局本局からの兼務

3.5.7 入退院支援・地域医療連携センター 職員数

区 分	医 師	看 護 局 次 長	管 理 監 課	県 立 病 院	看 護 師 長	副 看 護 師 長	主 任 看 護 師	看 護 師	専 門 幹 事	社 会 福 祉 員	専 門 福 祉 士	社 会 福 祉 士	専 門 福 祉 士	診 療 情 報 員	医 療 アシ スタ ント	計
センター長・ センター長補佐	(2:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入退院支援スタッフ	0	0	0		1	1	6	4	0	0	0	0	0	0	0	12
地域医療連携・ 医療福祉相談スタッフ	0	0	0		1	1	7	1	1	3	8		1	5		28
計	0	0	0		2	2	13	5	1	3	8		1	5		40

3.5.8 医療安全推進室 職員数

	医 師	臨 床 工 学 科 長	薬 剤 管 理 科 長	看 護 部 長	看 護 師 長	副 看 護 師 長	主 任 看 護 師	医 療 アシ スタ ント	計
室長・代理・補佐	(5:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)		0	0	0	0
スタッフ	0	0	0	0	1	1	1	1	4
計	0	0	0	0	1	1	1	1	4

3.5.9 情報システム管理室 職員数

	医 師	看 護 局 次 長	医 療 情 報 技 師	診 療 情 報 管 理 士	主 事	医 療 アシ スタ ント	計
室長・補佐	(3:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)	0	0	0
情報システムスタッフ	0	0	(2:兼務)	0	(1:兼務)	(3:兼務)	0
医療情報管理スタッフ	0	0	0	(7:兼務)	0	(1:兼務)	0
計	0	0	0	0	0	0	0

3.5.10 臨床教育・研修支援センター 職員数

	医 師	看 護 部 長	次 医 療 技 術 局 長	調 整 監 課	県 立 病 院	看 護 師 長	副 看 護 師 長	主 査 課	県 立 病 院	医 療 アシ スタ ント	研 修 支 援 員 ・ 司 書	計
センター長・ センター長補佐	(3:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)		0	0	0	0	0	0	0
スタッフ	0	0	0	0	(1:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)				6	6
図書室	0	(1:兼務)	0	0	0	0	0	0			1	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0			7	7

3.5.11 広報室 職員数

	広報室長	医療局次長	看護局次長	次医療技術局長	薬剤局科長	主 県立病院 査 課	医療アシスタント	計
室長・補佐	(1:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)	(1:兼務)	0	0	0
スタッフ	0	0	0	0	0	(1:兼務)	3	3
計	0	0	0	0	0	0	3	3

3.5.12 臨床研究・治験管理室 職員数

	医療局次長	薬剤師	看護師	計
室長・補佐	(1:兼務)	1	0	1
スタッフ	0	(2:兼務)	2	2
計	0	1	2	3

3.5.13 統合運用・業務改善室 職員数

	医療局長	専 診 療 門 情 報 員 報	計
室長	(1:兼務)	0	0
スタッフ	0	(1:兼務)	0
計	0	0	0

3.5.14 臨床ゲノム医療推進室 職員数

	薬剤局長	カ 認 ウ 定 ン セ セ ラ ー 伝	計
室長	(1:兼務)	0	0
スタッフ	0	2	2
計	0	2	2

3.6 診療科目 25診療科

内科、精神科、脳神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、アレルギー科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科

3.7 院内標榜診療科目 39診療科

リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、内視鏡科、検査診断科、病理診断科、総合診療科、精神神経科、脳神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ・アレルギー科、血液腫瘍科、内分泌代謝科、感染症科、外科（消化器外科）、乳腺科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、腎臓科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、救命救急科、麻酔科、手術科、集中治療科、小児科、産婦人科、臨床腫瘍科、肝臓内科、地域総合医育成科、緩和ケア科

3.8 特殊外来

循環器科	ペースメーカー外来
皮膚科、内分泌代謝科	フットケア外来
消化器科	肝臓外来
外科	ストマ外来、緩和ケア外来
産婦人科	不妊・内分泌外来、産後健診外来、ハイリスク妊婦外来、腫瘍外来、乳房外来、助産師乳房外来、助産師妊婦健診外来、婦人科ワクチン、遺伝相談外来、すこやか外来
小児科	小児神経外来、小児循環器外来、乳児健診外来、すくすく外来、予防接種外来、小児アレルギー、新生児2週間、短期入所外来、ワクワク外来
歯科口腔外科	周術期口腔ケア
眼科	レーザー治療
臨床腫瘍科	ゲノム外来
救命救急科	航空身体検査外来
脳神経外科	脳ドック外来
整形外科	脊椎外来

3.9 救急医療体制 高度救命救急センター併設

3.10 施設基準届出事項

基本診療料	医療DX推進体制整備加算
	急性期一般入院料1
	精神科入院基本料 10:1
	地域歯科診療支援病院歯科初診料
	歯科外来診療医療安全対策加算2
	歯科外来診療感染対策加算3
	急性期充実体制加算1
	救急医療管理加算
	超急性期脳卒中加算
	診療録管理体制加算1
	医師事務作業補助体制加算1 15:1
	急性期看護補助体制加算 25:1 (看護補助者5割以上)
	夜間100対1急性期看護補助体制加算
	看護職員夜間配置加算 12:1
	急性期看護補助体制加算の注4に規定する看護補助体制充実加算1
	看護職員処遇改善評価料
	療養環境加算

重症者等療養環境特別加算
 無菌治療室管理加算 1
 放射線治療病室管理加算
 緩和ケア診療加算
 小児緩和ケア診療加算
 精神病棟入院時医学管理加算
 精神科身体合併症管理加算
 精神科リエゾンチーム加算
 依存症入院医療管理加算
 摂食障害入院医療管理加算
 リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算
 栄養サポートチーム加算
 医療安全対策加算 1
 感染対策向上加算 1
 感染対策向上加算の注 2 に規定する指導強化加算
 抗菌薬適正使用体制加算
 バイオ後続品使用体制加算
 患者サポート体制充実加算
 重症患者初期支援充実加算
 報告書管理体制加算
 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 ハイリスク妊娠管理加算
 ハイリスク分娩管理加算
 術後疼痛管理チーム加算
 精神科救急搬送患者地域連携受入加算
 後発医薬品使用体制加算 1
 病棟薬剤業務実施加算 1、2
 データ提出加算 2、4
 入退院支援加算 1、3
 医療的ケア児（者）入院前支援加算
 認知症ケア加算
 せん妄ハイリスク患者ケア加算
 精神疾患診療体制加算 1、2
 精神科急性期医師配置加算
 排尿自立支援加算
 地域医療体制確保加算
 特定集中治療室管理料 2
 ハイケアユニット入院医療管理料 1
 新生児集中治療室管理料
 新生児治療回復室入院医療管理料
 小児入院医療管理料 3

特掲診療料

歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
 外来栄養食事指導料の注 2、注 3
 心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に掲げる遠隔モニタリング加算
 糖尿病合併症管理料
 がん性疼痛緩和指導管理料
 がん性疼痛緩和指導管理料の注 2 に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算

がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ
がん患者指導管理料ニ
外来緩和ケア管理料
移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）
糖尿病透析予防指導管理料
乳腺炎重症化予防・ケア指導料
婦人科特定疾患治療管理料
腎代替療法指導管理料
一般不妊治療管理料
生殖補助医療管理料
二次性骨折予防継続管理料 1
二次性骨折予防継続管理料 3
下肢創傷処置管理料
慢性腎臓病透析予防指導管理料
院内トリアージ実施料
外来腫瘍化学療法診療料 1
外来腫瘍化学療法診療料の注 9 に規定するがん薬物療法体制充実加算
連携充実加算
ニコチン依存症管理料
療養・就労両立支援指導料の注 3 に掲げる相談支援加算
開放型病院共同指導料
がん治療連携計画策定料
肝炎インターフェロン治療計画料
外来排尿自立指導料
ハイリスク妊産婦連携指導料 1、 2
こころの連携指導料（Ⅱ）
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
医療機器安全管理料 1
医療機器安全管理料 2
医療機器安全管理料（歯科）
歯科治療総合医療管理料（Ⅰ）及び（Ⅱ）
精神科退院時共同指導料 1 及び 2
重症患者搬送加算
救急患者連携搬送料
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
持続血糖測定器加算
遺伝学的検査
染色体検査（絨毛染色体）
BRCA1/2 遺伝子検査
がんゲノムプロファイリング検査
先天性代謝異常症検査
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（SARS-CoV-2 核酸検出を含まないもの）
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）

検体検査管理加算（Ⅰ）
検体検査管理加算（Ⅳ）
国際標準検査管理加算
遺伝カウンセリング加算
遺伝性腫瘍カウンセリング加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
胎児心エコー法
ヘッドアップティルト試験
長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査
全視野精密網膜電図
ロービジョン検査判断料
小児食物アレルギー負荷検査
精密触覚機能検査
内服・点滴誘発試験
画像診断管理加算 1
画像診断管理加算 3
遠隔画像診断
ポジトロン断層撮影
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
CT 撮影及び MRI 撮影
冠動脈 CT 撮影加算
心臓 MRI 撮影加算
乳房 MRI 撮影加算
小児鎮静下 MRI 撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算 1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
摂食嚥下機能回復体制加算 2
がん患者リハビリテーション料
歯科口腔リハビリテーション料 2
療養生活環境整備指導加算
抗精神病特定薬剤治療指導管理料
通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算
医療保護入院等診療料
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の時間外・深夜・休日加算 1
人工腎臓
導入期加算 2 及び腎代替療法実施加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
ストーマ合併症加算
CAD/CAM 冠及び CAD/CAM インレー
センチネルリンパ節加算
自家脂肪注入

多血小板血漿処置
 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
 椎間板内酵素注入療法
 緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）
 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
 内視鏡による縫合術・閉鎖術（食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、
 十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、
 結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖
 術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの））
 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術支援機器を用いるもの）
 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術支援機器を用いるもの）
 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
 経皮的中隔心筋焼灼術
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカーの場合）
 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
 植込型除細動器移植術・交換術及び経静脈電極除去術
 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
 経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
 体外衝撃波胆石破碎術
 腹腔鏡下リンパ節群郭清術
 腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
 腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
 腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
 腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
 腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
 腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術
 腹腔鏡下肝切除術
 体外衝撃波膵石破碎術
 腹腔鏡下膵腫瘍切除術
 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術
 腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
 生体腎移植術
 腹腔鏡下腎・尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術

膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術
 膀胱頸部形成術・埋没陰茎手術・陰嚢水腫手術
 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外・深夜・休日加算1
 医科点数表第2章第10部手術通則第16号に掲げる手術
 医科点数表第2章第10部手術通則第19号に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
 医科点数表第2章第10部手術通則第19号に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する子宮付属器腫瘍摘出術）
 医科点数表第2章第10部手術通則第21号に規定する再製造単回使用医療機器使用加算
 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
 体外式膜型人工肺管理料
 輸血管理料1
 輸血適正使用加算
 同種クリオプレシテート作製術
 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
 歯周組織再生誘導手術
 周術期栄養管理実施加算
 麻酔管理料（Ⅰ）
 麻酔管理料（Ⅱ）
 周術期薬剤管理加算
 放射線治療専任加算
 外来放射線治療加算
 高エネルギー放射線治療
 一回線量増加加算
 強度変調放射線治療（IMRT）
 画像誘導放射線治療（IGRT）
 定位放射線治療
 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
 体外照射呼吸性移動対策加算
 病理診断管理加算2
 悪性腫瘍病理組織標本加算
 クラウン・ブリッジ維持管理料
 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
 歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
 ベースアップ評価料

その他の基準 入院時食事療養（Ⅰ）・入院時生活療養（Ⅰ）

特定療養費 特別の療養環境の提供
 特定機能病院、地域医療支援病院（一般病床に係るものの数が200床未満の病院を除く。）及び外来機能報告対象病院等（外来医療を提供する基幹的な病院として都道府県が公表したものに限り、一般病床に係るものの数が200床未満の病院を除く。）の病院について受けた初診
 特定機能病院、地域医療支援病院（一般病床に係るものの数が200床未満の病院を除く。）及び外来機能報告対象病院等（外来医療を提供する基幹的な病院として都道府県が公表したものに限り、一般病床に係るものの数が200床未満の病院を除く。）の病院について受けた再診

180日を超える入院
薬事法で定める治験に係る療養

3.11 法定指定

社会保険各法指定医療機関
保険医療機関（歯科）
労災保険指定医療機関
リハビリテーション医療実施施設
救急医療機関（高度救命救急センター）
精神科救急医療指定病院
感染症発生動向調査事業指定届出病院
第二種感染症指定病院
外科後処置及び義肢採型指導処置指定病院
生活保護指定病院
指定自立支援医療機関（更生医療病院）
指定自立支援医療機関（育成医療病院）
指定自立支援医療機関（精神通院医療）
結核予防法指定病院
養育医療指定病院
被爆者一般疫病医療機関
臨床研修指定病院
母体保護法施設設備病院
地域がん診療連携拠点病院
島根県周産期医療ネットワーク（地域周産期母子医療センター）
地域包括医療・ケア認定施設
エイズ拠点病院
指定難病・小児慢性特定疾病医療機関
指定難病・小児慢性特定疾病医療機関（歯科）
基幹災害拠点病院（基幹災害医療センター）
歯科医師研修協力病院
難病診療分野別拠点病院
肝炎専門医療機関
島根 DMAT（災害派遣医療チーム）指定医療機関
地域医療支援病院
地域医療拠点病院
原子力災害拠点病院
航空身体検査指定機関
第一種及び第二種協定指定医療機関

3.12 学会による教育・研修施設認定

日本内科学会認定医制度教育施設
日本小児科学会小児科専門医制度専門医研修施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本眼科学会専門医制度研修施設

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設（基幹教育病院）
日本医学放射線学会放射線科専門医制度放射線科専門医総合修練機関
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本病理学会研修認定施設（B）
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本形成外科学会専門医認定施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本血液学会認定研修施設
日本糖尿病学会専門医制度認定教育施設
日本腎臓学会認定教育施設
日本肝臓学会認定施設
日本感染症学会認定研修施設
日本神経学会専門医制度教育施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本胸部外科学会・日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門研修連携施設認定（京都大学医学部附属病院）
日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会・日本血管外科学会三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本リウマチ学会認定教育施設
日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設
日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度母胎・胎児研修施設（指定施設）
日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度新生児研修施設（指定施設）
日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設
日本集中治療医学会集中治療専門医制度研修施設
日本透析医学会専門医制度教育関連施設（島根大学医学部附属病院）
日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医研修施設
日本脳神経外科学会専門医連携施設
日本核医学会専門医教育病院
日本臨床細胞学会認定施設
日本インターベンショナルラジオロジー（日本 IVR）専門医修練認定施設
日本乳癌学会専門医制度認定施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設家庭医療後期研修プログラム（Ver.2.0）
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設
日本航空医療学会認定施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本認知症学会専門医制度教育施設
日本顎顔面インプラント学会准研修施設
日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設（栄養サポートチーム）
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
日本顎関節学会顎関節症専門医研修施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本急性血液浄化学会認定指定施設

日本女性医学学会専門医制度認定研修施設
日本内分泌学会認定教育施設
日本甲状腺学会認定専門医施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
日本脳卒中学会認定研修教育施設
日本緩和医療学会認定研修施設
日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間造血幹細胞移植（Low Volume Center）認定
日本臨床神経生理学会認定施設
日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
日本病院総合診療医学会認定施設
日本口腔外科学会認定研修施設

3.13 その他の施設認定

島根大学医学部卒後臨床研修協力型臨床研修病院（医科・歯科）
日本がん治療認定医機構認定研修施設
婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構登録参加施設（JGOG 登録参加施設）
マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設
日本成人心臓血管外科手術データベース参加施設
両心室ペースメーカー移植術実施施設
埋込型除細動器移植術実施施設
経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの）実施施設
胸部大動脈瘤ステントグラフト（血管内治療）実施施設
腹部大動脈瘤ステントグラフト（血管内治療）実施施設
腎臓財団透析従事者研修施設
日本救急撮影技師認定機構実地研修施設
NPO 法人卒後臨床研修評価機構認定施設
日本産婦人科学会 見解に基づく登録施設（体外受精胚移植の臨床実施に関する顕微授精に関するヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する）
公益財団法人日本骨髄バンク、一般社団法人日本造血幹細胞移植学会非血縁者間骨髄採取認定施設
公益財団法人日本骨髄バンク非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設
浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
下肢静脈瘤に対する血管内レーザ焼灼術実施施設
日本理学療法士協会生涯学習制度（新人教育プログラム）臨床指導施設
航空身体検査指定機関
一次脳卒中（PCS）センター
JCOG 参加施設（消化器内視鏡グループ）
NCD 施設会員登録証
重症薬疹診療拠点病院認定証
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）に関する施設基準順守証明書
日本脊椎脊髄病学会椎間板内酵素注入療法実施可能施設認定
IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設
日本医療機能評価機構認定施設
下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設認定証
画像診断管理認証施設（MRI 安全管理に関する事項）
温存後生殖補助医療研究事業参加施設
日本クリニカルパス学会法人会員
遺伝性乳癌卵巣癌総合診療暫定連携施設

第4章 統合情報管理システム（IIMS）と医療情報ネットワーク

4.1 統合情報管理システム

4.1.1 はじめに

統合情報管理システム（IIMS：Integrated Intelligent Management System）は1999年8月、新病院移転と同時に戦略的統合情報システム（SHIMANE：System of Hospitals for Integrated Management and Administration by Network Environment）として稼動を始めた。総合病院としては国内で最も早く開発され、ペーパーレス運用を初めて可能にした電子カルテシステムである。

2004年度（2005年2月）には第二世代の統合情報管理システムへ移行した。その後、物流管理システムは在庫管理のシステムから消費管理、原価計算を可能とするシステムへと進化した。

2007年度（2008年2月）、島根県立こころの医療センターは開院とともに統合情報管理システムのサーバを共有する形で、第二世代の統合情報管理システムを稼動させた。院内においては、2007年度に、情報システム管理室が設立され、診療情報管理士（含委託医療情報管理担当者）、情報システムスタッフ（含医療情報技師）と情報システム運用支援スタッフ（委託）が一堂に会する形で室を形成し、連携強化と業務の効率化をはかることになった。新ツールとして新たにNSTカルテ、がん登録システムが開発され2008年3月に稼動、統合情報管理システムのバックアップは、サーバ室以外の場所での保存を開始した。

2011年度12月には第三世代の統合情報管理システムへ移行し、患者誤認を防止し医療安全を高めるための患者認証システムや医療情報の安全性・利便性を高めるためのシンククライアントシステムを導入した。

2015年度から2018年度にかけて第四世代の統合情報管理システムへ段階的に移行し、開発言語の最新化を行うとともに、仮想基盤の刷新を行った。

また医療情報ネットワークは、2000年度経済産業省補正事業として『医療ネットしまね』を稼働させた。2008年には、出雲医師会を中心とした県内医師会が、出雲市が構築運用していた「基本健診システム」を引き継ぎ再構築させ、医療ネットしまね上で特定健診サービスとして開始した。また同年度、住民参加型遠隔医療システムを構築し、隠岐島前地区および出雲医師会とともに遠隔医療、往診機能およびPHR機能を開発した。2012年度には、地域医療再生計画に伴い、島根県が中心となり『医療ネットしまね』を発展させた形で『しまね医療情報ネットワーク（以下「まめネット」とする）』の運用が開始した。なお、まめネットは島根県が主導する形でNPO法人が運営している。

まめネットでは、2013年1月には患者さんの同意のもと診療情報共有を行う「連携カルテサービス」、2014年度に応需薬局と医療機関で病薬連携を行う「薬剤情報管理サービス」、2016年度には訪問医療・介護の分野として「在宅ケア支援サービス」が稼働開始した。

4.1.2 統合情報管理システム導入の経緯

① 導入目的・コンセプト

「医療の質の向上、病院管理運営の効率化、患者サービスの向上」という目的を実現するための方法論として統合情報管理システム（電子カルテシステム）を開発・導入した。これらの基本コンセプトを実現するためにIT化が最も相応しい方法であるとの考えの下に導入が行われた。

システム開発の基本コンセプトは、「一元化、共有化、標準化」である。システム開発の第1段階として、病院内の組織体制の再構築を行い、4局体制を確立し（現在5局5室2センター体制）、意思決定のための会議体制・委員会体制を明示した。縦割り、横並びの業務を見直し、業務運用に関する各局共通の意思決定を行い、業務運用の一元化を行うとともに、バラバラとなっていた患者情報などの病院情報の一元化を目指した。一元化を踏まえてシステム構築を行い、情報が共有化できる仕組みとした。

② IIMS 開発経緯

1992年4月	電子カルテ構想書策定
1995年10月	厚生省、『電子カルテ開発委員会』参画
1995年10月	一患者一診療録へ移行
1996年4月	統合情報管理システム仕様書策定
1996年12月	共同開発企業（富士通）決定
1998年3月	開発環境・最終仕様決定
1998年7月	職員コンピュータ教育開始
1999年3～7月	リハーサル施行（計8回）

1999年4月	厚生省3局長通知『診療録等の電子媒体による保存について』
1999年8月	新病院移転、統合情報管理システムの稼働開始
2005年2月	第二世代統合情報管理システムの稼働開始
2006年度	湖陵病院(2007年度開設：こころの医療センター)の電子カルテはIIMS2を共有する形で開発開始
2006年度	DPC、電子レセプトオンライン請求へ移行
2007年4月	情報システム管理室発足
2008年2月	こころの医療センター開院、統合情報管理システム稼働開始
2008年3月	IIMSバックアップをサーバ室以外の場所に保存する運用開始
2011年12月	第三世代統合情報管理システム(IIMS3)稼働開始
2012年2月	PDAを使った患者認証システムの稼働開始
2016年3月	第四世代統合情報管理システム(IIMS4)への移行開始
2019年3月	第四世代統合情報管理システム(IIMS4)の移行完了、稼働開始
2020年4月	スキャン文書原本化システム稼働開始
2020年8月	RPA(Robotic Process Automation)の活用開始
2022年3月	患者さん向けフリーWi-Fi稼働開始

③ 医療情報ネットワーク経緯

2000年4月	隠岐島遠隔医療支援システム本運用開始(1998年度経済産業省補正事業)
2000年8～12月	診療所用電子カルテシステム機能検証(1999年度経済産業省補正事業:電子カルテ・ネットワークの実証実験)
2001年度	出雲・隠岐地域における『地域チーム医療と遠隔医療のための電子カルテ統合ネットの構築』(先進的IT技術を活用した地域医療ネットワーク委託事業:2000年度経済産業省補正事業)
2002年9月	『医療ネットしまね』本稼働開始
2005年度	地域診療情報連携事業－Web型電子カルテシステムの導入－(2005年度厚生労働省事業) 出雲、隠岐地域に診療所用Web型電子カルテ設置
2005年10月	出雲、隠岐地域診療所用Web型電子カルテ:『医療ネットしまね』に連携し、本稼働開始
2007年3月	隠岐島遠隔医療支援システム第二世代へと更新し、稼働開始 第二世代は直接IIMS2に接続し、連携強化
2007年12月	周産期医療情報ネットワーク稼働開始
2008年7月	出雲医師会(県医師会):医療ネットしまね上での特定健診開始
2008年7月	『医療ネットしまね』運用管理規定改訂
2008年度	総務省地域ICT利活用モデル構築事業:『地域で予防・治療・フォローを総合支援する住民参加型遠隔医療システム』を構築
2009年度	地域情報通信技術利活用推進交付金事業:2008年度総務省地域ICT利活用モデル構築事業の範囲拡大 社会保障カード(仮称)の制度設計に向けた検討のための実証事業:「いずも医療カード」実証事業にて
2011年度	出雲、大田地域での『共通診察券を活用した健康情報活用基盤構築』(総務省実証事業)参加 全県ネットワーク構築に向けた協議会に参加
2012年10月	しまね医療情報ネットワーク『まめネット』の稼働開始
2013年1月	まめネットで連携カルテサービス運用開始
2014年10月	まめネットで調剤情報連携サービス運用開始
2015年4月	まめネットで在宅ケア支援サービス運用開始
2020年4月	島根県周産期医療情報共有サービス運用開始
2021年3月	まめネットの基盤は第二世代へ更新し稼働開始

4.2 統合情報管理システムの運用と構成

統合情報管理システム (IIMS) の概念を図に示す。

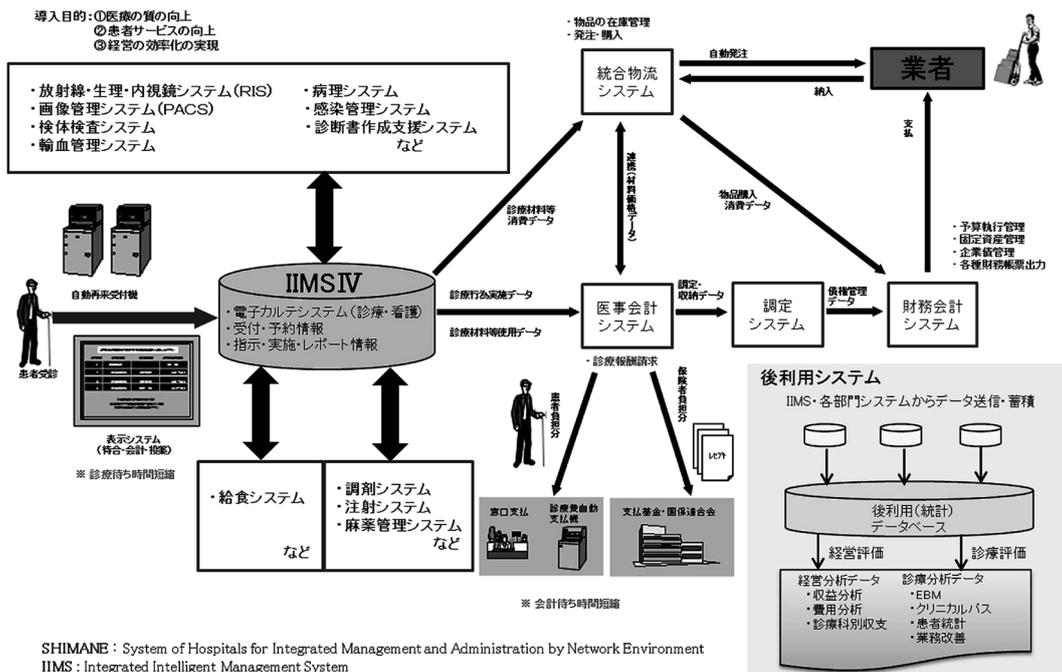


図1. システム概念図

① 統合情報管理システム (IIMS1) の概要と構成

- すべての情報は「IIMS (電子カルテ、受付予約情報、指示・実施・レポート情報の複合体)」に一元管理されている。ここから診療行為実施データ、診療材料使用データが物品管理システムと医事会計システムに流れ、さらに財務会計システムへ情報が流れる。救命救急部門やICUを含む全部門の電子化、ペーパーレス・フィルムレス運用を実現している。
- 内部接続ネットワークの主線は Giga-bit Ethernet で、主線から末端は100Mbps で整備。ネットワークダウン回避のため回線及び機器はすべて二重化されている。
- ハード構成:サーバは IIMS サーバ 2 台、医事会計サーバ 2 台のほか、後利用、物流、放射線など部門サーバからなる。クライアントはデスクトップ端末 607 台、携帯端末 145 台で構成される。
- 放射線科読影部門 (PACS corner) は 4 台の高精細モニターと 2 台のレポート作成端末を 1 ユニットとする 4 つのワークステーションで構成している。
- 情報の有効利用のため、後利用システムがある。全てのデータが後利用システム (統計データベース) に転送蓄積されるもので、これにより経営分析データ (収益分析、費用分析、診療科別収支等)、診療分析データ (EBM、クリティカルパス、DPC) として活用されている。この後利用システムは利用可能な端末の数、設置場所を制限し、個人情報取得については限定した権限付与を行っている。

② 第二世代統合情報管理システムの概要と構成

- 第二世代統合情報管理システム (IIMS2) への移行

IIMS1 が耐用年数 5 年を経過した 2004 年、当初目指した「医療の質の向上、病院管理運営の効率化、患者サービスの向上」を満足するシステムとして成長させる事ができ、機器更新、機能更新に充分の価値を認めたことから、2004 年度予算で機器更新、機能更新の予算を計上した。

第二世代 IIMS2 の基本コンセプトは、初代のコンセプト「医療の質の向上、病院管理運営の効率化、患者サービスの向上」に加え、5 年間の経験を基盤に、「高速化、MMI 機能の精緻化、後利用」を更なる目標として定め、「マルチウィンドウ」、「横断的指示、実施、参照機能」を組み込む事により、効率化の促進を促した。看護端末は無線 LAN とし、画像系は高速化を達成するとともに、フィルム作成を廃止した。

内部接続ネットワークは基本的に変わらないが、看護系は無線 LAN へと一新した。クライアントは24時間稼働を続けてきた端末は新端末に更新され、モニターは診療用が液晶モニターとして、ダウンサイジングをはかると共に、高精細モニターを部分的に導入し、完全フィルムレスへと移行した。

- ・放射線科読影部門（PACS corner）は高速化と液晶高精細モニターの導入でダウンサイジングが可能となり、卓上にモニターを配して、コンパクトで高機能の5つのワークステーションに変貌を遂げた。
- ・IIMS2の運用概念は基本的にIIMS1との間に変化はない。コンピュータの進歩により、5年間の機器、コスト面での進歩は著明で、その影響が運用面で十分に享受できる形となった。処理速度については、用いるアプリケーションにより一概に比較はできないものの、平均3～10倍程度的高速化を機器更新のみで認める事ができた。機器更新に機能更新を加える事により、電子カルテ使用上のほとんどの不満を解消しえたと考えている。
- ・無線 LAN へと移行した看護師端末についても、ダウンロード、アップロードの時間が不要となり、リアルタイムの診療が効率をあげている。

③ 運用体制：情報システム管理室の設置

- ・従来、統合情報管理システムの管理は、2007年にシステム管理は事務局企画経営部門の企画情報スタッフ为中心となり、医療情報は地域連携室内の診療情報管理士が中心となり、委託業者（富士通、テクノプロジェクト、日本医療事務センター（現：ソラスト））に業務委託をしながら行ってきたが、業務の発展とともにハード系、ソフト系担当部署が分離した状態に非効率性が生じた。このためすべての担当者が一堂に会する『情報システム管理室』をあらたに発足させた。
- ・従来の病院側の運用体制として、中・長期のシステム運用を検討するシステム企画協議会と統合情報管理システムの運用組織として、情報セキュリティ委員会、電子カルテの質管理委員会（診療録管理委員会）、情報マスタ管理委員会、個人情報管理委員会（診療記録開示審査委員会）、情報教育・後利用委員会からなる情報管理委員会は全局全室からなる委員会として継続した。『情報システム管理室』がライン業務として統合情報管理システムを管理・運営することとした。
- ・外部委託先との調整、委員会の事務局的角色としては、『情報システム管理室』情報システムスタッフがシステム管理、医療情報管理スタッフが医療情報管理に対応している。
- ・システムの運用支援・保守管理については、サーバ、部門システムは専用の室で一元管理されている。これらのサーバとデスクトップパソコン、看護用携帯端末およびネットワークの管理は『情報システム管理室』内の委託業者へ委託としている。統合情報管理システムは単なるメンテナンスだけでなく、稼働以来成長するシステムとして minor バージョンアップというべきシステム開発が現在まで続けられているが、この点については協議機会が増え、効率的な運用が可能な状況となっている。
- ・2008年2月、こころの医療センター開院とともにIIMSサーバを共有してIIMS2を使用することになった。こころの医療センターでも『統合情報管理システム運用管理要項』、『情報システムダウン対策マニュアル』を作製し、両病院の連携のために新たに『統合情報管理システム連絡調整会議』を設置し、両病院間に共通する問題点を協議することとした。

④ 第三世代統合情報管理システムの概要と構成

- ・第三世代統合情報管理システム（IIMS3）への移行

IIMS2移行より5年を経過した2010年、「医療の質の向上、病院管理運営の効率化、患者サービスの向上」を満足するシステムとしての一層の発展を期して、2010-11年度予算で機器更新、機能更新の予算を計上した。

第三世代IIMS3の基本コンセプトは、第二世代のコンセプト「医療の質の向上、病院管理運営の効率化、患者サービスの向上、高速化、MMI機能の精緻化、後利用」に加え、医療安全の観点から注射等の患者認証システムの導入、情報セキュリティ、利便性を向上させるため、シンクライアント化を施行した。

内部接続ネットワークの構成はIIMS1稼働時より更新されておらず、今回全面的に見直した。特にPDA端末の稼働に伴い、無線LANの構成については詳細な電波状況の調査等の後、最適な電波環境を構築することとした。

この5年間の医療状況の変化に対応するためより利用者のニーズに合わせて、機能のプログラムの見直しも積極

的に行った。

財務会計サーバ、総括調停サーバ、労務サーバ、処方チェックサーバについては、サーバの仮想化を行いシステム更新まで継続使用となった。

- ・医事パッケージソフトは富士通製「HOPE X-Win」、放射線情報システム（RIS）は富士通製の最新版へとバージョンアップし、医療用画像管理システム（PACS）、3D画像作成・画像解析システムは富士フィルムメディカル製「SYNAPSE」シリーズの新規採用を行った。
- ・放射線科読影部門（PACS corner）は最新のワークステーションを導入することにより高速化と6MPカラー液晶高精細モニターの導入で、コンパクトで高性能な7つの読影専用ワークステーションとなった。
- ・IIMS3の運用概念は、システム更新による運用の変更を行っていないので更新前と変化はない。
- ・新たにシンクライアントシステムの採用により、日々行っていたクライアント端末へのマスタ等のダウンロードが不要となり、クライアント起動直後から診療業務が行えるようになり効率化された。
- ・ネットワークは主線を1Gbpsから10Gbpsへ、主線から末端は100Mbpsから1Gbpsへ更新を行いネットワーク回線速度による大容量のデータを取り扱うシステムの導入が可能となった。
- ・患者さんへの安心な医療提供を行うためにPDAを使った患者認証システムの導入を行った。ベッドサイドでの患者さんと注射等の認証が行え、医師による指示変更等をワーニングで表示することにより看護師へ注意を促す。

⑤ 第四世代統合情報管理システムの概要と構成

- ・第四世代統合情報管理システム（IIMS4）への移行

1999年に稼働を始めたIIMSであるが、開発言語であるVisual Basic 6.0が次世代Microsoft Windows上で利用不可となることより、プログラム言語をVisual Basic .NET（VB .NET）へ移行することとした。

IIMSはシステムが大きく全体の言語移行に時間がかかるため、全体を同時に更新するのではなく、13のブロックに分け、ツールごとに順次更新することとした。また、この機会にこれまで機能改善をしたことにより利用しなくなったプログラムを整理・統合した。更新プログラムは2016年3月より順次リリースし、2019年3月にすべてのプログラムの移行が終了した。

- ・院内ネットワークは、無線LANの電波環境が弱い部分が生じないよう電波強化を行い2017年11月より稼働した。
- ・PDAを使った患者認証システムは2018年2月に更新し稼働している。また、仮想基盤を2018年6月に稼働し、RISサーバや職員勤怠管理サーバ、処方チェックサーバ、グループウェアサーバ等を仮想基盤上で稼働させることにより、システムを継続使用することで更新経費の削減を図った。
- ・2020年4月にはスキャン文書原本化システムが稼働し、それまで紙文書を原本としていた各種同意書等について、スキャナで電子データ化したものを原本とする運用に変更し、患者フォルダへの保管作業と保管スペースの削減を行った。
- ・統合情報管理システムにより院内の様々な業務が効率化されてきたところであるが、近年普及が進んだRPA（Robotic Process Automation）を2019年7月から院内で適用可能な業務について調査を開始し、2020年2月からRPAの施行運用を開始、IIMS端末内でシステムをまたいだ一連の入力作業を自動化するなど、さらなる業務の効率化が可能となり、2020年8月から本格運用を開始した。
- ・2022年3月から患者さんから要望が多かった「フリーWi-Fi」を、院内ネットワークの物理機器を活用した構築を行い運用が始まった。

4.3.2 『医療ネットしまね』の基本機能

- (1) 予約：診療所から島根県立中央病院の診察予約枠を見ることが可能であり、診療科、医師、時間の予約ができる。
- (2) 紹介・逆紹介：紹介状作成画面から紹介状が作成でき、予約枠をとることにより紹介・逆紹介連携ができる。
- (3) 紹介状・返信管理：紹介状・返信管理が可能。
- (4) カルテ送信・受診：紹介状の送信と同時に患者カルテの必要部分を抽出して、送信可能であり、他医療機関のカルテや診療情報を、電子カルテシステムや一般のパソコンで参照できる。
- (5) 予約、紹介、逆紹介連携は加入診療所間（診診連携）においても可能である。
- (6) 以上の基本機能のほか、周辺機能は下記の拡張を遂げている。
 - ① 出雲市、出雲医師会は医療ネットしまねを利用して、基本健診のネットワークを構築し、データ蓄積、管理、共有を行ってきた。2008年度には制度が基本健診から特定健診、特定保健指導へと変更になり、出雲医師会が中心となり、特定健診システムへとシステム更新を行うと共に、県内他医師会にも呼びかけ参加施設数が急速に増加している。
 - ② 隠岐遠隔画像診断支援システムがIIMS2に直結し、単に隠岐島前病院、隠岐病院との連携だけではなく、医療ネットしまねを介する画像共有が可能となっている。
 - ③ 国立感染症研究所との共同研究により、出雲地域の感染症サーベイランスが行われている。
 - ④ 県内周産期医療ネットワークが構築され、2007年11月には県内分娩施設間を主体にネットワークが稼働を開始している。
 - ⑤ こころの医療センターは2008年2月に開院し、電子カルテが稼働すると共に医療ネットしまねに連携している。

ネット健診システム（医師会特定健診システム）

出雲市、出雲医師会は医療ネットしまねを利用して基本健診を行ってきた。市内の基本健診を行っている施設のうち56診療所はネットワークに接続し、行政と医師会のデータ連携、蓄積、管理に役立ってきた。2008年度、特定健診への移行とともに、ネット健診システムを更新・稼働させ、出雲医師会のみならず県内他医師会にも働きかけ、現在全県域の医師会218施設が医療ネットしまねを利用して、特定健診システムに参加している。

2012年より、しまね情報ネットワーク（まめネット）を利用して特定健診システムは継続運用されている。

Web型電子カルテの導入（地域診療情報推進事業）

- (1) 2005年度厚生労働省地域診療情報連携推進事業に応募し、Web型電子カルテシステムの導入を出雲、隠岐地域にて行った。島根県立中央病院にサーバを置き、診療所に電子カルテシステムを導入することにより、診療所用電子カルテの普及をはかった。2005年度末までに隠岐島前、島後の公立病院、診療所11施設と出雲市内診療所7施設に新たに電子カルテを導入し、医療ネットしまねを介する地域連携がとれる仕組みとして実証実験を行った。
- (2) Web型電子カルテシステムを利用した医療ネットしまねへの参加施設は13施設である。
- (3) 県内医療ネットしまね接続シーマチャート稼働医療機関は34施設である。
- (4) しまね医療情報ネットワークでもシーマチャートは利用可能であり、又、診療情報をサーバにアップロードする機能を付加することにより、病院と診療所の双方向性の診療情報が可能になった。

隠岐島遠隔画像支援システムの機器・機能更新

2000年度に、隠岐病院が中心となり、旧通産省補正事業を受けて、島根県立中央病院、松江赤十字病院との間に遠隔医療支援システム（画像診断システム）を構築し、本稼働させた。2001年度には隠岐島前病院もこれに参画し、現在は、隠岐病院、隠岐島前病院より、島根県立中央病院、松江赤十字病院へCT、MRI画像が毎日送信され、本土側の放射線専門医が読影をして、一ヶ月に約350～400件の画像が読影され、隠岐病院、隠岐島前病院へ読影レポートが返送されている。このシステムは当初医療ネットしまねとは独立して構築され、島根県立中央病院ではIIMS1とは別システムとして機能していた。経年変化もあり、2004年度機器・機能更新の時期を迎えて、2005年3月に、新システムへの移行が行われた。新遠隔画像支援システムでは、島根県立中央病院電子カルテIIMS2に直接接続し、医療ネットしまねへと合流して、隠岐病院、隠岐島前病院だけでなく、隠岐群島内の電子カルテ導入9診療所へも画像配信が可能となった。ま

た通信回線も以前は ISDN 3 回線をひとまとめにして使用されていたが、ADSL に更新し、高速化もはかられた。2013 年からは、しまね医療情報ネットワークの画像転送サービスを利用することにより、遠隔画像支援システムは継続運用されている。

県内周産期医療情報ネットワークの稼働

周産期医療協議会および健康推進課は周産期拠点病院間で紹介連携が可能なネットワークを医療ネットしまね上に構築し、2007年12月に稼働させた。当初は松江赤十字病院、益田赤十字病院、島根大学、島根県立中央病院の4周産期拠点病院間でネットワークを構築した。現在は県内9医療施設が周産期医療情報ネットワークに参画している。すべての分娩施設が容易に参画可能なシステムであり、医療ネットしまねへの全参加施設とも連携可能であり、県内周産期医療の連携が進んでいる状況にある。年間約60件のネットワーク連携による運用が行われていた。

4.3.3 『しまね医療情報ネットワーク（まめネット）』

順調に『医療ネットしまね』は発展してきたが、ちょうどサーバの更新時期となり、その費用を利用者負担にすると、利用料金が上がることが問題となった。また、島根県における医療崩壊は進行し、他施設・他医療機関との連携が必要となってきた。『医療ネットしまね』における病診連携の方法は、PDF形式による情報公開であり、1対Nの病診連携には適しているが、他施設のデータを一元的に閲覧するN対Nの連携には不向きであった。そこで、2011年度地域医療再生基金を使用して、医療ネットしまねを発展させた形での島根県全域を結ぶ医療ネットワークを構築することとなった。

まずは地域医療推進会議にて大枠の承認を得、その下部に新たに設置されたIT専門部会にて詳細な仕様の検討を行うこととした。各医療圏域において圏域協議会を開催、要望を吸い上げる場とした。運営はこれまで『医療ネットしまね』を運営してきたノウハウを持つ、出雲医師会、島根大学医学部、島根県立中央病院のメンバーを中心として立ち上げたNPO法人『しまね医療情報ネットワーク協会』が島根県からの委託を受けて運営することとした（図3）。

ネットワークの構造は、各医療機関の認証・ID連携、利用者管理システムを基盤システムと考え、その部分は公共インフラと位置付け、地域医療再生基金終了後も島根県が運営・整備費を負担することとなった。その上で運用する種々の医療連携サービスプログラムは利用者より利用料を徴収し、運営・整備費にあてることとした。このことにより、基盤システムの長期安定運用が可能となり、その上で運用される医療連携サービスプログラムに関しては、利用状況により、継続、サービス中止を判断することにより、今後の安定運用と必要なサービスの拡大を計画している。

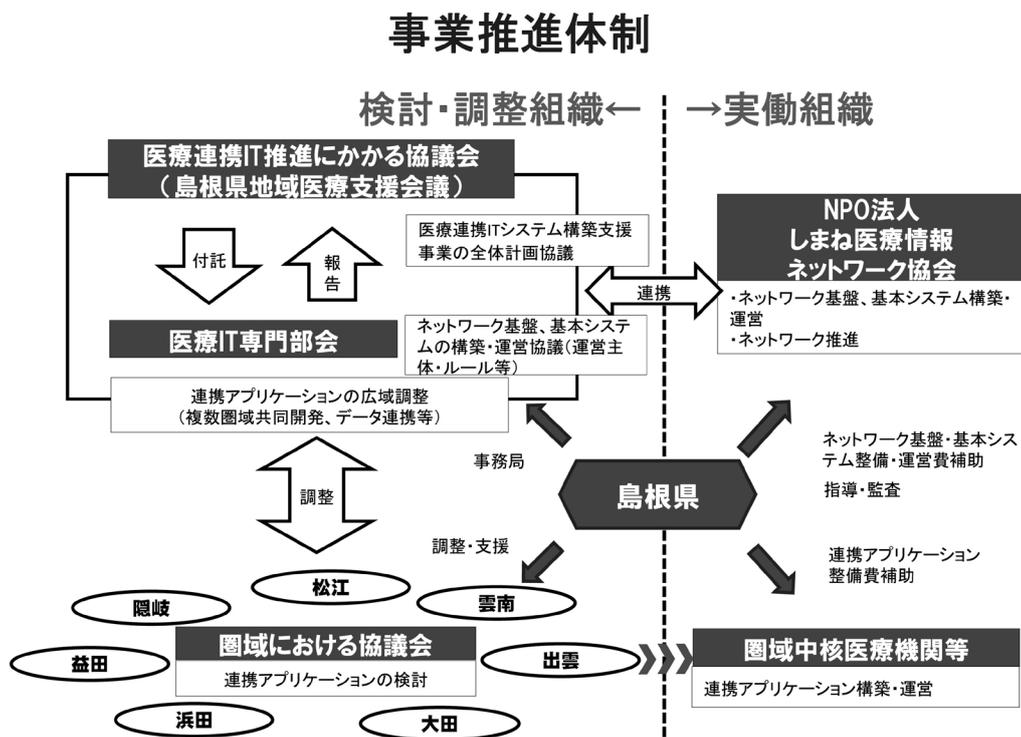


図3. まめネット事業推進体制

4.3.4 『しまね医療情報ネットワーク（まめネット）』における各種サービス

診療・検査予約

これは『医療ネットしまね』でも行われていたサービスであるが、全県ネットの開始に際して、地域における病診連携、高額医療機器の共同利用を目的に、より汎用的に行えるシステムとした。

2014年度に当院の検査予約を直接院外の医療機関が診療及び検査予約し、まめネットを使って検査結果を送信する仕組みを構築した。

紹介状作成システム

紹介状をネットワーク上でやりとりできるシステムである。2013年度にはこのシステムに日本医師会の HPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）を付与し、電子化した紹介情報を原本とし、運用できる仕組みを構築され、2013年11月より運用中である。

連携カルテサービス

今回のまめネットにおいて始まったサービスであり、患者情報をまめネットに参加している複数の医療機関等で相互に閲覧可能とするサービスである。

- (1) 情報の提供は SS-MIX2 標準規格で行われるため、まめネットにつながる病院もしくは診療所のシステムはベンダーを問わないベンダーフリーの構造となっている。
- (2) 各情報提供施設は病院情報システム (HIS) からまめネットにて決められた項目を連携サーバに標準規格で出力する。閲覧施設は、患者に付与されたまめネットの共通 ID を利用することによって各情報提供施設の情報をクラウド環境を使って閲覧することになる。
- (3) 診療所は標準規格で出力されたデータをアップローダーを利用し共用中継サーバ上にアップロードできる仕組みを構築、病院、診療所の双方向性の情報連携が可能となっている。
- (4) 情報連携の仕方としては、患者さんがまめネット上での患者情報連携サービスに参加する事について同意すると、決められた一定の情報を情報提供医療機関がまめネット上で閲覧できるようにする。患者さんはそれらの情報を閲覧してよいと考える医療機関に対して個別に同意を提出し、同意された医療機関で情報を閲覧してもらい、よりよい医療を受けるために使用してもらう。情報のコントロールは患者さんにあり、医療機関が情報を制限するようには設計していない。

このことにより、診療情報を訪問看護ステーション等、生活圏でのケアにとりくむ医療機関にも閲覧してもらうことができ、将来の地域包括ケアに向けた設計となっている。

ファイル共有サービス

決められたまめネットのユーザーの間で、ファイルを共有する汎用的なサービスである。転院調整や感染症発生届等で利用を行っている。

感染症デイリーサーベイランス

県内に発生している特定の感染症を把握し、アラートを出すサービスである。県薬事衛生課が財源を県医師会が運営を負担して運用されている。感染症発生動向調査基幹定点医療機関だけでなく、任意で参加している医療機関もその日診療した感染症の件数を入力するだけで、毎日、毎週の感染症発生動向が一目でわかるように表示されるようになっている。

調剤情報連携サービス

病院等の処方箋情報を取り込み、調剤結果をまめネット上に情報としてアップするサービスであり、このサービスには連携カルテ閲覧の機能もあり、同意書を取得することにより患者の医療情報を見ながらより良い調剤、服薬指導ができるようにするシステムである。

在宅ケア支援サービス

在宅ケア支援サービスは患者宅で利用が必要なため、まめネット専用のモバイル通信ネットワーク基盤を構築し、まめネット専用のタブレットを用いて訪問医療・介護の効率化を図るシステムを構築した。

在宅ケア支援サービスは、認定情報提供、ケアプラン交換、在宅情報共有の3つのサービスを提供している。

健診情報管理サービス

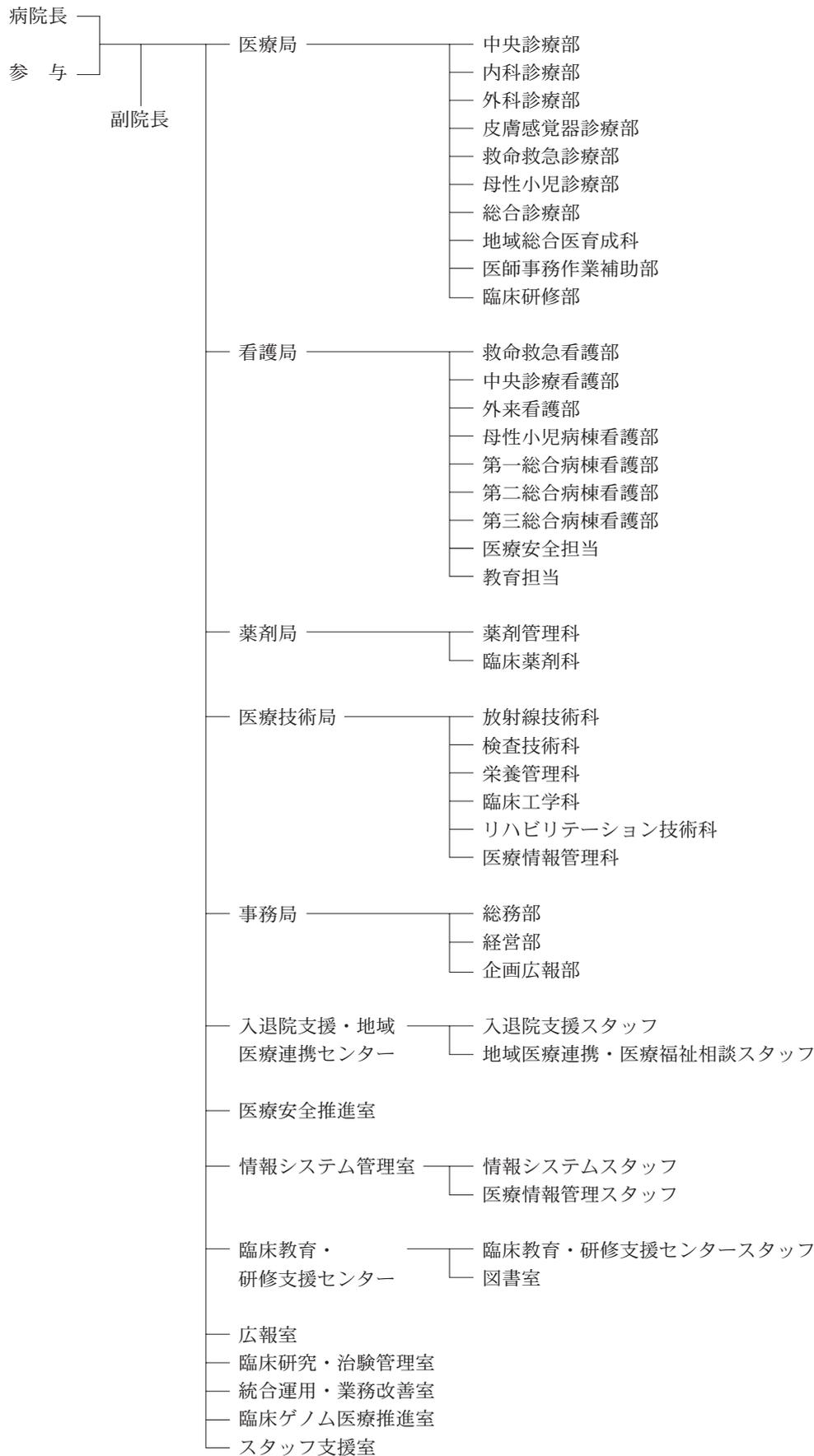
特定健診・後期高齢者健診はもとより各種健診の入力が行え、まめネットに参加している検査会社からの検査データの取り込み、提出データや請求データの作成が行える。また、大型健診センターの健診データを連携カルテと連携表示できるシステムである。

周産期医療情報共有サービス

周産期医療にかかわる医療施設の空床情報、母体・新生児の受け入れ可否情報、新生児特定医療情報及び、診療情報提供書の共有が行え、周産期母子医療センターへ患者搬送を行う可能性があるハイリスク患者の管理やコンサルテーションも行えるサービスを提供している。

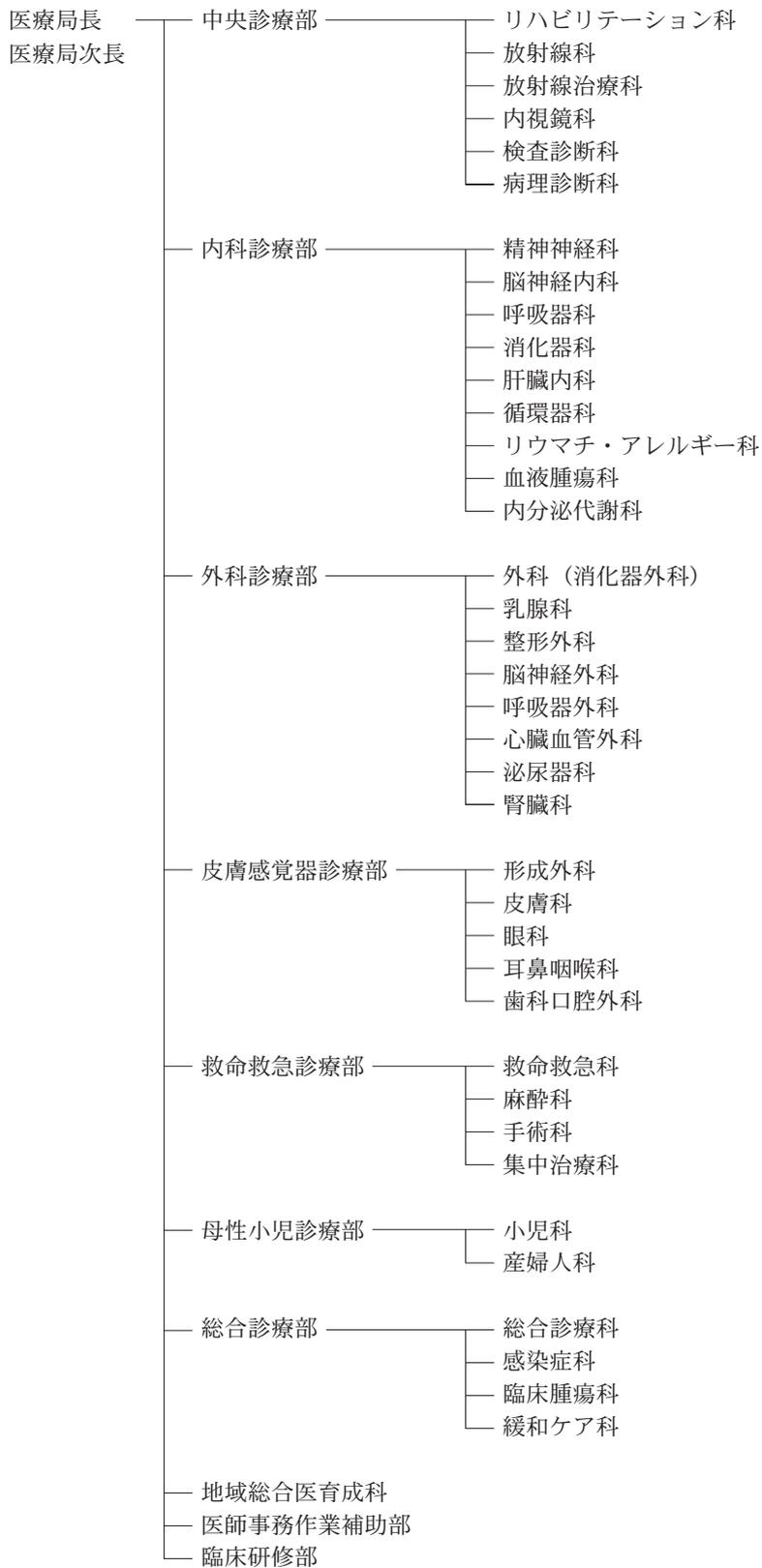
第5章 部門紹介

5.1 組織図



5.2 医療局 局長：山内 正信
次長：井川 房夫、越崎 雅行、若山 聡雄

5.2.1 体制





5.2.2 中央診療部

部長：湯浅 貢司

5.2.2.1 リハビリテーション科

診療科部長：山本 佳昭

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
リハビリテーション科部長	山本 佳昭 (やまもと よしあき)	1996年卒 日本リハビリテーション医学会 専門医・指導医 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医 緩和ケア研修会修了 がんのリハビリテーション研修会修了 義肢装具等適合判定医師研修会修了
リハビリテーション科医長	山本 幹枝 (やまもと みきえ)	2007年卒 鳥取大学医学博士 (2017年) 日本リハビリテーション医学会 専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本神経学会 神経内科専門医・指導医 緩和ケア研修会修了 TNT 研修会修了 臨床研修指導医 がんのリハビリテーション研修会修了 義肢装具等適合判定医師研修会修了



5.2.2.2 放射線科 診療科部長：湯浅 貢司

5.2.2.3 放射線治療科 診療科部長：黒田 覚

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
中央診療部長 (放射線科部長)	湯浅 貢司 (ゆあさ こうじ)	1989年卒 島根医科大学医学博士 (1993年) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医 日本 IVR 学会 IVR 専門医・指導医 検診マンモグラフィ読影認定医師 島根大学医学部臨床教授 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
放射線治療科部長	黒田 覚 (くろだ さとる)	1989年卒 日本医学放射線学会 放射線治療専門医 がん治療認定医機構 がん治療認定医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
放射線治療科医長	長野 奈津子 (ながの なつこ)	2018年卒 日本専門医機構認定 放射線科専門医 検診マンモグラフィ読影認定医師 緩和ケア研修会終了 臨床研修指導医
放射線科医長	金崎 佳子 (かなさき よしこ)	1995年卒 日本医学放射線学会 放射線診断専門医 日本核医学会 核医学専門医・PET 核医学認定医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
放射線科医長	石橋 恵美 (いしばし えみ)	2008年卒 日本医学放射線学会 放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医師 日本核医学会 PET 核医学認定医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
放射線科医長	上村 朋未 (かみむら ともみ)	2014年卒 日本専門医機構認定 放射線科専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
放射線科医長	岡村 和弥 (おかむら かずや)	2016年卒 日本医学放射線学会 放射線科診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医師 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
放射線科医長	丸山 美菜子 (まるやま みなこ)	2013年卒 日本医学放射線学会 放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医師 日本核医学会 PET 核医学認定医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医

役 職	氏 名	資 格 等
放射線科医員	宮本 明奈 (みやもと あきな)	2021年卒 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	児玉 光史 (こだま こうじ)	1983年卒 日本医学放射線学会 放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医師 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医



5. 2. 2. 4 検査診断科 診療科部長 (医療局長) : 山内 正信

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
検査診断科部長 (医療局長) (統合運用・業務改善室長) (医師事務作業補助部長)	山内 正信 (やまうち まさのぶ)	1985年卒 島根大学医学博士 (1992年) 島根大学医学部臨床教授 関西胸部外科学会評議員 日本血管外科学会 中国四国地方会評議員 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医・修練指導医 日本胸部外科学会 認定医・指導医 日本外科学会 認定医・外科専門医・指導医 日本循環器学会 循環器専門医・中国支部評議員 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部及び腹部大動脈ステントグラフト内挿術実施医 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会 下肢静脈瘤に対する 血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施医・指導医 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会内挿術実施医 緩和ケア研修会修了
検査診断科医長	吹譯 紀子 (ふきわけ のりこ)	2000年卒 九州大学医学博士 (2007年) 日本病院会 病院総合医 日本病院総合診療医学会 認定医 日本内科学会 認定内科医 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医・ 家庭医療専門医・指導医 日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修会修了 緩和ケア研修会修了



5.2.2.5 病理診断科 診療科部長：大沼 秀行

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
病理診断科部長	大沼 秀行 (おおぬま ひでゆき)	1999年卒 日本病理学会 病理専門医・病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会 細胞診専門医 解剖資格医 緩和ケア研修会修了
常勤嘱託医師	長崎 真琴 (ながさき まこと)	1982年卒 医学博士 日本病理学会 病理専門医・病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会 細胞診専門医・解剖資格医・教育研修指導医 解剖資格医 緩和ケア研修会修了



5.2.3 内科診療部 部長：藤代 浩史
 5.2.3.1 精神神経科 診療科部長：森崎 洋平

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
精神神経科部長	森崎 洋平 (もりさき ようへい)	2004年卒 日本精神神経学会 精神科専門医・指導医 日本総合病院精神医学会 一般病院連携精神医学専門医・指導医 精神保健指定医 緩和ケア研修会修了 精神腫瘍学の基本教育に関する指導者研修会修了
精神神経科医長	金藤 素子 (かねとう もとこ)	2003年卒 日本精神神経学会 精神科専門医・指導医 日本総合病院精神医学会 一般病院連携精神医学専門医・指導医 精神保健指定医 緩和ケア研修会修了
精神神経科医長	佐藤 弘樹 (さとう ひろき)	2011年卒 日本救急医学会 救急科専門医 厚生労働省麻酔科標榜許可 日本医師会認定産業医 日本 DMAT 隊員 公認心理師 精神保健指定医 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	太田 典子 (おおた のりこ)	2008年卒 日本精神神経学会 精神科専門医・指導医 精神保健指定医 緩和ケア研修会修了



5.2.3.2 脳神経内科 診療科部長：安部 哲史

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
病院事業管理者	山口 修平 (やまぐち しゅうへい)	1979年卒 日本神経学会 神経内科専門医・指導医 日本脳卒中学会 脳卒中専門医 日本老年医学会 老年科専門医・指導医 日本認知症学会 専門医・指導医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 臨床神経生理学学会 認定医・指導医
脳神経内科部長	安部 哲史 (あべ さとし)	2004年卒 日本神経学会 神経内科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本老年医学会 老年科専門医・指導医 日本脳卒中学会 脳卒中専門医・指導医 日本認知症学会 専門医・指導医 緩和ケア研修会修了
脳神経内科医長	高吉 宏幸 (たかよし ひろゆき)	2006年卒 日本神経学会 神経内科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本脳卒中学会 専門医 緩和ケア研修会修了
脳神経内科医長	稲垣 諭史 (いながき さとし)	2012年卒 日本神経学会 神経内科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医 緩和ケア研修会修了
脳神経内科医員	福田 智信 (ふくだ とものぶ)	2021年卒 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	青山 淳夫 (あおやま あつお)	2006年卒 日本神経学会 神経内科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医 緩和ケア研修会修了



5. 2. 3. 3 呼吸器科 診療科部長：中島 和寿

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
呼吸器科部長	中島 和寿 (なかしま かずひさ)	2009年卒 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医 肺がん CT 検診認定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
呼吸器科医長	渡部 晃平 (わたなべ こうへい)	2013年卒 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 日本内科学会 総合内科専門医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医 日本リウマチ学会 リウマチ専門医 日本感染症学会 専門医 緩和ケア研修会修了
呼吸器科医長	田中 聖子 (たなか せいこ)	2018年卒 緩和ケア研修会修了
呼吸器科医員	中村 惇 (なかむら じゅん)	2022年卒 緩和ケア研修会修了



- 5.2.3.4 消化器科 診療科部長：藤代 浩史
 5.2.3.5 内視鏡科 診療科部長：宮岡 洋一
 5.2.3.6 肝臓内科 診療科部長：三宅 達也

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
医療技術局長	高下 成明 (こおげ なるあき)	1988年卒 日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医 日本肝臓学会 肝臓専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医 日本超音波医学会 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了 臨床研究指導医
内科診療部長 (消化器科部長)	藤代 浩史 (ふじしろ ひろふみ)	1990年卒 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医 日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医 日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科指導医 消化器がん検診学会 日本食道学会 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
肝臓内科部長	三宅 達也 (みやけ たつや)	1995年卒 日本肝臓学会 肝臓専門医・指導医 日本超音波医学会 超音波専門医・指導医 日本消化器病学会 消化器専門医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 日本内科学会 認定内科医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
内視鏡科部長	宮岡 洋一 (みやおか よういち)	1997年卒 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医 日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医 日本肝臓学会 肝臓専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本超音波医学会 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
内視鏡科医長	田中 雅樹 (たなか まさき)	2002年卒 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医 日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医 日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本食道学会 食道科認定医 日本胃癌学会 日本頭頸部癌学会 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医

役 職	氏 名	資 格 等
消化器科医長	山之内 智志 (やまのうち さとし)	2005年卒 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医 日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医 ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
消化器科医長	小川 さや香 (おがわ さやか)	2009年卒 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医 日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医 日本緩和医療学会
消化器科医長	塚野 航介 (つかの こうすけ)	2011年卒 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
消化器科医長	藤原 文 (ふじわら あや)	2012年卒 日本内科学会 認定医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医 日本肝臓学会 日本超音波医学会
消化器科医長	日野 孝信 (ひの たかのぶ)	2019年卒 緩和ケア研修会修了 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会
消化器科医長	岸本 健一 (きしもと けんいち)	2016年卒 日本内科学会 内科専門医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医 日本肝臓学会 肝臓専門医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
消化器科医員	佐貫 勇輝 (さぬき ゆうき)	2022年卒 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 緩和ケア研修会修了
特別非常勤医師	今岡 友紀 (いまおか とものり)	1973年卒 (元)日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医 (元)日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医 (元)日本内科学会 認定内科医・指導医 緩和ケア研修会修了



5.2.3.7 循環器科 診療科部長：井本 宏治

【スタッフ紹介】

役職	氏名	資格等
副院長	小田 強 (おだ つよし)	1990年卒 山口大学医学博士 (1995年) 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医・ 代議員・中国支部評議員・支部運営協議委員 日本循環器学会 循環器内科専門医・社員 (代議員)・中国支部評議員 日本心血管インターベンション治療学会 認定医・専門医・施設代表医 「植え込み型除細動器 (ICD) / ペーシングによる心不全治療 (CRT)」研 修修了 島根大学医学部臨床教授 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医 山口大学医学部臨床教授
循環器科部長	井本 宏治 (いもと こうじ)	1998年卒 山口大学医学博士 (平成18年) 日本内科学会 認定内科医・指導医 日本循環器学会 循環器専門医 日本インターベンション治療学会 認定医 日本内科学会中国支部評議員 トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対する疾患修飾薬導入認定医 緩和ケア研修会修了
循環器科医長	園山 一彦 (そのやま かずひこ)	1997年卒 鳥取大学卒後臨床研修指導医講習会受講 緩和ケア研修会修了
循環器科医長	加藤 孝佳 (かとう たかよし)	2005年卒 山口大学医工学博士 (2017年) 日本内科学会 認定内科医 日本循環器学会 循環器専門医 日本不整脈心電学会 不整脈専門医 「植え込み型除細動器 (ICD) / ペーシングによる心不全治療 (CRT)」研 修修了 心臓リハビリテーション指導士 HEPT ファシリテーター講習会受講 緩和ケア研修会修了
循環器科医長	三浦 重禎 (みうら しげよし)	2013年卒 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本循環器学会 循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会 認定医 日本不整脈心電学会 心電図マイスター・JHRS 認定心電図専門士 植込み型心臓不整脈デバイス認定士 HEPT 指導者講習会受講 「植え込み型除細動器 (ICD) / ペーシングによる心不全治療 (CRT)」研 修修了 緩和ケア研修会修了

役 職	氏 名	資 格 等
循環器科医長	木下 奈津 (きのした なつ)	2014年卒 山口大学医学博士 (2022年) 日本内科学会 認定内科医 日本循環器学会 循環器専門医 日本超音波医学会 超音波専門医 日本周術期経食道心エコー認定医 SHD 心エコー図認定医 緩和ケア研修会修了
循環器科医員	河野 由依 (こうの ゆい)	2020年卒 緩和ケア研修会修了
循環器科医員	花本 航希 (はなもと こうき)	2022年卒 緩和ケア研修会修了
循環器科医員	岸本 燦太 (きしもと さんた)	2023年卒 緩和ケア研修会修了



5.2.3.8 リウマチ・アレルギー科 診療科部長（事務取扱）：増野 純二

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
リウマチ・アレルギー科部長 (総合診療部長)	増野 純二 (ましの じゅんじ)	1993年卒 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本リウマチ学会 リウマチ専門医 日本専門医機構総合診療専門医・指導医・プログラム責任者 日本プライマリ・ケア連合学会認定医・家庭医療専門医・指導医・ プログラム責任者 日本病院総合診療医学会 認定医・指導医 日本消化器病学会 消化器病専門医 島根県立中央病院臨床研修プログラム責任者 日本医師会認定産業医 ICD 制度協議会インфекション・コントロールドクター ICLS インストラクター JMECC インストラクター 緩和ケア研修会修了

【2024年度 統計資料】

外来実患者数（延べ患者数）	307 (1699)
生物学的製剤使用 アバタセプト、アダリムマブ、トシリズマブ、エタネルセプト セルトリズマブ ペゴル	33
JAK 阻害剤使用 ウバダシチニブ、バリシチニブ	7
MTX 使用 メトトレキサート	75



5. 2. 3. 9 血液腫瘍科 診療科部長：三宅 隆明

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
医療局次長 (情報システム管理室長) (医師事務作業補助部長)	若山 聡雄 (わかやま としお)	1991年卒 島根医科大学医学博士 (1995年) 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 中国支部評議員 日本血液学会 血液専門医・指導医 中国四国地方会 評議員 日本骨髓腫学会 代議員 日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医 日本輸血・細胞治療学会 日本造血・免疫細胞療法学会 細胞治療認定管理師 日本救急医学会 ICLS インストラクター 日本内科学会 JMECC インストラクター 島根大学医学部臨床教授 緩和ケア研修会修了 がんのリハビリテーション研修会修了 チームで実施するがん化学療法研修会修了 島根県立中央病院 臨床研修指導医 医療情報学会 医療情報技師
血液腫瘍科部長	三宅 隆明 (みやけ たかあき)	1994年卒 島根大学医学博士 (2015年) 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 中国支部評議員 日本血液学会 血液専門医・指導医・中国四国地方会 評議員 日本骨髓腫学会 代議員 日本リンパ腫学会 評議員 日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医 緩和ケア研修会修了 島根県立中央病院 臨床研修指導医 悪性リンパ腫治療研究会 幹事
血液腫瘍科医長	高橋 史匡 (たかはし ふみまさ)	2013年卒 日本内科学会 認定内科医 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
血液腫瘍科医長	大國 典子 (おおくに のりこ)	2017年卒 島根がんのリハビリテーション研修会修了 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了



5.2.3.10 内分泌代謝科 診療科部長：並河 哲志

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
内分泌代謝科部長	並河 哲志 (なびか さとし)	2001年卒 日本内科学会 総合内科専門医・指導医・中国支部評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科（内科）専門医 内分泌代謝・糖尿病内科専門研修指導医 日本甲状腺学会 専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・指導医 総合診療領域 特任指導医 日本老年医学会 老年科専門医 日本医師会 認定産業医 ICD 制度協議会インフェクションコントロールドクター 緩和ケア研修会修了
内分泌代謝科医長	永澤 篤司 (ながさわ あつし)	2001年卒 日本内科学会 総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科（内科）専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 内分泌代謝・糖尿病内科専門研修指導医 緩和ケア研修会修了
内分泌代謝科医員	石田 真知子 (いしだ まちこ)	2022年卒 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	伊東 康男 (いとう やすお)	1981年卒 鳥取大学医学博士（1985年） 日本内科学会 認定内科医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医 緩和ケア研修会修了



5.2.4 外科診療部

部長：上平 聡

5.2.4.1 外科・消化器外科

診療科部長：川添 准矢

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
薬剤局長 (臨床ゲノム医療推進室長)	金澤 旭宣 (かなざわ あきよし)	1989年卒 京都大学医学博士 (1999年) 日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 (消化器一般：大腸)・評議員・ ロボット支援手術プロクター (消化器・一般外科：大腸) 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医 日本がん治療認定医機構 暫定教育医・がん治療認定医 da Vinci Robot Surgery 術者 Certification 米国外科学会 フェロウ (FACS) Best Doctors in Japan 京都大学医学部臨床教授 日本人間ドック・予防医療学会 認定医 緩和ケア研修会修了
外科・消化器外科部長	川添 准矢 (かわそえ じゅんや)	2007年卒 京都大学医学博士 (2021年) 日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医・評議員 日本内視鏡外科学会 技術認定医 (消化器一般：大腸) 日本肝臓学会 肝臓専門医 da Vinci Robot Surgery 術者 Certification 緩和ケア研修会修了
外科・消化器外科医長	前本 遼 (まえもと りょう)	2009年卒 自治医科大学医学博士 (2024年) 日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医 消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 (消化器一般：大腸) 日本消化器病学会 専門医 ICD 制度協議会 インフェクションコントロールドクター 日本内科学会 認定内科医 臨床研修指導医 da Vinci Robot Surgery 術者 Certification 緩和ケア研修会修了
外科・消化器外科医長	宮本 匠 (みやもと たくみ)	2009年卒 日本外科学会 外科専門医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 (消化器・一般外科：胃) 日本消化器外科学会 消化器外科専門医 消化器がん外科治療認定医 da Vinci Robot Surgery 術者 Certification 日本肝胆膵外科学会 肝胆膵外科高度技能専門医・評議員 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了

役 職	氏 名	資 格 等
外科・消化器外科医長	服部 晋明 (はっとり くにあき)	2012年卒 日本外科学会 外科専門医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 (消化器一般：大腸) 臨床研修指導医 da Vinci Robot Surgery 術者 Certification 緩和ケア研修会修了
外科・消化器外科医長	三原 開人 (みはら かいと)	2019年卒 日本外科学会 外科専門医 da Vinci Robot Surgery 術者 Certification 緩和ケア研修会修了
外科・消化器外科医員	伊藤 拓馬 (いとう たくま)	2020年卒 緩和ケア研修会修了
外科・消化器外科医員	佐藤 総太 (さとう そうた)	2022年卒 緩和ケア研修会修了



5.2.4.2 乳腺科 診療科部長：橋本 幸直

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
乳腺科部長	橋本 幸直 (はしもと こうじ)	1989年卒 日本乳癌学会 乳腺専門医・指導医・評議員 日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 認定登録医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 暫定教育医 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医 検診マンモグラフィ読影認定医 島根大学医学部臨床教授 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 乳房再建用エキスパンダー・インプラント責任医師 緩和ケア研修会修了 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構セミナー受講
乳腺科医長 (緩和ケア科部長)	武田 啓志 (たけだ ひろし)	1990年卒 日本外科学会 外科専門医 日本乳癌学会 認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施医師 島根大学医学部臨床教授 緩和ケア研修会修了 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構セミナー受講 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了
乳腺科医長	高村 通生 (たかむら みちお)	1993年卒 日本外科学会 外科専門医 日本乳癌学会 認定医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施医師 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 がんのリハビリテーション研修終了 島根大学医学部臨床教授 緩和ケア研修会修了 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構セミナー受講
乳腺科医長	渡部 可那子 (わたなべ かなこ)	2013年卒 日本外科学会 外科専門医 日本乳癌学会 認定医 緩和ケア研修会修了 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構セミナー受講



5.2.4.3 整形外科 診療科部長（情報システム管理室長補佐）：飛田 正敏

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
整形外科部長	飛田 正敏 (とびた まさとし)	1992年卒 日本整形外科学会 整形外科専門医 脊椎脊髄病医・スポーツ医・リウマチ医 運動器リハビリテーション医 日本足の外科学会 認定医 日本体育協会 公認スポーツドクター 島根大学医学部臨床教授 緩和ケア研修会修了
整形外科医長	松崎 雅彦 (まつさき まさひこ)	1993年卒 日本整形外科学会 整形外科専門医・脊椎脊髄病医 緩和ケア研修会修了
整形外科医長	野崎 健治 (のざき けんじ)	2000年卒 日本整形外科学会 整形外科専門医・スポーツ医・リウマチ医 運動器リハビリテーション医 日本体育協会 公認スポーツドクター 緩和ケア研修会修了
整形外科医長	井上 尊人 (いのうえ たかひと)	2004年卒 日本整形外科学会 整形外科専門医・リウマチ医 運動器リハビリテーション医 日本スポーツ協会 公認スポーツドクター 緩和ケア研修会修了
整形外科医長	田中 孝明 (たなか たかあき)	2008年卒 日本整形外科学会 整形外科専門医・運動器リハビリテーション医 日本スポーツ協会 公認スポーツドクター 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
整形外科医員	野々村 鴻 (ののむら こう)	2023年卒 緩和ケア研修会修了



5.2.4.4 脳神経外科 診療科部長（情報システム管理室長補佐）：日高 敏和

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
医療局次長 (治験管理室長)	井川 房夫 (いかわ ふさお)	1986年卒 広島大学医学博士（1994年） 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医・指導医・代議員 日本脳卒中の外科学会 技術指導医・代議員 日本脳卒中学会 脳卒中専門医・指導医・代議員 日本意識障害学会認定サポート医 日本性差医学・医療学会認定医 島根大学 客員教授 広島大学 客員教授 緩和ケア研修会修了
脳神経外科部長	日高 敏和 (ひだか としかず)	1998年卒 広島大学医学博士（2009年） 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医・指導医 日本脳卒中学会 脳卒中専門医 日本脳卒中の外科学会 技術指導医 日本脳神経血管内治療学会 専門医 日本神経内視鏡学会 認定医 日本がん治療認定機構 がん治療認定医 緩和ケア研修会修了
脳神経外科医長	橋本 幸繁 (はしもと ゆきしげ)	2015年卒 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医 日本脳神経血管内治療学会 専門医 緩和ケア研修会修了
脳神経外科医長	井上 祐輔 (いのうえ ゆうすけ)	2018年卒 日本脳神経外科学会 専門医 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医 日本脳神経血管内治療学会 専門医 緩和ケア研修会修了
脳神経外科医長	山本 悠介 (やまもと ゆうすけ)	2020年卒 緩和ケア研修会修了



5.2.4.5 呼吸器外科 診療科部長：阪本 仁

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
病院長	小阪 真二 (こさか しんじ)	1986年卒 医学博士 日本外科学会 認定医・外科専門医・指導医 呼吸器外科専門医合同委員会（日本呼吸器外科学会）（特日本胸部外科学会）呼吸器外科専門医 日本胸部外科学会 認定医・指導医 日本呼吸器外科学会 指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・暫定教育医 緩和ケア研修会修了
副院長 (臨床教育・ 研修支援センター長) (医療安全推進室長)	磯和 理貴 (いそわ のりたか)	1987年卒 医学博士 日本呼吸器外科学会 指導医 日本胸部外科学会 指導医 日本医療メディエーター協会 認定医療メディエーター 緩和ケア研修会修了 卒後臨床研修評価機構 理事
呼吸器外科部長	阪本 仁 (さかもと じん)	2000年卒 医学博士 日本外科学会 認定医・外科専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医 呼吸器外科専門医合同委員会（日本呼吸器外科学会）（日本胸部外科学会）呼吸器外科専門医 緩和ケア研修会修了
呼吸器外科医長	松本 和久 (まつもと かずひさ)	2016年卒 日本外科学会 外科専門医 緩和ケア研修会修了



5.2.4.6 心臓血管外科 診療科部長（外科診療部長）：上平 聡

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
医療局長 (統合運用・ 業務改善室長) (医師事務作業 補助部長)	山内 正信 (やまうち まさのぶ)	1985年卒 島根大学医学部臨床教授 関西胸部外科学会評議員 日本血管外科学会 中国四国地方会評議員 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医・修練指導医 日本胸部外科学会 認定医・指導医 日本外科学会 認定医・外科専門医・指導医 日本循環器学会 循環器専門医・中国支部評議員 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部及び腹部大動脈ステントグラフト内挿術実施医 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会 下肢静脈瘤に対する 血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施医・指導医 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 内挿術実施医 緩和ケア研修会修了
外科診療部長(心 臓血管外科部長)	上平 聡 (かみひら さとし)	1988年卒 島根大学医学部臨床教授 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医・修練指導医 日本胸部外科学会 認定医 日本外科学会 認定医・外科専門医 日本脈管学会 脈管専門医 日本血管外科学会 血管内治療医 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部及び腹部大動脈ステントグラフト内挿術指導医 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による指導医 浅大腿動脈ステントグラフト内挿術実施医 緩和ケア研修会修了
心臓血管外科医長	花田 智樹 (はなだ ともき)	1991年卒 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医・修練指導医 日本胸部外科学会 認定医 日本外科学会 認定医・外科専門医 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部大動脈ステントグラフト内挿術実施医及び腹部大動脈ステントグ ラフト内挿術指導医 緩和ケア研修会修了
心臓血管外科医長	金築 一摩 (かねつき かずま)	2001年卒 日本外科学会 外科専門医 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部及び腹部大動脈ステントグラフト内挿術指導医 緩和ケア研修会修了
心臓血管外科医長	高崎 直 (たかさぎ ただし)	2015年卒 日本外科学会 外科専門医 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施医・指導医 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施医・指導医 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 身体障害者福祉法第15条指定医師 難病指定医（心臓血管外科） 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了



5.2.4.7 泌尿器科 診療科部長：吉野 干城

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
泌尿器科部長	吉野 干城 (よしの たてき)	1999年卒 島根大学医学博士 (2007年) 島根大学医学部臨床教授 日本専門医機構 泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会 指導医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 (腹腔鏡技術認定医) 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 腹腔鏡技術認定医 日本泌尿器科学会および日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 泌尿器ロボット支援手術プロクター 泌尿器科 da Vinci 支援手術教育プログラム (執刀医) 修了 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 前立腺水蒸気治療 (Rezumi®) 認定医 身体障害者福祉法指定医 西日本泌尿器科学会評議員 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
泌尿器科医長	永見 太一 (ながみ たいち)	2011年卒 日本専門医機構 泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会 指導医 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会 腹腔鏡技術認定医 泌尿器科 da Vinci 支援手術教育プログラム (執刀医) 修了 前立腺水蒸気治療 (Rezumi®) 認定医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
泌尿器科医員	藤川 慎之介 (ふじかわ しんのすけ)	2021年卒 泌尿器科 da Vinci 支援手術教育プログラム (助手) 修了 緩和ケア研修会修了
泌尿器科医員	安藤 謙 (あんどう けん)	2022年卒 泌尿器科 da Vinci 支援手術教育プログラム (助手) 修了 緩和ケア研修会修了



5.2.4.8 腎臓科 診療科部長：高瀬 健太郎

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
参与	金 聲根 (きん せいこん)	1984年卒 島根医科大学医学博士 (1988年) 日本外科学会 外科専門医 日本透析医学会 透析専門医 日本腹膜透析医学会 認定医 島根大学医学部臨床教授 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
腎臓科部長	高瀬 健太郎 (たかせ けんたろう)	2012年卒 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本腎臓学会 腎臓専門医・指導医 日本透析医学会 透析専門医・指導医 臨床研修指導医 日本腹膜透析医学会 認定医 緩和ケア研修会修了
腎臓科医長	大庭 雅史 (おおば まさふみ)	2017年卒 緩和ケア研修会修了
腎臓科医員	丹野 翔伍 (たんの しょうご)	2023年卒 緩和ケア研修会修了



- 5.2.5 皮膚感覚器診療部 部長：辻野 佳雄
 5.2.5.1 形成外科 診療科部長：井上 真一

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
形成外科部長	井上 真一 (いのうえ しんいち)	2007年卒 日本形成外科学会 形成外科専門医・領域指導医 形成外科分野指導医・専門研修指導医 小児形成外科分野指導医 皮膚腫瘍外科分野指導医 再建・マイクロサージャリー分野指導医 日本創傷外科学会 専門医 日本頭蓋顎顔面外科学会 専門医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
形成外科医長	貝田 亘 (かいた わたる)	1999年卒 日本熱傷学会 熱傷専門医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
形成外科医長	松本 紘子 (まつもと ひろこ)	2011年卒 日本形成外科学会 形成外科専門医・領域指導医 形成外科分野指導医・専門研修指導医 皮膚腫瘍外科分野指導医 日本創傷外科学会 専門医 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 乳房再建用エキスパンダー/インプラント実施医師 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
形成外科医員	呂 嘉誠 (ろ よしなり)	2021年卒



5.2.5.2 皮膚科 診療科部長：三原 祐子

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
皮膚感覚器診療部長	辻野 佳雄 (つじの よしお)	1991年卒 島根医科大学医学博士（2003年） 日本専門医機構認定 皮膚科専門医 島根大学医学部臨床教授 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本褥瘡学会 認定師 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了
皮膚科部長	三原 祐子 (みはら ゆうこ)	1990年卒 鳥取大学医学博士（1995年） 日本専門医機構認定 皮膚科専門医 日本褥瘡学会 認定師 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了
皮膚科医長	石飛 朋子 (いしとび ともこ)	2006年卒 日本専門医機構認定 皮膚科専門医 緩和ケア研修会修了



5.2.5.3 眼 科 診療科部長：蝶野 郁世

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
眼科部長	蝶野 郁世 (ちょうの いくよ)	2005年卒 日本眼科学会 眼科専門医 視覚障害者用補装具適合判定医師研修会受講修了



5.2.5.4 耳鼻咽喉科 診療科部長：木村 光宏

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
耳鼻咽喉科部長	木村 光宏 (きむら みつひろ)	1998年卒 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医・指導医 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	ト部 晋平 (うらべ しんぺい)	1985年卒 緩和ケア研修会修了



5.2.5.5 歯科口腔外科 診療科部長：狩野 正明

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
歯科口腔外科部長	狩野 正明 (かりの まさあき)	2006年卒 島根大学医学博士 (2015年) 日本口腔外科学会専門医・指導医 日本顎顔面インプラント学会 専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 (歯科口腔外科) 歯科医師臨床研修指導歯科医 島根大学医学部臨床講師 緩和ケア研修会修了
歯科口腔外科医長	片山 暁恵 (かたやま あきえ)	2001年卒 日本顎関節学会専門医・暫定指導医 日本口腔外科学会認定医 日本口腔ケア学会 4級認定 歯科医師臨床研修指導歯科医 島根大学医学部臨床准教授 緩和ケア研修会修了
歯科口腔外科医員	谷口 薫穂 (たにぐち ゆきほ)	2021年卒 日本口腔外科学会 認定医 緩和ケア研修会修了
歯科口腔外科医員	中村 由里奈 (なかむら ゆりな)	2023年卒



- 5.2.6 救命救急診療部 部長：北野 忠志
 5.2.6.1 救命救急科 診療科部長（医療安全推進室室長代理）：石田 亮介
 5.2.6.2 集中治療科 診療科部長：北野 忠志

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
副院長 (高度救命救急センター長)	山森 祐治 (やまもり ゆうじ)	1985年卒 日本救急医学会 救急科専門医 日本集中治療医学会 集中治療専門医 日本麻酔科学会 麻酔科専門医・指導医 厚生労働省麻酔科標榜許可 AHA 公認 BLS、ACLS インストラクター 日本 DMAT 隊員、インストラクター 島根大学医学部臨床教授 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
救命救急診療部長 集中治療科部長	北野 忠志 (きたの ただし)	1991年卒 日本胸部外科学会 (心臓・大血管) 認定医 日本外科学会 外科認定医・外科認定登録医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
救命救急科部長	石田 亮介 (いしだ りょうすけ)	2003年卒 日本救急医学会 救急科専門医 日本集中治療医学会 集中治療専門医・評議員 日本麻酔科学会 麻酔科専門医・指導医 厚生労働省麻酔科標榜許可 日本医学シミュレーション学会 SED インストラクター 国土交通省指定 航空身体検査医 日本 DMAT 隊員 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
救命救急科医長	森 浩一 (もり こういち)	1995年卒 日本救急医学会 救急科専門医 日本麻酔科学会 麻酔科専門医・指導医 日本航空医療学会認定 指導者 厚生労働省麻酔科標榜許可 JATEC インストラクター JPTEC インストラクター MCLS インストラクター MCLS-CBRNE インストラクター BHELP インストラクター 日本 DMAT 隊員 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了 島根県災害医療コーディネーター
救命救急科医長	樋口 大 (ひぐち ひろし)	2007年卒 日本救命医学会 救急科専門医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本感染症学会 感染症専門医 ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター 日本プライマリ・ケア連合学会 新・家庭医療専門医・指導医・プライマリ・ケア認定医 日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医 日本専門医機構 総合診療 専門研修特任指導医 ICLS ディレクター JMECC インストラクター 日本 DMAT 隊員・統括 DMAT 島根県災害医療コーディネーター 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了 日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修会修了

役 職	氏 名	資 格 等
救命救急科医長	金井 克樹 (かない かつぎ)	2013年卒 日本救急医学会 救急科専門医 日本集中治療医学会 集中治療専門医 厚生労働省麻酔科標榜許可 国土交通省指定 航空身体検査医 日本 DMAT 隊員 BLSO インストラクターキャンディデイト 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
救命救急科医長	山崎 啓一 (やまさき けいいち)	2013年卒 日本 DMAT 隊員 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
救命救急科医長	桑原 正樹 (くわばら まさき)	2015年卒 日本救急医学会 救急科専門医 日本 DMAT 隊員 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
救命救急科医員	尾崎 雄大 (おざき ゆうだい)	2021年卒 日本 DMAT 隊員 緩和ケア研修会修了
救命救急科医員	日野 壮周 (ひの まさちか)	2021年卒
救命救急科医員	尾茂田 真栄 (おもだ まさひで)	2022年卒 JATEC プロバイダー JPTEC プロバイダー DMAT 隊員 JMECC プロバイダー 外傷蘇生手技セミナー FRST コースプロバイダー
救命救急科医員	足立 涼 (あだち りょう)	2023年卒 緩和ケア研修会修了
救命救急科医員	遠藤 孝真 (えんどう たかまさ)	2023年卒 緩和ケア研修会修了



5.2.6.3 麻酔科 診療科部長（医療局次長）：越崎 雅行

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
医療局次長 (麻酔科部長) (手術科部長)	越崎 雅行 (こしざき まさゆき)	1992年卒 日本麻酔科学会 麻酔科認定指導医 日本専門医機構認定 麻酔科専門医 日本救急医学会 救急科専門医 厚生労働省麻酔科標榜許可 ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター 日本医学シミュレーション学会 DAM インストラクター CVC インストラクター 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
麻酔科医長	佐々木 敦子 (ささき あつこ)	1991年卒 日本麻酔科学会 麻酔科認定医 厚生労働省麻酔科標榜許可 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
麻酔科医長	和田 穰 (わだみのり)	2007年卒 日本麻酔科学会 認定指導医 日本専門医機構 麻酔科専門医 厚生労働省麻酔科標榜許可 JB-POT 認定医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
麻酔科医員	岩田 雅人 (いわた まさと)	2019年卒 日本麻酔科学会 麻酔科認定医 厚生労働省麻酔科標榜許可 JB-POT 認定医 緩和ケア研修会修了
麻酔科医員	大谷 一志 (おおたに かずし)	2021年卒 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	横井 いさな (よこい いさな)	2003年卒 日本麻酔科学会 麻酔科認定指導医 日本専門医機構認定麻酔科専門医 厚生労働省麻酔科標榜許可 緩和ケア研修会修了



5.2.6.4 手術科 診療科部長：越崎 雅行

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
医療局次長 (手術科部長) (麻酔科部長)	越崎 雅行 (こしざき まさゆき)	1992年卒 日本麻酔科学会 麻酔科認定指導医 日本専門医機構認定 麻酔科専門医 日本救急医学会 救急科専門医 厚生労働省麻酔科標榜許可 ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター 日本医学シミュレーション学会 DAM インストラクター CVC インストラクター 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医



5.2.7 母性小児診療部 部長：金井 理恵

5.2.7.1 小児科 診療科部長：東本 和紀

【スタッフ紹介】

役職	氏名	資格等
母性小児診療部長	金井 理恵 (かない りえ)	1987年卒 島根医科大学医学博士（2000年） 日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医 日本リウマチ学会 専門医 日本血液学会 血液専門医 日本専門医機構小児科専門医・指導医 小児慢性疾患指定医・難病指定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
小児科部長	東本 和紀 (つかもと かずき)	2006年卒 日本小児科学会 小児科専門医・指導医 日本小児神経学会 小児神経専門医 日本てんかん学会 てんかん専門医 小児慢性疾患指定医・難病指定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
小児科医長	山田 健治 (やまだ けんじ)	2002年卒 島根大学医学博士（2016年） 日本小児科学会 小児科専門医・指導医 小児慢性疾患指定医・難病指定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
小児科医長	阿部 恭大 (あべ やすひろ)	2012年卒 日本小児科学会 小児科専門医・指導医 小児慢性疾患指定医・難病指定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
小児科医長	岡村 理香子 (おかむら りかこ)	2017年卒 日本小児科学会 小児科専門医 小児慢性疾患指定医・難病指定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
小児科医員	藤田 祐介 (ふじた ゆうすけ)	2022年卒 緩和ケア研修会修了
小児科医員	大塚 友絵 (おおつか ともえ)	2023年卒 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	安部 真理子 (あべ まりこ)	2004年卒 島根大学医学博士（2016年） 日本小児科学会 小児科専門医



5.2.7.2 産婦人科 診療科部長：奈良井 曜子

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
産婦人科部長	奈良井 曜子 (ならい ようこ)	1997年卒 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医 日本周産期・新生児医学会 周産期（母体・胎児）専門医・指導医 女性ヘルスケア暫定指導医 母体保護法指定医 NCPR インストラクター 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
産婦人科医長	坪倉 かおり (つばくら かおり)	2000年卒 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 女性ヘルスケア専門医 母体保護法指定医 J-MELS インストラクター 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
産婦人科医長	比嘉 健 (ひが たける)	2005年卒 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 日本産科婦人科内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医 緩和ケア研修会修了
産婦人科医長	佐藤 絵美 (さとう えみ)	2011年卒 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 母体保護法指定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
特別非常勤医師	岩成 治 (いわなり おさむ)	1976年卒 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 日本臨床細胞学会 細胞診専門医 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医 日本がん検診・診断学会 認定医 麻酔科標榜医 母体保護法指定医 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	森山 政司 (もりやま まさし)	1981年卒 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	田中 綾子 (たなか あやこ)	2004年卒 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 緩和ケア研修会修了
非常勤医師	宮本 純子 (みやもと じゅんこ)	2009年卒 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 日本婦人科遺伝診療学会認定医（周産期） 緩和ケア研修会修了
診療応援医師	吉野 直樹 (よしの なおき)	日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 臨床遺伝専門医制度委員会（人類遺伝学会、日本遺伝カウンセリング学会） 臨床遺伝専門医 日本生殖医学会 生殖医療専門医 母体保護法指定医 緩和ケア研修会修了



- 5.2.8 総合診療部 部長（臨床教育・研修支援センター長補佐）：増野 純二
 5.2.8.1 総合診療科 診療科部長（入退院支援・地域医療連携センター長補佐）：今田 敏宏

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
総合診療部長 (リウマチ・ アレルギー科部長)	増野 純二 (ましの じゅんじ)	1993年卒 日本専門医機構 総合診療専門医・特任指導医 島根県立中央病院総合診療専門研修プログラム プログラム統括責任者 日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・指導医・プログラム責任者 日本病院総合診療医学会 認定医 島根県立中央病院臨床研修プログラム 責任者 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本リウマチ学会 リウマチ専門医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本医師会認定産業医 ICD 制度協議会 インфекション・コントロール・ドクター ICLS インストラクター・ディレクター JMECC インストラクター 緩和ケア研修会修了
総合診療科部長	今田 敏宏 (いまだ としひろ)	1997年卒 総合診療専門医・特任指導医 老年科専門医 日本病院会 病院総合医 日本病院総合診療医学会 認定医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医・指導医 日本静脈経腸栄養学会 TNT 認定医 日本緩和医療学会 認定医 ICLS インストラクター・JMECC インストラクター 緩和ケア研修会修了 島根県緩和ケアフォローアップ研修会修了
総合診療科医長	石橋 和樹 (いしばし かずき)	2003年卒 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医・家庭医療専門医・指導医 日本病院総合診療医学会 認定医 老年科専門医 日本アレルギー学会 専門医 日本医師会認定産業医 ICD 制度協議会 インフェクションコントロール・ドクター JMECC 研修終了 認知症サポート医養成研修修了 緩和ケア研修会修了
総合診療科医長	内藤 祐美 (ないとう ゆみ)	2019年卒 緩和ケア研修会修了
総合診療科医長	吉村 菜実 (よしむら なみ)	2019年卒 日本専門医機構 総合診療専門医 緩和ケア研修会修了
総合診療科医員	松井 千佳 (まつい ちか)	2022年卒 緩和ケア研修会修了
総合診療科医員	桐木 開成 (きりき かいせい)	2022年卒 緩和ケア研修会修了
総合診療科医員	足立 元 (あだち げん)	2022年卒 緩和ケア研修会修了



5.2.8.2 感染症科 診療科部長（医療安全推進室長補佐）：中村 嗣

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
感染症科部長	中村 嗣 (なかむら つかさ)	1988年卒 京都大学医学博士（2007年） 日本病院会 病院総合医 日本感染症学会 感染症専門医・指導医 ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター 日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医・指導医 日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医 日本エイズ学会 学会認定医 日本性感染症学会 認定医 JMECC・ICLS インストラクター 日本医師会 認定産業医 緩和ケア研修会修了



5.2.8.3 臨床腫瘍科 診療科部長：川上 耕史

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
臨床腫瘍科部長	川上 耕史 (かわかみ こうし)	2002年卒 島根大学医学博士（2012年） 日本内科学会 総合内科専門医 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医 日本がん治療認定機構 がん治療認定医 緩和ケア研修会修了



5.2.8.4 緩和ケア科 診療科部長：武田 啓志

【スタッフ紹介】

役職	氏名	資格等
緩和ケア科部長	武田 啓志 (たけだ ひろし)	1990年卒 日本外科学会 外科専門医 日本乳癌学会 認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施医師 島根大学医学部臨床教授 緩和ケア研修会修了 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構セミナー受講 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了

【緩和ケアチーム実績】

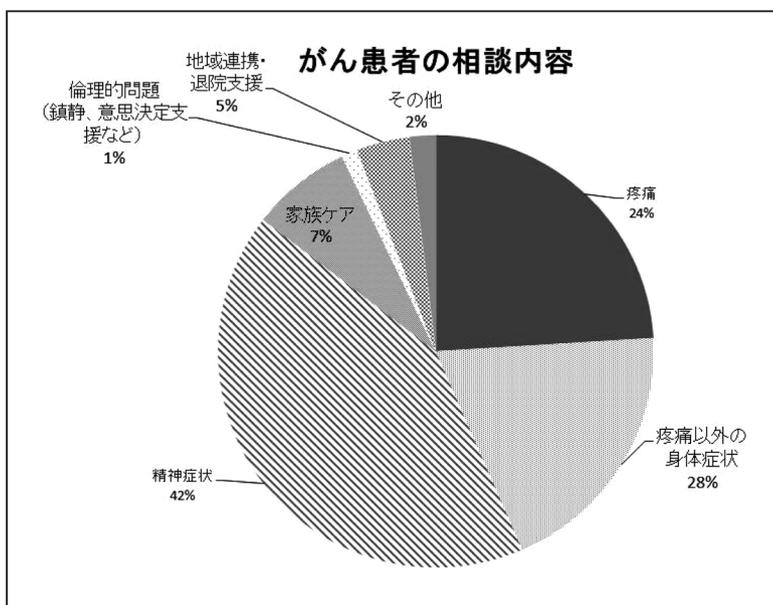


図1. 2024年度（がん患者の）緩和ケアチーム依頼内容の内訳

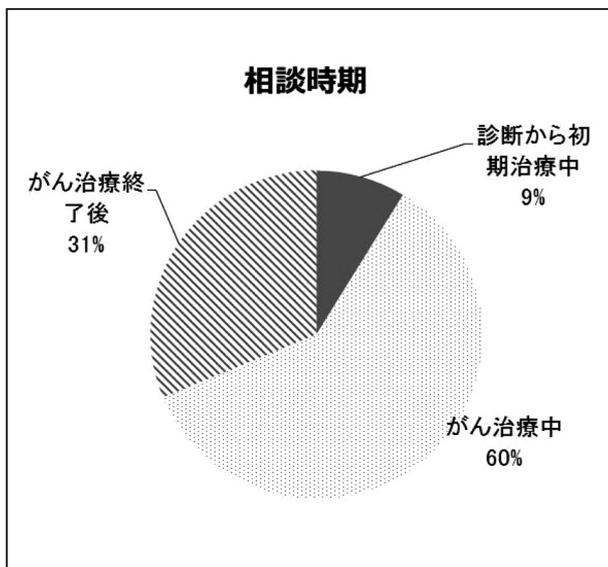


図2. 2024年度（がん患者の）緩和ケアチーム相談時期の内訳

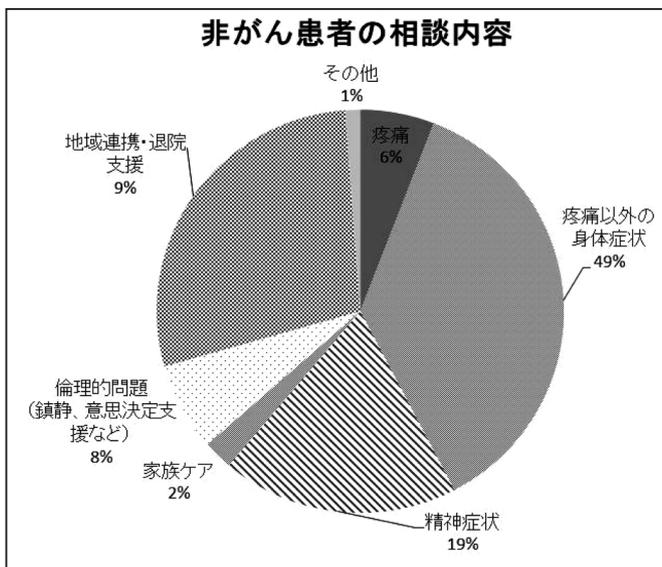


図3. 2024年度（非がん患者の）緩和ケアチーム依頼内容の内訳



5. 2. 8. 5 地域総合医育成科 診療科部長：小田川 誠治

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
地域総合医育成科部長	小田川 誠治 (おだがわ せいじ)	2006年卒 日本専門医機構 総合診療専門研修特任指導医 日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本腎臓学会 腎臓専門医・指導医 日本透析医学会 透析専門医・VA 血管内治療認定医 日本感染症学会 感染症専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医・指導医 日本病院総合診療医学会 認定医・特任指導医 ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター 日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医 日本静脈結腸栄養学会 TNT 研修会修了 認知症サポート医養成研修修了 緩和ケア研修会修了 臨床研修指導医
地域総合医育成科医長	樋口 大 (ひぐち ひろし)	2007年卒 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本救急医学会 救急科専門医 日本感染症学会 感染症専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 新・家庭医療専門医・指導医・ プライマリ・ケア認定医 日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医 日本専門医機構 総合診療専門研修特任指導医 ICD 制度協議会 インフェクションコントロールドクター ICLS ディレクター・インストラクター JMECC インストラクター 日本 DMAT 隊員・統括 DMAT 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了 日本静脈経腸栄養学会 TNT 研修会修了 臨床研修指導医 島根県災害医療コーディネーター
地域総合医育成科医長	馬淵 沙弥佳 (まぶち さやか)	2020年卒 日本内科学会 内科専門医 医師少数区域経験認定医師 緩和ケア講習会修了

【医師事務作業補助部紹介】

医師事務作業補助業務は、2000年頃より、勤務医の負担軽減目的に「診断書の代行作成」等の事務作業補助から始まった。当院では、2010年頃から配置を開始し、順次増員を経て、2025年8月現在、45名となっている（統括としてクラークリーダー1名を配置）。その内訳は、診療科業務27名、文書作成業務5名、医療支援業務（地域がん診療連携拠点病院・がんゲノム関連、NST（栄養サポートチーム）4名、臨床研究・治験管理業務6名、医療局管理業務2名、医療安全推進室1名である。

診療科業務では、担当診療科を3班に分け、班内で協力して業務が行えるようマニュアル作成、業務内容の均一化、複数担当制を行っている。業務は、外来補助（現在20診療科に配置、診療録記載、処方箋発行、予約・検査・処置指示、指導管理料・外来処置指示の加算算定等）、入院サマリー・診療情報提供書・手書き文書の一次作成、学会等症例登録、医師の個別事務作業補助、後利用データ抽出等を行っている。

文書作成業務では、各種保険会社用証明書、各種手当金支給申請書、指定難病・小児慢性特定疾病に係る医療費等診断書、各種公的医療費に係る診断書、自動車損害賠償責任保険診断書、主治医意見書、医療要否意見書、訪問看護指示書、退院証明書等の一次作成を年間、約1万件作成している。

医療支援業務では、地域がん診療連携拠点病院業務（がん地域連携クリティカルパスの整備、地域がん診療連携拠点病院に係る業務、がん市民公開講座・がんに関する研修会・講演会・がんサージカルボード等の開催）、NST／摂食・嚥下チーム業務、がんゲノム関連業務（遺伝学的検査に伴う事務的業務、がんゲノム中核拠点病院（岡山大学）主催の会議に係る業務、院内各種会議・カンファレンスに係る業務、がんゲノム医療連携病院現況報告等を行っている。

臨床研究・治験管理業務では、治験、臨床研究、症例報告、使用成績調査、保険適用外使用、院内製剤、高難度新規医療技術等における倫理審査・申請・相談窓口、治験、臨床研究等の実施における支援業務、倫理教育の推進を行っている。

医療局管理業務では、医療局協議会・三役会・医局会に係る業務、医師出張手続き、宿日直・待機表作成、医師オリエンテーションに係る業務、県中・出雲医師会医療連携懇話会開催、勤務管理に係る業務、学会ポスター作成、医師見学対応、自家用車での出張時のアルコールチェック管理、当直日誌管理、産科医療補償制度登録業務等を行っている。医療安全推進室では、医療安全関連業務（インシデント報告集計、リスクマネジメント通信発行、医療事故防止・安全管理委員会・医療安全研修会開催）、院内感染防止業務（ICT（感染制御チーム）に係る業務、JANIS（厚生労働省院内感染対策サーベイランス）入力、職員健康管理チェックシステム（まめなかね）集計）を行っている。

5.3 看護局 局長：田根 圭子
次長：岡田 千秋、上田 純子、黒田 優子、浦部 涼子

看護理念

看護の専門性を追求し、患者さんに寄り添った温かな看護を提供します

5.3.1 看護の基本方針

1. 患者さんの権利と人間性を尊重することを基盤に、患者さん中心の考え方に立った看護サービスを提供する。
2. 看護部門の管理運営は、看護の理念に基づいた看護体制を組織化し、他部門との連携の中で、効果的かつ効率的に行う。
3. 日常の看護業務の中で、看護の科学性を追求するとともに、看護研究活動等により看護の質の向上を図る。
4. 快適かつ円滑な看護業務の遂行のための、経営資源（人、物、金、時間、情報、知識）を活用し環境の改善に努める。

5.3.2 令和7年度看護目標

患者が必要な治療を円滑に受け、合併症を起こすことなく、できるだけ早期に患者（家族）が望む生活の場に戻るための支援を行う

実践目標

1. 患者・家族の意思を尊重した看護をチームで実践する
2. 倫理観と判断力に基づき自律して役割を遂行する
3. 安全な看護業務の実践と、労働生産性の向上に取り組む

5.3.3 看護管理体制

【管理体制】

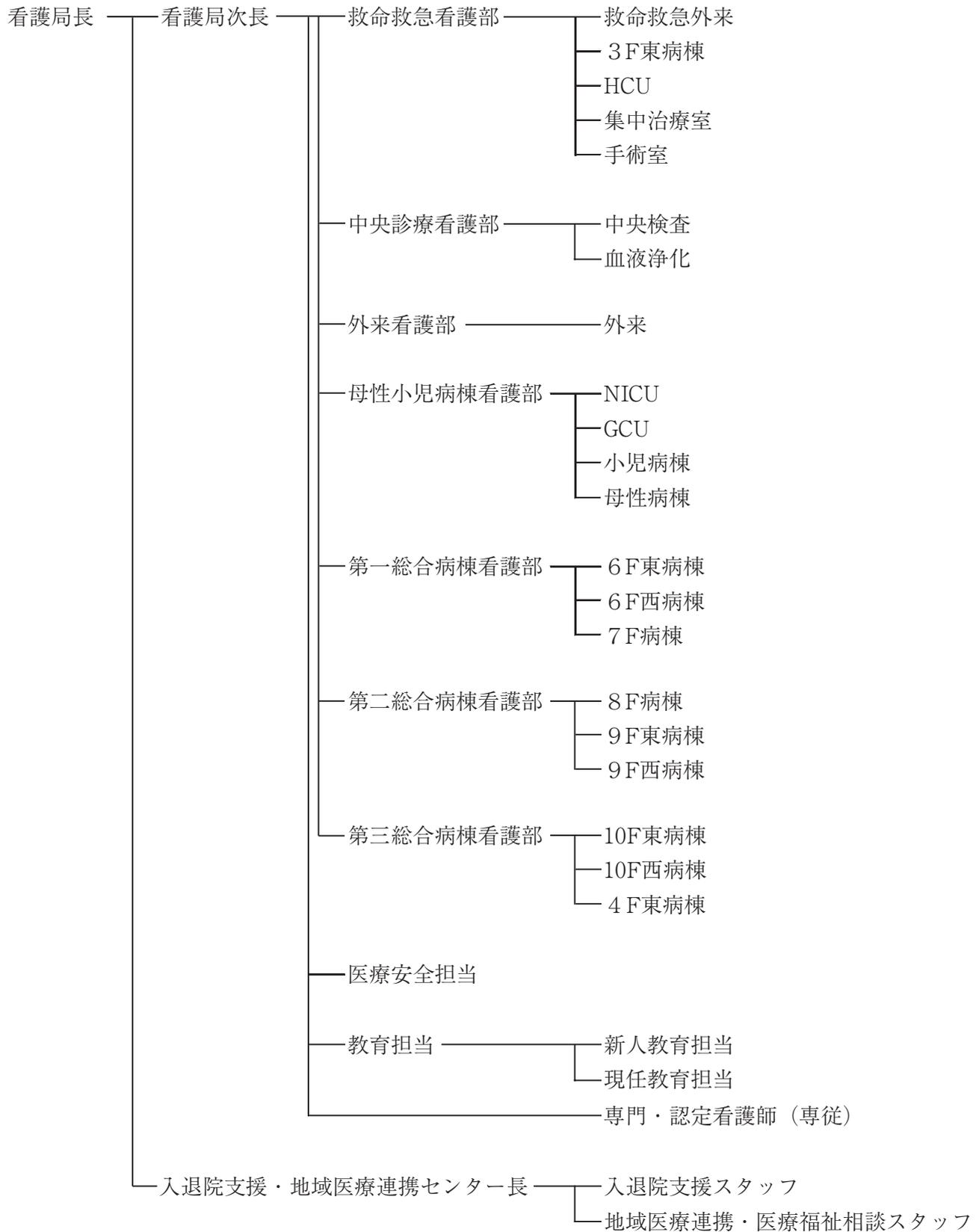
看護局長は令和3年度より副院長を務めています。4名の看護局次長は、担当を総務、教育、業務に分け、1名は入退院支援・地域連携センター長を兼任しています。各部署は「外来」「中央診療」「救命救急」「母性小児病棟」「第一総合病棟」「第二総合病棟」「第三総合病棟」の7部門体制とし、看護管理部長を配置し部門を統括しています。第一総合病棟部門の看護部長はベッドコントロールを専従で担い、予定入院のほか、全体の6割を占める緊急入院の病床を確保するため各部門との連携に努めています。教育体制については、教育担当看護部長、新人教育担当、現任教員担当の3名を専従配置し、臨床教育・研修支援センターの一員として研修医をはじめとするあらゆる職種の教育を支援しています。医療安全に関しては、医療安全担当看護部長、副看護師長、2名の感染管理認定看護師を専従で配置し、患者と職員の安全を管理しています。看護職がチーム医療の要であることから専門・認定看護師の専従化を進め、2023年度より感染管理認定看護師のほか8名を看護局付けとし、教育担当看護局次長が統括しています。

【看護体制】

看護配置は一般病棟7：1、精神科病棟は10：1で、ICU（12床）は2：1、HCU（8床）は4：1です。地域周産期母子医療センターに移行後、NICUは3床（3：1）、GCUは12床（6：1）となりました。勤務体制は2交代制（手術室は3交代制）です。看護方式は、「固定チーム継続受け持ち方式」で、患者一人ひとりに受け持ち看護師が入院から退院まで責任を持ち、それを固定したチームメンバーで支援しています。母性病棟では、妊娠期から出産後までの継続した看護の実現に向け、助産師の配置を一元化しています。入退院支援・地域医療連携センターは、入院前のケアを担当する入退院スタッフと退院調整を担当する医療福祉相談スタッフに業務を分けつつ、センターとして互いの連携を強化しています。

質の高い医療提供により地域から信頼され選ばれる病院であり続けるために、4名の専門看護師や19名の認定看護師を中心とした医療チーム活動や、看護外来、退院前後訪問指導、アドバンス助産師による助産師外来や院内助産などの活動の充実、さらに看護師特定行為研修修了者の活動を推進する体制を整備しています。

〔組織図〕



5.3.4 救命救急看護部 看護部長：曾田 悦子

県内唯一の高度救命救急センターとして、24時間体制で一次（軽症）から三次（重症）の救急診療を行っています。屋上ヘリポートを備え、ドクターヘリの基地病院としてプレホスピタルケアにも力を入れています。

救命救急部門は、救命救急外来、HCU、3階東病棟、集中治療室、手術室の5部署で構成しています。それぞれの部署が専門性を発揮しながらも、部署間の連携を大切にして急性期患者さんの回復過程を支援します。私たちは、患者さんや家族に寄り添ったケアの提供を心がけています。

【救命救急外来】 看護師長：若槻 千春

救命救急外来では、24時間体制で救急患者さんの受け入れをしています。看護師は、診察や検査、処置の介助はもちろん、来院患者さんのトリアージ（緊急度・重症度の判断と初期対応）や、電話相談などを行い、安全で安心できる救急医療の提供に努めています。突然の病気や怪我による大きな不安を抱えた患者さんやご家族の精神的ケアも大切にし、患者さんやご家族に寄り添い、サポートする姿勢を心がけています。

また、ドクターヘリによる病院前救急医療を実践しています。早期から医療を開始することで、救命はもちろんのこと、より良い状態で、もとの生活に戻っていただけるよう努力しています。

【HCU】 看護師長：宮内 泰子

高度治療室（HCU）は、2024年10月から8床で運用をしております。集中治療室に次ぐ重症患者さんのケアを行っており、救急外来、手術後、病棟からの患者さんを受け入れています。集中治療室に準じた研修を取り入れ、知識や技術の向上に努めるとともに社会の変容に適応できるよう多職種、病棟間の連携を図ることで患者さんやご家族に信頼される看護の提供を目指しています。

【3F 東病棟】 看護部長（救命救急看護部長）：曾田 悦子

3F東病棟は、21床で運用しています。昼夜を問わず24時間体制で入院を受け入れる病棟です。救命救急科はもちろん、全科の疾患・年齢・重症度に対応した看護が提供できるよう、スタッフ一同、知識・技術の習得に日々研鑽を重ねています。緊急で入院された患者さんに適切な治療を受けていただけるよう支援するとともに、患者さんとそのご家族の気持ちを受けとめ、心の通いあう看護を実践することを目指しています。

また、緊急入院の受け入れ病棟として、全病棟の看護師長と情報交換を行いながらベッドコントロールを行い、緊急入院のための空床を確保し、地域の皆様に安心していただけるよう努力しています。

【集中治療室】 看護師長：沖政 真治

集中治療室（ICU）は、12床で運用しており、救急搬送患者や大手術後など集中治療を必要とする重篤な患者さんが昼夜を問わず入室します。重症患者ケアを行うにあたり、各種モニターや多くの医療機器の使用、刻々と変化する病状の把握と、迅速かつ適切な対応に必要な知識や技術の習得に向け、スタッフ一人ひとりが主体的に自己研鑽に取り組んでいます。

また、急性期から退院を意識しながら重症度に合わせたりハビリを開始し、身体機能の維持、回復に努めるとともに、突然の入院による患者さんやご家族の精神面へのケアを大切にしています。病状説明には看護師も同席することで病状の理解ができるようサポートし、患者さんやご家族の気持ちを受けとめ不安の軽減に努めています。

【手術室】 看護師長：森脇 加寿恵

手術室は、3階にハイブリッド手術室1室、バイオクリーンルーム1室を含む9室があり、365日24時間体制で手術に対応しています。特定行為研修修了者が麻酔科との協働による円滑な手術室運営に取り組んでいます。

4階には外来手術センターがあり、外来・入院患者さんの局所麻酔手術に対応しています。さらに、侵襲のある肝臓の検査も外来手術センターで行っています。看護師は最新の知識や技術の習得のための自己研鑽に努めるとともに、診療科医師・麻酔科医師をはじめ手術に係わる多職種との連携による、手術のスムーズな進行を心掛け、安全で信頼のある手術看護の提供に努めています。また、術前訪問により患者さんの不安を和らげ、無機質で閉鎖的空間と感じられがちな手術室の環境にも配慮し、温かで優しい入室を心掛けています。

5.3.5 中央診療看護部 看護部長：松岡 文子

【中央検査・血液浄化】 看護師長：目黒 恵子

中央診療看護部は、血液浄化や放射線・内視鏡診療を必要とする患者さんの看護を担当しています。血液浄化室は22床（陰圧1床）で、腎臓科医師や臨床工学技士と協働し午前と午後2クルールの血液透析を行っています。急性期や合併症のある患者さんが多いため、細心の注意を払いながら観察・管理を行います。また、透析療法を受ける患者さんの苦悩や不安を受け止めながら、一人一人に寄り添った生活支援を行っています。CTやMRI、血管撮影などの検査においては、不安を和らげ安全に検査が受けられるよう丁寧でわかりやすい説明を心掛けています。放射線治療では、がん放射線療法看護認定看護師を中心に、患者さんの不安な気持ちに寄り添いながら、副作用の発現による苦痛が最小限になるよう支援しています。内視鏡検査では、安全な検査実施のための丁寧な問診や、不安や苦痛を軽減するためそばに付き添い、説明や声掛けなどの援助を行っています。どの部署においてもハイリスクな症例にも対応できるよう、それぞれの専門性を高めるために日々研鑽しています。

5.3.6 外来看護部 看護部長：松岡 文子

外来看護部では、外来受診の限られた時間の中で患者さんのニーズを把握し、安全に診療が受けられ少しでも不安や苦痛を緩和できるような関わりを心掛けています。また、療養上の様々な問題を抱えながら在宅生活を送り通院されている患者さんも増加している中で、病棟看護師、医師、薬剤師等院内の他職種や地域の方々などと連携を図りながら、患者さん・ご家族に寄り添った支援ができるよう努めています。8Fにある外来化学療法センターでは、認定看護師を中心に専門的知識に基づいたケアの提供に努め、また看護専門外来やフットケア外来、糖尿病透析予防・腹膜透析などの療養指導、看護相談等を行い、専門性の高い看護が提供できるよう努めています。また、健診センターでは人間ドック・高機能ドック等のために来院された方が、短時間でスムーズに受検できるように検査室と連携を取りながら実施しています。

5.3.7 母性小児病棟看護部 看護部長：卜藏 明子

島根県の地域周産期母子医療センターとして、NICU 3床、GCU12床を維持して妊娠35週以降の早産患者や帝王切開術、経膈分娩の管理を継続して行っています。

妊娠期からの切れ目のない育児支援を提供するため、助産師外来、院内助産、産後ケアなど助産師によるケアの充実に力をいれています。このように、母体・胎児・新生児を一貫して診療、看護する周産期医療部門と、更に乳児期、学童期へと医療を継続していく小児科、婦人科の機能を総合的に連携させ、女性と子供に対する総合的チーム医療を行っています。

【NICU】 副看護師長：大田 純子

NICU（新生児集中治療室）では早産・低出生体重児や、疾患を持って生まれた新生児を看護しています。病床数は3床で、常時3対1の看護配置のもと、小児科医師、臨床工学技士、退院調整看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士などの他職種と協働してケアを行っています。

NICUに入院する赤ちゃんは全身状態が非常に不安定です。私たちは、早期の全身状態の安定につながるケアはもちろん、大きな不安を抱えているご家族の気持ちに寄り添い、ともに赤ちゃんの成長を喜び合える関係性を築くよう努めています。

【GCU】 看護師長：菅井 ひとみ

GCU（回復期治療室）は、NICUでの集中治療で状態が落ち着いた赤ちゃんが、退院できる状態になるまでを過ごす病床です。また、NICUでの集中治療は要さなくても、予定より少し早く生まれた赤ちゃんや体重が少ない赤ちゃんも状態が安定するまで入院しています。

病床数は12床で、常時6対1の看護配置のもと、小児科医師、ソーシャルワーカー、退院調整看護師、臨床心理士、などの多職種と協働し、赤ちゃんの成長を支え、ご家族が自信を持って育児できるよう支援をしています。赤ちゃんのご家族が、退院後も安心して過ごせるよう、自宅へ退院する前に母性病棟や小児病棟と連携して、お母さんが育児練習を兼ねて赤ちゃんと同室し、育児に慣れることができるよう家族を中心としたケアに努めています。

【小児病棟】 看護部長：卜藏 明子

小児病棟には感染症（肺炎、気管支炎、胃腸炎）、川崎病、尿路感染症などの急性期疾患や、喘息、ネフローゼ症候群などの慢性期疾患、消化器外科・整形外科・形成外科・耳鼻咽喉科など手術が必要な15歳以下の子どもたちが入院しています。

私たちは、子どもや家族が安心できるように、いつも明るく笑顔で接しています。子どもの年齢に合わせて検査や処置の説明を行い、子どもや親の対処能力が引き出せるようプレパレーションにも取り組んでいます。そして安全に過ごせるように日々努めています。さらに、病棟内では、子どもが安心感を持てるような雰囲気、季節を感じられるような工夫をしています。長期入院となる小・中学生の子どもは、院内学級で学ぶこともできます。

また、2018年から重症心身障がい児の指定短期入所サービス事業を開始しています。毎月、2～3泊、数人の利用があります。今後も在宅支援の向上にむけてサービスの提供に努めます。

【母性病棟】 看護師長：山中 智恵

母性病棟は、女性のライフサイクルにおける婦人科疾患および妊娠、分娩、産褥期の患者さんを対象としています。2021年8月から地域周産期母子医療センターとして、地域の周産期医療を担っています。

2019年から、院内助産システムを開設しており、正常な経過であれば、妊娠から出産、産後まで助産師が中心となってサポートします。現在までに約280人の方が、院内助産システムで出産をされています。妊娠中の支援としては、助産師妊婦健診、保健指導の動画配信、体験型の母親教室（骨盤ケア教室・分娩体験教室・育児体験教室・マタニティヨガ・アロマセラピー教室）を開催し、妊婦さんとそのご家族が満足のいく出産ができるように、きめ細やかな指導に努めています。

産後の支援としては、助産師が、産婦2週間健診とすこやか外来（乳房外来・育児相談外来）、産後うつ予防を目的とした産後訪問、お母さん同士の交流・育児相談を目的としたベビーマッサージ教室を行っています。産後ケア充実のために、現在は出雲市と提携し、産後ケア事業（デイケア・宿泊型）を開設しています。私たち助産師は、すべての女性と母子やその家族に寄り添い、継続的なサポートを目指しています。

5.3.8 第一総合病棟看護部 看護部長：佐野 淳子

【6F東病棟】 看護師長：杉谷 和美

【6F西病棟】 看護師長：白須 礼子

6F東病棟は脳神経外科、泌尿器科、腎臓科、6F西病棟は脳神経内科、呼吸器科の病棟です。

6F東病棟は、手術や検査を受けられる急性期から慢性期、終末期までの患者さんが入院されています。6F西病棟は、脳卒中や神経難病、呼吸器疾患の方など、急性期からリハビリ期、慢性期の患者さんが入院されています。

脳神経疾患の患者さんは、突然発症することが多く、また後遺症を残すこともあります。専門的知識の習得に努めるとともに、機能回復や社会復帰に大きな不安を抱いていらっしゃる患者さんやご家族の思いを大切に支援しています。進行性の難病や腎疾患等の患者さんとご家族が、病気とうまく付き合うことができるように、医師や社会福祉士、退院調整看護師と連携を図り、早期から退院後の生活を見据えた支援を行っています。また泌尿器科の患者さんの、手術・検査への不安や、痛みなどの苦痛を少しでも緩和できるように努めています。そして終末期のケアでは、患者さん、ご家族の思いを大切に、緩和ケアチームなどと協力をして、より良い時間を過ごすことができるように支援しています。

【7F病棟】 看護師長：板垣 知子

7F病棟は循環器科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、歯科口腔外科が中心の病棟です。手術や検査が多いため、丁寧に説明し、不安が軽減できるよう努めています。そして私たちは、患者さんに安心して入院生活を送っていただけるように、患者さんとの対話を大切に、より専門的な知識・技術の習得に努めています。また、退院後の在宅療養へスムーズに移行できるように医師や多職種と連携を図りながらより質の高い看護の提供に努めています。患者さんが病気と上手に付き合えるように、退院後の生活について患者さん・家族と共に考えるなど患者指導に力をいれています。心不全教育では、慢性心不全看護認定看護師を中心に教育プログラムを作成しています。入院前の食生活や活動量など生活状況について確認を行い、必要時他職種でカンファレンスを行い、退院までの指導内容を検討して実施しています。

5.3.9 第二総合病棟看護部 看護部長：山本 真理子

【8F病棟】 看護師長：岩佐 佳栄

8F病棟は各診療科の化学療法や、血液腫瘍科、乳腺科、呼吸器外科を担当する病棟です。がんの診断、治療を受ける患者さんには納得し、安心して治療を受けていただけるよう、医師や薬剤師、MSWなど多職種と連携を図り、わかりやすい説明や安全な治療環境提供に向け、専門的な知識や技術の習得に努めています。また、緩和ケアチームやがん相談支援センターと連携し、がん患者さんの身体的・精神的苦痛や、経済的な心配、外見の変化の不安等が少しでも緩和でき、患者さんが自分らしく過ごしながら治療に向かわれるよう努めています。外来化学療法センターと連携を図りながら、患者さんの状況に合わせた最善の治療継続に向け、より質の高い看護の提供に取り組んでいきます。

【9F東病棟】 看護師長：糸原 美晴

【9F西病棟】 看護師長：松田 早苗

9F東病棟は消化器科、9F西病棟は消化器外科、耳鼻咽喉科の病棟です。

9F東病棟は消化器疾患の患者が入院される病棟です。内視鏡治療、肝臓治療などを受ける患者さんの不安が軽減し、安心して治療が受けられるよう丁寧な説明に努めています。またターミナル期の患者さんについては、緩和ケアチームと連携し、身体的・精神的苦痛が軽減できるように援助しながら、患者さんの個々の状況にあわせた人生の1ページとともに描くことができるような看護を心がけています。

9F西病棟は、周手術期看護および緩和ケア、ストーマケアを中心に看護を提供しています。患者さんの疾患や病状の変化によって細やかな観察・対応が必要とされ、日々チームカンファレンスや勉強会を開催し専門性の高い看護が提供できることを目指しています。手術を受けられる患者さんへは、入院時から患者さん自身が目標をもって術後早期に離床し、日常生活へと戻れるように支援しています。1人の患者さんに対し、多種職のチームで関わることでケアの充実を図り、患者さん、家族の方々に寄り添った看護を目指して取り組んでいます。

5.3.10 第三総合病棟看護部 看護部長：加藤 教子

【10F東病棟】 看護部長：加藤 教子

【10F西病棟】 看護師長：山本 真紀子

10F東病棟は整形外科、10F西病棟は整形外科、総合診療科、内分泌代謝科の病棟です。

10F東病棟は、突然の事故や転倒等による骨折や、頸椎・腰椎の疾患で手術をされた患者さんが入院されており、痛みによる身体的な苦痛はもとより、安静や日常生活制限等に関連した精神的な苦痛も軽減できるよう心掛けて毎日援助しています。また、高齢の患者さんも多いため、早期に離床できるようチームで関わり、リハビリが順調に行えるよう援助しています。患者さんが少しでも日常生活動作が出来るようになって退院されることを励みに、スタッフ一同明るく、元気にチームワークを大切に頑張っています。

10F西病棟では、確定診断のための様々な検査や緩和ケア、終末期の看護、周手術期看護など、患者さん・ご家族の思いにより添い苦痛や不安の軽減に努めています。また、退院後も社会的支援が必要な患者さんも多く、医師や社会福祉士、退院調整看護師と連携を図り、早期から退院後の生活を見据えた支援ができるよう取り組んでいます。内分泌代謝科においては、糖尿病の治療目的で入院される患者さんが多く、医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ療法士と連携をとりながら治療や糖尿病の自己管理ができるよう支援、指導をしています。

【4F東病棟】 看護師長：一ノ名 由恵

4F東病棟は急性期病院内の精神神経科病棟です。精神疾患やメンタルヘルスの不調などのこころの病気や認知症などで入院される患者さんが多くなっています。また病院の役割として、精神科病院から身体的疾患の治療目的で入院される患者さんの受け入れも行っています。私たち看護師は、患者さんやご家族との関係を大切にし、医師、社会福祉士、栄養士、薬剤師、リハビリ療法士、臨床心理士などの多職種と共に、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った看護を目指して取り組んでいます。

5.3.11 令和6年度看護局主な動き

5月	「看護の日」骨密度測定・アロマスプレー作り体験・メッセージカード配布・パネル展示など 県内看護大学・看護専門学校訪問 看護師の特定行為研修（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、動脈血液ガス分析関連、栄養に係るカテーテル管理関連、創部ドレーン管理関連、感染に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連、血糖コントロールに係る薬剤投与関連）開講式 看護職員採用試験（推薦） 出前講座「いつまでも強く丈夫な骨でいきいき生活」
6月	島根県立大学しまね就職マルシェ参加 知って得する健康ミニ知識講師「緩和ケアってなんだろう？」
7月	看護職員採用試験
8月	高校生の1日看護師・助産師体験 中学生医療現場体験セミナー受け入れ
9月	職務満足度調査
10月	看護職員内定者説明会
12月	知って得する健康ミニ知識講師「人生100年時代！こころの健康づくり」 高校生医療現場体験セミナー受け入れ
1月	出前講座講師「認知症が気になったら」 島根県立大学感染管理認定看護師教育課程（B過程）実習受け入れ（～2月）
2月	院内看護研究発表会開催 出前講座講師「人生100年時代！こころのけんこうづくり」 看護業務量調査
3月	看護師特定行為研修修了式 島根県立病院 看護職員向け体験型病院説明会開催 「看護学生と現場で働く看護師さんとの交流会」参加（県健康福祉部医療政策課） 配茶サービス終了

随時、病院見学受け入れ

5.3.12 教育体制

高度で専門的な医療を担う島根県の基幹病院として、救命救急医療や周産期母子医療、がん医療などの充実を図る当院では、より質が高く地域を見据えた医療・看護の提供が求められています。創造的に看護の質を高めることができる「組織人」の育成のための継続教育・教育計画が重要です。2025年度には看護職員は788人となりました。一人ひとりの提供する看護の質が医療全体に大きく影響を及ぼすこととなります。看護局では一人ひとりの看護職員の力を最大限に発揮できるように人材育成に力を置き、患者中心の質の高い看護実践者を育成するために、現行教育プログラムを体系化してきました。以下に、その目的・基本的考え方など教育体制の基盤となる「看護職員現任教育」について概要を述べます。

看護職員現任教育

第I 教育理念

1. 教育理念

看護職員として自信と誇りを持ち、ケアリングを基盤に、互いの人間成長を育みながら、生涯発達し続ける看護職員を育成する。

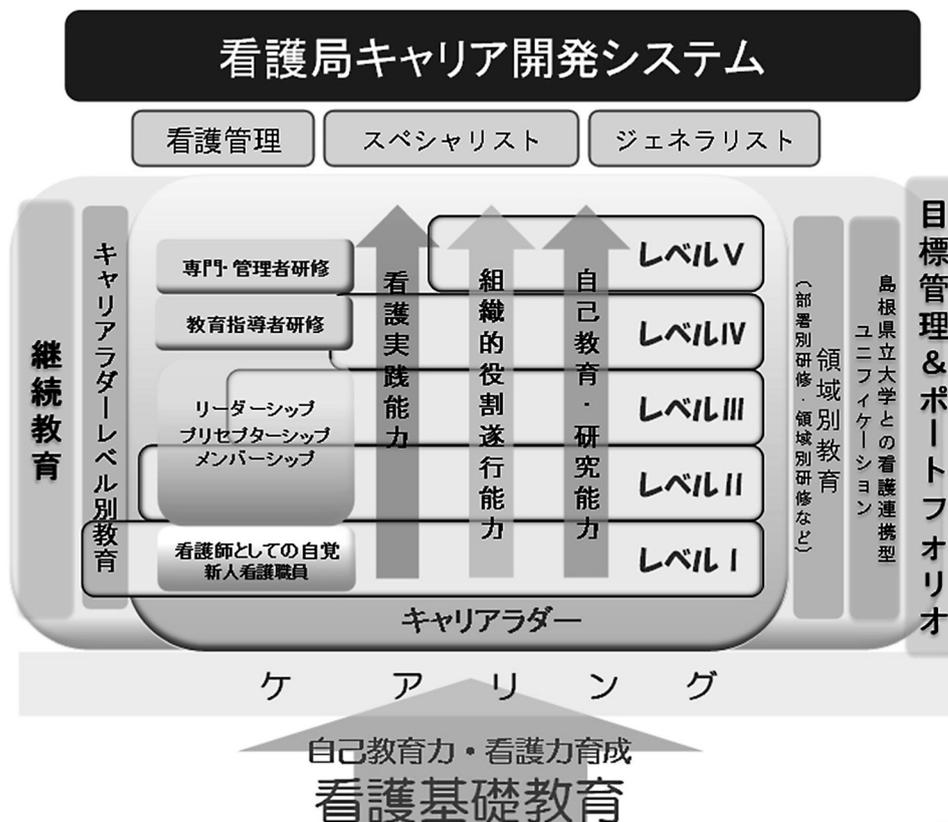
2. 人材育成（キャリア開発）の考え方

看護職員は、社会のニーズや個人の能力およびライフサイクルに応じて、組織目標を踏まえた上でキャリアをデザインし、自己の責任でその目標達成に必要な能力の向上に取り組む。

看護局は、その個人の取り組みを支援するものである。

3. 看護局キャリア開発ラダーシステム

キャリアラダーを用い、看護職員の実践能力段階を一定の基準・手順に沿って評価し、その結果をもとに人材育成を行っている。中途採用者や部署異動者のキャリアラダーレベルを明確にすることにより、経験年数や経験部署にかかわらず全てのレベルに応じて段階的にキャリアアップを支援できる体制を整えている。組織目標を踏まえた明確な個人目標に向かって、一人ひとりが計画的に行動し成果を生み出すことができるように、ポートフォリオの手法を取り入れた目標管理を行い、キャリア開発を支援するシステムとしている。



2021年4月

第Ⅱ 教育目的

島根県立中央病院の医療方針に則り、病院看護業務が実践できる専門的知識および技能を有し、社会の変化に対応できる質の高い看護職員を育成する

第Ⅲ 教育目標（期待される看護職像）

1. 島根県立中央病院の看護局の理念に則り、患者さん中心の考え方に立った看護サービスの提供ができる
2. 島根県立中央病院の看護局の理念に則り、県民のニーズに応えうる看護サービスが提供できる
3. 他職種との連携のなかで、患者さんにとって安全で満足できる看護が提供できる
4. 教育研究活動により、日常の看護実践のなかで、相互啓発、自己啓発に努め、専門職としての資質の向上を図ることができる
5. 看護学生および研修生の臨床実習目標が達成できるよう、教育的支援ができる

第Ⅳ 現任教育の構造

図に示すとおり、現任教育の構造は、院内と院外に分けて整理している。教育プログラムの管理運営は看護局長を責任者とする看護教育委員会が担当し、年間計画を立案、実施、評価、修正している。

1. 院内教育の基本的な考え方

- 1) キャリアレベル別教育の充実を図る
- 2) 主体的にキャリア開発を図り、専門領域の看護を深める看護実務研修の充実
- 3) 看護学生等の臨床実習指導に当たる指導者の指導能力の向上
- 4) 指導的、管理的な業務に当たる看護管理者の管理能力の向上
- 5) 看護研究の推進
- 6) 各専門領域での臨床看護実践能力の向上

2. 院内教育の概要

1) 全体教育

看護職員全体を対象とするプログラムで、内容は看護の質、看護実践方法など、その時期・年度に必要なテーマ、トピックスなどの講演会や、看護研究業績発表会を含んでいる。

2) 対象別教育

職位、役割、経験年数、担当業務、専門領域などに応じた段階的なプログラムとしている。

(1) 看護管理者教育、教育指導担当者教育

看護管理者研修、臨床実習指導者研修プログラム、教育担当者研修プログラム、実地指導者研修プログラムを整備している。

(2) キャリアラダーレベル別教育

キャリアラダーレベルⅠ～Ⅴにおける「到達目標」を達成するために、キャリアラダーに対応した研修を実施しステップアップを図る。職業観（看護観）、職業倫理、看護モデル・理論、組織・看護管理観、リーダーシップ、教育・指導観、医療における安全・リスク感性、臨床看護実践技術、コミュニケーションスキル、看護研究などについて概念と方法論を組合せた内容で、看護職員個々の段階的な成長を支援するものである。

① 新人看護職員

看護基礎教育で学んだことを土台に、臨床実践能力を身に付けることができるよう育成する。A・B・Cコース研修を通し、看護に必要な基本的知識および技術を習得し、指示・看護手順に従い安全・確実に看護ケアができるよう育成する。Bコース研修（配属部署）には地域連携看護研修を含み、部署における基本的看護だけでなく患者を生活者として捉える視点を学ぶ。また、A・Cコース研修では、救命救急部門、中央診療部門における基本的看護について学ぶ。

② キャリアラダーレベルⅠ

部署での看護に必要な知識を学び、指導や助言を受けながら看護が実践できるよう育成する。また組織におけるメンバーの役割と役割行動について学び、チームメンバーとしての役割を果たすことができるよう育

成する。

③ キャリアラダーレベルⅡ

部署での看護を深めるために必要な知識を学び、標準的な看護を自立して実施できるよう育成する。またプリセプターの役割を理解し、後輩の精神的支援を行うことができるよう育成する。

④ キャリアラダーレベルⅢ

患者が抱える問題の解決に必要な知識を学び、個別的な看護を実践できるよう育成する。

リーダーに期待される役割・機能を理解し、リーダーシップを発揮することができるよう育成する。また看護研究をとおして、専門領域の知識を深め、問題解決に取り組むことができるよう育成する。

⑤ キャリアラダーレベルⅣ

部署における高度で専門的なケアに必要な知識を学び、予測的視点で看護を実践できるよう育成する。またチーム力向上のために期待される役割を理解し、指導力を発揮できるよう育成する。

⑥ キャリアラダーレベルⅤ

複雑な状況における意思決定支援やQOL向上に繋がる知識や考え方を学び、患者や関係者にとって最適な看護を実践できるように育成する。また組織や地域社会から求められる役割を理解し、指導力や教育力が発揮できるよう育成する。

(3) 看護職員が主体的にキャリア開発を図ることができるよう、キャリアラダーレベルに合わせ19コースの研修を整備している。

(4) 領域別教育には、各部署別研修やCT・MRIにおける造影剤注射実施看護師教育プログラムなど看護実践に必要な知識・技術を習得するための研修がある。

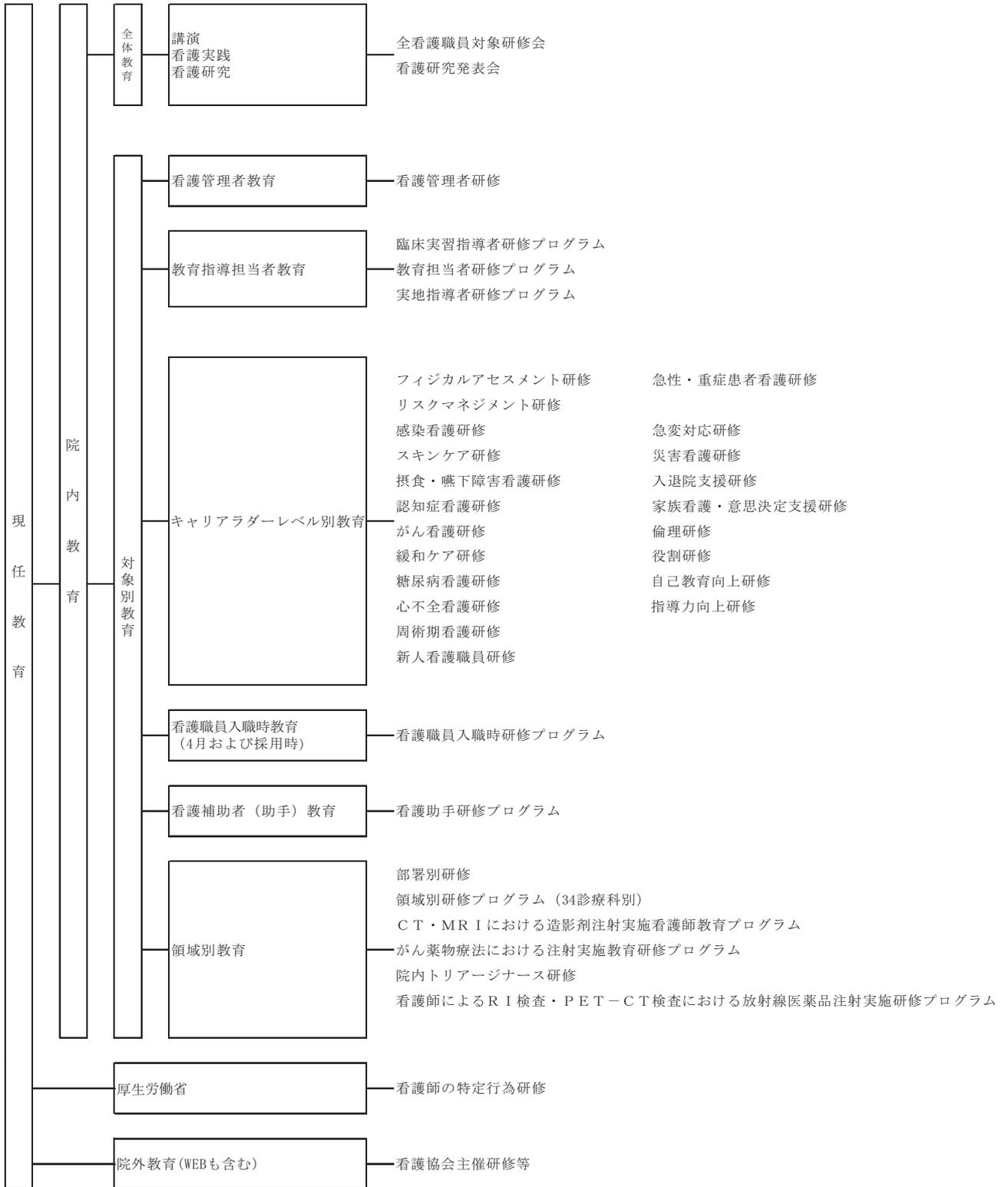
3. 院外教育の概要

看護局の理念に沿い、病院看護業務を実践する上で必要となる研修について、院外教育計画を立案し看護局長の意思決定を受ける。

- 1) 臨床看護実践能力の向上
- 2) 高度・特殊医療の領域の看護実践能力の向上
- 3) 看護学生等の卒前実習指導の充実
- 4) 看護管理者の管理能力の向上
- 5) 看護研究の推進

現任教育の構造

2023年4月1日



5.3.13 実習受け入れ体制

本院は院外から各種の看護研修生および学生実習を受け入れています。施設としての受け入れ窓口は事務局の総務課が担当し、看護部門においては看護局次長（総務担当）が調整にあっています。各部署における教育体制は、看護師長を総括責任者、副看護師長（以下、副師長とする）を教育全般の実務担当者と位置づけていますが、実習を受け入れ、責任を持って支援する体制として部署に臨床実習指導者を配置しています。到達目標の違う種々の実習や多数の学生に対応し、実習を意義あるものとするために以下の点に努力しています。

- ・教育主体である学校側との連絡調整会議（臨床実習運営委員会）を定例的に開催し、実習の目的・目標・内容・方法について理解する。
- ・教員とのコミュニケーションを図り、役割分担・連携を明確にする。
- ・スタッフに、その時々の実習の種類・対象（学年、レディネス）・到達目標を伝え、理解と協力が得られるように働きかける。また、支援を依頼する時には具体的にポイントを押さえ、終了後、必ず評価や意見、その他支援に必要な情報を聞く。
- ・実習環境の人的整備として、普段から教育的雰囲気の土壌作りをしておくことが大切である。実習を受け入れることは、部署の看護の質を高めることである。後輩育成は看護職全員で行うことを意識づけ、スタッフ間の円滑なコミュニケーションを心がける。
- ・実習期間の勤務計画の作成にあたっては、可能な限り、臨床実習指導者や副師長が実習支援に継続して専念できるように工夫する。しかし、その体制がとれない場合には、学生の受け持ち患者のケアを担当看護師が一緒に行いながら支援に当たる。
- ・実習支援者（副師長、臨床実習指導者）は、年間を通して積極的に院内外の研修会に参加し、自己教育力を高め、自己啓発に努める。

5.3.14 専門看護師・認定看護師

氏名	資格等
伊藤千加子	認定看護管理者
今岡 桂子	認定看護管理者
田根 圭子	認定看護管理者
岡田 千秋	認定看護管理者
古林 映子	がん看護専門看護師 がん化学療法看護認定看護師
佐藤 杏子	がん薬物療法看護認定看護師
立原 怜	老人看護専門看護師
岡 愛	老人看護専門看護師
馬庭 祐子	摂食嚥下障害看護認定看護師
尾原 千尋	精神看護専門看護師
小松 歩美	緩和ケア認定看護師
荒木 繭	緩和ケア認定看護師
西村 恭子	皮膚・排泄ケア認定看護師
山根 麗華	感染管理認定看護師
浦部 涼子	クリティカルケア認定看護師
曾田 摂子	認知症看護認定看護師
山中ゆかり	認知症看護認定看護師
和田 優子	がん放射線療法看護認定看護師
原 真紀	乳がん看護認定看護師
糸賀 幸子	糖尿病看護認定看護師
西尾 万紀	クリティカルケア認定看護師
錦織 慶子	慢性心不全看護認定看護師
小原 友子	皮膚・排泄ケア認定看護師
妹尾千賀子	感染管理認定看護師
栗原 甲介	手術看護認定看護師
石橋 優	摂食嚥下障害看護認定看護師

特定看護師

特定行為区分	研修修了看護師
創傷管理関連	小原友子、西村恭子、浦部涼子
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	小原友子、西村恭子、馬庭祐子、浦部涼子、西尾万紀 板垣佑美、佐藤杏子、妹尾千賀子、長田美由紀、石橋 優 山田洋一、荒木 繭、今岡静香、長岡高之、陰山 真 岡田奈津美、鶴原寛子、藤原沙恵
創部ドレーン管理関連	小原友子、西村恭子、西尾万紀、今岡静香
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	上野友香、糸賀幸子、勝部あけみ、山田洋一、長岡高之、山田知草
循環動態に係る薬剤投与関連	沖政真治、松田 諒、中山英里、布村 学
感染に係る薬剤投与関連	妹尾千賀子、今岡静香、岡田奈津美、鶴原寛子
術中麻酔管理領域	遠藤智弘、金山将裕、元田美枝
動脈血液ガス分析関連	松田 諒、勝部あけみ、今岡静香
術後疼痛管理関連	今岡静香
栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	今岡静香
集中治療領域	金山将裕

専門看護師・認定看護師の活動

摂食嚥下障害看護認定看護師／特定看護師（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連） 馬庭 祐子

看護局に所属し、摂食・嚥下障害がある方が安全に経口摂取できることを目標に活動を行いました。摂食・嚥下チームの一員として、多職種と連携して摂食・嚥下障害に関する相談に対応し、嚥下障害のスクリーニングテストの実施、患者の嚥下機能に合った食事形態の選択やステップアップ、食事支援の実践や提案などを行いました。摂食・嚥下障害看護の知識・技術の普及を図ることを目標に、院内教育（新入看護職員研修、キャリアラダーレベル別研修、部署別研修など）を行いました。

また、栄養サポートチーム（NST）の一員として、多職種と連携して栄養サポートを実施しました。毎週、回診・カンファレンスを実施し、担当医へ栄養療法の提案を行いました。依頼型NSTの活動に加えて、NSTが栄養不良患者を抽出し、積極的に栄養サポートを行っています。

摂食嚥下障害看護認定看護師／特定看護師（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連） 石橋 優

4階東病棟精神神経科の患者の看護に従事しています。また活動の一環で摂食嚥下障害をもつ患者のスクリーニングや嚥下機能にあった食形態の選択や提案、食事摂取方法の検討を病棟看護師と行っています。また毎週月曜日の認定活動日には、嚥下チームとして多職種とVEの参加や患者にあった食形態の選択、食事摂取方法の実践や検討を行っています。

院外では看護学校の派遣講師も行いました。

皮膚・排泄ケア認定看護師／

特定看護師（創傷管理関連、創部ドレーン管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連） 西村 恭子

褥瘡管理者として、院内の褥瘡発生の低下、予防ケアの充実、発生後の早期治療を目標に、褥瘡ハイリスク患者のケアや褥瘡回診、院内教育（新人看護師研修、キャリアラダーレベルスキンケア研修、褥瘡専任看護師研修等）、褥瘡カンファレンスや事例検討を通して病棟スタッフとともにケアを実践しました。

日本病院会や全自病のQIデータ、院内発生データから当院の質の評価、課題を検討し、褥瘡委員会において多職種協働でスキンケア、マットレスの選択、スキンケア対応、経過連携、踵部褥瘡の予防に取り組みました。

また、ストーマ造設患者に対し、病棟看護師、地域医療連携センター、訪問看護ステーションと協働し、ストーマ外来で継続的にケアを行いました。

褥瘡や創傷を有する患者、ストーマ造設患者の在宅へのシームレスな連携をめざし、退院前合同カンファレンス、退院前後訪問指導も継続して実施しています。R5年度に訪問看護師との同行訪問を、当院に受診歴のない患者さんにも

実施できるように体制を整備し、地域の医療従事者と協働し在宅療養を支援しています。訪問看護師や病院医師・在宅医との協働で難治性褥瘡が治癒に至った症例も経験しました。今後も院内外の皮膚・排泄ケア領域の充実、患者さんのサポートができるように活動していきたいと思いをします。

皮膚・排泄ケア認定看護師／

特定看護師（創傷管理関連、創部ドレーン管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連） 小原 友子

2023年度から褥瘡管理者として院内を横断的に活動することになりました。「看護師が褥瘡発生リスクの高い患者に対して個別的な褥瘡ケアを実施することができ、院内発生褥瘡が減少する」を目標に、褥瘡ハイリスク患者のケアや褥瘡回診、院内研修、褥瘡カンファレンスやベッドサイドでの直接指導を通して病棟スタッフとともにケアの実践を行いました。

ストーマ外来を担当し、退院後在宅でストーマセルフケアを行なう患者さんのサポートを行ないました。自宅退院される患者さんにはストーマ外来を受診していただいています。地域の訪問看護師とも連携し困った時にいつでも相談できる関係づくりを行っています。また、院内の創傷・オストミー・失禁ケアのコンサルテーションに対応しました。褥瘡対策委員会のコアメンバーとして委員会の運営、褥瘡回診、褥瘡の院内発生を減少させるための活動をしました。ストーマや創・ドレーン管理などを退院後も在宅で行う患者さんも増えており、認定看護師として専門的な知識と技術を活かした退院支援にも力を入れています。退院後訪問・同行訪問も積極的に行い、地域と共に患者さんのサポートを今後も行なっていきたいと思いをします。

がん看護専門看護師／がん化学療法看護認定看護師 古林 映子

外来や病棟のがん患者さんの告知や治療・療養の意思決定支援に携わっています。がんの告知後の気持ちのつらさや今後の治療の見通し、治療と仕事の両立を支援しながら、がん患者さんがその人らしく生活できるよう関わっています。また、院内の緩和ケアチームに所属し、専任看護師としてがん患者さんの全人的苦痛を緩和できるようチームの一員として活動を行っています。多職種との連携を図りながら、病棟看護師と協働で患者さんの希望に添えるよう支援を行っています。さらに、がん化学療法を受ける方の初回投与や外来化学療法へ移行される方が安心して治療が継続できるよう、副作用モニタリングやセルフケア支援を行っています。がん看護外来では術後続発性リンパ浮腫を起こした患者の直接ケア指導、療養支援に関わり外来患者のサポートを行っています。

がん薬物療法看護認定看護師／特定看護師（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連） 佐藤 杏子

令和5年に特定行為研修を修了し、分野名ががん化学療法看護認定看護師から変更になりました。昨年も引き続き外来化学療法センターにスタッフとして勤務し、がん化学療法を受ける患者・家族への看護（セルフケア支援・症状モニタリングなど）、OJTでスタッフ教育・支援を行いました。対象の患者にはがん指導管理料（口）を算定しています。自身ではがんゲノムに関する学習をすすめており、昨年はがんゲノム医療コーディネーターの研修を修了しました。また、臨床研究コーディネーターとして不定期で活動しており、がん領域の研究支援を行いました。

緩和ケア認定看護師 小松 歩美

緩和ケアチームの専従看護師として、多職種と連携しながらトータルペインの観点から患者・家族の苦痛を探索・評価し、安全で安楽な看護ケアの提供ができるよう支援することと、治療や療養生活について患者・家族の意向を確認し、その意思決定を支援することを目標に活動を行いました。緩和ケアチームに依頼のある患者だけではなく、外来受診時、入院時に苦痛のスクリーニングを行い、患者の苦痛や気がかりなことなどに気づき、早期に対応が出来るよう、スタッフと連携を図りながら取り組みました。緩和ケアナース会では、痛みのある患者への看護ケアや苦痛のスクリーニングについて、現状の課題をあげ、部署やナース会全体での取り組みを行いました。

緩和ケア認定看護師／特定看護師（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連） 荒木 蘭

今年度、緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。8階病棟に所属し、患者や家族の苦痛や不安に耳を傾け、その人らしく日々の生活を送ることができるよう看護実践を行っています。緩和ケアチームの一員として、患者や家族の抱

える苦痛をトータルペインの視点でアセスメントし、多職種と協働して支援を行いました。院内教育では、キャリアラダー別研修や新人看護師研修の講師を行いました。学会や院内外の研修会に参加し、自己研鑽に努めました。

乳がん看護認定看護師 原 真紀

外科系外来のスタッフとして勤務しながら、患者さんが安心して療養生活が送れるように情報提供や意思決定支援、心理的支援などを行っています。今年度も主に乳腺科の病状説明に同席し、意思決定や療養の支援を行いました。治療や在宅療養は長期にわたるため、外来看護師や他部署スタッフと情報を共有し、継続的な関わりを持てるようがん看護外来（乳腺）を活用しました。2024年度はアピアランス支援モデル事業の採択を受け、実務担当者として活動しました。院内の資材を見直し、必要な展示品を購入、パンフレットやリーフレットなど院内統一したものにできるよう見直し、揃いのリーフレットスタンドに入れ各所に配置しました。アピアランスケアについて、院内の周知と職員の学習機会の確保のため研修会を企画、実施しました。

がん放射線療法看護認定看護師 和田 優子

中央診療部門に所属し、毎月10～15日程度放射線治療室を担当しています。放射線治療科初診に同席し、病状や治療への不安や疑問、治療への意欲など患者さんとご家族の思いに触れながら、意思決定支援を行いました。治療開始後は、オリエンテーション、治療中の副作用観察とセルフケア指導、精神的支援などを行い、患者さんが苦痛や不安を最小限に治療完遂できることを目標に看護をしています。がん看護外来（放射線療法）では、主に放射線治療終了後の副作用の経過観察とセルフケア指導、心理的不安軽減のための支援に努めました。キャリアラダーレベル別研修「がん看護シリーズ」の担当や、治療室または病棟看護師からの相談に対応する中で、指導教育的な関りをもちつつ、情報共有やケアの検討を行いました。また、県内の同分野認定看護師との定期的な情報交換会や学会やセミナーに参加し、自己研鑽に努めました。

感染管理認定看護師／

特定看護師（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、感染に係る薬剤投与関連） 妹尾 千賀子

新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）が5類感染症となりましたが、COVID-19の感染者は年間を通して常時存在しており、院内で小規模なクラスターは起こっていましたが、病棟閉鎖を実施したのは1件に留めることができました。

地域連携では、感染症対策加算2取得の2病院、加算3取得1病院、外来感染症対策加算取得の53診療所、出雲保健所と連携し、年4回の合同カンファレンスや年1回の新興感染症を想定した訓練、3施設を訪問しての感染対策の助言、相互チェックを連携2病院と行いました。

また、島根県立大学に感染管理B課程認定看護師教育課程履修生への講義、臨地実習特定行為区分別実習の実習指導を行いました。

感染管理認定看護師 山根 麗華

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザのクラスター発生があり、院内関係部署との情報共有などを行いました。また、それに伴う、各部署への指導やコンサルテーション対応を行いました。その他、新入職員対象研修、院内の看護師を対象とした感染看護研修の実施、サーベイランス（中心静脈ライン関連血流感染、薬剤耐性菌、手指衛生等）の実施、SSIサーベイランスWG活動などを行いました。手指衛生については、感染リンクナースと協力し手指衛生遵守向上のための取り組みを継続して行いました。

また、病院機能評価受審もあり、マニュアルの見直しや、院内の感染対策の確認・周知等を行いました。2023年度に引き続き、島根県立大学に感染管理認定看護師教育課程受講生への講義、実習の受け入れ・指導を行いました。

クリティカルケア認定看護師／

特定看護師（創傷管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連） 浦部 涼子

2024年度は外来・中央診療部門の看護部長として管理業務を主業務としました。急性期総合病院の外来・検査部門に

において、質の高い医療提供ができるよう、クリティカルケア認定看護師としての視点を持って管理業務を行いました。

院内研修では、患者の病状の変化に気づき対応できるスタッフの育成を目指し、フィジカルアセスメント研修、BLS研修、災害看護研修などを担当しました。院内の災害対応に関して、委員会活動や改善活動に取り組みました。

院外では、救急看護に関する各種セミナーのインストラクター、看護学校の派遣講師などを務めました。

クリティカルケア認定看護師／

特定看護師（創部ドレーン管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連） 西尾 万紀

患者の重症化予防と重症患者の家族支援を目標に横断的に活動を行いました。ICUやHCUにおいては、重症患者の状態悪化を最小限にとどめつつ、患者・家族に寄り添った看護ケアが提供できるよう看護スタッフとともに考えながら実践やOJTを行いました。RRSチームとしては、外来や入院中患者の重症化予防と有害事象（予期せぬ心停止、予期せぬ死亡、予期せぬICU入室）減少を目標に、NEWS（早期警戒スコア）の導入や看護職員の気づく能力と判断力向上のためのキャリアラダー研修を行いました。また、昨年からはICU退室患者やNEWSスコアが高く懸念のある患者について病棟ラウンド（CCOT）を開始し、継続看護やRRS要請基準に該当する患者への相談やOJTを行いました。

院外においては、集中治療学会での研究発表や参加やセミナーのファシリテーター、島根県立大学の派遣講師などを務めました。

慢性心不全看護認定看護師 錦織 慶子

外来通院中の患者や入院中の患者に対して、心不全の増悪予防と生活の質の改善を目指し活動しています。心不全はコモン・ディージーズであり、高齢化に伴って増加しています。そこで、2020年10月から心不全チームを結成し多職種で支援できる体制を整えました。心不全増悪や治療による安静に伴う筋力低下に対して、入院早期から安全に日常生活動作（ADL）を拡大できるように医師や病棟看護師と「ADLプロトコル」を作成しました。退院後の療養環境調整を多職種で効率的に支援するために2023年3月から心不全パスを導入し、第89回日本循環器学会学術集会において心不全パスの成果を発表しました。

高齢化する心不全患者の終末期を見据えた医療体制整備の一環として、2018年度から末期心不全患者に緩和ケア診療加算が取得できるようになりました。呼吸困難などの苦痛緩和だけでなく、アドバンス・ケア・プランニングへ向けた支援を緩和ケアチームとともに、心不全患者に行いました。

認知症看護認定看護師 曾田 摂子

2024年度は診療報酬改定により身体拘束最小化の取り組みのために、運用規定の見直しや身体拘束最小化チームの活動を開始し、身体拘束最小化委員会とともに取り組みを行いました。認知機能低下のある患者さんが安心して治療が受けられるよう、認知症ケアチームとして、病棟の依頼を受けて訪問し、病棟看護師と療養環境やケアについて協議し看護計画の追加、多職種でのチーム回診を行いました。専従として積極的に訪問し環境調整や身体的拘束の解除に向けたケアを実践するようになっています。定期カンファレンスで情報共有することにより病棟と連携を図りました。また認知症ケアリンクナース会においては、認知症ケアの浸透を目指し、それぞれの病棟で中心的役割が担えるよう、人材育成と活動の支援をしました。院内教育として看護師を対象にキャリアラダー別研修を企画し、認知症看護の質の向上につながるよう研修を行いました。

認知症看護認定看護師 山中 ゆかり

精神神経科病棟のスタッフとして入院患者の看護実践を行っています。週2日は認定活動に従事し、毎週水曜日には精神科医師、薬剤師らと認知症ケアチーム活動を行い、一般病棟に入院している認知症ケアの必要な患者さん、精神疾患を持つ患者さんへのケアについて多職種で介入しました。また、一般病棟で開催されている認知症ケアに関するカンファレンスに参加する機会もあり、情報共有をしたり身体抑制最小化に向け助言を行いました。院内教育では認知症看護のキャリアラダー別研修の講師として看護師への研修を行いました。

手術看護認定看護師 栗原 甲介

周手術期に患者さんの顕在的・潜在的リスク問題に対応するため、手術看護実践力の向上を目指し実践指導・部署研修を行いました。ロボット支援下手術導入ではコアメンバー中心に教育体制を整え、多職種との連携を図り急変時対応のシミュレーションを実施しました。部署内外の相談に対応し、手術室と病棟が周術期のリスクに対し共通認識を持てるように努めました。新人看護師研修では周術期を病棟看護の視点で伝え、安全な周術期管理の周知に努めました。院外活動では、島根県立大学看護栄養学部の講師や、日本手術看護学会中国地区島根分会の役員として、県内での研修の企画・開催を行いました。

糖尿病看護認定看護師／特定看護師（血糖コントロールに係る薬剤投与関連） 糸賀 幸子

1月まで10階西病棟でスタッフとして勤務をし、所属病棟の糖尿病看護の質の向上と患者教育を実践できるスタッフの育成を目標に掲げ活動を行いました。2月からは外来所属となり、外来患者の糖尿病合併症予防の指導や、退院後の継続看護を行いました。また、病棟・外来スタッフ、多職種からの相談事項に対応し支援を行いました。スタッフ教育に関しては、10階西病棟での糖尿病教育入院の参加や、糖尿病療養指導士の育成に努め、今年度は2名の看護師が日本糖尿病療養指導士の資格を取得しています。組織活動では、糖尿病サポート委員会に所属し、糖尿病に関する情報提供や予防活動を中心に行っています。院外においては、糖尿病に関する学会や研修会の参加や糖尿病のネットワーク委員として活動を行い、糖尿病看護に関する質の向上と情報発信の機会としました。

老人看護専門看護師 立原 伶

2017年度から入退院支援・地域医療連携センターに所属しています。高齢者とその家族等に対する入退院支援・退院調整を通し、高齢者にとって最善と考えられるケア方法や療養先を、多職種と共に考えることを目標に実践をしました。認知症看護認定看護師らと共に、認知症高齢者ができるだけ安心して治療継続ができる方法の検討等を行っています。その他に、各部署からの要望に応じて、意思決定支援・臨床倫理についての勉強会の開催や、高齢者ケアについての相談へ対応することで、自己、および組織としての高齢者ケアの質の向上に努めました。院外においては、島根県看護協会や日本老年看護学会が主催する研修会の講師等による教育や、老年看護学会の理事、認知症ケア学会の代議員、所属の垣根を超えた有志の看護師でACPの普及活動などを行いました。

老人看護専門看護師 岡 愛

10階西病棟に所属し、認知症のある患者さんやせん妄を発症するリスクがあるもしくは発症した患者さんへの個別の、尊厳が守られるようなケアと身体的拘束の最小化に向けた取り組みをスタッフとともに日々考え、実践してまいりました。また、人生の最終段階にある高齢患者とその家族がこれからどのように過ごしたいのか、どのような治療・ケアを望むのかなど意思決定への支援をしてまいりました。院内では、キャリアラダー別研修や新人研修、委員会などの場において、身体的拘束や日常倫理について講義を行い、スタッフとともに日々の看護について振り返りました。認知症ケアチームでの活動を通して他部署における高齢患者へのケアについても支援しました。院外においては地域の方へのACPの普及活動や看護協会が主催する研修会で講師等として教育活動を行いました。

精神看護専門看護師 尾原 千尋

2012年度より母性病棟に所属し、専門資格取得後は周産期における精神症状や社会的ハイリスク妊産婦を対象としたメンタルヘルスケアを行っています。また精神科リエゾンチームの一員として、一般科における患者・家族の精神症状への対応方法や、医療者が抱える倫理的ジレンマに関する相談依頼を受け、多職種と連携して支援調整を行いました。この他に、医療者が精神的な負担感を抱えるケースへの相談対応も実践しており、リエゾナーズとして院内全体のメンタルヘルス向上に向けて取り組みました。院外では、大学などの教育機関や地域施設での市民講座、島根県看護協会の研修において講師を務め、心の健康づくりや周産期のメンタルヘルスケアに関する教育活動を行いました。

5.3.15 院外組織役員一覧

氏名	団体名	役員名	任期
伊藤千加子	島根県防災会議	委員	令和2年度～
伊藤千加子	島根県国民保護協議会	委員	令和2年度～
伊藤千加子	日本医学看護学教育学会	副会長	令和5年度～
伊藤千加子	島根県立大学看護栄養交流センター認定看護師教育課程（感染管理）教員会	外部委員	令和4年度～
田根 圭子	日本医学看護学教育学会	理事	令和5年度～
今岡 桂子	出雲圏域緩和ケア検討会	委員	平成29年度～
今岡 桂子	難病患者在宅療養支援検討委員会	委員	平成29年度～
今岡 桂子	出雲市在宅医療・介護連携推進連絡会議	委員	平成29年度～
今岡 桂子	日本医療メディエーター協会山陰支部	常任幹事	平成28年度～
今岡 桂子	出雲市立総合医療センター経営評価委員会	委員	令和6年度～
今岡 桂子	地域連携看護師会	委員	平成29年度～
岡田 千秋	日本医療メディエーター協会山陰支部	会計監事	平成30年度～
飯塚 淳子	日本医療メディエーター協会山陰支部	幹事	令和5年度～
飯塚 淳子	山陰リスクマネジメント研究会	世話人	令和5年度～
黒田 優子	島根県母性衛生学会	理事・幹事	令和3年度～
黒田 優子	日本助産師会勤務助産師部会	中国・四国地区委員	令和5年度～
黒田 優子	島根県助産師会	理事・勤務部会長	令和5年度～
黒田 優子	出雲圏域母子保健推進協議会	委員	令和6年度～
黒田 優子	出雲圏域周産期看護連絡会	委員	令和6年度～
目黒 恵子	島根県母性衛生学会	理事・幹事	令和6年度～
菅井ひとみ	出雲圏域周産期看護連絡会	委員	令和6年度～
菅井ひとみ	出雲圏域医療依存度の高い在宅療養児の生活支援研修会	委員	令和6年度～
諸井 真理	島根県助産師会	常任理事	令和2年度～
妹尾千賀子	山陰インフェクションコントロールセミナー	世話人	平成18年度～
妹尾千賀子	島根感染対策セミナー	幹事	平成20年度～
妹尾千賀子	島根県院内感染制御ネットワーク	専門相談員	令和2年度～
妹尾千賀子	島根県立大学看護栄養交流センター認定看護師教育課程（感染管理）入試委員会	外部委員	令和4年度～
山根 麗華	山陰インフェクションコントロールセミナー	世話人	平成29年度～
山根 麗華	島根感染対策セミナー	幹事	平成27年度～
栗原 甲介	日本手術看護学会中国地区島根分会	委員	平成30年度～
栗原 甲介	島根県リソースナース会	事務局	令和5年度～
西村 恭子	島根創傷研究会	世話人	平成26年度～
西村 恭子	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	評議員	平成27年度～
西村 恭子	中国ストーマリハビリテーション講習会	委員	平成23年度～
西村 恭子	日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会	評議員	令和2年度～
西村 恭子	日本褥瘡学会	評議員	令和5年度～
小松 歩美	痛みを考える会 in 島根	世話人	平成25年度～
小松 歩美	島根がん疼痛緩和研究会	世話人	
永見 晴江	地域連携看護師会	委員	令和5年度～
立原 怜	日本老年看護学会	理事／総務／代議員	令和6年度～
立原 怜	日本認知症ケア学会	代議員	令和4年度～
立原 怜	日本認知症の人の緩和ケア学会	評議員	令和6年度～
浦部 涼子	日本救急看護学会	評議員	平成27年度～
浦部 涼子	島根県 DMAT 看護師連絡会	会長	平成28年度～
古林 映子	島根県 小児・AYA 世代のがん対策部会	委員	令和3年度～
古林 映子	島根県がん診療連携拠点病院 がん看護研修実務担当者会	委員	令和4年度～
西尾 万紀	日本集中治療医学会 中国・四国支部会学会集會	委員	令和4年度～
一ノ名由恵	日本精神科看護協会 島根県支部	委員	令和6年度～
森脇加寿恵	日本手術看護学会中国地区役員会	会計	令和6年度～
森脇加寿恵	日本手術看護学会中国地区島根分会	副会長	令和6年度～

5.4 薬剤局	局長	：金澤 旭宣
	次長	：横手 克樹
	臨床薬剤科長	：園山 智宏
	薬剤管理科長	：安食 健一

病院薬剤師は、地域包括ケアシステムの中で入退院時等における院外の保険薬局との連携強化を図る必要がある。また、医薬品の適正使用への関わりやポリファーマシー対策が重要となり、チーム医療における薬剤師の役割がますます高まっている。更に、後発医薬品の推進、適正価格での医薬品の購入、適正在庫等で、病院経営にも貢献する必要がある。

当院薬剤局では、院外の保険薬局との更なる連携強化、医療の質を担保するための医薬品の適正使用、病院経営への貢献について積極的に取り組んでいる。

1. 院外処方の推進

2024年度の院外処方率：95.0%（救急外来処方を除く）

外来患者さんには院外処方せんを発行し、かかりつけ薬局で薬を受け取ってもらう医薬分業を推進している。これにより、特に複数の医療機関を受診することが多い高齢の患者さん等において、かかりつけ薬局が全ての薬の薬歴管理を一括で行うことで、重複投与や相互作用のチェック等が容易となり、医薬品の適正使用につながっている。あわせて病院での待ち時間短縮等、利便性の向上にもつながっている。

一方、当院の薬剤師は、入院患者さんへの服薬指導、医療スタッフへの医薬品情報の提供、注射調剤業務、抗がん薬治療（外来及び入院化学療法）に関する調剤・患者さんへの説明・副作用チェック、薬物血中濃度モニタリング等、専門性を生かした業務を実施している。

2. 調剤業務（内服、外用）

外来、入院患者の内服は患者サービスと安全管理の観点から、服用時毎（朝、昼、夕、寝る前等）の一包化調剤を行っている。これにより服用間違いが少なく、患者の安全管理、看護師の業務支援に貢献している。

3. 麻薬処方

がん患者さんの疼痛を和らげるため、1986年にWHO方式がん疼痛治療法が公表され、また麻薬及び向精神薬取締法の一部改正により麻薬等の取り扱いが規制緩和され、さらに麻薬の新製品等も順次発売されたことにより、麻薬の使用量は急激に増加しており、在宅療養を目指した麻薬施用の弾力的な運用も図られている。

また、麻薬の使用が、術後疼痛や救命救急部門での外傷痛、がん以外の色々な疾患から起こる慢性疼痛にも使用されるようになった。

一方、当院は2005年度に地域がん診療拠点病院、2006年度に地域がん診療連携拠点病院に指定され、がん治療の中核病院として中心的な役割を担っている。

2010年度に麻薬管理システムを導入し、麻薬の管理の適正化及び効率化を図っている。

4. 注射調剤業務

薬剤の用法用量、投与方法、配合変化、相互作用、禁忌薬剤、アレルギー歴、腎・肝機能などを確認し、個々の患者さんに適した注射処方であるかチェックを行っている。看護師のインシデントの3割は薬剤に関するものであることから、患者さんの安全管理、看護業務の支援を目的として、1回施用ごとに薬品を薬袋に入れ、個人別に注射カートにセットして払い出しを行っている。さらに医薬品を安全に供給すること、ものの流れの整流化、配置薬の管理の適正化を図るため、緊急時以外の入院臨時注射薬、処置薬について確認しセット払い出しを行っている。カリウム製剤など特に安全管理が必要な薬剤については24時間体制で必ず薬剤師が処方を監査してから払い出すようにシステム化して対応している。

5. 抗がん薬治療（外来化学療法、入院化学療法）

がんの治療は、手術、薬物療法、放射線療法が単独あるいは集学的に行われる。従来、抗がん薬治療は副作用など有害事象のコントロールが困難なため、入院の上行われてきたが、新規制吐薬の開発など支持療法の進歩に伴い、大量化学療法や特定の薬剤を含むレジメンを除いては、入院期間の短縮、及び患者のQOL（生活の質）の向上をめざし、外来での治療も積極的に行われるようになってきている。

多くのがん化学療法は有用性と危険性のバランスの上に成り立っている。安全な治療を行うために、医師から事前

に提出された投与計画が適切であるのかを、信頼できる文献等をもとに薬剤師が薬学的観点によるチェックを行い、その投与計画を電子カルテ上に掲載し、他の医療従事者と情報を共有している。2012年2月にはレジメンオーダーシステムを導入し、より安全かつ質の高い化学療法を提供することが可能となった。

薬剤師による抗がん薬の無菌調製について、外来分は2006年4月から全面的に、また、入院分は2008年3月から、安全キャビネットを備えた調製室で無菌調製を行っている。2019年3月からは入院分については休日にも調製を実施している。2024年度は、延べ人数の平均で外来は13人/日程度、入院は5人/日程度の調製を行った。薬剤師は患者の薬歴管理を行い、投与計画に沿っているか、がん化学療法当日の検査値が問題ないか等を確認した上で調剤し、医師、薬剤師、看護師と連携を取って治療を行っている。

患者への直接的な関わりについて、入院患者に対しては、薬剤管理指導業務の一環として投与スケジュールや生じうる副作用と対処法について説明を行うとともに継続的に副作用モニタリングの面談を行い、必要な支持療法等の提案を行っている。また、外来患者のうち新たに抗がん薬による治療を開始する、またはレジメンが変更となる患者に対して、がん専門薬剤師またはがん薬物療法認定薬剤師の認定を有する薬剤師が抗がん薬についての説明を行うとともに、継続的に医師の診察前に面談を行い、必要な支持療法等の提案を行っている。外来で化学療法を継続中の患者には必要に応じてお薬手帳に治療レジメンの内容や、副作用の発現状況等を貼付することで他の医療機関や調剤薬局との情報共有を行っている。

6. 高カロリー輸液の無菌調製

高カロリー輸液療法は中心静脈内にカテーテルを留置し、高濃度・高エネルギーの栄養成分を持続的に投与する栄養法である。これにより経口摂取ができなくても生命を維持し、低栄養患者の全身状態を改善し、疾病の回復力を高める。また、在院日数の短縮にもつながる。この手技は感染を防止するため厳重な無菌管理が必要であり、薬剤局では無菌室で無菌調製を実施している。

7. 病棟薬剤業務及び薬剤管理指導業務

全病棟に薬剤師が常駐し、入院患者を対象として、主に投薬前には病棟薬剤業務を行い、投薬後であれば薬剤管理指導業務を行っている。

病棟薬剤業務としては、他の医療従事者とコミュニケーションをとり、患者背景や服薬状況の把握（持参薬、一般薬も含めた服薬状況やアレルギー歴及び健康食品等の使用状況、ハイリスク薬の有無）とその評価に基づく処方提案を行っている。その際、「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」で注意喚起されている薬剤や薬効が重複する薬剤の併用があった場合は医師に情報提供し、カンファレンスを通じてポリファーマシーを解消する取り組みを行っている。また、投与前の薬剤相互作用の有無の確認、特に安全管理が必要な医薬品等については投与前に流量または投与量の確認、及び、患者への治療計画の説明を行っている。

薬剤管理指導業務としては、薬歴確認、薬学的管理（薬剤投与量、投与方法、相互作用、重複投与、配合変化、配合禁忌等の確認）を行い、投薬の有効性・安全性を確認している。服薬指導時には、1997年から薬剤師法の改正により患者またはその看護にあたっているものに対し薬剤情報提供が義務づけられており、お薬説明書を渡して説明している。服薬指導後には、薬剤管理指導記録簿を作成、カルテに展開することで他の医療従事者との情報共有を図っている。

また手術等の観血的手技の予定のある患者においては、後述のとおり入退院サポートセンターにて常用薬確認や休薬指導等を行っているが、2022年度6月からは手術後における薬剤管理指導業務として、主に病棟担当薬剤師が、周術期専任薬剤師と連携して、必要に応じて以下の薬学的管理を行っている。

- 1) 術前休止薬の内容および休薬状況の確認（常用薬レポート等による）と再開確認、ならびに再開されていない場合の医師への再開提案。
- 2) 患者との面談あるいは病棟看護師等からの聞き取りによる、術後鎮痛薬の使用効果と副作用の評価および必要に応じた処方提案。
- 3) その他周術期に必要な薬学的管理

ブレアボイド報告

医療現場に勤務する薬剤師が薬物療法に関連した患者不利益を回避し、最小限に留めるために行った薬学的患者ケアの実例報告の呼称で、日本病院薬剤師会が提唱し、収集しているものである。

2023年度の報告件数は538件で、2021年度、2022年度に引き続き、当院は島根県内ではトップクラスの件数を報告している。

8. 常用薬確認業務

高齢化社会の進行、後発医薬品の増加等により、患者が入院時に持ち込む薬は増加傾向にあり、種類や規格も多様化している。当院では、病棟薬剤業務の一環として入院患者の常用薬確認を行っている。持参薬の錠剤鑑別を行うだけでなく、患者又は家族等と面談を行い、一般薬、健康食品等を含めた入院前の服薬状況の把握を行っている（7. 病棟薬剤業務及び薬剤管理指導業務を参照）。常用薬確認業務で得られた情報はカルテ記載し、医療従事者で情報を共有することによって、リスク軽減や入院後の治療を円滑に行うことに貢献している。また、2014年度より、持参薬管理システムとIIMSを連携させ、医師の処方入力の際に、常用薬情報及び薬剤師が提案する当院採用の代替薬を表示させることで、医師の業務の負担を軽減している。

2010年度には「持参薬運用要項」を作成し、院内における安全な持参薬の取扱い方法を定め、実践している。

2016年8月より薬剤師が入退院サポートセンターに常駐し、入院後に手術等の観血的手技の予定のある患者に対して、入院決定時に常用薬と抗凝固薬等の休薬すべき薬がないか確認を行い、必要な休薬指示がないと思われる場合は、医師への問い合わせを行っている。2020年3月より入院後造影剤使用予定患者のメトホルミン内服の有無を確認し必要な休薬指示がないと思われる場合は、医師への問い合わせを行っている。また、上記以外にも休薬指示のある患者には休薬する薬の説明を行っている。

9. 医薬品管理業務

医薬品は診療上必要不可欠なもので、必要時に必要とする医薬品を在庫し円滑に供給できる体制を確保することが重要である。さらに、その医薬品が本来有する有効性はもちろん、安全性も使用時に十分確保されていなければならない。

薬剤局は事務局業務課及びSPDとの連携によって、院内全体の医薬品の適正な保管管理、品質管理、適正在庫数の確保及び不良在庫の削減等に取り組んでいる。

各病棟部署には患者の急変時や緊急対応のため品目数を限って薬品を定数配置している。病棟に配置されている医薬品の品質管理（保管状況及び使用期限等）の確認指導を定期的に薬剤師が巡回し、不良在庫品の排除等を行うなど、患者の安全管理に貢献している。

10. 薬物血中濃度モニタリング（TDM）業務

薬物代謝・排泄などの個人差のため、同じ投与方法を行っても薬剤の血液中濃度は患者さん毎に大きく異なり、薬剤の効果や副作用の表れ方が違ってくる。TDMとは薬物の血中濃度を測定し、その測定結果をもとに薬物速度論的解析を薬剤師が実施し、個々の患者さんに応じた最適の投与量、投与間隔を設定し、安全かつ有効な薬物治療を組み立て、医師の処方設計の支援を行うものである。現在、抗MRSA薬の適正使用を行うために、抗MRSA薬2剤のTDMを実施している。

目 的

- ① 低濃度域での漫然投与の防止、高濃度域での副作用の発現防止に寄与し、治療の有効性・安全性を高める。
- ② 治療期間の短縮化、治療期間中に使用する薬剤投与量を最小限にとどめることによる治療費の削減に寄与する。
- ③ 漫然とした投与を阻止し、耐性菌の発現を防止し、院内感染防止対策に寄与する。

11. 製剤業務

厚生労働省が認めている医薬品の使用方法に基づいて、あらかじめ作成しておく製剤（予製剤）がある。また、高度特殊医療に対応するために市販されていないが、治療効果や安全性等が確認され国内実績があるもので、病院で承認された場合には、院内で薬剤師が製造して特殊院内製剤として提供している。

12. 救命救急部門業務

救命救急医療の領域で医療チームの一員として薬剤師の活動が全国的に増加している。当院においても、2008年4月から救命救急外来、集中治療室、救命救急病棟において薬剤師業務を開始している。365日体制で平日は夜間20:30まで、休日・祝日は日勤帯で業務を行っている。また、2016年9月より手術室において常駐を開始し、手術室の医薬品管理を行っている。

主な業務内容

- ① 薬剤管理指導業務
- ② 常用薬確認

- ③ 医薬品情報提供業務
- ④ 医薬品管理（配置医薬品、救急カート医薬品、麻薬・向精神薬・毒薬・劇薬・冷所保管薬・全身麻酔薬）

13. 医薬品情報管理業務（DI業務）

日進月歩する医療内容に即応し、医薬品に関わる事故を防止し、患者に最適な医療を提供するためには、最新の薬物療法に関する情報を収集し、患者や医療関係者へ提供する必要がある。また、院内における医薬品の使用状況を常に把握するとともに、医薬品に関する副作用・不具合等の情報のうち、迅速な対応が必要と考えられる場合には、該当の医薬品を使用している患者を特定し、他職種と連携して必要な措置を迅速に講じる必要がある。

医薬品情報管理室（DI室）では、医師、看護師、薬剤師など医療従事者への支援とともに、医薬品の適正使用による患者の安全確保と治療に貢献している。

実 績

- ① 医師、看護師、病棟薬剤師等の医療従事者や患者からの問い合わせに対する、根拠（エビデンス）に基づいた情報提供
- ② 医薬品に関わる重要な情報（緊急安全性情報、安全性速報、その他重要な添付文書の改訂等）が発出された際の医師、薬剤師、看護師等の医療従事者および患者への情報提供、ならびに病棟薬剤師等と連携した患者状態の把握
- ③ 電子カルテ内に設けている医薬品情報コーナーへ必要な情報を掲載・更新することや、院内メール等でのお知らせ等による他職種への情報提供
- ④ 薬事委員会の資料作成
- ⑤ 院内感染防止対策委員会等の各種委員会への支援
- ⑥ 医薬品に関する副作用が発生した際の必要な措置
- ⑦ 医薬品関連マスタメンテナンス
- ⑧ 院内フォーミュラリーの作成

14. 外来患者への薬剤情報提供

外来患者へお薬説明書とお薬手帳用紙や、点字及びSPコードによる情報提供、薬剤受付での説明を行うことで、医薬品の適正使用、安全管理、治療に貢献している。

15. マスタメンテナンス業務

電子カルテシステムではカルテ上で医師がオーダーした薬品が調剤データ、看護業務、会計等に正確に反映しなくてはならない。また、その薬剤の特性に適した投与方法のチェックもカルテ上でかかり、医療事故を未然に防ぐためにマスタを設定しなくてはならない。電子カルテの成立、管理、円滑な医療行為への支援、薬剤に伴う事故の防止、正確な診療録の作成、患者への情報提供を行うため、薬剤師が薬学的知識をもとにマスタメンテを行っている。

マスタの種類

- ① 薬品マスタ（電子カルテ）
- ② 薬剤チェックシステム
- ③ 調剤システムマスタ
- ④ お薬説明書用マスタ
- ⑤ 注射薬払い出しシステムマスタ
- ⑥ 化学療法支援システムマスタ
- ⑦ 麻薬管理システムマスタ
- ⑧ 持参薬鑑別システムマスタ

16. チーム医療としての活動

1) 院内感染防止対策委員会・感染制御委員会

薬剤師の専門性を生かして、抗菌薬や消毒薬の適正使用について医療従事者へ指導を実施している。また、抗MRSA薬の薬物血中濃度モニタリング、医薬品情報提供等の活動を行い、院内感染防止に寄与し、患者や医療従事者の安全管理を推進している。また Infection Control Team（ICT）、Antimicrobial Stewardship Team（AST）に参加し、

様々な職種と連携を図り、院内感染防止対策や抗菌薬適正使用の推進を目標に取り組んでいる。

活動内容

- ① 医療従事者に対する教育・医薬品および消毒薬などの情報提供
- ② 院内抗菌薬使用状況と耐性菌発生状況の監視（検査技術科との協力）
- ③ 抗 MRSA 薬の血中濃度モニタリング・投与設計
- ④ 使用許可届出対象抗菌薬・長期使用届出対象抗菌薬の許可・届出書の管理および報告・検討
- ⑤ 長期抗菌薬使用患者の把握と AST への報告・検討
- ⑥ 院内巡回（ICT ラウンドへの参加）
- ⑦ 採用抗菌薬の見直し
- ⑧ 消毒薬使用基準の作成、定期見直し
- ⑨ 関係マニュアルの見直し
- ⑩ 関係薬剤（針刺し事故時の抗 HIV 薬等）の管理
- ⑪ 関係学会・研修会へ参加・研究発表
- ⑫ その他

2) 栄養サポートチーム

栄養療法は、すべての疾患医療に共通する最も基本的な医療であり、治療効果を高めるためには、適切な栄養管理が必要である。薬剤師は専門性を生かし、チームの一員として活動することで、栄養状態の改善、在院日数の短縮や、合併症の予防・早期発見、感染防止、医療過誤の防止・早期発見など患者 QOL の向上に貢献している。

活動内容

- ① 栄養管理方法の提言
- ② 医薬品情報の提供
- ③ 院内巡回
- ④ 医療従事者に対する教育
- ⑤ 栄養スクリーニング

3) 医療事故防止・安全管理委員会

「人間はエラーをおこすもの」といわれ、人間のエラーの確率は、単純な作業で1/100、整備された環境での作業で1/1000であり、人間の処理機能には限界があるといわれている。ハインリッヒは労災事故の研究で、1件の重大事故の背景には29件の同種の軽症事故、更に300件の同種の障害に至らない事故が存在するとしている。これが有名なハインリッヒの法則である。

当院薬剤局では、医療事故防止・安全管理委員会活動の一環として医薬品安全管理責任者を置き、医療の質の向上に努め、患者の安心と安全に寄与し、信頼を確立するため Safety Management System にて医薬品に関するヒヤリハット事例、事故事例を収集・把握している。これらの報告事例の原因分析を行い、対応策をとり、現場にフィードバックし事故回避に努めている。

また、定期的に医師への疑義照会内容をまとめ、全ての医師等医療スタッフへ情報をフィードバックしている。

4) 緩和ケアチーム

患者・家族の苦痛が軽減し、QOL を高め、大切な時間をその人らしく過ごせるように、多職種がそれぞれの分野から多角的なアプローチを行う、チームで援助していく必要性はますます高まってきている。また、医療スタッフのサポートや教育を通して緩和ケアに関する知識・技術を高め、病院全体の緩和ケアのレベル向上を図ることが重要である。緩和医療の中で、疼痛治療のみならず、様々な身体症状の緩和、精神心理的な問題に薬物療法の占める割合は大きく、薬剤師は積極的に関わっている。

また、2018年より心不全も緩和ケアの対象となり、介入の場を広げている。

活動内容

- ① カンファレンスに参加
- ② 医薬品情報の提供
- ③ 病棟担当薬剤師との連携

- ④ 病棟スタッフからの質問・相談に対応
- ⑤ 薬物療法に関する勉強会
- ⑥ その他

5) 褥瘡対策チーム

多職種による連携が褥瘡の治療・予防の質の向上につながる。褥瘡治療において、病態にあった外用剤・創傷被覆材を選択し、適切に使用することは褥瘡の治療効果に大きな影響を与える。それぞれの外用剤・創傷被覆材の特徴を理解したうえで、選択の助言、使用法・保管法の指導を行うなど褥瘡治療に関わっている。

活動内容

- ① 回診への参加
- ② 医薬品情報の提供
- ③ 医療従事者に対する教育

6) 糖尿病サポート委員会

糖尿病治療の成否は、患者自身が治療法を十分に理解し、日常で実践できるかどうかにかかっている。自己管理は、食事療法、運動療法、必要に応じて薬物療法等多岐にわたり、多方面からの支援が必要となる。医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士等多職種が介入し、それぞれの専門性を活かすことにより、きめ細やかなサポートを行っている。薬剤師は、糖尿病教育入院での患者への指導や医療従事者に対する教育等を行い糖尿病の治療支援に関わっている。

活動内容

- ① 糖尿病教育入院患者への教育
- ② カンファレンスへの参加
- ③ 医療従事者に対する教育
- ④ 住民向け糖尿病啓発イベント時のお薬相談

7) 認知症ケアチーム

認知症ケアチームは、認知症ケアの質の向上を目的として、病棟の巡回、カンファレンスを行っている。活動の中心となるのは医師、看護師、社会福祉士であるが、その中で薬剤師も認知機能に影響を与える薬剤のチェックや、認知症患者さんの睡眠・排泄・痛み等に対する薬物療法の確認を行うなど、薬の専門知識を活かし、認知症ケアチーム内で多職種と連携して認知症患者さんの入院生活をサポートしている。

活動内容

- ① 回診およびカンファレンスへの参加
- ② 院内の不眠時薬、不穏時薬選択等の見直し
- ③ 医療従事者に対する教育（薬剤性せん妄やせん妄治療薬などについて）

8) 心不全チーム

心不全は急性心不全発症後、慢性心不全に移行し再発による急性増悪を繰り返し治療抵抗性の心疾患へ移行していく一旦進行するとももとは戻らない不可逆的な病態である。心不全チームは医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、社会福祉士など多職種と連携して心不全による再入院リスクを回避し心不全の悪化を遅らせることを目的としている。

活動内容

- ① 服薬管理に関する増悪因子のアセスメント
- ② 推奨薬剤の使用状況の把握
- ③ 服薬アドヒアランスの評価
- ④ 心不全手帳を用いた薬の教育
- ⑤ 心不全カンファレンスへの参加

9) 排尿ケアチーム

排尿ケアの質の向上を目的とし、尿道留置カテーテルの早期抜去、尿路感染防止を行う。

患者の尊厳の遵守、ADLの維持・増進をもたらす、包括的でより質の高い、かつ安全な排尿自立を促すケアを患者に提供することを目的とする。

薬剤師は専門性を生かし、排尿障害に起因する薬剤に関して提言・助言、薬剤の情報提供を行うことで、包括的排尿ケアの一端を担っている。

活動内容

- ① 週1回のラウンド参加
- ② 下部尿路障害の評価
- ③ 医薬品の情報提供
- ④ 病棟スタッフと連携し、包括的排尿ケア計画の策定、実施

10) ポリファーマシー削減チーム

ポリファーマシーとは単に服用している薬剤数が多いということではなく、それに関連して薬物有害事象のリスクの増加、服薬アドヒアランスの低下等の問題につながる状態のことを指している。また、高齢者で5-6剤以上の薬を飲んでいると、転倒のリスクも高くなるとの報告もある。

ポリファーマシー削減チームは薬剤師・医師・看護師・理学療法士・社会福祉士等多職種のメンバーでカンファレンスを行い、ポリファーマシーを解消し、転倒予防や多剤服用による有害事象の発症リスク軽減を目的に活動を行っている。

活動内容

- ① ポリファーマシーが疑われる患者さんのスクリーニング
- ② 週1回のカンファレンス参加
- ③ 減薬となった患者さんのモニタリング
- ④ 退院時の情報提供書の作成補助

17. 専門薬剤師の育成

医療の高度化・専門化やチーム医療の推進に伴い、薬剤師業務においても専門性が求められている。薬剤局では、各自が日本病院薬剤師会の専門薬剤師認定制度をはじめとした各領域の専門・認定薬剤師の取得を目指しており、関連学会等へ積極的に参加している。また、2010年9月1日付で日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設、2021年4月1日付で日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師暫定研修施設の認定を取得している。(詳細は【資格、認定】一覧を参照のこと)

【資格、認定】

役職	氏名	資格等
薬剤局次長	横手 克樹	日本病院薬剤師会認定 感染制御専門薬剤師 日本化学療法学会認定 抗菌化学療法認定薬剤師 日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 実務実習指導薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師
臨床薬剤科科长	園山 智宏	日本病院薬剤師会認定 がん薬物療法認定薬剤師 日本医療薬学会がん専門薬剤師 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師 日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師 日本医薬品情報学会 医薬品情報専門薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師 JPALS 認定薬剤師 (レベル5)

役 職	氏 名	資 格 等
薬剤管理科科長	安食 健一	日本病院薬剤師会認定 精神科薬物療法認定薬剤師 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師 日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 実務実習指導薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師 JPALS 認定薬剤師（レベル5）
臨床薬剤科副科長	勝部 直美	日本病院薬剤師会認定 精神科薬物療法認定薬剤師 島根県糖尿病療養指導士 日本薬剤師研修センター認定 実務実習指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師
臨床薬剤科副科長	島田 杏子	日本栄養治療学会 栄養サポートチーム専門療養士 日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師
薬剤管理科副科長	布野 優子	日本病院薬剤師会認定 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 実務実習指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師 日本循環器学会 心不全療養指導士
薬剤管理科副科長	原 和輝	日本病院薬剤師会認定 精神科薬物療法認定薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師 島根県糖尿病療養指導士 日本糖尿病療養指導士
薬剤専門員	山崎奈緒美	日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 緩和薬物療法認定薬剤師
薬剤専門員	湯山 千明	島根県糖尿病療養指導士 日本糖尿病療養指導士
薬剤専門員	山田 弓美	日本病院薬剤師会認定 がん薬物療法認定薬剤師 日本医療薬学会がん専門薬剤師 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤専門員	森山 史就	日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 感染制御認定薬剤師
薬剤専門員	尾崎 俊幸	日本褥瘡学会認定 認定褥瘡薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤専門員	今岡美紀子	日本病院薬剤師会認定 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 日本薬剤師研修センター認定 研修認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師 JPALS 認定薬剤師（レベル5）

役 職	氏 名	資 格 等
薬剤専門員	頼光 翔	日本病院薬剤師会認定 がん薬物療法認定薬剤師 日本医療薬学会がん専門薬剤師 日本栄養治療学会 栄養サポートチーム専門療養士 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤専門員	山崎 紗恵	島根県糖尿病療養指導士
薬剤主任	石原 裕介	日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤主任	佐野奈津子	島根県糖尿病療養指導士
薬剤主任	和久利妃紗子	日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師 日本循環器学会 心不全療養指導士
薬剤主任	陶山 裕平	日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤主任	村上 彩子	日病薬病院薬学認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定 指導薬剤師 日本病院薬剤師会認定 がん薬物療法認定薬剤師
薬剤主任	山本 悠太	日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤主任	景山 修介	日本薬剤師研修センター 漢方薬・生薬認定薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師 医療情報学会 医療情報技師 日本循環器学会 心不全療養指導士 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師
薬剤主任	藤原 亮	日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤主任	吉野 将司	日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤主任	錦織 和真	日本栄養治療学会 栄養サポートチーム専門療養士
薬剤主任	三原 洋乃	日本循環器学会 心不全療養指導士 日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤主任	小林 紘子	日病薬病院薬学認定薬剤師

18. 薬剤局主催研修会一覧（2024年度）

開催日	参加者	内容
2024/6/12	医療局、看護局、薬剤局、院外薬局、出雲保健所、医療技術局	関節リウマチ治療薬について
2024/9/24	医療局、看護局、薬剤局、院外薬局、出雲保健所、医療技術局	糖尿病用剤について
2025/3/18	医療局、看護局、薬剤局、院外薬局、出雲保健所、医療技術局	抗RSウイルスヒトモノクローナル抗体製剤について

5.5 医療技術局 局長：高下 成明
次長：領家 敬子、山田 正雄、藤井 義久

医療技術局は、病院が展開する高度・特殊・専門あるいは先進医療を実践する上で、診療活動を効果的かつ効率的に展開するために1993年に発足しました。様々な医療職種の集団を一元的に組織し、病院方針との整合性のなかで、独立したボトムアップとフィードバック体制を確立し、一つの事業体として当院が目的とする診療活動の強力な支援部門となります。さらに各業務の実践を経済活動としても捉え、それぞれが経営的な視点を持って取り組んでいます。

医療技術局の業務範囲は非常に広く、院内の多くの場所でそれぞれの業務を行っています。各々の職種に求められる専門知識や技術レベルは、医療の進歩と共にますます高まっています。医療技術局各科、各スタッフはそれぞれが国家資格や学会認定を持った職能集団です、それらの資格以外にも業務に関連する様々な認定資格を取得し、また学会や研修会にも積極的に参加しスキルアップに努めています。

チーム医療が重要な現在の医療において、組織としての医療技術局の役割は大きく、異なる職種がそれぞれの専門性を活かし、また各々が相互に連携・協力することで、より良い医療が提供できるよう努めています。

【組織】



【資格、認定】

役職	氏名	資格等
医療技術局長	高下 成明	日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医 日本肝臓学会 肝臓専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医 日本超音波医学会 緩和ケア研修会修了 臨床研究指導医
医療技術局次長 臨床教育・ 研修支援センター長補佐	山田 正雄	日本放射線技師会認定 シニア放射線技師 放射線管理士 放射線機器管理士 医療画像情報精度管理士 臨床実習指導教員
医療技術局次長 広報室長補佐	藤井 義久	3学会合同呼吸療法認定士 透析技術認定士 第2種 ME 技術認定士

5.5.1 放射線技術科 科長：吉岡 隆二

【部署紹介】

放射線技術科の人員は診療放射線技師31名、医療アシスタント1名です。

業務が多岐にわたることから、「放射線管理部」と「放射線臨床部」に大別しています。放射線管理部は、「放射線管理」と「緊急被ばく医療」です。放射線臨床部は、下記の6部門で専門性を研んでいます。

1. 一般撮影（X-TV・乳房撮影・骨塩定量含）
2. MRI
3. CT
4. 血管撮影（IVR 含）
5. 核医学検査（PET-CT・RI 内容療法含）
6. 高エネルギー治療

質の高い放射線技術の提供をコンセプトに、如何なる医師の指示にも対応できる体制を整えるべく努力しています。

使用装置は、計画性を持って更新し、検査や治療に対応しています。2007年度には、放射線治療装置を更新し、IMRT等の高精度照射が可能となりました。2008年度には、心カテ装置を1台増設し2台体制とし、頭頸部アンギオ装置（1台）と心カテ装置（2台）を併せて更新し、FPDを備えた装置が稼動しています。2011年度には、CT装置が3台体制となり、そのうちの1台は320列のCT装置を導入しました。2012年度には、FPD型モバイルCアームを導入し、手術室における血管内治療の充実を図りました。2014年には、3TのMRI装置やPET-CT装置を導入し、特殊な検査に対応しています。2018年には、ハイブリッド手術室（手術台と心・血管X線撮影装置を組み合わせたもの）を導入され、2023年にはIVR-CT（血管X線撮影装置とCT装置を組み合わせたもの）も導入されてさらなる医療技術に対応できるよう体制を整えています。

なお、通常の業務の他に学会・研修会・セミナー等に積極的に参加しています。また、患者さん中心の医療を目指し、放射線技術以外の勉強会にも進んで参加する事で、SkillとWill両面を磨いています。

【資格、認定】

役 職	氏 名	資 格 等
医療技術局次長	山田 正雄	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本診療放射線技師会認定 臨床実習指導教員
放射線技術科科長	吉岡 隆二	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本診療放射線技師会認定 臨床施設指導者 日本核医学専門技師認定機構認定 核医学専門技師認定
放射線技術科副科長	山根 慎士	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本診療放射線技師会認定 臨床施設指導者 日本救急撮影技師認定機構認定 救急撮影認定技師 日本X線CT専門技師認定機構認定 X線CT認定技師
放射線技術科副科長	山下 猛	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本診療放射線技師会認定 臨床施設指導者 日本診療放射線技師会認定 MRI臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 CT臨床技術能力検定（3級） 日本磁気共鳴専門技術者認定機構認定 磁気共鳴専門技術者 日本医療情報技師会認定 医療情報技師

役 職	氏 名	資 格 等
診療放射線科副科長	松井 賢	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本診療放射線技師会認定 臨床施設指導教員 日本診療放射線技師会認定 一般撮影検査臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 MRI 臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 基礎技術コース（IVR） 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構認定 血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 日本救急撮影技師認定機構認定 救急撮影認定技師 日本災害医学会認定 認定災害医療上級ロジスティクス専門家 日本災害医学会 MCLS プロバイダー 日本災害医学会 MCLS-CBRNE プロバイダー 日本災害医学会 BHELP プロバイダー 日本救急医学会 ICLS プロバイダー 日本 DMAT 隊員／日本 DMAT コーディネーター 日本災害医学会 災害医療コーディネーションサポートチーム 島根県災害医療コーディネーター 国家資格 X線作業主任者 国家資格 ガンマー線透過写真撮影作業主任者 国家資格 第二級陸上特殊無線技士
診療放射線専門員	曾田 卓実	日本診療放射線技師会認定 アドバンス放射線技師 日本診療放射線技師会認定 MRI 臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 臨床施設指導教員 国家資格 第1種放射線取扱主任者 医学物理士認定機構認定 医学物理士
診療放射線専門員	中瀆 寿太	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 MRI 臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 CT 臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 臨床施設指導教員 日本 X線 CT 専門技師認定機構認定 X線 CT 認定技師 国家資格 X線作業主任者 国家資格 ガンマー線透過写真撮影作業主任者
診療放射線専門員	三原 絵美	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 CT 臨床技術能力検定（3級） マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定 検診マンモグラフィー撮影技師 国家資格 X線作業主任者 国家資格 ガンマー線透過写真撮影作業主任者
診療放射線専門員	矢田 俊介	日本診療放射線技師会認定 RI 臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 CT 臨床技術能力検定（3級） 日本核医学専門技師認定機構認定 核医学専門技師認定 国家資格 第1種放射線取扱主任者 国家資格 第1種作業環境測定士 国家資格 第2種作業環境測定士 衛生工学衛生管理者 国家資格 X線作業主任者 国家資格 ガンマー線透過写真撮影作業主任者
診療放射線専門員	小川 邦夫	日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医用画像情報精度管理士

役 職	氏 名	資 格 等
診療放射線専門員	山本 哲也	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本診療放射線技師会認定 MRI 臨床技術能力検定（3級） 国家資格 第2種放射線取扱主任 日本磁気共鳴専門技術者認定機構認定 磁気共鳴専門技術者
診療放射線主任	山田 聖悟	日本診療放射線技師会認定 シニア放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本診療放射線技師会認定 臨床施設指導教員 日本診療放射線技師会認定 Ai 認定診療放射線技師 日本救急撮影技師認定機構認定 救急撮影認定技師 日本防災士機構認定 防災士 国家資格 X線作業主任者 国家資格 ガンマー線透過写真撮影作業主任者 日本看取り士会認定 看取り士
診療放射線主任	林 洋士	日本放射線治療専門技師認定機構認定 放射線治療専門技師 日本放射線治療品質管理機構認定 放射線治療品質管理士 日本診療放射線技師会認定 基礎技術コース（放射線治療）
診療放射線主任	石倉 諒一	日本診療放射線技師会認定 マスター放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本診療放射線技師会認定 CT 臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 MRI 臨床技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 消化管撮影技術能力検定（3級） 日本診療放射線技師会認定 基礎技術コース（IVR） 日本診療放射線技師会認定 基礎技術コース（RI） 日本診療放射線技師会認定 基礎技術コース（放射線治療） 日本診療放射線技師会認定 Ai 認定診療放射線技師 日本診療放射線技師会認定 臨床施設指導教員 日本診療放射線技師会認定 画像等手術支援認定診療放射線技師 日本 X線 CT 専門技師認定機構認定 X線 CT 認定技師 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構認定 血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 肺がん CT 検診認定機構 肺がん CT 検診認定技師 日本救急撮影技師認定機構認定 救急撮影認定技師 日本医療情報技師会認定 医療情報技師 国家資格 X線作業主任者 国家資格 ガンマー線透過写真撮影作業主任者
診療放射線主任	難波 祐樹	日本診療放射線技師会認定 CT 臨床技術能力検定（3級） 国家資格 X線作業主任者 国家資格 ガンマー線透過写真撮影作業主任者 日本核医学専門技師認定機構認定 核医学専門技師認定
診療放射線主任	細田隆太郎	日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士 日本医療情報技師会認定 医療情報技師 日本 X線 CT 専門技師認定機構認定 X線 CT 認定技師
診療放射線主任	岸 真由佳	マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定 検診マンモグラフィー撮影技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士

役 職	氏 名	資 格 等
診療放射線主任	佐用 将隆	日本診療放射線技師会認定 基礎技術コース (MRI) 日本磁気共鳴専門技術者認定機構認定 磁気共鳴専門技術者 日本医療情報技師会認定 医療情報技師
診療放射線主任	大塚世津子	日本診療放射線技師会認定 アドバンス放射線技師 日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定 検診マンモグラフィー撮影技師 国家資格 X線作業主任者 国家資格 ガンマー線透過写真撮影作業主任者
診療放射線技師	中上智佳子	マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定 検診マンモグラフィー撮影技師
診療放射線技師	北川真太郎	日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本診療放射線技師会認定 放射線機器管理士 日本診療放射線技師会認定 医療画像情報精度管理士
診療放射線技師	福間 雄介	日本診療放射線技師会認定 放射線管理士 日本医療情報技師会認定 医療情報技師
診療放射線技師	小笠原有紀	マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定 検診マンモグラフィー撮影技師
診療放射線技師	佐野 滉介	国家資格 第1種放射線取扱主任者

5.5.2 検査技術科 科長：武田 典子

【部署紹介】

検査技術科では、血液・尿・体液・組織（臓器）など体から採取された検体の検査や、心電図、脳波、超音波検査など人間の体を直接検査する生理検査、内視鏡検査の介助を行っています。そこで得られた情報を医師に提供し、病気の診断・治療・予防に役立てるのが私たちの仕事です。また、医師が行う治療や検査の介助も積極的に行っています。

私たちは、他職種との連携を強化し、チーム医療に積極的に貢献することで、高度・特殊医療の充実と質の高い医療の提供、患者サービスの向上に努めています。

当科の業務範囲と業務内容は概ね次の通りで、臨床検査技師51名と視能訓練士（眼科系検査および訓練）3名、及び看護師2名で業務を行っています。

- 生理検査部門：超音波検査、心臓機能検査、呼吸機能検査、脳波検査、筋電図検査、聴力・平衡機能検査、眼科系検査および視能訓練
- 検体検査部門：血液学的検査、生化学的検査、免疫学的検査、尿・糞便検査、微生物学的検査
- 遺伝子検査部門：SARS-CoV-2核酸検出検査
- 輸血管理部門：輸血関連検査、血液製剤の管理（自己血輸血を含む）、血漿分画製剤の管理（アルブミン）
- 病理検査部門：組織検査と細胞診（術中の迅速検査を含む）、病理解剖
- 内視鏡部門：内視鏡検査・治療の介助、内視鏡および処置具の洗滌・保守・管理
- 特殊検査部門：薬毒物検査、新生児マススクリーニング検査の事務手続き
- 採血部門：外来採血部門での検体採取

それぞれの部門においては学会認定資格の取得、積極的な学会や研修会の参加発表等により、付加価値の高い検査結果の提供に努めています。また、日本臨床衛生検査技師会および日本臨床検査標準協議会より、精度管理が適切に実施され、施設の検査に対する質が担保されていることを評価する「品質保証施設認証」を受けました。さらに、検体検査部門は2018年3月15日付で、また生理検査部門と病理検査部門は2024年4月4日付で、臨床検査の国際標準規格ISO15189を取得し、更新審査をへて現在も継続した臨床検査の品質管理、技術的な向上に努めています。

そして、日々多種多様化する検査に対して業務の改善や拡大を行っており、良質な医療を提供しています。

【資格】

役職	氏名	資格等
検査技術科科長	武田 典子	日本超音波医学会認定 超音波検査士（消化器領域）
検査技術科副科長	上野 清美	島根県糖尿病療養指導士
検査技術科副科長	糸賀 真人	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師 日本輸血・細胞治療学会 認定輸血検査技師 日本臨床検査医学会認定 緊急臨床検査士
検査技術科副科長	下垣真紀子	日本超音波医学会認定 超音波検査士（循環器領域） 日本臨床衛生検査技師会 認定心電検査技師
検査技術科副科長	松原真奈美	日本臨床細胞学会・日本臨床病理学会認定 細胞検査士 国際細胞学会認定 国際細胞検査士 日本超音波医学会認定 超音波検査士（体表臓器領域） 日本臨床衛生検査技師会 認定病理検査技師 有機溶剤作業主任者 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
視能訓練士専門員	澤田真理子	日本視能訓練士協会 認定視能訓練士
臨床検査専門員	渡部 樹	日本臨床細胞学会・日本臨床病理学会認定 細胞検査士 毒物劇物取扱責任者

役 職	氏 名	資 格 等
臨床検査専門員	赤沼 佳子	日本超音波医学会認定 超音波検査士（循環器領域） 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師 血管診療技師認定機構 血管診療技師（CVT）
臨床検査専門員	青木亜希子	日本超音波医学会認定 超音波検査士（循環器領域）
臨床検査主任	多久和昇吾	日本超音波医学会認定 超音波検査士（消化器領域・健診領域） 日本臨床衛生検査技師会 認定心電検査技師 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
臨床検査主任	永田 智紀	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
臨床検査主任	藤江 茜	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師
臨床検査主任	神田 法子	日本超音波医学会認定 超音波検査士（消化器領域・体表臓器領域）
臨床検査主任	片寄 志保	日本臨床検査医学会認定 二級臨床検査士（神経生理・呼吸生理） 日本臨床神経生理学学会 術中脳脊髄モニタリング認定技術師
臨床検査主任	片寄 充男	日本臨床細胞学会・日本臨床病理学会認定 細胞検査士 日本臨床衛生検査技師会 認定病理検査技師 有機溶剤作業主任者 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
臨床検査主任	舟木 智美	日本輸血・細胞治療学会 認定輸血検査技師
臨床検査主任	川上 清香	日本超音波医学会認定 超音波検査士（循環器領域） 日本臨床衛生検査技師会 認定心電検査技師 日本臨床検査医学会認定 二級臨床検査士（循環生理）
臨床検査主任	白鷺 大輝	日本臨床衛生検査技師会 認定認知症領域検査技師 有機溶剤作業主任者 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
臨床検査主任	野村 文美	日本超音波医学会認定 超音波検査士（消化器領域・循環器領域） 日本臨床衛生検査技師会 認定心電検査技師
臨床検査主任	福間 弘行	日本臨床衛生検査技師会 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 実務教育研究所 統計士
視能訓練士	宮脇由己子	日本視能訓練士協会 認定視能訓練士
臨床検査技師	手銭 遥	日本超音波医学会認定 超音波検査士（循環器領域） 日本臨床衛生検査技師会 認定心電検査技師 日本臨床検査医学会認定 二級臨床検査士（循環生理）
臨床検査技師	金坂 侑美	日本臨床検査医学会認定 緊急臨床検査士 日本臨床検査医学会認定 二級臨床検査士（臨床化学）
臨床検査技師	渡部 和也	日本臨床衛生検査技師会 認定認知症領域検査技師 毒物劇物取扱責任者
臨床検査技師	本間 華穂	日本臨床検査医学会認定 緊急臨床検査士
臨床検査技師	足立 優奈	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師 毒物劇物取扱責任者 日本顕微鏡学会 電子顕微鏡技術二級技士
臨床検査技師	石富 理暉	日本臨床細胞学会・日本臨床病理学会認定 細胞検査士 有機溶剤作業主任者 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
臨床検査技師	岡 日向子	日本臨床検査医学会認定 緊急臨床検査士
臨床検査技師	原 みのり	日本臨床検査医学会認定 緊急臨床検査士
臨床検査技師	小野 七海	日本臨床細胞学会・日本臨床病理学会認定 細胞検査士 日本臨床検査医学会認定 緊急臨床検査士
臨床検査技師	上代 麻央	日本眼科医師会認定 OMA（Japan Ophthalmologists Association）

【部署紹介】

栄養管理科は、2012年4月より配膳・下膳・食器洗浄業務を委託、2013年4月より調理を含む給食業務を一部委託しています。人員は、病院職員22名（管理栄養士14名、栄養士3名、調理師5名）及び委託職員43名（管理栄養士4名、栄養士6名、調理師8名、調理補助員24名、事務員1名）の計65名です（2025年4月現在）。「治療効果を上げる栄養管理の推進」を目的として、「臨床栄養管理」と「給食管理」の業務により患者さんの快復を支援しています。食事は、医師の指示に基づき医療の一環として1日約1,046食の特別治療食・一般食（調乳を含む）を提供し、そのうち46.5%が特別治療食です。病院・委託職員で連携し、安全で美味しい食事の提供に努めています。

管理栄養士は、病棟担当、チーム担当制の併用とし患者さんの栄養アセスメント、入院・外来栄養指導を積極的に行っています。

1. 臨床栄養管理

- 1) 入院患者さんの栄養状態を評価して栄養管理計画を立て、その計画に基づいて関係職種が協働して適切な栄養管理を行い、医療の質の向上に努めています。
- 2) 食欲不振、嚥下障害、アレルギー等で栄養状態不良・要指導の患者さんには病棟訪問し、個人対応を行い栄養状態が改善するよう支援しています。
- 3) 医師の指示のもとに外来・入院栄養食事指導を行い、治療食の必要性の理解に努めています。
- 4) チーム（NST、緩和ケア、摂食嚥下、糖尿病療養支援、褥瘡対策、心不全、二次骨折予防、ICU早期離床リハ栄養、周術期栄養、リハビリテーション・栄養・口腔連携等）、及び病棟カンファレンス等に積極的に参画し、関係職種と連携を深めながらチーム医療に取り組んでいます。

2. 給食管理

- 1) 患者さんに安全な食事を安心して召し上がっていただく為に、大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理を徹底して行っています。
- 2) 食事摂取が不良な患者さんに対しての個人対応、選択食の実施（週3回）、地元産品を取り入れた行事食・デザート、産後祝い膳・産後おやつ、栄養・食事情報の掲示（外来待合・デジタルサイネージ・各階食堂）等患者サービスの充実にむけて取り組んでいます。
- 3) 調理作業の効率化と仕上がりの均一化をめざし新調理法を取り入れ、また調理技術の向上にも努めています。
- 4) 残食・嗜好調査を実施し、病院と委託業者で献立検討会を行い喫食率の向上に努めています。
- 5) 摂食・嚥下チームと連携し、嚥下機能に適した食事の提供に努めています。

【資格、認定】

役職	氏名	資格等
栄養管理科科长	高野美喜子	日本病態栄養学会認定 病態栄養専門管理栄養士 日本臨床栄養代謝学会認定 NST 専門療法士 島根県糖尿病療養指導士認定機構認定 島根県糖尿病療養指導士
管理栄養主任	若槻 倫子	日本病態栄養学会認定 病態栄養専門管理栄養士 日本病態栄養学会・日本栄養士会認定 がん病態栄養専門管理栄養士 島根県糖尿病療養指導士認定機構認定 島根県糖尿病療養指導士
管理栄養主任	松永佳容子	日本栄養士会認定 静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士 島根県糖尿病療養指導士認定機構認定 島根県糖尿病療養指導士
管理栄養主任	周藤 紀子	日本病態栄養学会認定 病態栄養専門管理栄養士 日本病態栄養学会・日本栄養士会認定 がん病態栄養専門管理栄養士 島根県糖尿病療養指導士認定機構認定 島根県糖尿病療養指導士 健康・体力づくり事業財団認定 健康運動実践指導者
管理栄養士	石原久美子	日本病態栄養学会認定 病態栄養専門管理栄養士
管理栄養士	杉本 奈美	日本病態栄養学会認定 病態栄養専門管理栄養士 島根県糖尿病療養指導士認定機構認定 島根県糖尿病療養指導士

役 職	氏 名	資 格 等
管理栄養士	松田 理沙	日本栄養士会認定 静脈経腸栄養 (TNT-D) 管理栄養士
管理栄養士	清水 蘭	島根県糖尿病療養指導士認定機構認定 島根県糖尿病療養指導士
管理栄養士	吉岡 美咲	一般社団法人日本循環器学会 心不全療養指導士
管理栄養士	原 加奈子	日本臨床栄養代謝学会認定 NST 専門療法士
管理栄養士	橋本 梨未	日本糖尿病療養指導士認定機構認定 日本糖尿病療養指導士
管理栄養士	富田 和美	島根県糖尿病療養指導士認定機構認定 島根県糖尿病療養指導士
管理栄養士	杉原 道子	日本病態栄養学会認定 病態栄養専門管理栄養士 一般社団法人日本循環器学会 心不全療養指導士

【部署紹介】

臨床工学科およびMEセンターには、26名（臨床工学技士23名、事務員2名、委託業者1名）のスタッフが所属しています。（※他に医療技術局管理、事務局に臨床工学技士が各1名配属）

I. 臨床技術支援

各部門および部署のスタッフと連携して業務を実施しています。

「血液浄化室」「手術室」「心臓カテーテル検査室」「集中治療室」「救急部門」「病棟部門」等に臨床工学技士を派遣しています。

1. 血液浄化室業務

- 1) 血液透析導入患者から維持透析患者まで対応
- 2) バスキュラーアクセスへの穿刺または接続およびその介助
- 3) バスキュラーアクセスの管理（超音波診断装置等を用いた定期的診断）
- 4) 各種血液浄化療法の実施（血液透析・血漿交換・二重濾過血漿交換・血液吸着など）
- 5) 透析液作成および供給装置の管理
- 6) 透析液の清浄化管理
- 7) 血液浄化装置および関連機器の保守点検、正常動作確認

2. 手術室業務

- 1) 開心術時の人工心肺装置操作（ECMO含む）
- 2) 大血管内治療（ステントグラフト：EVAR・TEVAR）の介助
- 3) 自己血回収装置の操作
- 4) 消化器外科・呼吸器外科領域における内視鏡手術時のカメラ保持（スコープオペレーター）業務
- 5) 器械だし業務
- 6) CIEDs患者の手術に伴う設定変更および確認
- 7) 手術用ナビゲーション装置の準備・調整・術中操作
- 8) 医療機器・機材のスケジューリング・準備等
- 9) 手術支援ロボットの準備・調整
- 10) 麻酔器、外科用内視鏡装置などの医療機器の日常点検
- 11) 医療機器のスケジュール調整（医療機器申し込み予約調整）
- 12) 借用物品（医療機器・材料）の調整

3. 心臓カテーテル検査室業務

- 1) 心臓カテーテル検査
医師の指示のもとに以下に掲げる機器の設定または操作
 - (1) 清潔業務：清潔物品の準備・検査時の清潔介助業務
 - (2) 検査および診断装置操作：Cアーム・ポリグラフ・血管内超音波診断装置・ロータブレーター
 - (3) 生命維持管理装置管理：体外式ペースメーカー・人工呼吸器・IABP・ECMO・IMPELLA
- 2) 心臓カテーテルアブレーション・電気生理学的検査
 - (1) 医師の指示のもとに以下に掲げる機器の設定または操作
・Cアーム・カテラボシステム・RFジェネレーター・3Dマッピングシステム
- 3) CIEDs手術（ペースメーカー・ICD・S-ICD・CRT-D・CRT-P・ILR）
 - (1) 新規植込み・交換手術時の専用プログラマーを操作、および患者情報の処理等を行う

4. 救急部門業務（主にICU）

- 1) 各種急性期血液浄化療法の実施
- 2) IABP、IMPELLA、ECMOなどの補助循環装置操作や監視

- 3) 人工呼吸器の点検と正常動作確認
- 4) 生体情報モニターの点検と正常動作確認
- 5) CIEDs (体外式ペースメーカー含む) 患者の作動確認
- 6) アリバイ管理医療機器の日常点検
- 7) 血液ガス測定装置、除細動器、心電計等の配置機器点検と正常動作確認

5. 植込みデバイス (CIEDs) 管理業務

- 1) 外来業務 (毎週月曜日)
- 2) 病棟業務 (動作確認、設定変更 (随時))
- 3) 遠隔モニタリング業務 (毎日)
- 4) MRI 対応デバイスの撮像立会い (随時)
- 5) その他 (内視鏡室・手術室等、必要に応じて設定変更・動作確認)

6. その他

- 1) 腹水濾過濃縮 (CART) 業務: 院内のみならず、開業医への技術支援を実施。
- 2) Dr カーおよび Dr ヘリにおける対応 (補助循環装置を必要とする患者搬送時)

II. ME センター業務

1. 医療機器に関する窓口の一本化および情報管理

- 1) 各種申請の窓口
 - (1) 予算、購入、点検、修理、借用、廃棄の申請窓口
 - (2) 院内、院外からの問い合わせの窓口
- 2) 医療機器管理システム「匠」を用いた情報の一元管理 (総登録台数: 約3600台)
 - (1) 医療機器管理システム「匠」のアリバイ管理
 - (2) 予算、購入、点検、修理、借用、廃棄に関する情報入力
 - (3) アリバイ管理機器の稼動情報および運用管理

2. 医療機器の点検、院内修理

- 1) 院内にあるすべての医療機器について、安全性の確保に努めている
- 2) 特性をもとに個々の医療機器について点検スケジュールを作成している
- 3) 毎日院内の各部署を巡回することにより、医療機器の正常動作の確認や異常の早期発見に努めている
- 4) 修理対応は、可能な限り院内修理を行い、ダウンタイムの減少ならびにコスト削減に努めている

3. 県立こころの医療センター医療機器出張点検

- 1) 県立こころの医療センターに配置された高度管理医療機器の保守点検を毎月 1 回訪問し、実施する。

4. 医療機器の保守点検

- 1) 医療機器メンテナンス講習受講機器
 - (1) 輸液ポンプ: TE-281・TE-131A
 - (2) シリンジポンプ: S-1235・SP-120
 - (3) 人工呼吸器: InfinityV500・EvitaV600・BabylogVN500・HAMILTON-T1・NKV330
 - (4) 新生児保育器: incu-i・Isolette8000
 - (5) 血液浄化関連装置: TR-3300M typeB・TR-10EX
 - (6) パルスオキシメータ: PM10N・N-BS
 - (7) 経腸栄養用輸液ポンプ: CP-55E
 - (8) 疼痛ポンプ: エイミー
 - (9) エアーマットレス: エアーマスターネクサス CR-660、エアーマスターネクサス R
 - (10) 電気メス: VAIO3、VAIO300D、FT-10
 - (11) 血栓予防ポンプ: DVT ポンプ SCD700
 - (12) 患者加温装置: コクーンウォーミングシステム

- 2) 上記以外の医療機器の保守対応
メーカー協力の下、可能な限り院内での定期点検を実施し、性能維持とコスト削減に努めている
- 3) 新生児保育器の清掃および日常点検業務

5. 教育啓発活動

- 1) 新規採用看護師や初期臨床研修医を対象として、主に使用する医療機器の使用上の基礎知識や安全な取り扱いについてセミナーを開催している
- 2) 新規導入医療機器に対しては使用部署へ、随時説明会を開催している
- 3) MEセンター新聞を随時発行し、医療機器に関連したニュースや周知事項を掲載して、院内各部署への紙面配布ならびに医療機器管理システム「匠」にて電子化し、スタッフへの周知を行っている

6. 次世代の育成

- 1) 学生実習、および見学の受け入れ
- 2) 臨床工学技士養成学校への講師派遣
- 3) 看護大学への講師派遣

Ⅲ. 変則2交代勤務体制（日勤・準夜勤+宿直体制）

臨床工学技士は365日24時間、院内に常駐し、救急患者への診療支援、医療機器不具合に対する使用・点検・修理等の問い合わせ、および夜間休日の軟性鏡洗浄、既滅菌品の処理等を迅速に対応している。

1. 業務件数：3,659件（2024年度）

1) 対応業務種別：

- ①医療機器業務：1,336件（36.5%）、②技術支援業務：1,154件（31.5%）、③業務準備・回収1,005件（27.5%）、
- ④問合せ、事務処理：133件（3.6%）、⑤軟性鏡洗浄・既滅菌品処理業務：31件（0.8%）

Ⅳ. 一般行政事務業務

病院事務局へ出向し、医療機器に関連する行政的な事務手続きをはじめ、その他の事務局行政職員として業務を実施する。

【資格、認定】

役 職	氏 名	資 格 等
医療技術局次長	藤井 義久	3学会合同呼吸療法認定士 第2種ME技術実力検定 透析技術認定士
臨床工学科科長	山中 英樹	医療安全管理者養成講習受講 医療機器情報コミュニケーター (MDIC) 第2種ME技術実力検定 透析技術認定士 日本臨床工学技士会 (新) 臨床実習指導者講習受講
臨床工学科副科長	錦織 伸司	急性血液浄化学会認定指導者 体外循環技術認定士 第2種ME技術実力検定 透析技術認定士 認定血液浄化関連臨床工学技士 認定集中治療関連臨床工学技士
臨床工学科副科長	宮里 恵美	3学会合同呼吸療法認定士 第2種ME技術実力検定 透析技術認定士 臨床検査技師
臨床工学科副科長	福島 成文	第1種ME技術実力検定 第2種ME技術実力検定 臨床ME専門認定士 体外循環技術認定士 呼吸療法認定士 透析技術認定士 不整脈治療関連専門臨床工学技士 手術関連専門臨床工学技士 認定集中治療関連臨床工学技士 医療情報技師 臨床検査技師
臨床工学技士主任	福間 優太	第1種ME技術実力検定 第2種電気工事士 臨床ME専門認定士
臨床工学技士主任	杉原 克彦	体外循環技術認定士 第1種ME技術実力検定 認定集中治療関連臨床工学技士 臨床ME専門認定士
臨床工学技士主任	石川 哲造	3学会合同呼吸療法認定士 第2種ME技術実力検定 透析技術認定士 不整脈心電学会 CDR 認定
臨床工学技士主任	渡部 尚人	3学会合同呼吸療法認定士 体外循環技術認定士 第2種ME技術実力検定 透析技術認定士
臨床工学技士主任	藤井 大輔	3学会合同呼吸療法認定士 体外循環技術認定士 臨床検査技師
臨床工学技士主任	井関 慧	第2種ME技術実力検定

役 職	氏 名	資 格 等
臨床工学技士主任	三島 千秋	第2種ME技術実力検定 認定血液浄化臨床工学技士
臨床工学技士	白築 春奈	3学会合同呼吸療法認定士 災害派遣医療チーム (DMAT) 業務調整員 集中治療専門臨床工学技士 腎代替療法専門指導士 第2種ME技術実力検定 透析技術認定士 日本アフエレーシス学会認定技士 認定血液浄化臨床工学技士 認定集中治療関連臨床工学技士
臨床工学技士	杠 隆之	第2種ME技術実力検定
臨床工学技士	足羽 雅	第2種ME技術実力検定
臨床工学技士	黒目 佳樹	第2種ME技術実力検定 第2種電気工事士
臨床工学技士	藤原 光翼	植込み型心臓不整脈デバイス認定士 第1種ME技術実力検定 第2種ME技術実力検定 臨床ME認定士
臨床工学技士	中井 泰盛	第2種ME技術実力検定
臨床工学技士	木原奈々子	第2種ME技術実力検定
臨床工学技士	黒田 しほ	第2種ME技術実力検定
臨床工学技士	岡 美里	第2種ME技術実力検定
臨床工学技士	金山 晃斗	第2種ME技術実力検定
臨床工学技士	池内 結乃	第2種ME技術実力検定
臨床工学技士	赤木茜美子	第2種ME技術実力検定 3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	吉川 光樹	
小西医療器 (委託)	渡部 秀昭	医療機器情報コミュニケーター (MDIC) 第2種ME技術実力検定

5.5.5 リハビリテーション技術科 科長：坪内 史子

【部署紹介】

リハビリテーション技術科は、「理学療法」「作業療法」「言語聴覚療法」の三つの部門で構成され、理学療法士24名、作業療法士12名、言語聴覚士7名の療法士が携わっています。

対象となる疾患は、脳血管疾患、骨関節疾患、神経筋疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、がん、その他手術後の廃用症候群など多岐にわたり、様々な疾患により身体機能に何らかの障害や低下をきたした患者さんに対して、自宅や社会復帰にむけた支援を行うのがリハビリテーションです。

理学療法士は、運動療法と物理療法を主な手段として、疾病等により失われた身体機能（筋肉や関節、心臓や肺の機能も含む）の回復を促し、日常生活に必要な「起きる、座る、立つ、歩く」といった基本動作能力の改善を図ることを役割としています。

作業療法士は、様々な「作業活動」を用いて、日常生活動作や日常生活関連動作等の獲得を目指し、基本的な身体能力の改善だけでなく、自立度を高めるための自助具等の提案も行っています。また、高次脳機能障害に対して認知・行動の改善に対するアプローチも行っています。

言語聴覚士は、「話す」「聞く」といった他者とのコミュニケーション機能改善のための言語療法や、「食べる」といった身体活動を維持するために必要な栄養と密接である摂食嚥下機能に対し、間接的嚥下訓練（食物なし）や直接的嚥下訓練（食物あり）、摂食機能療法の評価とその指導を行っています。

療法士は、患者さんの早期回復を目的に、急性期治療中の病状・病態の変化に配慮し、3職種がそれぞれの専門性を生かし療法に取り組んでいます。十分にリスク管理を行いながら、問題点を形体的に評価し一人一人の患者さんに最適な療法（治療内容）や環境の設定を行うと共に、関係機関、関係職種との積極的な連携を図っています。また、障害や疾病の予防を含めた日常生活活動の維持、拡大を図るほか、日常生活が快適に過ごせるように精神面での支援や、乳幼児期の運動発達障害に対して運動発達促進を図るアプローチも行っています。

【資格、認定】

役 職	氏 名	資 格 等
リハビリテーション技術科科長	坪内 史子	介護支援専門員（ケアマネージャー） 福祉住環境コーディネーター2級
リハビリテーション技術科副科長	梶谷 宏一	介護支援専門員（ケアマネージャー） NST 認定療法士
リハビリテーション技術科副科長	稲田 敬典	3学会合同呼吸療法認定士
リハビリテーション技術科副科長	足立 真也	認定理学療法士（呼吸）（脳卒中）（循環） 3学会合同呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士 心不全療養指導士 介護支援専門員（ケアマネージャー） 福祉住環境コーディネーター2級 BLS プロバイダー
理学療法士専門員	野田沙耶香	福祉住環境コーディネーター2級 認知症ケア専門士
理学療法士主任	藤丘 政明	認定理学療法士（運動器）（呼吸）（脳卒中）（管理運営） 3学会合同呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士 島根県糖尿病療養指導士 福祉住環境コーディネーター2級
理学療法士主任	飯田 祐輝	認定理学療法士（脳卒中）（運動器） 3学会合同呼吸療法認定士 転倒予防指導士
理学療法士主任	足立 雄亮	認定理学療法士（脳卒中） 島根県糖尿病療養指導士

役 職	氏 名	資 格 等
理学療法士	岡 理歩	認定理学療法士（循環） 心臓リハビリテーション指導士 心不全療養指導士 3学会合同呼吸療法認定士 BLS プロバイダー 腎臓リハビリテーション指導士
理学療法士	内田 瞳	福祉住環境コーディネーター2級 認知症ケア専門士
理学療法士	大野 維斗	認定理学療法士（脳卒中） 3学会合同呼吸療法認定士
理学療法士	錦織 和樹	認定理学療法士（脳卒中） 3学会合同呼吸療法認定士 心不全療養指導士 BLS プロバイダー
理学療法士	井上 魁	認定理学療法士（運動器）（呼吸）（脳卒中） 3学会合同呼吸療法認定士 心不全療養指導士 日本糖尿病療養指導士 認知症ケア専門士 急性期ケア専門士 骨粗鬆症マネージャー 日本 DMAT（災害派遣医療チーム）隊員 福祉住環境コーディネーター（2級） BLS インストラクター
理学療法士	原 康佑	認定理学療法士（脳卒中） 3学会合同呼吸療法認定士 認知症ケア専門士
理学療法士	原 千都	3学会合同呼吸療法認定士 心不全療養指導士
理学療法士	間壁 弘行	島根県アスレティックトレーナー協議会認定トレーナー 3学会合同呼吸療法認定士 骨粗鬆症マネージャー
理学療法士	長谷川福斗	3学会合同呼吸療法認定士
理学療法士	青木 果歩	福祉住環境コーディネーター（2級）
作業療法士専門員	宮廻さや子	DVTM リンパ浮腫セラピスト 福祉住環境コーディネーター2級 介護支援専門員（ケアマネージャー） 認知症ライフパートナー認定2級
作業療法士主任	森山 友紀	福祉住環境コーディネーター2級
作業療法士主任	坪内 淳郎	3学会合同呼吸療法認定士 福祉住環境コーディネーター2級 エンドオブライフ・ケア援助士
作業療法士	松久 千春	福祉住環境コーディネーター2級
作業療法士	大橋 大吾	福祉住環境コーディネーター2級
作業療法士	伊藤 誉晃	福祉住環境コーディネーター2級
作業療法士	岩成 藍	福祉住環境コーディネーター2級 認知症ケア専門士
作業療法士	上田 成也	福祉住環境コーディネーター3級
言語聴覚士主任	森田 孝衣	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
言語聴覚士主任	永瀬 祐太	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 NST 認定療法士
言語聴覚士	野津 一步	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

【部署紹介】

医療情報管理科は「診療情報の管理と活用を通じて当院が提供する医療を支え、県民のQOL向上に貢献する」というビジョンを掲げています。診療情報の点検や管理を通して診療記録の質を高め、臨床や研究への活用をサポートし、医療に貢献します。

臨床指標（Clinical Indicator: クリニカルインディケーター）や医療の質の指標（Quality Indicator: クオリティーインディケーター）など、病院全体としての指標や診療領域別で指標を設定し、継続して数値を把握するとともに他院とも比較することは、良質な医療の提供や健全な病院運営上も必要なことです。これらの統計やデータ分析を行っています。

また、がん対策の基礎データとなる院内がん登録業務を行い、当院におけるがん医療の状況を的確に把握して分析し、他病院とも比較することにより、がん医療の質向上を図っています。

診療情報管理士10名が、情報システム管理室を中心に業務を行っています。

【資格、認定】

役 職	氏 名	資 格 等
医療情報管理科科长	福田 成美	日本診療情報管理学会認定 国際診療情報管理士
医療情報管理科副科長	永見由里子	院内がん登録実務 中級認定者
診療情報管理主任	昌子 実加	院内がん登録実務 中級認定者
診療情報管理士	加村 菜月	院内がん登録実務 中級認定者
診療情報管理士	本郷 美穂	院内がん登録実務 初級認定者 メディカルクラーク1級
診療情報管理士	藤岡 千尋	院内がん登録実務 初級認定者 ドクターズクラーク
診療情報管理士	大屋智恵子	院内がん登録実務 初級認定者 ドクターズクラーク
診療情報管理士	中尾 太智	日本医療情報学会認定 医療情報技師
診療情報管理士	齋藤歩乃花	ドクターズクラーク

5.5.7 心理スタッフ

【部署紹介】

臨床心理部門では、臨床心理士5名で、主に「心理検査」「心理療法」「患者さん及びご家族の心理ケア」を担当しています。

1) 心理検査

心理状態や性格特性、発達状況や高次脳機能の状態などを把握するために必要な心理検査を個々の患者さんに応じて行っています。また脳ドック・人間ドックでは認知機能検査も担当しています。

2) 心理療法

外来および入院中の患者さんに対して個別の心理療法を行っています。

3) 患者さんおよびご家族の心理ケア

院内の緩和ケアチーム、精神科リエゾンチーム、周産期チームに、それぞれ担当の臨床心理士がチームメンバーとして加わっています。また、入院時重症患者対応メディエーターとして、急性期病棟に入院された患者さんやご家族の支援も行っています。各部署でのカンファレンスや回診に参加したり、ニーズに合わせて患者さんやご家族のお話を伺う機会も持っています。関係職種と連携しながら、よりよい心理的援助が提供できるように取り組んでいます。

2024年度 カウンセリング件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
緩和ケア	51	48	51	55	37	23	38	29	22	28	28	24	36.2	434
周産期	0	15	8	8	8	2	1	4	1	0	0	2	4.1	49
精神神経科	23	26	27	28	28	20	37	35	30	28	29	31	28.5	342
小児科	14	13	11	9	16	18	23	25	21	22	20	23	17.9	215
リエゾンチーム	6	6	4	5	6	6	3	6	2	4	4	3	4.6	55
メディエーター	17	9	18	13	4	7	18	5	4	5	5	1	8.8	106
その他	11	1	1	3	7	1	12	2	1	1	2	3	3.8	45
合計	122	118	120	121	106	77	132	106	81	88	88	87	103.8	1,246

2024年度 心理検査件数 *ドック（脳ドック・人間ドック）は人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
精神神経科	40	40	37	54	54	45	34	32	25	45	50	43	41.6	499
小児科	4	5	16	12	22	5	3	3	6	7	7	1	7.6	91
脳神経内科	32	8	10	26	42	29	38	46	43	28	24	49	31.3	375
脳神経外科	2	12	4	14	1	4	2	0	4	14	0	0	4.8	57
脳ドック	1	3	4	9	7	5	12	8	3	3	2	1	4.8	58
その他	0	3	0	4	0	0	0	3	5	0	1	0	1.3	16
合計	79	71	71	119	126	88	89	92	86	97	84	94	91.3	1,096

【資格、認定】

役職	氏名	資格等
臨床心理士	大迫千都香	一般財団法人日本心理研修センター認定 公認心理師
臨床心理士	樋野茉莉子	一般財団法人日本心理研修センター認定 公認心理師
臨床心理士	中島 直哉	一般財団法人日本心理研修センター認定 公認心理師
臨床心理士	難波みのり	一般財団法人日本心理研修センター認定 公認心理師
臨床心理士	田中千富美	一般財団法人日本心理研修センター認定 公認心理師

5.5.8 歯科スタッフ

【部署紹介】

2025年6月現在8名の歯科衛生士が常勤しています。

当院の歯科衛生士は、「口腔外科的治療」「有病者歯科治療」「周術期等口腔機能管理」を三本柱とし、急性期医療を支える重要な役割を担っています。

歯科衛生士は、歯科医師と密に連携し、診療を円滑に進めるため、補助・介助を行うとともに、歯科医師の指示のもと、治療の一部を担当します。

また診療以外にも薬品・物品の管理や診療室全般の管理、予約の管理など診療を支える幅広い業務も担っています。

歯科衛生士業務

1、外来歯科診療の補助

歯科医師と協働し治療にあたります。

2、歯科予防処置

フッ素塗布や歯石除去、機械的歯面清掃を行い、患者さんの歯や歯肉を健康に保ちます。

3、歯科保健指導

口腔内の健康を維持できるように、歯みがき指導、義歯の管理指導、食生活指導など、患者さん一人ひとりにあわせて指導します。

4、周術期等口腔機能管理

(目的)

- ・手術療法患者における口腔内細菌による合併症（手術部位感染、病巣感染）、人工呼吸管理時の気管内挿管による誤嚥性肺炎など術後の合併症の予防。
- ・化学療法、頭頸部の放射線療法における副作用・合併症の予防、軽減。

手術前後の口腔ケアと集中治療室における口腔機能管理について

手術前後には、患者さんが良好な口腔環境を維持できるよう、専門的な口腔ケアを提供しています。

- ・術前：適切なブラッシング方法や義歯の管理について指導し、口腔内の衛生状態を整えます。
- ・術後：定期的に口腔ケアを行い、退院まで口腔内の良好な状態を保つよう努めています。

また、令和6年度の診療報酬改定で「集中治療室における治療が必要な患者」が新たな対象患者として追加されたことを受け、当院では早期からの口腔機能管理システムを構築し、介入を開始しました。集中治療室では、口腔ケアに加えて、気管内挿管時に起こりうるトラブルへの対応も行っています。さらに、患者さん一人ひとりの口腔内の状態を多職種間で密に情報共有し、全身状態の回復に向けた包括的なサポートを提供しています。

化学療法や頭頸部の放射線療法では、副作用として口腔粘膜炎が患者さんの口腔内にみられることが多く、その際にも、定期的に口腔ケアを行うことで発生頻度や重症化をおさえることができます。口腔内有害事象の軽減を目的として歯科医師が処方する含嗽薬や内服薬などの使用法の指導も行っています。(図1)

転院後に口腔ケアの介助や支援が必要な患者さんについては、転院先に口腔ケアに関する情報提供を行い、切れ目のない介入が維持できるように努めています。

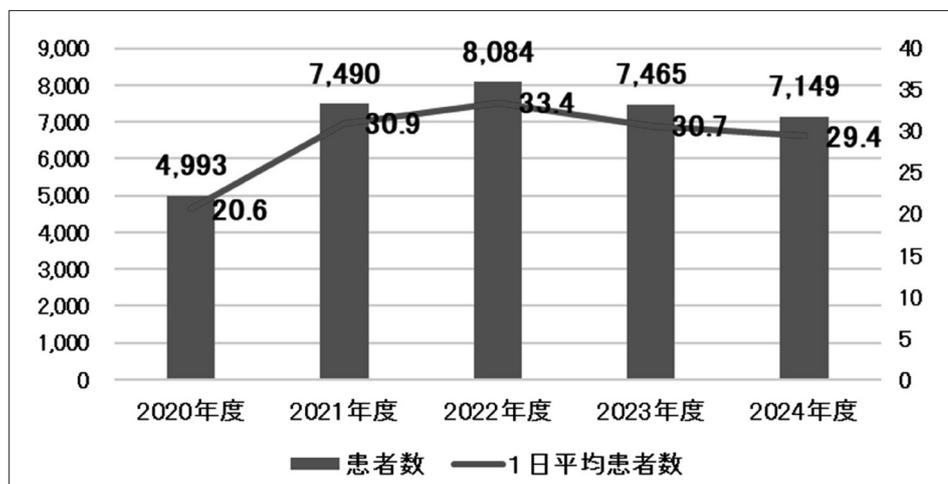


図1. 周術期口腔ケアの推移

5、中央手術室・外来手術センター及び口腔外科外来での口腔外科的治療の補助・介助件数は増加傾向にあり、2024年度は2,565件でした。歯科衛生士が直接介助を行っています。(図2)

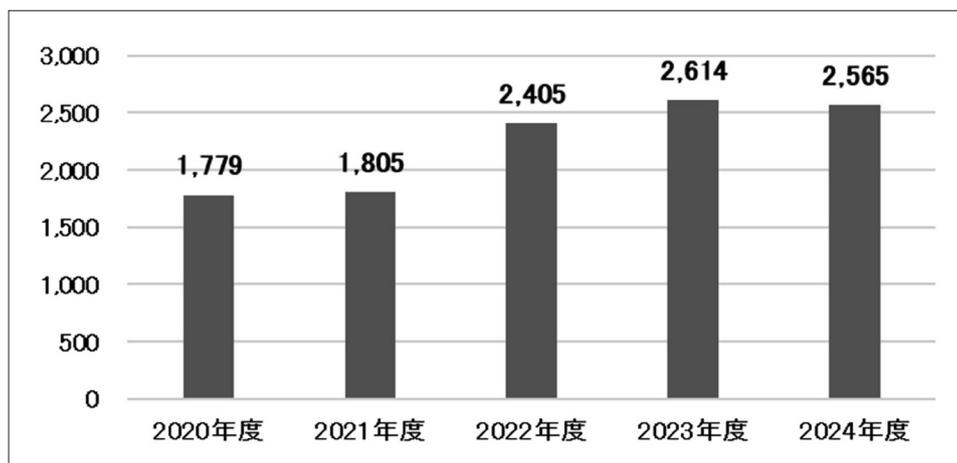


図2. 歯科手術介助件数(外来小手術・処置件数)

6、教育・指導業務

島根県歯科技術専門学校歯科衛生士科に通う学生の実習受け入れを行っています。急性期病院の特色でもある智歯抜歯や歯科インプラント等の小手術や全身麻酔手術では、外科処置に必要な準備、アシスタント方法について指導しています。

また、周術期等口腔機能管理、チーム医療などを見学してもらい、他職種連携について必要な知識や歯科衛生士による専門的指導内容などを指導しています。

7、院内チーム医療への参画

1) 各種委員会

歯科医師臨床研修管理委員会、感染制御委員会、栄養サポート委員会、糖尿病療養支援委員会

2) 診療サポートチーム

NST(栄養サポートチーム)、摂食・嚥下チーム

3) 歯科衛生士相談窓口

患者さんの口腔内のトラブルに関して、医師や看護師をはじめとする医療スタッフの皆様から、歯科衛生士へ直接ご相談いただける電話窓口です。

ご連絡を受けた歯科衛生士が、必要に応じて患者さんのもとへ訪問し、患者さんご本人とご相談いただいた医療スタッフの方に助言を行います。専門的な治療が必要な場合は、患者さんへ説明し同意を得た上で、歯科口腔外科または周術期口腔ケア外来を受診していただきます。

【資格、認定】

役職	氏名	資格等
歯科衛生専門員	富岡 早苗	日本口腔ケア学会4級認定歯科衛生士 日本口腔ケア学会口腔ケアアンバサダー
歯科衛生士	藤原 香織	日本口腔ケア学会口腔ケアアンバサダー
歯科衛生士	石田帆奈美	第一種衛生管理者
歯科衛生士	幸野かおる	日本口腔ケア学会4級認定歯科衛生士 日本口腔ケア学会口腔ケアアンバサダー
歯科衛生士	安立 啓子	日本口腔ケア学会4級認定歯科衛生士 日本口腔ケア学会口腔ケアアンバサダー
歯科衛生士	端本ゆかり	介護支援専門員

5.6 入退院支援・地域医療連携センター	センター長	(看護局次長)	岡田 千秋
	センター長補佐	(医療局長)	山内 正信
		(総合診療科部長)	今田 敏宏
		(企画広報部長)	中島 隆

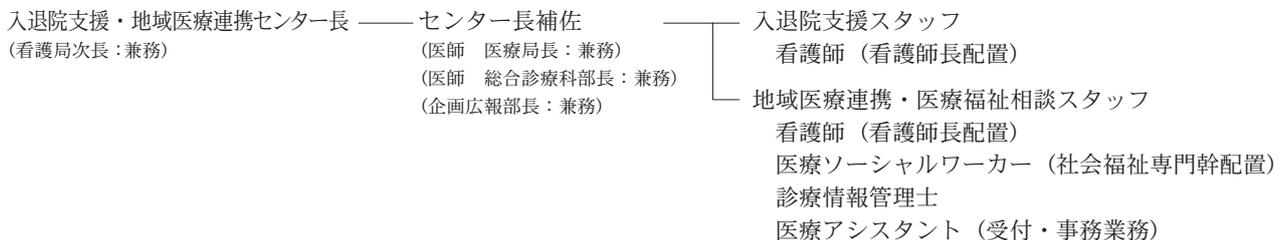
入退院支援・地域医療連携センターは、入院前から退院後の生活を見据え、患者さんがどう暮らしたいか、どう生きたいか、家族がどう支えたいかの思いを多職種でつなぎ、QOLの維持・向上、QODに寄り添い支援することを目指している。また、地域の医療・福祉・保健機関等との連携を深め、院内外の多職種チームで良好な支援ができるよう退院前後訪問指導を実施し、医療ニーズが高い患者等でも安心して暮らしの場へ移行できることを支援している。さらに、地域がん診療連携拠点病院として「がん相談支援センター」の役割をもち、相談業務の充実に向けて取り組んでいる。地域医療支援病院として、地域医療従事者の資質向上のための研修企画・運営、診療支援としてFAXやまめネットによる診療・検査予約の受付を行っている。返書管理に力を入れており、紹介元との信頼関係の構築を目指している。

5.6.1 運営目的

- 1) 多職種が協働して、入院前から退院に向け患者さん一人ひとりの思いに寄り添い切れ目のない医療やケアの提供を推進する
- 2) 地域完結型医療体制における急性期病院としての医療を提供するために地域の医療・福祉・保健機関との連携体制を構築・強化する
- 3) 健康障害に伴う問題を抱える患者さんの自己実現のために、尊厳と個別性を尊重した相談支援を実践する

5.6.2 組織体制

入退院支援・地域医療支援センターは、入退院支援・地域医療連携センター長、センター長補佐、入退院支援スタッフ、地域医療連携・医療福祉相談スタッフで構成される。



5.6.3 入退院支援スタッフ 看護師長：石飛美智江

予定入院の患者さんが、入院が決まった時から安心して入院できるよう入院前からの支援を行っている。入院に必要な手続きについては医療事務が説明し、薬剤師は服用中の薬の確認や治療・検査に関わる休薬が確実にできるように説明している。管理栄養士は周術期の栄養評価や食物アレルギーへの対応を行っている。看護師はプライバシーが保てる相談室で患者さんの思いに寄り添い面談を行い、治療や検査等の説明や栄養、褥瘡、せん妄等のスクリーニングを行っている。クリニカルパスが適用されている場合には、検査・治療のイメージがしやすいように、患者用パスに沿って入院期間や入院後の経過の説明を行い、手術が予定されている場合には、パンフレット等を用いて術後合併症の予防や手術に向けた体調管理を促している。また、入院前から退院後も見据えて、患者さんやご家族の生活での困り事、入院や治療、退院後の生活に関する心配等を早期に把握するとともに、予測される身体的・精神的・社会的問題をアセスメントして、医師、病棟看護師、MSW、退院調整看護師、管理栄養士等多職種と連携することで早期支援につなげている。

5.6.4 地域医療連携・医療福祉相談スタッフ 看護師長 永見 晴江
社会福祉専門幹：萬代由喜子

入院・外来に関わらず、病気やけがをきっかけとして表在化した身体的・心理的・社会的な問題を軽減して、患者さんが望む暮らしに近づけるよう支援をしている。

入院患者さんには、入院中の心配ごとの相談や退院支援を院内外多職種で協働しながら行っている。患者の病状の見通しや医療処置の有無、ADL や家族等の介護力を踏まえ、患者さん・ご家族の退院後の生活の希望に合わせて退院先やサービスの選択を支援、調整している。自宅退院の場合には必要に応じて退院前訪問や介護連携指導、退院時共同指導を実施し、安心して退院後の生活に移行できるよう支援している。また、退院後の生活が継続できるよう外来や関係機関と連携し、退院後訪問を実施している。施設退院の際にも施設職員やサービス機関と情報共有の機会を持ち、退院後の生活に向けた準備を整えている。

転院調整では令和5年度からまめネットを用いた連絡調整を行っており、連携の見える化と効率化に取り組み、登録病院を拡大した。

院内教育では、看護師対象のキャリアラダー別教育「入退院支援研修Ⅰ、Ⅱ」を企画・実施し、看護師が、急性期医療に特化した本院の役割および地域医療・介護・福祉との連携について理解を深め、入院前からの病期・病状に応じた計画的な退院支援を実践できるよう教育活動を行っている。また、医療チームでの退院支援が円滑に実施できるよう、退院支援ナース会の協力を得ながら改善活動を実施している。

外来患者の医療・介護の利用や、患者家族の経済的・社会的な心配ごと等の総合相談に対応する医療福祉相談の担当者を配置し、患者・家族のみならず、地域関係機関からの相談まで、幅広い対応をしている。

2018年度から重症心身障がい児短期入所サービスを開始した。地域の相談支援専門員からの事前相談を受け、関係各部署への連絡調整を行っている。地域との顔の見える関係を築くために、島根県や出雲市が開催する協議会、委員会、職域団体の研修会、多職種との研修会等に参加する他、毎月1回開催される出雲圏域病病連携会議にも参加し、出雲圏域の9つの医療機関や圏域外の関係機関とも互いの状況等を情報共有している。

【がん相談支援センター】

2004年度に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、2007年度にがん相談支援センターを設置した。研修を修了した専従・専任のがん専門相談員が患者さんやご家族などから医療福祉相談を受け、相談者の抱える問題を明確化し、その問題解決に向けて医師や看護師、行政や福祉事業所等の院外関係機関との連携や地域資源・社会福祉制度を活用するなどにより相談者自身が問題解決できるよう支援している。がんサロン「なごやかサロン」は毎月1回第3金曜日に開催している。ハローワークや島根県産業保健センターの専門職による仕事と治療の両立支援相談会、ウィッグ相談会を開催した。また、がん相談支援センターを医師会室サロンに移し、患者さんが気軽に立ち寄り集える場所となるよう改修した。合わせてアピアランスケアの一環としてウィッグや爪のケア、補整下着等の展示を行っている。専従・専任相談員は島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談実務担当者会会の委員を担い、情報交換やがん相談員を対象とした研修会の企画運営を通して県全体のがん相談の質の向上を図っている。

【地域医療連携】

当院は、2015年7月から地域医療支援病院の承認を受けている。医療アシスタントが、診療や検査（CT・MRI・骨密度検査）のFAX予約を受け、地域の病院・診療所の診療支援を行っている。

2013年度からしまね医療情報ネットワーク「まめネット」を利用した検査予約も開始した。2017年4月から歯科用コンビームCT（パノラマCT）、2018年から腹水濃縮処理の予約、2019年から外来栄養指導の予約、2020年から個人乳がん検診、個人肺がん検診、2022年から個人乳がん検診はWEB予約も可能とした。また、地域医療連携の窓口として、病病・病診連携の推進に努めている。

【各種検診（健診）・ハイリスク児の予防接種予約、請求等】

医療アシスタントが、乳がん検診や被爆者検診、ハイリスク児の予防接種などの予約・請求業務、労災二次健診等特殊健診、結核健診、子宮がん検診、妊産婦・乳児健診等の請求業務を行っている。

【患者会支援】

糖尿病友の会、出雲KA友の会（ストマ造設者）、せきそんのつどい（脊髄損傷者）の3つの患者会事務局を持ち

患者会活動を支援している。患者会では会員の疾病や障がいの受容、QOL向上を目的に、会員と共に講習会、勉強会、レクリエーション等を企画・運営し、学習や情報交換、患者相互の交流を行っている。

【病院ボランティア】

病院ボランティア「ハーモニー」の窓口となり、活動を支援し、会員のサポート、新規会員の募集や養成等を行っている。年4回の病院とボランティアで構成する協議会を開催している。患者目線で活動するボランティアは、患者さんと病院職員との架け橋ともなっている。

<2024年度 業務実績>

相談件数（延べ数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,121	875	766	797	840	871	1,052	912	937	957	864	941	10,933

診療・検査の予約件数

受付方法		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
外来診療予約	FAX・NET	506	515	515	578	517	524	553	515	458	535	465	548	6229	
	CT	52	42	39	54	45	54	61	55	43	49	33	39	566	
MRI	FAX・NET	22	28	22	22	12	18	18	26	14	11	21	22	236	
パノラマCT	FAXのみ	3	2	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	9	
骨密度測定	FAX・NET	50	40	31	27	42	38	47	36	15	25	48	53	452	
乳がん検診	TEL 窓口	出雲市	10	10	11	6	9	11	13	9	2	7	7	3	98
		個人	3	4	4	6	1	2	2	1	0	1	3	2	29
	WEB	個人	0	0	0	0	2	1	2	2	0	1	2	0	10
肺がん検診	TEL・窓口	1	1	0	0	0	0	1	1	2	0	0	2	8	
脳ドック	TEL・窓口	0	2	2	2	1	3	3	1	1				15	

※脳ドックは令和7年1月から健診センターでの予約を開始

セカンド・オピニオン件数（※入退院支援・地域医療連携センターを経由したもの）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
他院からの受理	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
他院への紹介	0	0	0	1	1	1	3	1	0	0	1	0	8

退院支援計画説明書作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院支援計画説明書作成件数	417	443	448	529	519	464	508	383	422	362	329	422	5,246

退院時共同指導実施件数および介護支援等連携指導算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院時共同指導料算定件数	30	24	19	31	20	30	22	24	31	31	32	23	317
介護支援連携指導料算定件数	55	32	45	58	49	56	42	35	52	47	51	46	568

入退院サポートセンターの対応患者（経年・人数）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総合診療科	0	0	6	12	10	17	19	21	19	24	22
脳神経内科	0	10	45	44	50	56	43	74	47	58	74
呼吸器科	0	75	153	187	213	216	145	236	143	211	209
循環器科	428	466	496	534	592	591	622	494	439	508	483
消化器科	6	426	542	596	549	651	863	814	738	645	721
血液腫瘍科	0	0	108	195	166	123	249	234	273	284	210
リウマチ・アレルギー科	0	0	2	0	2	1	6	3	1	0	0
内分泌代謝科	104	128	143	150	144	158	182	168	149	109	145
乳腺科	133	193	201	200	208	197	132	144	164	146	124
脳神経外科	0	0	84	116	73	133	176	150	217	197	142
整形外科	47	107	191	217	237	245	255	262	278	239	253
心臓血管外科	0	0	83	106	123	117	114	119	110	153	122
呼吸器外科	0	0	147	204	198	239	264	280	243	152	170
腎臓科	19	82	99	110	111	123	103	113	117	116	109
泌尿器科	63	278	244	247	249	308	353	374	336	365	392
形成外科	0	0	100	150	115	116	99	114	92	97	109
耳鼻咽喉科	83	194	187	190	222	243	221	228	217	226	289
眼科	97	164	142	0	3	5	40	48	63	61	66
皮膚科	0	0	31	20	23	31	30	37	20	26	26
歯科口腔外科	0	0	92	131	128	130	121	169	283	350	361
産婦人科	0	0	91	211	262	258	237	258	233	232	204
小児科（新生児科）	0	0	6	9	24	16	17	26(1)	82	117	138
消化器外科	272	447	485	518	572	599	605	635	585	611	573
合計	1,252	2,570	3,678	4,147	4,274	4,573	4,896	5,002	4,849	4,927	4,942

入退院サポートセンターの休日入院対応患者（人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2024年度	35	27	34	37	28	45	25	30	24	41	48	37	411

入院時支援加算算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院時支援加算1算定件数	251	236	259	239	216	193	174	144	130	89	93	138	2,162
入院時支援加算2算定件数	4	1	3	2	2	1	1	0	1	0	1	2	18

5.6.5 地域医療・ケア研修会

	実施月日 /時間	研修会名	テーマ (研修内容)	目的	講師名	参加者数			院内参加職種				院外参加職種			
		(講演会、 症例検討会)				総 数	院 内	院 外	医師 歯科 医師	看護師 助産師 等	薬 剤 師	そ の 他	医師 歯科 医師	看護師 助産師 等	薬 剤 師	そ の 他
1	2024/6/27 (木) 14:00～ 15:00	第1回感染防止 対策連携医療機関 合同カンファレンス	地域で連携して 取り組む感染症 対策について	地域で連携して取り組む 感染症対策を学ぶ(外来感 染対策向上加算に係るカン ファレンス)	島根県立中央病院医師他	72	6	66	1	2	1	2	46	12	2	6
2	2024/7/18 (木) 18:30～ 20:00	CPPC	事例検討	事例検討を通して知識を深 める	島根県立中央病院医師他	25	25	0	25	0	0	0	0	0	0	0
3	2024/8/24 (土) 9:00～ 17:00	緩和ケア研修会 (PEACE)	緩和ケアについて 学ぶ	緩和ケアを理解し、知識と 技術を取得する	緩和ケア研修委員会	28	17	11	9	8	0	0	4	7	0	0
4	2024/8/26 (月) 18:00～ 19:00	児童虐待研修 (BEAMS)	子どもの命を 守るために ～地域一体での 支援～	児童虐待の現状と地域と 関係機関等が連携して支援 する方法を検討する	BEAMS 研修講師 武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 助教 浅井鈴子 氏	60	44	16	16	18	0	10	1	6	0	9
5	2024/9/19 (木) 14:00～ 15:00	第2回感染防止 対策連携医療機関 合同カンファレンス	地域で連携して 取り組む感染症 対策について	地域で連携して取り組む 感染症対策を学ぶ (外来感染対策向上加算に係 るカンファレンス)	島根県立中央病院医師他	60	6	54	1	2	1	2	39	10	2	3
6	2024/9/26 (木) 18:30～ 19:30	薬剤管理研修 (がん化学療法)	保険薬局薬剤師と 病院薬剤師のがん 化学療法に関する 情報共有	当院が行っているがん化学 療法に関する情報共有の運 用について理解する がん化学療法レジメンにつ いての理解を深める	島根県立中央病院薬剤局 がん専門薬剤師 科長 園山智宏	40	0	40	0	0	0	0	1	0	38	1
7	2024/10/10 (木) 18:30～ 19:00	NST 研修会	栄養サポートに ついて学ぶ	栄養サポートについての知 識を深める	島根県立中央病院 NST チーム会 歯科口腔外科 医長 片山暁恵	28	10	18	3	1	0	6	2	0	1	15

8	2024/12/7 (土) 14:00～ 16:00	患者自己管理 鎮痛法研修会	～明日から使える PCA。 在宅緩和医療の 充実のために～	在宅緩和医療の充実を図る	島根県立中央病院 総合診療科 部長 今田敏宏 ファーマシ薬局 すこやか 熊谷岳文 氏	32	1	31	0	1	0	0	2	22	7	0
9	2024/12/19 (木) 14:00～ 16:00	第3回感染防止 対策連携医療機関 合同カンファレンス	地域で連携して 取り組む感染症 対策について	地域で連携して取り組む 感染症対策を学ぶ (外来感染対策向上加算に係 るカンファレンス)	島根県立中央病院医師他	76	8	68	3	2	1	2	44	13	3	8
10	2025/ 1/30 (木) 18:30～ 19:30	腎不全研修	慢性腎不全の治療	慢性腎不全の治療と栄養管 理について 学び今後の支援に活かす	島根県立中央病院 地域総合医育成科 部長 小田川誠二 管理栄養科 管理栄養主任 若槻倫子	61	32	29	6	14	0	12	3	9	1	16
11	2025/2/6 (木) 18:30～ 19:30	救命救急研修	救急外来医師から 地域への発信 ～地域との連携を 通して救命率向上 を目指す～	救命救急センターの現状を 学び、プレホスピタルとの 連携の重要性について学ぶ	島根県立中央病院 救命救急科医長 樋口 大 脳神経内科医長 稲垣諭史 出雲消防本部 救命救急センター長 梶谷貴志 氏	69	31	38	3	21	0	7	7	13	0	18
12	2025/2/13 (木) 18:30～ 20:00	CPPC	事例検討	事例検討を通して知識を深 める	島根県立中央病院医師他	26	25	1	21	0	4	0	1	0	0	0
13	2025/3/13 (木) 14:00～ 15:00	第4回感染防止 対策連携医療機関 合同カンファレンス	地域で連携して 取り組む感染症 対策について	地域で連携して取り組む 感染症対策を学ぶ (外来感染対策向上加算に係 るカンファレンス)	島根県立中央病院医師他	53	6	47	1	2	1	2	35	7	2	3
合 計						630	211	419	89	71	8	43	185	99	56	79

5.7 医療安全推進室	室長	(副院長<医療安全担当>)	磯和 理貴
	室長代理	(救命救急科部長)	石田 亮介
	室長補佐	(感染症科部長)	中村 嗣
	室長補佐	(地域総合医育成科部長)	小田川 誠治
	室長補佐	(リハビリテーション科医長)	山本 幹枝
	室長補佐	(臨床工学科長)	山中 英樹
	室長補佐	(薬剤管理科長)	安食 健一
	室長補佐	(看護部長)	飯塚 淳子
	感染管理認定看護師	(看護師長)	妹尾千賀子
	医療安全担当	(副看護師長)	山本 亜希
	感染管理認定看護師	(主任看護師)	山根 麗華

2007年4月1日、医療安全対策を一元的に管理し、実効性のある対策を組織的に推進するために、看護部長を専従とする医療安全推進室が設置された。2010年4月1日、感染管理認定看護師を専従とし院内感染防止に取り組み、2021年4月からはさらに1名感染管理認定看護師を専従にし、感染管理体制を強化した。また、2017年4月1日に医療安全担当副看護師長を配置し、より細やかな対応ができるようになっている。

医療事故防止・安全管理委員会を中心とする医療事故の未然防止と再発防止に係る事項と、院内感染防止対策委員会を中心とする事項に大別、それぞれ責任担当者を置き業務を行っている。

1. 医療事故防止安全管理

1) 委員会関係

- ・医療事故防止安全管理委員会 1回/月 第3水曜日開催
- ・医療事故対策委員会
- ・医療事故調査委員会 必要時開催

2) ヒヤリ・ハット、事故報告の集計、周知 【表1】【表2】

- ・医療機能評価機構への報告、改善事項提言

3) 死亡患者カルテチェック

4) 主な活動

- ・医療安全地域連携加算関連
 - 医療安全地域連携加算届出合同カンファレンス
 - 令和6年9月27日 隠岐広域連立隠岐病院
 - 令和6年12月18日、令和6年12月25日 雲南市立病院
 - 令和7年2月27日、3月4日 島根大学医学部附属病院
- ・WG活動（針刺し切創防止対策、看護リスクマネジメント、転倒転落対策、薬剤管理、院内暴力・保安対策、報告書確認）
 - ・安全パトロール 1回/月
 - ・週一カンファレンス 1回/週
 - ・相談窓口カンファレンス 1回/週

5) インシデント報告システム運用と活用

6) 医療安全情報（日本医療機能評価機構、PMDA）収集、周知

7) 研修会の実施

- ・医療安全研修（2024年度 2回開催）

8) リスクマネジメント通信の発行（169～178号、臨時号）【表3】

- GOODJOB 通信の発行（5～6号、看護局バージョン）
- 医療安全・院内防止研修会ミニテスト結果（第1回、第2回）

【表1】事故報告、ヒヤリ・ハット報告件数

部 署	2022年度	2023年度	2024年度
医 療 局	158	169	115
看 護 局	2,327	2,648	2,827
薬 剤 局	139	95	78
医 療 技 術 局	332	345	290
事務局・連携室	44	12	4
委 託	127	97	59
合計	3,127	3,366	3,373

【表2】事故の種類（2024年）

インシデント大分類別	単位：%
転倒・転落	17.8
薬剤	30.6
輸血	0.4
治療・処置	4.9
検査	13.0
ドレーンチューブ類の挿入・管理	11.6
医療機器の使用管理	2.1
療養上の世話	2.3
スキンテア	2.9
栄養食事	2.6
事務業務	3.5
物流	0.1
暴力	1.0
GOODJOB	7.3

【表3】リスクマネジメント通信発行（2024年度）

169号	インシデントレポートの記載方法
170号	事例報告／患者誤認
171号	7月医療安全／院内感染防止研修会
172号	サルバフィックス安全带使用中の食事介助について
173号	「アドレナリン注」と「ノルアドレナリン注」の違い
174号	大腸内視鏡検査手順の見直し／膀胱留置カテーテルについて注意喚起
臨時号	隔壁開通忘れ（ビーフリード輸液）
175号	12月医療安全／院内感染防止研修会
176号	個人情報の誤送信・渡し間違いの多発
177号	転倒転落に関わる情報
178号	患者誤認防止

9) 講演会、研修会

月	対象部門	内 容
4月	新入看護職員	新入職員オリエンテーション（4月5日）
	臨床研修医	新入職員オリエンテーション（4月9日）
5月	臨床工学技士学生	出雲医療看護専門学校（5月13日、6月10日）
	看護学生	出雲医療看護専門学校基礎実習オリエンテーション（5月28日）
7月	全職員	第1回医療安全研修 （7月5日、8日、10日、11日、17日、19日、24日、25日、26日、29日、30日）
	看護学生	出雲医療看護専門学校成人I実習オリエンテーション（7月23日）
	看護職員	キャリアラダーレベル別研修「糖尿病看護Ⅱ・Ⅲ」（7月30日）
8月	看護職員	新人看護職員研修（8月6日）
	臨床工学技士学生	出雲医療看護専門学校（8月13日）
	看護学生	島根県立大学助産実習オリエンテーション（8月28日）
9月	看護学生	東亜看護学院母性・小児実習オリエンテーション（9月3日）
	看護学生	松江総合医療専門学校母性・小児実習オリエンテーション（9月10日）
	看護学生	島根県立大学看護栄養学部基礎Ⅱ実習オリエンテーション（9月24日）
10月	看護学生	島根県立大学看護栄養学部領域別実習オリエンテーション（10月8日）
	看護職員	キャリアラダーレベル別研修「リスクマネジメント研修Ⅰ」（10月24日、31日）
11月	薬学生	薬学部学生実習オリエンテーション（11月18日）
12月	全職員	第2回医療安全研修（12月9日、11日、12日、13日、16日、18日、20日、23日、25日、26日）
	看護学生	穴吹医療大学校基礎看護実習オリエンテーション（12月17日）

月	対象部門	内 容
1月	医学生・感染管理 認定看護師教育課 履修生	島根大学医学部学生、島根県立大学感染管理認定看護師教育課程履修生オリエンテーション（1月10日）
	看護職員	キャリアラダーレベル別研修「リスクマネジメントⅡ」（1月23日）
2月	医学生	島根大学医学部学生オリエンテーション（2月7日）
3月	医学生	島根大学医学部学生オリエンテーション（3月7日）
	看護職員	CT・MRI検査における造影剤注射を安全に行うための研修（3月10日）
6月～ 12月	看護職員	キャリアラダーレベル別研修「リスクマネジメントⅢ」 （6月13日、7月11日、9月26日、12月19日）

平成21年度より当院開催の医療メディエーター研修会は、平成24年医療メディエーター協会山陰支部設立にて研修会開催となった。令和6年度は30名参加した。

2. 院内感染防止対策

1) 委員会関係

- ・院内感染防止対策委員会 1回/月 管理会議終了後
- ・感染制御委員会 1回/月 第4水曜日開催

2) ICT 関係

- ・細菌検出状況の監視、対応
- ・ICT ラウンド 週1回
- ・サーベイランス JANIS（検査部門、全入院部門、ICU部門、SSI部門）、J-SIPHE（CLA-BSIサーベイランス、CAUTIサーベイランス、手指消毒剤使用量、微生物・耐性菌関連）、VAEサーベイランス、手指衛生直接観察）
- ・改善事項提言
- ・感染管理支援システムの運用
- ・健康チェックツール「まめなかね」（2014年にシステム改変）を活用した職員健康管理
- ・院内感染対応
 - ・インフルエンザアウトブレイク緊急対策会議（第1回～第7回）3部署

3) 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）関係

- ・2019年度開始
- ・抗生剤の適正使用の監視、指導（2018年度まではICTで実施）
- ・ASTミーティング 週1回
- ・抗菌薬適正使用に関する教育
- ・抗菌薬使用の院内指針（ICTで定める別表）更新 年2回
- ・抗菌薬適正使用支援加算届出 J-SIPHE（抗菌薬使用状況）登録

4) 感染防止対策向上加算1、指導強化加算届出

- ・感染管理担当専従者 感染管理認定看護師2名を配置（うち1名はAST専従）
- ・専任者 インфекションコントロールドクター3名（うち感染症専門医2名）、
薬剤師5名（うち感染制御専門薬剤師1名、感染制御認定薬剤師1名）、臨床検査技師2名を配置
- ・連携医療機関
 - 感染対策向上加算1 島根大学医学部附属病院、雲南市立病院
 - 感染対策向上加算2 隠岐広域連合立隠岐病院、医療法人徳洲会出雲徳洲会病院
 - 感染対策向上加算3 医療法人社団耕雲堂小林病院
 - 外来感染対策向上加算 53施設
- ・感染防止対策地域連携病院相互チェック
 - 令和6年12月20日 雲南市立病院を訪問

令和7年1月30日 島根大学医学部附属病院を訪問

島根大学医学部附属病院・雲南市立病院から来院

・感染防止対策加算届出医療機関合同カンファレンス

【第1回】 令和6年6月27日 医療法人徳洲会出雲徳洲会病院 対面とWEB

(参加施設：隠岐広域連立立隠岐病院、医療法人徳洲会出雲徳洲会病院、医療法人社団耕雲堂小林病院、島根県出雲保健所、外来感染対策向上加算42施設)

【第2回】 令和6年9月19日 隠岐広域連立立隠岐病院 対面とWEB

(参加施設：隠岐広域連立立隠岐病院、医療法人徳洲会出雲徳洲会病院、医療法人社団耕雲堂小林病院、島根県出雲保健所、外来感染対策向上加算39施設)

【第3回】 令和6年12月19日 島根県立中央病院 対面とWEB

(参加施設：隠岐広域連立立隠岐病院、医療法人徳洲会出雲徳洲会病院、医療法人社団耕雲堂小林病院、島根県出雲保健所、外来感染対策向上加算48施設)

【第4回】 令和7年3月13日 島根県立中央病院 WEB

(参加施設：隠岐広域連立立隠岐病院、医療法人徳洲会出雲徳洲会病院、医療法人社団耕雲堂小林病院、島根県出雲保健所、外来感染対策向上加算31施設)

【新興感染症の発生等を想定した訓練】 令和6年12月19日 島根県立中央病院 対面

(参加施設：隠岐広域連立立隠岐病院、医療法人徳洲会出雲徳洲会病院、医療法人社団耕雲堂小林病院、島根県出雲保健所、外来感染対策向上加算42施設)

・指導強化加算関連訪問指導

当院 ICT が現地訪問し感染対策等に関する助言を行った

1. 令和6年5月22日 医療法人社団耕雲堂小林病院 研修会実施
2. 令和6年6月27日 医療法人徳洲会出雲徳洲会病院 ラウンド
3. 令和6年9月19日 隠岐広域連立立隠岐病院 ラウンド
4. 令和7年3月12日 医療法人社団耕雲堂小林病院 COVID-19クラスター対応

5) 感染管理・廃棄物関連

以下の改訂

- ・感染症対策マニュアル
- ・感染性廃棄物(特別管理廃棄物)取扱管理要項
- ・抗菌薬使用の院内指針
- ・院内感染対策指針

6) 新型コロナウイルス感染症関連

- ・新型コロナウイルス感染症対策会議(第188回～199回)
- ・院内職員向けお知らせ発行(vol.158～160)
- ・クラスター対応 9件(4月2件、6月1件、7月3件、8月2件、11月1件)
- ・医療措置協定 第一種協定指定医療機関・第二種協定指定医療機関
- ・職員新型コロナウイルスワクチン接種
第8回目(12月11日、13日、16日)計80名

7) 講演会・研修会

月	対 象	内 容
4月	新入職員	新入職員全体オリエンテーション「院内感染防止」(4月3日)
	新入看護職員	新入職員研修「院内感染防止(各論)」(4月8日)
	臨床研修医	新入職員オリエンテーション「抗菌薬の使い方 感染症に対する考え方」(4月9日)
5月	臨床工学技士学生	出雲医療看護専門学校(5月13日、6月10日)
	看護助手	看護助手・看護アシスタント研修(5月14日、21日、28日)
	看護職員	キャリアラダーレベル別研修 感染看護Ⅰ(5月15日、22日)
	看護学生	出雲医療看護専門学校基礎実習オリエンテーション(5月28日)
6月	看護職員	キャリアラダーレベル別研修 感染看護Ⅱ(6月5日)
7月	全職員	第1回院内感染防止研修会、第1回AST研修会 (7月5日、8日、10日、11日、17日、19日、24日、25日、26日、29日、30日)
	看護学生	出雲医療看護専門学校成人Ⅰ実習オリエンテーション(7月23日)
8月	臨床工学技士学生	出雲医療看護専門学校オリエンテーション(8月13日)
	看護学生	島根県立大学助産学実習オリエンテーション(8月28日)
9月	看護職員	キャリアラダーレベル別研修 感染看護Ⅲ(9月3日、20日、3月6日)
	看護学生	東亜看護学院母性・小児実習オリエンテーション(9月3日)
	看護学生	松江総合医療専門学校母性・小児実習オリエンテーション(9月10日)
	看護学生	島根県立大学看護栄養学部基礎Ⅱ実習オリエンテーション(9月24日)
10月	看護学生	島根県立大学看護栄養学部領域別実習オリエンテーション(10月8日)
	看護職員	排尿ケアについて～感染管理の視点から～(10月21日)
11月	薬学生	薬学生実習オリエンテーション(11月18日)
12月	全職員	第2回院内感染防止研修会、第2回AST研修会 (12月9日、11日、12日、13日、16日、18日、20日、23日、25日、26日)
	看護学生	穴吹医療大学校基礎看護実習オリエンテーション(12月17日)
1月	医学生・感染管理 認定看護師教育課 履修生	島根大学医学部学生、島根県立大学感染管理認定看護師教育課程履修生オリエンテーション (1月10日)
2月	医学生	島根大学医学部学生オリエンテーション(2月7日)
3月	医学生	島根大学医学部学生オリエンテーション(3月7日)
	看護職員	CT・MRI検査における造影剤注射を安全に行うための研修(3月10日)

【資格、認定】

役 職	氏 名	資 格 等
医療安全推進室統括責任者 医療安全推進室室長 副院長	磯和 理貴	医療安全管理者（医療の質・安全学会 安全管理者養成研修会修了）
医療安全推進室長代理 救命救急科部長	石田 亮介	医療安全管理者（日本看護協会医療安全管理者養成講習会修了）
医療安全推進室長補佐 感染症科部長	中村 嗣	感染症専門医 認定研修施設・指導医認定（日本感染症学会） ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター 日本医療メディエーター協会 導入編及び基礎編研修修了
医療安全推進室長補佐 地域総合医育成科部長	小田川誠治	日本感染症学会 感染症専門医 ICD 制度協議会 インフェクションコントロールドクター 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医 日本静脈結腸栄養学会 TNT 研修会修了
医療安全推進室長補佐 リハビリテーション科医長	山本 幹枝	日本看護協会医療安全管理者養成講習会受講予定
医療安全推進室長補佐 臨床工学科長	山中 英樹	医療安全管理者（日本病院会医療安全管理者養成講習会修了） 医療機器安全管理責任者
医療安全推進室長補佐 薬剤管理科長	安食 健一	医療安全管理者（日本病院会医療安全管理者養成講習会終了） 日本医療メディエーター協会 導入編及び基礎編研修修了
医療安全推進室長補佐 看護部長	飯塚 淳子	医療安全管理者（日本看護協会医療安全管理者養成講習会修了） 日本医療メディエーター協会 導入編及び基礎編研修修了
医療安全推進室員 看護師長	妹尾千賀子	感染管理認定看護師 特定看護師（日本看護協会） 第2種滅菌技師（日本医療機器学会） 登録抗酸菌症エキスパート（日本結核・非結核性抗酸菌症学会）
医療安全推進室員 副看護師長	山本 亜希	医療安全管理者（日本看護協会医療安全管理者養成講習会修了） 日本医療メディエーター協会 導入編及び基礎編研修修了
医療安全推進室員 主任看護師	山根 麗華	感染管理認定看護師（日本看護協会）

5.8 情報システム管理室	室長（医療局次長）	：若山 聡雄
	室長補佐（整形外科部長）	：飛田 正敏
	室長補佐（脳神経外科部長）	：日高 敏和
	室長補佐（看護局次長）	：浦部 涼子
	室長補佐（医療技術局医療情報管理科長）	：福田 成美
	室長補佐（事務局情報システム課長）	：藤原 克美

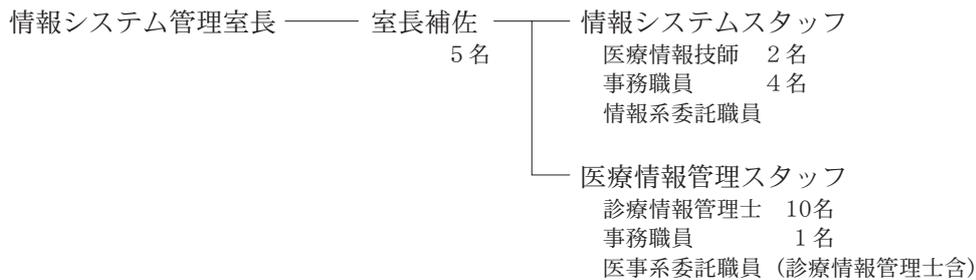
情報システム管理室は、病院運営基盤としての統合情報管理システム（電子カルテを含む）を管理・運営・発展させ、県民に最適な医療を提供することを目的に、2007年度に設置された部署である。

5.8.1 設置目的

- 1) 統合情報管理システムを改修・発展させ、病院運営に最適な情報システムの構築・運用・管理を行う。
- 2) 診療記録及び情報を適切に管理し、そこに含まれるデータを加工、分析、編集し活用することにより、医療の安全管理、質の向上及び病院経営管理に寄与する。
- 3) 県立病院内外の連携（地域連携）システムの構築・運用に参画し、島根県の医療の効率化、医療の質の向上を図る。

5.8.2 体制

情報システム管理室は、情報システムスタッフと医療情報管理スタッフから構成される。
組織体制としては、情報システム管理室長、室長補佐のもとに各スタッフが所属する。



5.8.3 情報システムスタッフ

統合情報管理システム（IIMS）の安定した運用維持を中心とした様々な業務を行っている。情報システム系委員会の運営、各システムの管理、統合情報管理システムに係る契約、機器管理、セキュリティ管理、システム改修、業務改善（RPAの活用推進）、システムダウン対策、情報セキュリティ教育、内部・外部接続ネットワークの管理、各システム・機器の更新、しまね医療情報ネットワーク（まめネット）への技術支援などを行っている。

5.8.4 医療情報管理スタッフ

診療記録の質を高め、診療情報をスムーズに取り扱うための様々な業務を行っている。診療記録の管理、退院時サマリーの質的点検、説明同意書等の保管・管理、診療記録の開示等情報提供のための資料作成、院内がん登録、蓄積データの後利用、統計資料の作成、マスタメンテナンスなどを行っている。

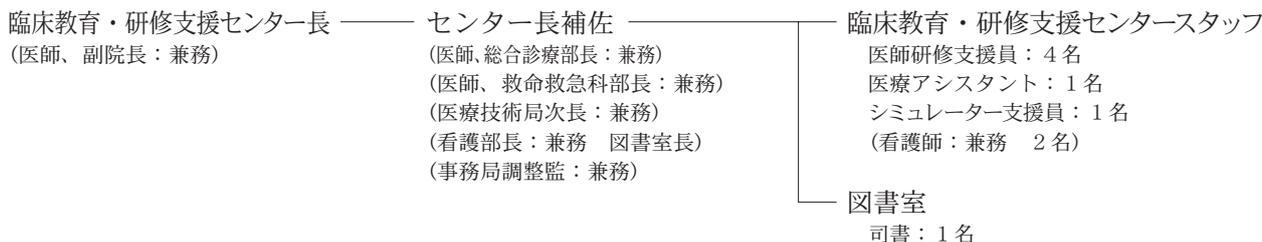
【資格、認定】

役 職	氏 名	資 格 等
情報システム管理室室長 医療局次長	若山 聡雄	日本医療情報学会認定 医療情報技師
情報システム管理室室長補佐 整形外科部長	飛田 正敏	診療情報管理士
情報システム管理室室長補佐 医療技術局医療情報管理科長	福田 成美	診療情報管理士 日本診療情報管理学会認定 国際診療情報管理士
情報システム管理室室長補佐 事務局情報システム課課長	藤原 克美	日本医療情報学会認定 医療情報技師
情報システムスタッフ	錦織 和朗	日本医療情報学会認定 医療情報技師
情報システムスタッフ	山田 怜偉	日本医療情報学会認定 医療情報技師 診療情報管理士
医療情報管理スタッフ	永見由里子	診療情報管理士 院内がん登録実務 中級認定者
医療情報管理スタッフ	昌子 実加	診療情報管理士 院内がん登録実務 中級認定者
医療情報管理スタッフ	加村 菜月	診療情報管理士 院内がん登録実務 中級認定者
医療情報管理スタッフ	本郷 美穂	診療情報管理士 院内がん登録実務 初級認定者 メディカルクラーク 1級
医療情報管理スタッフ	藤岡 千尋	診療情報管理士 院内がん登録実務 初級認定者 ドクターズクラーク
医療情報管理スタッフ	大屋智恵子	診療情報管理士 院内がん登録実務 初級認定者 ドクターズクラーク
医療情報管理スタッフ	井中 陸	診療情報管理士
医療情報管理スタッフ	中尾 太智	診療情報管理士 日本医療情報学会認定 医療情報技師
医療情報管理スタッフ	齋藤歩乃花	診療情報管理士 ドクターズクラーク
テクノプロジェクト	小川 裕太	日本医療情報学会認定 医療情報技師
ソラスト	落合 保子	診療情報管理士
ソラスト	辻 茂雄	診療情報管理士

- 5.9 臨床教育・研修支援センター
- センター長 (副院長) : 磯和 理貴
 - センター長補佐 (総合診療部長) : 増野 純二
 - (救命救急診療部長) : 北野 忠志
 - (看護部長) : 狩野 芳子
 - (医療技術局次長) : 山田 正雄
 - (事務局調整監) : 烏田 純子

臨床教育・研修支援センターは、全職員の教育・研修の一元的把握と支援することを目的に、2016年4月に院内組織として標榜した。センター開設後に、図書室が移管された。島根県の教育病院として、卒前から卒後まで一貫した教育・研修体制を支援するほか、全職員の人財育成という視点で、職種別実施されている研修・教育の情報収集・集約・情報提供などを行い、職種別研修の充実と活用を支援するための体制整備を行っている。

5.9.1 組織体制



5.9.2 活動報告

1. 教育・研修支援

1) 学生

2017年より医学生を対象とした臨床実習、病院見学の受け入れを全面的に対応している。医学生実習は Student Doctor の導入に伴い見学型実習から診療参加型実習へ変更となり、2022年2月から島根大学医学部4、5年生の受入を開始した。2024年度は島根大学医学部5年生43名、6年生19名、自治医科大学は6年生3名が実習を行い、合計65名の受入れであった。また、2023年4月からの Student Doctor の医行為について患者周知、同意書の運用を行っている。病院見学は、6年生を中心に、県外からの病院見学者も増え45名であった。病院説明会第1回目は17名参加、第2回目は12名参加と例年並みであった。臨床研修医採用試験への応募者数は、1次募集24名、2次募集2名、合計26名であった。

【医学生臨床実習】

2024年度 医学生実習 計65名					
大学名/学年	実習期間	人数	大学名/学年	実習期間	人数
島根大学5年生	令和6年4月～12月	31	島根大学6年生	令和5年4月～8月	8
	令和7年1月～3月	12		令和6年1月～3月	11
自治医科大学6年生	令和4年5月～6月	3			

2) 臨床研修医

2024年度は1年次15名、2年次10名が臨床研修を行った。臨床研修医の教育体制の充実の面では、卒後臨床研修評価機構 (JCEP) による第三者評価を受審し、臨床研修病院における研修プログラムや研修状況について評価を受けることで、研修プログラムの改善や効果的で効率的な研修実施を行っている。当院では、磯和センター長、増野プログラム責任者、事務担当者3名がサーベイヤー講習会 (臨床研修のプログラムを中心とした評価を行うための知識、方法、態度を習得することを目的) を受講し、卒後臨床研修評価機構のサーベイヤーとして活動し、日々臨床研修制度に対する理解を深め、プログラムの改善に努めている。

3) 歯科臨床研修

協力施設に協力を頂き広報用のチラシを作成、全国の歯学部等へ送付を行った。病院説明会への参加は、第2回目に1名が参加した。病院見学者は2名であった。歯科臨床研修医採用試験は、1次募集のみ実施し、3名の応募があり試験を行った。

4) 専攻医

2018年に始まった新専門医制度では、当院の外科専門研修プログラム専攻医1名、救命科専門研修プログラム専攻医1名、総合診療専門研修プログラム専攻医8名、内科専門研修プログラム11名が研修を行った。他施設プログラムの連携施設研修では、総合診療専門研修プログラム1名、形成外科専門研修プログラム1名、麻酔科専門研修プログラム2名、内科専門研修プログラム1名、放射線科専門研修プログラム2名、泌尿器科専門研修プログラム2名、整形外科専門研修プログラム1名、外科専門研修プログラム1名、脳外科専門研修プログラム1名、救急科プログラム2名 合計14名を受け入れた。臨床研修以降の研修体制の充実は急務であり、プログラムの改善やプログラム紹介冊子の作成、広報活動を積極的に行っている。

2. 「シミュレーター室設置要綱」「シミュレーター室利用要項」に従い、院内規定に沿った機器の管理を行い、所有するシミュレーター機器を一覧をIIMSトピックス「臨床教育・研修支援センター」へ明示している。また、シミュレーター支援員を配置し、機器の整備、管理を行っている。2024年度は24回テクニカルレクチャーを開催し、テクニカルレクチャーで使用するシミュレーターや診療材料を指導者と連携し準備、支援を行った。

3. 臨床研究支援

臨床研究に関する知識や技術の習得を目的に兵庫医科大学社会医学データサイエンス部門主任教授 森本剛先生による指導会を全職員対象に開催している。2024年度は4回の実技指導会を開催し、初回は臨床研究の始め方、対象患者の設定やアウトカムについての講習を受け、2～4回目の実技指導会では上級医の継続研究発表とともに、臨床研修医2年次が実際にテーマを考え発表し、指導を受けた。また、第9回ワークショップを開催し、院内外の受講者13名が参加し、臨床研究への理解を深めた。

4. 広報活動（医師確保対策）

- 1) 医学生を対象とした臨床研修病院説明会を年2回実施した。医師や臨床研修医による臨床研修プログラムの特徴や施設概要の説明のほか、院内見学・意見交換などを行っている。1回目は、診療科の医師の協力を得て、臨床研修の現場を体験してもらう場としてハンズオンを実施した。2回目は臨床研修医による後出しじゃんけん（救急外来での経験症例の振り返り）カンファレンス、情報交換を行った。

- 2) 医学生、他院研修中の臨床研修医に研修先病院の候補にしてもらうため、病院見学受入れを行っている。

- 3) 2024年度は、5月にレジナビフェア in 福岡にて32名の学生が来訪した。レジナビフェア in 大阪では当院ブースへ15名が来訪した。レジナビWEB等病院情報を掲載し、研修プログラムについてアピールを行った。しまね研修ナビは6月にWEBで開催され、当院へは8名の参加アクセスがあった。2月は4年ぶりに対面形式で開催され、22名の学生が当院ブースへ訪問した。

- 4) 2022年4月より、臨床教育・研修支援センターのInstagramを開設し、研修行事や臨床研修医の様子などの情報を発信している。（フォロワー数1350件 2025年3月15日現在）また、Googleフォームを使用し病院見学の申込やアンケート入力などデータ入力の簡素化を進めている。

5. 臨床研修指定病院として当院が行う臨床研修に対して、2022年2月21日に「NPO 法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）」の第三者評価を受審した。

※医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行では、「第三者による評価を受け、その結果を公表することが強く推奨されること」となっている。

※毎年4月に提出する年次報告に、2024年より臨床研修に関する第三者評価の受審状況を記入することとなった。

※NPO 法人卒後臨床研修評価機構とは国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行い、公益の増進に寄与することを目的とする団体である。

2022年4月1日付けで「NPO 法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）」から認定証が交付され更新期間4年認定を受けた。更にこれまでの取り組みが評価され「エクセレント賞」を受賞した。

2024年1月書面調査更新した。次回2025年12月、訪問調査を予定している

【2024年度 医療局新入医師オリエンテーション】

開催日	開始・終了時間		内 容	講 師	受講者
4/1 (月)	8:40～11:00	140	辞令交付式	総務課	新規採用 医師全員
			事務手続き	給与課	新規採用 医師全員 臨床研修医 1年次
	11:00～12:00	60	医療局オリエンテーション 外来業務 概要説明 (医療クラークについて)	医療局長	新規採用 医師全員
	13:00～14:00	60	救急外来、当直業務について	山森副院長	
	14:00～14:30	30	医療技術局紹介	医療技術局長	
	14:30～15:00	30	看護局紹介	伊藤副院長	
	15:00～15:30	30	入退院支援・地域医療連携センター紹介	入退院支援・ 地域医療連携センター長	
	15:30～16:00	30	MSW の役割について	地域医療連携・ 医療福祉相談スタッフ	
16:30～17:15	45	医療局オリエンテーション対面式	医療局長 (オリエンテーション責任者)		
4/2 (火)	8:50～9:50	60	服務規律、勤務条件、人事評価、スタッフ支援室	総務課長、給与課長、県立 病院課職員、スタッフ支援 室職員 (各15分)	新規採用 職員全員
	9:50～10:35	45	病院事業管理者講話	山口病院事業管理者	
	10:45～11:15	30	医の倫理について	磯和副院長	
	11:20～12:00	40	DPC とクリニカルパス	山内委員長、岡室長	
	13:00～16:00	180	接遇研修	江角尚子先生 (株式会社島根人材育成)	
16:10～17:10	60	人権・同和問題研修 (1回目)	藤原尚幸先生 (人権啓発推進センター)		
4/3 (水)	8:50～9:20	30	メンタルヘルス研修	総務課 (DVD 研修)	新規採用 職員全員
	9:20～10:00	40	院内感染防止について	中村先生	
	10:00～10:40	40	労働安全衛生について	中村先生	
	10:50～12:00	70	公務員倫理	豊島先生 (日本経営協会)	
	13:00～14:00	60	人権・同和問題研修 (2回目)	藤原尚幸先生 (人権啓発推進センター)	
	14:10～15:10	60	医療安全について	磯和副院長	
	15:10～17:15	125	チーム医療推進新人職員研修会 (プロフェッショナルリズムについて・倫理的ジ レンマ)	協働の医療推進 WG 磯和副院長	
17:30～19:30	120	IIMS 研修	日高情報システム管理 室長補佐	臨床研修医 1年次 新規採用 医師 (任意)	
4/4 (木)	8:50～9:50	60	医療と法	磯和副院長	新規採用 職員全員
	9:50～10:20	30	個人情報保護及び管理について	山森副院長	
	10:20～10:50	30	RRS について	山森副院長	
	10:55～11:55	60	電子カルテシステムの概要 (と情報セキュリ ティについて)	若山室長	
	13:00～14:00	60	サマリー・死亡診断書・病名登録・後利用につ いて	診療情報管理士	

開催日	開始・終了時間		内 容	講 師	受講者
4/4 (木)	14:05～15:25	80	臨床研修について	増野センター長補佐	臨床研修医 1年次
	15:30～17:30	120	縫合研修	形成外科	
4/5 (金)	8:50～9:00	10	幹部紹介	幹部（病院長、参与、副院長、局長、センター長）	新規採用 職員全員
	9:00～9:45	45	病院長訓話	病院長	
	9:50～10:05	15	補助犬について	今岡センター長	
	10:05～10:20	15	防火・防災	太田課長	
	10:30～12:00	90	放射線研修（講義）	放射線管理委員会	医師・ 研修医・ 放射線技師 臨床検査技師 臨床工学技士
	13:30～16:30	180	放射線研修（現場研修）	放射線管理委員会	
	16:30～17:15	45	臨床研修について	増野センター長補佐	臨床研修医 1年次
	17:20～19:20	120	IIMS 研修	若山情報システム管理室長	臨床研修医 1年次 新規採用 医師(任意)
4/8 (月)	9:00～9:30	30	病理・剖検・CPC について	病理組織診断科部長	臨床研修医 1年次
	9:35～10:05	30	図書室利用、文献検索について	図書室職員	
	10:15～10:45	30	診療報酬について	医事室長（ソラスト）	
	10:50～11:50	60	ゲノム医療について	金澤がんゲノム推進室長	
	13:00～13:30	30	臨床研修について	増野センター長補佐	
	13:30～15:30	120	認知バイアス（看護局合同）	磯和センター長	
	15:40～16:40	60	感染対策（看護局合同）	医療安全推進室	
	16:50～17:20	30	放射線技術科	放射線技術科長	
17:20～17:40	20	MRI 検査の注意点について	放射線技術科		
4/9 (火)	9:00～9:30	30	医療安全	医療安全推進室	臨床研修医 1年次
	9:40～10:25	45	インシデントレポート作成について	医療安全推進室	
	10:30～11:30	60	医療安全	磯和センター長	
	13:00～13:30	30	臨床研修について	増野センター長補佐	
	13:30～14:30	60	抗生剤の使い方①	中村感染症科部長	
	14:30～16:00	90	臨床研究指導会	外部講師 (兵庫医科大学 森本教授)	
	16:00～17:00	60	抗生剤の使い方②	中村感染症科部長	
4/10 (水)	8:45～10:20	95	リハビリテーション実習① A	リハビリテーション技術科	臨床研修医 1年次
	8:45～10:20	95	輸血管理について・細菌検査（グラム染色） B	検査技術科・LSI メディエンス	
	10:20～11:55	95	リハビリテーション実習① B	リハビリテーション技術科	
	10:20～11:55	95	輸血管理について・細菌検査（グラム染色） A	検査技術科・LSI メディエンス	
	13:00～15:00	120	臨床研修について	増野センター長補佐	
	15:10～17:10	120	救急外来での対応について	集中治療科 石飛奈津子先生	
4/11 (木)	8:50～9:50	60	臨床工学科について	臨床工学科長	臨床研修医 1年次
	10:00～12:00	120	輸液ポンプ・シリンジポンプ実習	臨床工学科	
	13:00～13:30	30	栄養管理科について	栄養管理科	
	13:40～15:10	90	病院食を学ぶ	栄養管理科	
	15:20～17:00	100	1年次・2年次研修医部会	臨床教育・研修支援センター	

開催日	開始・終了時間		内 容	講 師	受講者
4/12 (金)	8:45~12:00	195	薬剤局実習 (A・B グループ)	薬剤局	臨床研修医 1年次
	13:00~14:20	80	採血・注射実習・点滴	看護局	
	14:30~16:30	120	導尿法実習・動脈採血 (動脈血ガス分析)	看護局・医療局	
	16:40~17:15	35	院内探索	臨床教育・研修支援センター	
4/15 (月)	8:30~9:30	60	検体の取り扱い	LSI メディエンス	臨床研修医 1年次
	9:30~10:30	60	検査技術科について、病理検査の検体提出について	検査技術科長	
	10:45~11:45	60	リハビリテーション実習②	リハビリテーション技術 科・看護局	
	13:00~17:15	270	臨床研修について	増野センター長補佐	
4/16 (火)	8:30~17:00	450	看護実習	看護師長	臨床研修医 1年次
4/19 (金)	13:00~20:15	435	しまね臨床研修医合同研修会	外部講師等	臨床研修医 1年次
4/20 (土)	8:30~12:00	210			

【シミュレーター機器使用状況】

分類	品名	台数	ME番号	使用回数		
基本 手 技	I・V Pat	5		18		
	SASUKE	5		1		
	静脈採血・ 血管確保トレーニング	採血・静脈シミュレータ シンジョーⅡ	2	T05049	1	
		静脈穿刺アームアドバンス	3	T12005	0	
		点滴静注シミュレータ Vライン	1	T05045	0	
		腕総合注射モデル 腕自慢	1	T05007	0	
		きんちゅうくんⅡ	1	T05053	0	
		神経・血管腕モデル	1	T05051	1	
		動脈採血シミュレータ	2	T05100	6	
		縫合評価シミュレータ	1	T05101	3	
		診療・看護支援トレーナー	フィジカルアセスメントモデル	1	T05008	0
	成人実習モデル さくらⅡ		1	T01007	0	
	導尿モデルⅢ型 女性用		1	T05018	3	
	導尿モデルⅠ型 男性用		1	T05019	3	
	女性導尿・浣腸シミュレータ		1	T05054	2	
	男性導尿・浣腸シミュレータ		1	T05055	2	
	褥瘡モデル		1	T05004	0	
	乳癌視触診モデルⅡ型		1	T05056	外来貸出	
	吸引シュミレーター Qちゃん		2	T05006	48	
	高齢者体験キット		2	T05057	0	
蘇 生 訓 練	一次救命処置 (BLS) 二次救命処置 (ACLS) 高度救命処置		ベビー アン+リトルベビー (異物除去)	10	T03004	17
		リトル・ジュニア (CPR)	6	T03006	14	
		レサシアン [半身モデル]・リトルアン QCPR (半身モデル)	10	T01013	42	
		新生児蘇生トレーナー レサシベビー (3ヶ月児)	1	T03002	0	
		ニューボーン アン (40周誕生児)	1	T03005	3	
		ALS ベビートレーナー [ハートシム 200] (3ヶ月児)	1	T03001	0	
		AED トレーナー 2・AED トレーナー	10	T02004	48	
		CPR アシスト：CPR メータ 2	10	T05095	33	
		早産児タスクトレーナー (アンチャン)	1	T03019	0	
		レサシアンシミュレータ SimPad 版	2	T01015	26	
		セーブマンアドバンス [全身]	1	T05014	5	
		救急蘇生トレーナー シムマン	1	T01001	2	
		除細動器	1	S07069	8	
	救急蘇生気道管理モデル	気道管理トレーナー	2	T05005	8	
		DAM シミュレータモデル	2	T01010	1	
		AIRSIM エアウエイトレーニングシステム	2	T05012	0	
		新生児気道管理トレーナー (1ヶ月未満)	1	T03018	0	
		輪状甲状靭帯切開術シミュレーター	1	T06001	1	
	診 療 支 援	穿刺・シミュレータ	CVC 穿刺挿入シミュレータⅡ	2	T05010	4
			腰椎・硬膜外穿刺シミュレータ ルンパールくんⅡ	1	T12001	手術室貸出
小児腰椎穿刺シミュレータ 小児ルンパール			1	T12002	0	
装着式胸腔穿刺シミュレータ			1	T12003	0	
心嚢穿刺シミュレータ			1	T12004	2	
診療科トレーナー		網膜症検査トレーナー	1	T05003	0	
		耳診察トレーナー	1	T05002	0	
		末梢神経ブロック超音波トレーニングモデル	1	T06002	0	
		内視鏡手術シミュレータ	1	T05105	2	
その他		救急カート CUA3-A026EAGT	1	B71046	6	
		心電図モニタ	1		1	
		インファント・ウォーマー	1		2	
		電気式吸引器 (CPS ユニット)	1	B08112	2	

【シミュレーター室 診療材料実績】

物品名	請求数	単位	単価(円)
【OJT 関連材料】			
NS アルファアイソレーションガウン	4	袋	850
EN シリンジ	45	本	18
オオサキプラスチックエプロン	1	箱	243
ナノパスニードルⅡ	1	袋	182
エンゲリードミニ	1	ケース	3,700
BD オートシールドデュオ	30	本	55
滅菌オベガーゼ RS4-3	43	袋	28
綿テープ (綾織り)	2	個	950
WiSM ディスポマスクソフトガード	3	箱	180
アクアソニッククリア	2	本	300
アルウエッティ one2エタノール2枚入	200	包	2
イージーウォーターネプライザーアダプター	2	個	896
インジェクションパッドマイルド	6	枚	5
バキューティナブラッドトランスファーデバイス	80	本	44
I.V.Pad 専用交換用血管 (標準)			
100本入	1	組	16,200
インセパックⅡ-D	100	本	16
インセパックⅡ-D	100	本	13
エラテックス S	6	巻	82
ガードファインガウン SMS	5	袋	680
キャピロン皮膚用リムーバー (剥離剤)	80	袋	33
クイックフィックス	1	箱	3,580
エコライト高濃度酸素マスク	1	個	180
ロードーズ	14	本	10
駆血帯	5	本	1,200
サラサイド除菌クロス 80枚、ピロータイプ	2	パック	248
テガダーム I.V. トランスペアド レッシング	100	枚	31
ファインガード SV セット	20	本	16
ファインガード SV 採血セット	100	本	31
メディセーフファインタッチディスポ DM	40	本	12
アンジオカット	5	本	43
アンジオカット	50	本	43
スーパーキャス 5	50	本	79
スーパーキャス 5	50	本	79
ニプロパッド	2	袋	58
シルキーポア	1	巻	219
バイオコンパクト	6	個	342
スティックタオル (清拭用ウエットタオル)	3	袋	8
スティックタオル (清拭用ウエットタオル)	35	袋	5
センシケア ニトリル検査・検診用手袋	2	箱	675
デザートスプーン120	1	袋	680
プラスチックグローブアルファ 粉なし	8	箱	264
プラスチックグローブアルファ 粉なし	5	箱	264
プラスチック袖なしエプロン	1	箱	304
トラキユニット	2	個	649
パード I.C. フォーリートレイ B	4	個	2,870

物品名	請求数	単位	単価(円)
【テクニカルレクチャー・病院説明会 材料】			
リトルアン QCPR	3	台	37,500
リトルベビー QCPR	3	台	43,500
AED トレーニング用パッド	10	セット	4,644
コソ練グラフト	5	箱	3,500
コソ練セット	1	セット	11,500
CV レガフォース EX	6	本	7,555
LOCK 心膜穿刺セット	1	セット	12,000
M99動脈採血シミュレータ交換用シリコンベルト	2	組	2,700
M99動脈採血シミュレータ交換用血管	3	組	7,920
M99動脈採血シミュレータ交換用皮膚セット	2	組	6,300
NIV 汎用呼吸回路	1	個	1,966
Optiflow +鼻カニューレ	4	本	2,424
エコライトエアロゾルマスク	2	個	90
オールスペックスペキュラチップ (ディスポーザブルスペキュラ)	100	個	17
滅菌ニュートンポンガーゼ	10	袋	128
縫合パッド Pro	18	組	12,690
シルクブレード (2-0)	12	パック	115
シルクブレード (3-0)	12	パック	115
スタイレット	4	本	114
トラフライン	2	キット	7,500
ナイロン単糸 (4-0)	96	本	730
ナイロン単糸 (5-0)	36	本	730
バイクリル (3-0)	12	袋	2,588
バイクリル (4-0)	36	袋	2,548
シャープスカウンター	67	個	94
バルーン鎖骨部 (Sim/AirMan)	2	個	5,610
エラスター針 1型	5	本	1,060
プロ・ベントプラス	30	本	107
フローマックス	20	本	2
ライトスプリント・FC 1巻入	2	箱	5,114
ライトスプリント・FC 1巻入	2	箱	5,822
エラスコット V パッケージ	24	巻	97
エラスコット V パッケージ	24	巻	123
経鼻エアウェイ (I.D. 6 mm)	3	本	1,150
経鼻エアウェイ (I.D. 7 mm)	3	本	1,150
経鼻エアウェイ (I.D. 8 mm)	3	本	1,150
3M デフィブパッド	12	個	535
使い捨てパッド (大型タイプ)	7	組	6,192
使い捨てパッド (X線透過)	5	組	6,600

【2024年度 研修一覧】

【臨床教育・研修支援センター主催研修会】

テーマ	開催日	内 容
新入職員交流会	2024.4.3	講師：協働の医療推進 WG 【概要】 2024年度新入・転入職員の全職種を対象とした「チーム STEPPS」を研修に採り入れたチームワーク演習で89名が参加した。
第8回臨床研究 ワークショップ (湖畔の温泉宿くにびき荘)	2024.10.4 ～ 10.6	外部講師：森本 剛先生（兵庫医科大学臨床疫学教授） 【概要】 統計ソフト「JMP」を用いた統計解析の講義、ハンズオン、グループワークが進められた。臨床研究ワークショップで島根県内外に勤務する医師（臨床研修医含む）合わせて13名が参加した。

【臨床研究実技指導会】 外部講師 森本 剛先生（兵庫医科大学臨床疫学教授）

開催日	開催場所	内 容
2024.6.11	研修棟3階 シミュレーター室	1. クリニカルクエスチョンをもとに①対象患者を設定しましょう②アウトカムを設定しましょう ・臨床研修医 2年次 床並 亜有子 「医師年数と身体所見の精度（例：心音聴診とエコーでの弁膜症）」 ・臨床研修医 2年次 明石 悠助 「発熱、意識障害で腰椎穿刺をした患者のうちどれぐらい本当に髄膜炎だったのか」 ・臨床研修医 2年次 山田 将大 「NSAIDs、アセトアミノフェンの定期内服によって感染症の所見が出にくくなるのか。また、その後の抗菌薬治療開始の遅延や予後には関係しているのか。」
2024.8.27	研修棟3階 シミュレーター室	1. 臨床研修医 2年次 山田 将大 「NSAIDsの常用が細菌性肺炎に及ぼす影響（症状のマスク、重症度との関係）」 2. 感染症科 中村 嗣先生 「選択的血液培養は医療の質に影響したか？」
2024.12.10	研修棟3階 シミュレーター室	1. 地域総合医育成科 馬淵 沙弥佳 「80歳以上の高齢骨粗鬆症患者における骨粗鬆症治療の有用性の検討」 2. 精神神経科 佐藤 弘樹先生 「単科精神科病院における身体的急変による緊急搬送事例のNEWS（National Early Warning Score）と転帰について」 3. 臨床研修医 2年次 山田 将大先生 岸本 燦太先生 「高齢者のNSAIDs定期内服による感染症徴候の不顕性化の化膿性、および細菌性肺炎の重症度の相関」
2025.2.5	研修棟3階 シミュレーター室	1. 臨床研修医 2年次 山田 将大先生 岸本燦太先生 「高齢者のNSAIDs定期内服による感染症徴候の不顕性化の化膿性、および細菌性肺炎の重症度の相関」 2. 臨床研修医 1年次 小田 啓太先生 氏原 英敏先生 中嶋 健人先生 「研究テーマについて」 3. 感染症科 中村 嗣先生 「選択的血液培養は医療の質に影響したか？」

【2024年度 広報実績】

【第1回 臨床研修病院説明会】

時間	内容	場所	対応
9:00	会場等設営	大研修室	臨床教育・研修支援センター
10:00	受付開始	大研修室	臨床教育・研修支援センター
10:30 (10分)	説明会開会 病院概要プレゼン	大研修室	小阪病院長
10:40 (10分)	臨床研修プログラム説明	大研修室	増野センター長補佐
10:50 (10分)	臨床研修医プレゼン	大研修室	臨床研修医
11:00 (45分)	院内見学	臨床研修医 1・2年次対応 ①屋上ヘリポート ②救急外来 ③研修棟 (医局3・仮眠室等)	
11:50 (60分)	昼食会 フリートーク	職員食堂	臨床研修医
13:00 (2時間40分)	手技レクチャー	シミュレーター室、会議室6、特定行為研修室にて	
		1. 形成外科：皮膚縫合、シミュレーターによる縫合評価 マイクロ顕微鏡で血管吻合	
		2. 救命救急科：シミュレーターを用いて挿管練習、エコー	
		3. 循環器科：冠動脈治療、ペースメーカー	
		4. 泌尿器科：腹腔鏡で縫合や小物操作	
15:40	閉会・写真撮影	シミュレーター室	磯和臨床教育・研修支援センター長

参加者	島根大学6年生	9人
	島根大学5年生	4人
	島根大学4年生	1人
	鳥取大学6年生	1人
	鳥取大学5年生	1人
	岡山大学6年	1人
合計		17人

【第2回 臨床研修病院説明会】

時間	医 科		
	内容	場所	対応者
8:30	会場設営	シミュレーター室	研修支援センター
9:00	受付		研修支援センター
9:30 (15分)	説明会開会		司会：増野先生
	1) 病院概要説明		小阪病院長
9:50 (10分)	※写真撮影		
10:00 (10分)	2) 研修プログラム説明		増野プログラム責任者
10:10 (10分)	3) 臨床研修医プレゼン		臨床研修医
10:20 (60分)	4) 臨床研修医 企画 「後出しじゃんけん」		山崎先生 臨床研修医
11:20 (30分)	5) 院内見学	救急外来 研修棟 (医局3、仮眠室) 屋上ヘリポート	臨床研修医
11:55 (5分)	閉会の挨拶	シミュレーター室	増野臨床教育・研修支援センター長補佐
12:00	解散		

時間	歯 科		
	内容	場所	対応者
8:30	会場設営	シミュレーター室	研修支援センター
9:00	受付		研修支援センター
9:30 (20分)	説明会開会		司会：増野先生
	1) 病院概要説明		小阪病院長
9:50 (10分)	※写真撮影		
10:00 (10分)	2) 歯科研修 プログラム説明他	特定行為研修室	狩野プログラム責任者
10:10 (10分)			
10:20 (60分)	3) 臨床研修医 企画 「後出しじゃんけん」	シミュレーター室	山崎先生 臨床研修医
11:20 (30分)	4) 院内見学	救急外来 研修棟 (医局3、仮眠室) 屋上ヘリポート	臨床研修医
11:55 (5分)	閉会の挨拶	シミュレーター室	増野臨床教育・研修支援センター長補佐
12:00	解散		

参加者	島根大学医学部5年生	4人
	島根大学医学部4年生	5人
	鳥取大学5年生	2人
	北海道医療大学5年生	1人
合 計		12人

【病院見学】

開催月	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	学校名
4月			1	1		2	島根大学(1)、高知大学(1)
5月				5	8	13	島根大学(10)、鳥取大学(1)、広島大学(1)、岡山大学歯学部(1)
6月			2		7	9	島根大学(7)、鳥取大学(1)、香川大学(1)
7月					6	6	島根大学(5)、鳥取大学(1)
8月				1	1	2	鳥取大学(1)、関西医科大学(1)
9月						0	
10月						0	
11月			1			1	島根大学(1)
12月				2		2	広島大学(1)、九州大学(1)
1月			1			1	九州大学(1)
2月				3	1	4	島根大学(1)、香川大学(1)、大阪大学(1)、北海道医療大学歯学部(1)
3月			3	2		5	島根大学(1)、鳥取大学(4)
合計	0	0	8	14	23	45	

【レジナビ】

開催日	名称・(開催場所)	参加状況
2024/5/19	レジナビフェア in 福岡 (マリンメッセ福岡)	当院訪問者：32名
2024/6/7	第1回しまね研修ナビ (Web開催 ZOOM)	当院訪問者：8名
2024/5/26	レジナビフェア in 大阪 (インデックス大阪)	島根県ブース訪問者：51名 当院訪問者：15名
2024/7/8 ～ 2024/7/12	しまね専門研修プログラム Web 説明会 (Web開催)	当院訪問者：0名
2024/5/31	鳥取大学医学部附属病院 卒後初期臨床研修合同説明会 (鳥取大学医学部記念講堂)	当院訪問者：6名
2025/2/14	第2回しまね研修ナビ (対面開催)	当院訪問者：22名

5.9.3 臨床研修医 行事

【朝カンファレンス】

(水曜日・木曜日7:30~8:00 会議室1 ※健康診断の為 シミュレーター室)

	テーマ	担当診療科	2024年度講師	2年次担当	1年次担当
4月10日	輸液について	救命救急科	尾崎 雄大	足立 涼	
4月17日	救急外来での不整脈の診断と治療	循環器科	吉田 雅昭	新田 和樹	
4月24日	整形外科救急疾患への対応	整形外科	飛田 正敏	木下アンリ	佐藤 光夏
5月1日	救急外来におけるエコーの心得	救命救急科	山崎 啓一	岸本 燦太	寺脇 怜
5月8日	救急外来での腹部エコー	消化器科	大町 泰介	床並亜有子	内藤 貴之
5月15日	救急外来での心エコー(心機能・心不全・ACSの評価)	循環器科	河野 由依	明石 悠助	中嶋 健人
5月22日	偶然見つかる肺がんについて	呼吸器科	堀田 尚誠	池田 晃輝	古田 裕幸
5月29日	JATEC	救命救急科	森 浩一	衣笠 凌平	勝部 敦貴
6月5日	救急外来でのコスト入力について	医事室	救急受付スタッフ	芝原 彰良	松原 瑠南
6月12日	脳神経外科領域の救急疾患	脳神経外科	落合淳一郎	山田 将大	氏原 英敏
6月19日	循環器疾患の救急対応	循環器科	村上 慧	足立 涼	大畑 佑弥
6月26日	消化器救急疾患への対応	消化器科	日野 孝信	新田 和樹	奥山 隆久
7月3日	心臓血管外科領域における救急疾患への対応	心臓血管外科	上平 聡	床並亜有子	小田 啓太
7月10日	敗血症初期治療	救命救急科	楠 正勝	明石 悠助	川上 雄飛
7月17日	形成外科領域における救急疾患への対応	形成外科	井上 真一	木下アンリ	佐藤 光夏
7月24日	救急外来における小児科疾患への対応	小児科	阿部 恭大	芝原 彰良	寺脇 怜
7月31日	産婦人科 救急	産婦人科	宮本 純子	池田 晃輝	内藤 貴之
8月7日	呼吸器外科領域における救急疾患への対応	呼吸器外科	阪本 仁	山田 将大	中嶋 健人
8月14日	脳神経内科救急疾患の対応	脳神経内科	高吉 宏幸	足立 涼	加藤明日海
8月21日	眼科領域における救急疾患への対応	眼科	蝶野 郁世	岸本 燦太	末次 佑輔
8月28日	耳鼻咽喉科領域における救急疾患への対応	耳鼻咽喉科	木村 光宏	新田 和樹	藤原 朋子
9月4日	血液内科領域における救急疾患への対応	血液腫瘍科	高橋 史匡	明石 悠助	勝部 敦貴
9月11日	外科救急疾患への対応	消化器外科	服部 晋明	木下アンリ	大畑 佑弥
9月18日	泌尿器科領域における救急疾患への対応	泌尿器科	藤川慎之介	池田 晃輝	奥山 隆久
9月25日	アドバンス・ケア・プランニング (ACP)	総合診療科	今田 敏宏	芝原彰良	小田 啓太
10月2日	CT・MRI 検査での造影剤について	放射線科	石橋 恵美	衣笠凌平	川上 雄飛
10月9日	腎臓科領域における救急疾患への対応	腎臓科	高瀬 健太郎	床並亜有子	氏原 英敏
10月16日	皮膚科診療のアドバイス	皮膚科	三原 祐子	山田 将大	松原 瑠南
10月23日	胸水の鑑別	呼吸器科	渡部 晃平	足立 涼	加藤明日海
10月30日	急性期脳梗塞の対応	脳神経外科	井上 祐輔	新田 和樹	末次 佑輔
11月6日	人工呼吸器の基礎・応用編	臨床工学科	福島 成文	衣笠 凌平	藤原 朋子
11月13日	緩和ケアについて	緩和ケア科	武田 啓志	岸本 燦太	古田 裕幸
11月20日	救急疾患の CT 画像診断	放射線科	荒木 和美	明石 悠助	佐藤 光夏
11月27日	ER でのけいれん/てんかん診療	脳神経内科	上田 真大	芝原彰良	奥山 隆久
12月4日	内分泌代謝領域における救急疾患への対応	内分泌代謝科	永澤 篤司	木下アンリ	小田 啓太
12月11日	医療安全 胸部 X-P の診かたを中心に	医療安全推進室	磯和 理貴	衣笠 凌平	勝部 敦貴
12月18日	放射線治療について	放射線治療科	黒田 覚	床並亜有子	川上 雄飛
12月25日	ACLS & 院内 CPA	救命救急科	桑原 正樹	山田 将大	中嶋 健人
1月8日	口腔外科領域における救急疾患への対応	歯科口腔外科	片山 暁恵	池田 晃輝	松原 瑠南
1月15日	睡眠薬の使い方	精神神経科	森崎 洋平	岸本 燦太	氏原 英敏
1月22日	DMAT	救命救急科	山森 祐治	足立 涼	大畑 佑弥
1月29日	スムーズな退院調整を行うために	入退院支援 地域医療連携 センター	多々納 満 MSW 永見 晴江 看護師	新田 和樹	古田 裕幸
2月5日	帰してはいけない危険な症状-腫瘍による脊髄圧迫-	臨床腫瘍科	川上 耕史	明石 悠助	内藤 貴之
2月12日	グラム染色・簡易検査	LSI メディエンス	石原慧太郎	木下アンリ	加藤明日海
2月19日	血液浄化	臨床工学科	白築 春奈	衣笠 凌平	末次 佑輔
2月26日	病院の食事、栄養に関して	栄養管理科	原 加奈子	芝原 彰良	藤原 朋子
3月5日	よくある疑義照会例	薬剤科	佐野奈津子	床並亜有子	寺脇 怜

【テクニカルレクチャー】（木曜日 18:00～ シミュレーター研修室等）

	内容	担当診療科	2024年度講	2年次担当	1年次担当
4月4日	縫合処置（局所麻酔と縫合）	形成外科	形成外科 全医師	床並亜有子	
4月18日	救急外来対応	救命救急科	山崎 啓一	木下アンリ	
4月25日	整復、シーネ固定	整形外科	飛田 正敏	芝原 彰良	氏原 英敏
5月9日	除細動器の使い方	救命救急科	樋口 大	明石 悠助	大畑 佑弥
5月16日	心エコー①	循環器科	村上 慧	池田 晃輝	小田 啓太
		検査技術科	青木亜希子		
	腹部エコー①	肝臓内科	三宅 達也		
		検査技術科	赤沼 佳子		
5月23日	心エコー②	循環器科	河野 由依	衣笠 凌平	奥山 隆久
		検査技術科	青木亜希子		
	腹部エコー②	肝臓内科	三宅 達也		
		検査技術科	赤沼 佳子		
5月30日	JATEC	救命救急科	森 浩一	山田 将大	川上 雄飛
6月13日	酸素療法について	救命救急科	金井 克樹	岸本 燦太	寺脇 怜
6月27日	身体診察	総合診療科	増野、今田 吹譯、石橋 石田、松井 足立	足立 涼	佐藤 光夏
7月11日	救急外来における小児アレルギーへの対応	小児科	羽根田泰宏	新田 和樹	内藤 貴之
7月25日	SBAR	救命救急科	山崎 啓一	床並亜有子	中嶋 健人
		看護局	浦部 涼子		
8月8日	ハラスメントとその対策	精神神経科	佐藤 弘樹	明石 悠助	古田 裕幸
8月22日	縫合処置（縫合・糸結び）	消化器外科	前本、服部 三原、海生	木下アンリ	勝部 敦貴
9月5日	耳鏡・鼻鏡・鼻出血対応①	耳鼻咽喉科	木村 光宏	池田 輝	松原 瑠南
	眼科手技①	眼科	蝶野 郁世		
9月19日	耳鏡・鼻鏡・鼻出血対応②	耳鼻咽喉科	木村 光宏	山田 将大	加藤明日海
	眼科手技②	眼科	蝶野 郁世		
10月10日	気道確保、マスク換気	麻酔科	越崎 雅行 ※変更予定	芝原 彰良	末次 佑輔
10月24日	CT画像ピンセント機能について	放射線技術科	小川 邦夫	衣笠 凌平	藤原 朋子
11月7日	人工呼吸器設定	救命救急科	金井 克樹	足立 涼	氏原 英敏
		臨床工学科	福島 成文		
11月21日	心電図	検査技術科	青木亜希子	新田 和樹	奥山 隆久
12月5日	心嚢穿刺・胸腔穿刺・輪状甲状靭帯穿刺	救命救急部	北野 忠志	岸本 燦太	小田 啓太
12月19日	頸動脈・下肢静脈エコー	検査技術科	赤沼 佳子	床並亜有子	川上 雄飛
1月9日	CVシミュレーション①	麻酔科	越崎 雅行	木下アンリ	大畑 佑弥
1月23日	CVシミュレーション②	麻酔科	越崎 雅先	池田 晃輝	内藤 貴之
2月6日	肩関節脱臼整復法	整形外科	田中 孝明	山田 将大	中嶋 健人
2月20日	心エコー③	検査技術科	青木亜希子	明石 悠助	古田 裕幸
	腹部エコー③	検査技術科	赤沼 佳子		

【木曜行事：演題と発表者】 会議室1・大研修室 18:00～20:00

開催月日		発表者	タイトル	指 導 医
6月20日	後出しじゃんけん カンファレンス	床並亜有子	てんとう虫は怖い！	救命救急科 山崎 啓一
	ケースカンファレンス	岸本 燦太	早期診断により救命し得たレフレル心内膜炎の1例	循環器科 木下 奈津
7月4日	後出しじゃんけん カンファレンス	足立 涼	It's Up to YOU!	救命救急科 桑原 正樹
	ケースカンファレンス	山田 将大	自宅の温水器が原因と考えられたレジオネラ肺炎の1例	総合診療科 今田 敏宏
	ケースカンファレンス	芝原 彰良	腎盂癌術後補助療法でニボルマブ投与中に重症筋無力症を発症した1例	泌尿器科 杉谷 智之
7月18日	医師会合同 (CPPC ①)	池田 晃輝	剖検で心アミロイドーシス所見を認めた消化管アミロイドーシス合併多発性骨髄腫	指導者 三宅 隆明
				指導者 高橋 史匡
				病理所見 大沼 秀行
				画像所見 児玉 光史
				薬理所見 仲谷 翼
8月1日	後出しじゃんけん カンファレンス	明石 悠助	違和感の正体は！？	救命救急科 楠 正勝先生
	ケースカンファレンス	小田 啓太	診断に難渋した心アミロイドーシスの一例	循環器科 井本 宏治
	ケースカンファレンス	新田 和樹	後頭部痛を契機に発見された 脊髄硬膜外血腫の一例	救命救急科 桑原 正樹
8月15日	ケースカンファレンス	川上 雄飛	気管気管支を背景に持つ乳児のRS ウイルス感染症でICU管理となった1例	小児科 山田健治
	ケースカンファレンス	池田 晃輝	腎生検で病変を認めた血管内大細胞型Bリンパ腫 (IVLBCL) の一例	血液腫瘍科 三宅 隆明
8月29日	後出しじゃんけん カンファレンス	加藤明日海	突き進んでしまった赤信号	救命救急科 山崎 啓一
	ケースカンファレンス	木下アンリ	狭窄症状を呈する進行癌へのステント留置の適応についての検討ーへき地医療機関での対応も含めてー	総合診療科 樋口 大
9月12日	後出しじゃんけん カンファレンス	藤原 朋子	ちいさい違和感	救命救急科 桑原 正樹
	ケースカンファレンス	大畑 佑弥	播種性骨髄癌腫症を発症した前立腺癌の1例	泌尿器科 杉谷 智之
9月26日	ケースカンファレンス	床並亜有子	CT と18F-FDG-PET/CT が有効であった再発性多発軟骨炎の一例	放射線科 岡村 和弥 荒木 和美
		奥山 隆久	ステロイドが原因と考えられる薬剤性肝障害	呼吸器内科 堀田 尚誠
10月3日	後出しじゃんけん カンファレンス	松原 瑠南	シンプルに考えて	救命救急科 楠 正勝先生
10月17日	後出しじゃんけん カンファレンス	氏原 英敏	「ミルミル」	救命救急科 山崎 啓一
	ケースカンファレンス	佐藤 光夏	サルモネラ腸炎に合併した急性膵炎の一例	消化器科 大町 泰介
10月31日	後出しじゃんけん カンファレンス	末次 佑輔	オッカム before ヒッカム	救命救急科 金井 克樹
	ケースカンファレンス	衣笠 凌平	EGFR exon 20変異を認めた肺癌の1例について	呼吸器科 堀田 尚誠
		寺脇 怜	高度肥満を背景に発症した非代償性心不全の1例	循環器科 吉田 雅昭

開催月日		発表者	タイトル	指導医
11月14日	後出しじゃんけん カンファレンス	古田 裕幸	七転び八起き	救命救急科 楠 正勝
	ケースカンファレンス	足立 涼	糖尿病性足感染症を契機とした MRSA 持続菌血症により治療難渋した一例	総合診療科 小田川誠治
11月28日	ケースカンファレンス	明石 悠助	脳底動脈先端症候群 (Top of the basilar syndrome) と 思われた一例	救命救急科 楠 正勝
		藤原 朋子	消化器症状により発見が遅れた薬剤性低ナトリウム 血症	内分泌代謝 永澤 篤司
12月12日	総合研修			
12月26日	ケースカンファレンス	勝部 敦貴	溶連菌感染症後に、指尖部と膝周囲に結節性紅斑を 呈した一例	総合診療科 小田川誠治
		末次 佑輔	難治性てんかんを呈した原発不明がんによる傍腫瘍 性自己免疫性脳炎の一例	脳神経内科 高吉 宏幸
1月16日	後出しじゃんけん カンファレンス	中嶋 健人	ごてごて	救命救急科 栞原 正樹
1月30日	後出しじゃんけん カンファレンス	大畑 佑弥	心の目、心の耳	救命救急科 山崎 啓一
	ケースカンファレンス	古田 裕幸	Cronkhite-Canada 症候群の経過中に 大腸腺腫内癌、 管状腺腫、鋸歯状腺腫を同時に認めた1例	内視鏡科 宮岡 洋一
2月13日	医師会合同 (CPPC ①)	中村 惇 明石 悠助	原因不明の難治性胸水により 循環不全をきたした胸 膜炎の1例	指導者 堀田 尚誠
				病理所見 大沼 秀行
				画像所見 荒木 和美
				薬理所見 吉野 将司薬剤師
2月27日	後出しじゃんけん カンファレンス	寺脇 怜	木を見て森を見ず	救命救急科 金井 克樹
	ケースカンファレンス	松原 瑠南	妊娠20週で子宮内胎児死亡となった症例で サイトメ ガロウィルス感染が原因と考えられた一例	産婦人科 奈良井曜子
		氏原 英敏	志賀毒素産生大腸菌関連溶血性尿毒症症候群の1例 に対する、診断までの検査および治療介入の後方視 的検討	地域総合医育成科 樋口 大
3月13日	後出しじゃんけん カンファレンス	勝部 敦貴	目撃者不在	救命救急科 桑原 正樹
	ケースカンファレンス	中嶋 健人	重ね置きした頸動脈ステントの滑落後閉塞への対応	脳神経外科 井上 祐輔
		加藤明日海	低栄養による免疫不全を背景に発症した多重真菌菌 血症の一例	総合診療科 石橋 和樹

【CPC（臨床病理解剖症例検討会） CPPC（臨床薬理病理画像検討会）】

開催月日		発表者	タイトル	指 導 医
7月18日	医師会合同 (CPPC ①)	池田 晃輝	剖検で心アミロイドーシス所見を認めた消化管アミロイドーシス合併多発性骨髄腫	指導者 三宅 隆明
				指導者 高橋 史匡
				病理所見 大沼 秀行
				画像所見 児玉 光史
				薬理所見 仲谷 翼 薬剤師
1月30日	(ミニCPC)	永田 紘功	An autopsy case of acute bioprosthetic aortic insufficiency 10 years after surgical aortic valve replacement	指導医 井本 宏治
2月13日	医師会合同 (CPPC ②)	中村 惇 明石 悠助	原因不明の難治性胸水により循環不全をきたした胸膜炎の1例	病理所見 大沼 秀行
				指導者 堀田 尚誠
				画像所見 荒木 和美
				薬理所見 吉野 将司 薬剤師

5.10 臨床研究・治験管理室 室長（医療局次長）：井川 房夫
室長補佐（薬剤専門員）：安食 綾子

臨床研究・治験管理室は、倫理審査に関する業務を行う臨床研究・治験審査委員会（IRB）事務局、治験・研究の運営を行う治験・研究事務局の2つの機能を担っている。また、院内治験コーディネーター（CRC）を配置し、治験・臨床研究の実施支援を行っている。

当室は、臨床研究治験推進WGの事務局として2010年6月から業務を開始し、2020年4月より正式に組織化された。以降、当院で実施する治験、臨床研究、製造販売後調査、適応外診療、高難度新規医療技術、院内製剤等が関連法規や指針に基づき適切に実施できるよう支援している。

5.10.1 臨床研究・治験管理室の目的と展望

個人情報保護法の改正、臨床研究法の施行等、近年、人を対象とする医学系研究の分野は大きく変化し、研究者だけでなく組織としても高い見識と運営能力が必要とされている。がんゲノム医療をはじめ、飛躍的な進歩をとげている分野では、より専門的で高度な支援が求められている。

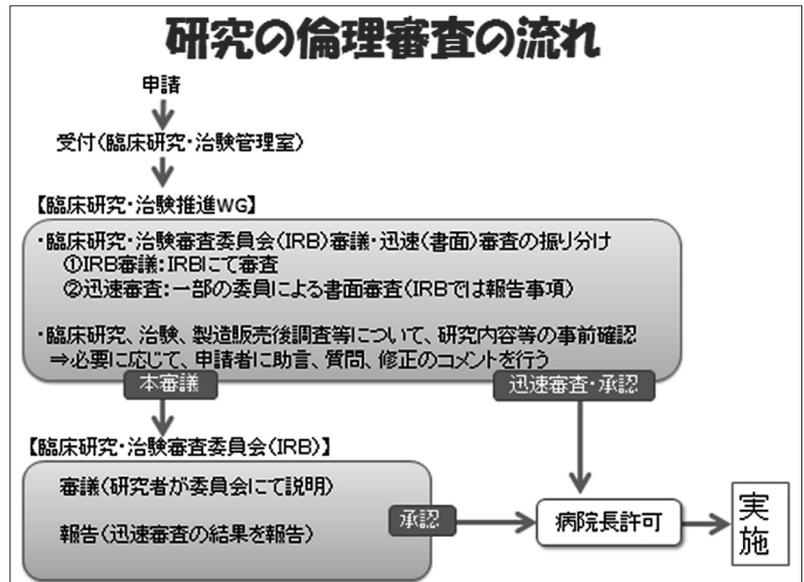
また、高難度新規医療技術や未承認医薬品等の適応外診療における診療の分野では、実施者の技術到達度や院内の運用、連携体制の構築など、導入のプロセスが重要である。

当室では、これらの高度な医療提供の一助となるために、日々新たな情報を収集し、患者さんに不利益のない質の高い研究や診療ができるよう支援していく。

5.10.2 臨床研究・治験管理室の業務

- 1) 臨床研究・治験審査委員会（IRB）の運営
 - ・審査対象：治験、臨床研究、製造販売後調査等、適応外診療・検査、高難度新規医療技術導入、院内製剤等
 - ・IRB委員に必要な構成員の選定、病院長による指名及び委員への連絡調整
 - ・IRB申請の受付窓口、会議準備
 - ・司会進行の補助、議事録の作成、HP公開
 - ・質の高い倫理審査を行うための委員への教育
- 2) 治験（臨床研究）コーディネーター業務
 - ・被験者対応（被験者適格性確認、被験者スケジュール管理、診察や検査の立会など）
 - ・研究責任医師のサポート（同意説明補助、症例報告書作成補助など）
 - ・院内の他部署との連絡調整
 - ・依頼者対応（モニタリングや監査の対応、実施状況の報告など）
- 3) 治験（臨床研究）事務局業務
 - ・IRB申請書類の作成に関するサポート
 - ・必須文書作成、記録保管
 - ・契約業務、受託研究費の管理
 - ・プロトコル、GCP等関連法規、指針等に準拠して治験・研究を実施するための進捗管理
 - ・外部モニタリング、監査対応
 - ・院内モニターとしてのモニタリングの実施
 - ・被験者相談窓口
- 4) 各種関連法規、指針、通知等に基づいたSOP等の作成
 - ・島根県立中央病院臨床研究・治験審査委員会運営要項
 - ・治験実施に係る標準業務手順書
 - ・医師主導治験実施に係る標準業務手順書
 - ・特定臨床研究等の実施に係る標準業務手順書
 - ・人を対象とする生命科学・医学系研究の実施に係る標準業務手順書
 - ・製造販売後調査等実施に係る標準業務手順書
 - ・適応外診療等に関する規程
 - ・高難度新規医療技術の導入に関する規程 他

- 5) 高難度新規医療技術、適応外診療等の管理業務
 - ・適応外診療、適応外検査の申請、実施報告の確認
 - ・高難度新規医療技術導入の申請、実施報告の確認
- 6) 研究関連の教育・啓発活動
 - ・研究倫理教育（e-APRIN）の申請手続き、契約等
 - ・治験ネットワーク参加による推進活動
 - ・各診療科への治験案件紹介
 - ・広報活動（chiken 便り発行等）



5.10.3 審査件数実績

	治験		臨床研究		製造販売後調査		適応外診療等		高難度医療技術導入		院内製剤	
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
新規	0	1	69	47	10	9	25	10	5	7	0	0
変更	8	5	90	85	13	5	0	0	0	1	1	0
安全性情報	12	9										
重篤な有害事象	0	2	3	0			0	0	0	4	0	0
終了	1	1	50	57	24	25			2	3	1	4

【スタッフ紹介】

役職	氏名	資格等
臨床研究・治験管理室長 医療局次長	井川 房夫	医師
臨床研究・治験管理室長補佐 (専従)	安食 綾子	薬剤師
臨床薬剤科副科長(兼務)	島田 杏子	薬剤師
薬剤専門員(兼務)	湯山 千明	薬剤師
治験コーディネーター	濱村 智子	看護師
治験コーディネーター	稗田 智美	看護師
治験コーディネーター(兼務)	佐藤 杏子	看護師
医療クラーク	目黒 昌美	
医療クラーク	青木 裕子	
医療クラーク	錦織 純子	
医療クラーク	白石 ミキ	
医療クラーク	板垣 誠二	
医療クラーク	高野 咲良	

5.11 統合運用・業務改善室 室長（医療局長）：山内 正信

「統合運用」とは、『継続・安定して質の高い医療を提供する基盤をつくることで経営の健全化を図る』という島根県立中央病院が掲げる病院運営の基本コンセプトです。よりよい病院となるよう、官民一体となり協働して課題を克服し問題解決にあたります。

それを実現するには、病院と委託企業が理念や目的・目標を共有すること、それぞれの専門分野において最大限の力が発揮できる環境が必要です。

経営改善と働き方改革が急務となっている昨今、これまで以上に病院と企業がより協力して「医療の質の向上」「業務改善」「業務の効率化」が図られるよう、2020年4月に「統合運用推進室」から「統合運用・業務改善室」に改名しました。病院と企業および企業間の橋渡しとなって、新たな提案の実現や課題の克服に日々取り組んでいます。

5.11.1 統合運用・業務改善室の目的

「病院と企業・企業どうしをつなぎ、共に発展し、より良い病院づくりに貢献する」

「統合運用」を具体的に実践するため、官と民が病院の目標を共有し、それぞれの得意分野を活用してお互いの弱点を補いながら長所を発揮できる環境を作ることを目的としています。

＜経営企画＞＜医療情報＞＜医療安全＞の視点を重視しながら、関連する業務の運用が効果的・効率的かつ安全に遂行されるようコーディネートし、また職員提案制度やTQM活動を通して病院業務全体の質の向上と効率化を推進します。

5.11.2 統合運用・業務改善室の業務

1. 官民協働による病院運営支援 … 病院経営および運営に関わる課題解決を支援
2. 医療関連ビジネスの連携推進 … 病院および企業間での情報の共有化、問題点の可視化を推進
3. 医療安全管理への提言 … 安全管理の視点による物流構築、感染防御を提言
4. 統合物流構築と消費管理推進 … 病院運営・原価管理システム・医療資源適正化を提言
5. 協働作業に対する工程管理 … 官民全体の協働作業の方向性の検証、改善を提言
効果や達成度の評価・検証の支援
6. 情報システムの構築と推進 … データベースからの医療経営および医療の質の担保を支援
7. 医事・経営企画の支援 … 現状分析と問題点の抽出、解決への支援
8. 研修会の主催・サポート … 各種研修、テーマ別研究会等を起案
9. 業務改善支援 … 各部署の改善や効率化への取り組みの支援、TQM活動
島根県立中央病院職員等提案制度活用推進

5.11.3 統合運用・業務改善室の構成

I. 構成企業（委託業務）

- ・株式会社 LSI メディエンス … 検体検査業務
- ・株式会社ソラスト … 窓口業務、診療報酬関連業務、診療情報管理業務、電話交換業務
- ・太平ビルサービス株式会社 … 病院清掃等環境衛生業務
- ・富士通 Japan 株式会社 … 病院統合情報システム開発・保守管理業務
- ・株式会社テクノプロジェクト … 病院統合情報システム運用支援業務
- ・小西医療器株式会社 … 統合物流業務（診療材料・医薬品）
- ・株式会社岩多屋 … リネンサプライ業務
- ・北陽ビル管理株式会社 … 設備運転管理業務・施設警備業務
- ・北陽警備保障株式会社 … 緊急車両等運転業務
- ・日清医療食品株式会社 … 給食業務
- ・ワタキューセイモア株式会社 … 消毒滅菌業務・入院セット業務
- ・株式会社メディウムジャパン … 床頭台業務

II. 構成員

室長：山内 正信（医療局長）

スタッフ：北村 隆弥（LSI メディエンス） 白濱成一郎（ソラスト）
 下村 文彦（富士通 Japan） 杉谷 孝（小西医療器）
 根岸 将哉（ワタキューセイモア） 神田 文（LSI メディエンス）
 小川 裕太（テクノプロジェクト） 金森 雅寿（岩多屋）
 桐原 均（北陽ビル管理） 内田 潤（北陽ビル管理）
 福庭 司（日清医療食品） 角 研介（北陽警備保障）
 長谷 浩貴（太平ビルサービス） 佐々木秀樹（メディウムジャパン）

5.11.4 統合運用・業務改善室の経緯と活動

1997年2月に、太平ビルサービス㈱、㈱日本医療事務センター（現 ㈱ソラスト）、㈱三菱化学ピーシーエル（現 ㈱LSI メディエンス）の3社により、統合運用推進室の前身である病院業務受託企業連絡会が発足しました。2000年11月に委託企業管理調整室を経て、小西医療器㈱を含めて、4社で統合運用調整室を正式に立ち上げました。以来、2003年2月に富士通㈱、㈱テクノプロジェクトが参画、2004年4月から㈱サンキと㈱岩多屋、2008年4月から北陽ビル管理㈱が参画しました。2011年4月から名称を統合運用推進室に改称し、2013年4月からは日清医療食品㈱、2017年4月には北陽警備保障㈱、2021年4月にはワタキューセイモア㈱、2023年4月より㈱メディウムジャパンが参画し13社体制となっています。この間、全国自治体病院学会、医療マネジメント学会、病院経営シンポジウムや各種セミナーにおいて、病院長をはじめとした病院職員のみならず委託企業からも「統合運用」について講演や発表を行ってきました。

また、定期開催している統合運用・業務改善連絡会においては、各企業が自主性を持ちながら、官民協働をより推進すべく、それぞれが持つ専門的なノウハウと病院が求める質の高い医療の提供を高い次元で実現するため、情報共有と様々な協議を行っています。統合運用・業務改善室と医療安全推進室とが共同で作成した「ポケットブック」については随時更新を行い、全職員の業務環境整備に役立っています。

2020年4月には、病院と企業がより一体となって協力し、医療の質の向上、業務改善、業務の効率化が図られるよう、「統合運用・業務改善室」に改名しました。TQM 活動や職員等提案制度では、事務局としてその活動を牽引・支援し、病院で働くすべての職員・各部署が自発的に新たな提案の実現や課題を克服する風土・環境醸成できるよう取り組んでいます。

5.11.5 委託業務水準の維持と向上

各企業の業務が、“仕様書や提案書に沿って業務が遂行できているか”、さらに“病院をより良くするための提案を企業側から積極的に行い、実行に向け病院と協働する体制となっているか”を、様々な視点により現地確認（モニタリング）やヒアリングを行ってきました。

このセルフモニタリングは統合運用推進室の発案により始まり、企業自らが統合運用推進室メンバーだけでなく、病院職員の協力を得て実施しています。①安全、②安心、③効果、④効率の四つの視点で実施し、必要に応じて改善に役立っています。

【企業別資格者数】

2025年5月時点

業務内容	企業名	資格等	資格者
検体検査業務	LSI メディエンス	臨床検査技師	6
		日本臨床検査医学会認定 緊急臨床検査士	4
		日本臨床検査医学会認定 臨床血液検査士2級	3
		日本臨床検査医学会認定 臨床化学検査士2級	1
		日本臨床検査医学会認定 臨床微生物検査士2級	2
		日本臨床検査医学会認定 免疫血清学検査士2級	1
		一般毒劇物取扱責任者	1
		日本栄養治療学会 NST 専門療法士	1
		日本検査血液学会 認定血液検査技師	1
		日本臨床衛生検査技師会 認定一般検査技師	1
		日本臨床衛生検査技師会 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師	1

業務内容	企業名	資格等	資格者
診療情報管理業務	ソラスト※1	診療情報管理士	8
統合物流業務	小西医療器	日本医療機器学会認定 第一種滅菌技師	1
		日本滅菌業協会認定 滅菌管理士	1
		第一種圧力容器取扱作業主任者	1
		特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	1
		第二種情報処理技術者	1
システム開発・運用支援業務	富士通テクノプロジェクト※1	日本医療情報学会認定 医療情報技師	4
		初級システムアドミニストレータ	1
		基本情報技術者	3
		第二種情報処理技術者	2
		IT パスポート	1
給食業務	日清医療食品	管理栄養士	5
		栄養士	6
		調理師	8
設備運転管理業務	北陽ビル管理	エネルギー管理士	3
		建築物環境衛生管理技術者	3
		二級ビル設備管理技能士	1
		高圧ガス製造保安責任者	3
		特定高圧ガス取扱主任者	2
		医療ガス安全管理者	4
		1級ボイラー技士	6
		2級ボイラー技士	14
		第1種電気工事士	2
		第2種電気工事士	15
		第2種電気主任技術者	1
		第3種電気主任技術者	2
		防災管理者	1
		自衛消防業務者	21
		防火対象物点検資格者	1
		防火設備検査員資格者	1
		防災管理点検資格者	1
		第1種消防設備点検資格者	5
		第2種消防設備点検資格者	3
		危険物取扱者 乙4	19
2級建築士	1		
警備業務	北陽ビル管理	施設警備検定1級合格者	3
		施設警備検定2級合格者	15
		警備員指導教育責任者	6
清掃・環境衛生業務	太平ビルサービス	社団法人全国ビルメンテナンス協会認定 病院清掃受託責任者講習修了者	11
		社団法人全国ビルメンテナンス協会認定 ビルクリーニング技能士	3
		特別管理産業廃棄物管理責任者	1
消毒滅菌業務	ワタキューセイモア	日本滅菌業協会認定 滅菌管理士	2
		第一種圧力容器取扱作業主任者	2
		特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	1
		日本滅菌業協会認定 院内滅菌消毒業務受託責任者	2

※1 ソラスト、テクノプロジェクトについては「5.8 情報システム管理室」資格、認定もご参照ください。

5.12 臨床ゲノム医療推進室 室長（薬剤局長）：金澤 旭宣

がんゲノム医療とは遺伝子情報に基づくがんの個別化治療のひとつです。これまで再発進行がんの治療は臓器別で行われてきましたが、がん遺伝子が解明されることにより臓器に関係なく遺伝子変異に対して効果が期待できる薬剤を選択することも可能となってきました。また2019年度より100以上の多数のがんの遺伝子変異を一度に測定するがん遺伝子パネル検査が保険適用となったことから、がんゲノム医療はすべての患者さんにとってより身近なものとなりました。

当院は2019年度からがんゲノム医療連携病院としてがんゲノム医療を積極的に導入しました。がん遺伝子パネル検査は標準治療で十分な効果が得られなくなった患者さんに保険適用となります。また我々は国立がん研究センター東病院とともに SCRUM-JAPAN 事業の MONSTER-SCREEN という産学連携プロジェクトに参加しており、リキッドバイオプシーを中心に治験や治療開発のなかで最新の治療薬を患者さんに届けられるように体制を整えています。

【スタッフ紹介】

役 職	氏 名	資 格 等
臨床ゲノム医療推進室長 薬剤局長	金澤 旭宣	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医（消化器・一般外科：大腸） ロボット支援手術認定プロクター（大腸） 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医 日本がん治療認定医機構 暫定教育医・がん治療認定医 da Vinci Robot Surgery 術者 Certification 米国外科学会 フェロー（FACS） Best Doctors in Japan 緩和ケア研修会修了
臨床腫瘍科部長	川上 耕史	日本内科学会 総合内科専門医 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医 日本がん治療認定機構 がん治療認定医 島根大学医学部 臨床准教授 緩和ケア研修会修了

5.13 スタッフ支援室

スタッフ支援室は、職員が生き生きと働き続けられるよう支援することを目的として2014年に開設され、今年で12年目を迎えます。総務課長、スタッフ支援室室長、相談員で構成されており、毎週火曜日と金曜日の9時から17時まで、3名の相談員が交代で対応しています（各日半日ずつ1名が担当）。

スタッフ支援室は、職員が気軽に相談できる場であり、話すことで気分転換ができたり、自らの選択を見つめ直す機会になったり、必要な情報提供することを役割としています。

対応する相談内容は、職場の人間関係や業務に関する悩み、育児や介護に伴うストレスや不安など多岐に渡ります。相談は原則予約制で、1回約1時間の時間を確保し、じっくり話を聞くことを大切にしています。また、必要に応じて臨床心理士への相談につなぐこともあり、相談員間で情報共有を行いますが、上司や部署に漏れることはないよう秘密厳守で対応しています。

予約不要で立ち寄れる「お気軽な訪問」も受け付けており、「ちょっと話を聞いてほしい」「ほっとしたい」「気分転換したい」といった職員が気軽に利用できる場です。悩みを少しずつ吐き出すことで、大きな悩みに発展しないようにすることも目的としています。

また、産休や育児休業中の職員に向けた職場復帰支援も行っており、育児関連制度の説明や状況に応じた働き方のアドバイス、院内保育所の利用方法、年2～3回の「パパママ会」開催やその後の通信の発行により情報発信をしています。

2024年度利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談者数（のべ数）	6	16	13	10	8	13	14	7	8	10	12	6	123
お気軽訪問数	17	16	10	21	14	16	18	22	15	17	18	16	200

5.14 院内チーム

医療の質や安全性の向上及び高度化・複雑化に伴う業務の増大に対応するため、多種多様なスタッフが各々の高い専門性を前提とし、目的と情報を共有し、業務を分担するとともに互いに連携・補完しあい、患者さんの状況に的確に対応した医療を提供する「チーム医療」を実践しています。

① ICT（感染制御チーム） リーダー：感染症科部長 中村 嗣

「5.7 医療安全推進室 2. 院内感染防止対策 2) ICT 関係」をご参照ください。

② RRS チーム リーダー：救命救急科部長 石田 亮介

院内急変対応システム Rapid Response System（以下、RRS と略す）とは、院内の急激に重症化する患者をいち早く察知し心肺停止となる前に処置をすることで、院内での予期せぬ死亡を減らす事を目的としています。当院では患者が急変したと判断された場合、主治医への連絡とともに、24時間院内に常駐している救命救急科待機医師へ連絡し対処する体制がありました。しかしながらコールする基準が曖昧で、急変を未然に察知するような指導体制も十分ではありませんでした。2013年に開催された RRS の講演会をきっかけに当院でも導入すべきという機運が高まり、約1年半の準備期間を経て、2014年の年末にこのシステムの運用を開始しました。RRS は病院内の全職種の方が要請でき、その要請基準は呼吸器系、循環器系、神経系等に分かれて設定しています。さらにこれらの基準に当てはまらない場合でも、患者に関する何らかの懸念があれば要請できます。早期警戒スコアを用いて要請のきっかけとできるようなシステムも導入されました。

日中は、RRS 担当医師が日替わりで RRS 専用 PHS（7119）を持ち、RRS 要請に対応し集中ケア認定看護師が共に出動します。認定看護師は、RRS 要請後の患者さんのフォロー、RRS を要請するかどうかを迷っている場合の対応などを行っています。要請する職員が躊躇なく RRS を要請できるように、どのような場合であっても「呼んでくれてありがとう（Thank you for calling）」を合言葉に活動しています。患者さんの状態の変化になるべく早く気づき躊躇せずコールする事で、患者さんの状態が重症化することを防ぎ、ひいては死亡につながる事を防ぐための院内のセーフティネットとして機能します。

RRS の要請件数は2015年から2年間は200件程度でしたが、2017年は250件、2018年には300件を超え、2022年以後は500件を超えるまでに増加しました。要請があった症例の状態が重症だった場合には、病院の医療安全委員会からの指示で関係者が集まって検討会を開催する事になっています。そこで抽出された問題点や改善すべき点は医療安全委員会を通して院内に周知することで再発予防につなげています。今後も、このシステムの周知、継続的な教育、データの正確な登録と解析などを通して、RRS が当院の文化として根付くよう地道に活動を行っていくことが大切だと考えています。

③ 緩和ケアチーム リーダー：総合診療科部長 今田 敏宏

当院の緩和ケアチームは2005年に発足し、コンサルテーション型の活動を行っています。活動方針として、① QOL（人生の質）を考える、②希望を考える、③予後を見据えて考える、④支える家族を考える、の4つを掲げています。

チームは、医師、看護師、薬剤師、作業療法士、臨床心理士、管理栄養士、社会福祉士といった多職種のメンバーで構成され、多方面からのアプローチで患者さんとご家族の苦痛緩和や QOL 向上に努めています。また、2018年度からは心不全の患者の緩和ケアへの対応をより専門的に行うために、循環器科医師と慢性心不全看護認定看護師がチームメンバーに加わって活動しています。

2022年度には、緩和ケア科が新設されたことに伴い、平日は毎日外来診察を行う体制を整備しました。主科と連携しながら、外来通院中の患者や家族の苦痛緩和や療養生活の支援を行っています。

2024年度は377件（非がん疾患56件含む）の新規介入依頼があり前年度と比べて24%増加しました。がん診断後から治療までの初期の依頼が8%、パフォーマンスステータス（PS）0と1で58%を占め、近年緩和ケア依頼のタイミングがより早期からになっています。

相談内容は、痛みなど身体症状の相談の他にも、患者さんやご家族の精神的サポート、意思決定支援などを行っています。また、外来・病院・在宅での医療で「切れ目のない緩和ケア」の構築に向け、院内の緩和ケアチームカンファレンスに出雲圏で勤務する在宅医も参加しています。在宅療養からの視点や意見を頂きながらより一層の連携を深め、いつでも、だれでも、どこでも、より安心して療養生活が送れるような地域にしていきたいと活動しています。

医療スタッフの緩和ケアに関する知識や技術を高め、ケアのレベル向上を図るため、緩和ケア研修会や講演会、PCA ポンプ研修会を定期開催しています。また、看護師対象にキャリアラダーレベル別研修「がん看護」、「緩和ケア」を開催しています。

各部署に緩和ケアリンクナースを1名ずつ配置しています。各部署でケースカンファレンスを開催し、有用な緩和ケアツールの周知など行っています。緩和ケアが必要な方を拾い上げるための緩和ケアスクリーニングを入院、外来で実施し、患者の苦痛や気かりなどに早めに気づき、対応できるようスタッフと連携を図りながら取り組んでいます。

今後も、患者や家族のQOL向上を目標に、多職種のスタッフがそれぞれの能力を発揮して、多方面から支えられるよう緩和ケアの充実に取り組んでいきたいと考えています。

④ NST（栄養サポートチーム） リーダー：病院長 小阪 真二

日本全国で高齢化が進行しており、島根県は全国の10年先をいっているといわれるぐらい、高齢化が顕著です。高齢者では、加齢により筋肉量の減少があり、栄養を十分取ること、運動をすることが健康維持にとっても大切だといわれています。

病院に入院するような病気の方、特に炎症のある患者さん、また手術後の患者さんなどは、通常よりも多くの栄養を必要とします。栄養状態が悪いまりハビリテーションを行っても、リハの効果が少ないことが知られています。適切な栄養管理をすることが順調な回復を促すために重要となります。

当院は2004年にNSTを発足し、2010年に日本臨床栄養学会のNST稼働施設の認定を受けました。2012年からは年に一度、栄養サポート研修会を開催してきましたが、2016年度以降は対象者を院外の医療・介護関係者へと広げています。

2016年度からは、栄養不良あるいはそのリスクがある患者を早期に把握するため、全入院患者に対する栄養スクリーニングを実施し、栄養サポートチーム加算も算定開始しました。

2020年からは、全入院患者を対象とした低アルブミン患者をデータより抽出し、積極的にチームが介入する体制を構築しています。

2023年度より従来の毎週水曜日の回診に加え、月2回火曜日の回診を増やして、高齢患者の栄養管理に対応しています。

⑤ 摂食・嚥下チーム リーダー：リハビリテーション科部長 山本 佳昭

食べることは、人がこの世に生まれて初めて営み、人生の最後に行うADLの一つです。

近年、高齢者人口増を背景に、摂食嚥下機能の低下に伴い飲食物や唾液などが誤って気管に入ることによる誤嚥性肺炎が増えており対策が重要となっています。

当院の摂食・嚥下チームは、嚥下機能の維持および誤嚥・肺炎の予防を目的として、多職種で嚥下機能の評価や経口摂取開始時期・食事形態の相談を行い、口腔内ケア等の介入などの活動を行っています。転院・退院時に適切な情報提供をご家族や関連職種の方へお伝えすることも業務の一環です。

従来、嚥下機能の低下している方に提供される嚥下食は病院ごとに異なっており、統一されていませんでした。この状態を改善し嚥下食の共通化を図るため日本摂食嚥下リハビリテーション学会で嚥下調整食学会基準案2012が作成されました。当院では2013年に院内の嚥下食を基準案に基づく5段階に改訂し、2014年には嚥下調整食学会分類2013に基づきコード、名称を改訂しました。2022年には最新の嚥下調整食学会分類2021にあわせて改訂を行っています。

2009年、本チーム活動は専門職数名の声掛けから誕生し、翌年院内承認を得て、2012年には電子カルテに独自の診療支援ツールを開発、2013年から摂食・嚥下障害看護認定看護師が活動を始めました。2014年、2015年に嚥下調整食の普及を目的として出雲圏域栄養士の会・島根県立中央病院合同研修会を開催しました。2022年から研修を終了した看護師が新たにチームに参加し摂食嚥下支援体制加算算定を開始しています。

今後も院内の摂食・嚥下障害に引き続きチームで対応していく予定です。

⑥ 褥瘡対策チーム（褥瘡対策委員会） リーダー：皮膚科部長 三原 祐子

当院のような急性期病院は、入院時から褥瘡ハイリスク患者が比較的多くみられます。入院時はリスクがなかった患者でも、治療の経過や病状の進行、全身状態の変化により褥瘡リスクが生じる患者、褥瘡が発生することもあります。

褥瘡はチームアプローチが重要です。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ療法士、皮膚・排泄ケア認定看護師が連携をとり、それぞれの専門性を生かし、患者の状態のアセスメントを行い、体圧分散、ずれ予防、栄養管理な

どの視点から、褥瘡発生予防を行うとともに、早期発見・早期治療に努めています。

⑦ **認知症ケアチーム** リーダー：脳神経内科部長 安部 哲史

入院患者さんの高齢化に伴い、認知症を合併した患者さんが各科に入院してきます。認知症ケアチームは、入院生活が円滑に送れ、治療や回復がスムーズに行えるようお手伝いをしています。認知症の増悪やせん妄を予防し、円滑な退院・転院に結び付けることにも貢献したいと思っています。チームは認知症認定看護師、高齢者看護専門看護師、精神神経科医師、脳神経内科医師、薬剤師、作業療法士、ソーシャルワーカー、医療事務で構成しています。毎週の回診を行い、ケアの進め方や問題点などをディスカッションしていきます。その他随時病棟の相談に応じています。チーム会も行いチーム内の情報共有や実施状況の検討なども行っています。対象患者さんは入院時に看護師さんがツールに必要事項を入力してくださることで把握できます。病院全体の協力があって成り立つチームです。

⑧ **抗菌薬適正使用支援チーム (AST)** リーダー：感染症科部長 中村 嗣

「5.7 医療安全推進室 2. 院内感染防止対策 3) 抗菌薬適正使用支援チーム (AST) 関係」をご参照ください。

⑨ **排尿支援チーム** リーダー：泌尿器科部長 吉野 干城

島根県立中央病院 排尿ケアチームは2020年度より活動を開始しました。主な活動内容は排尿自立指導ですが、その目的は1. 島根県立中央病院における排尿ケアの質の向上を目指し、尿道留置カテーテルの早期抜去、尿路感染防止を行う。2. 患者の尊厳の遵守、ADLの維持・増進をもたらす、包括的でより質の高い、かつ安全な排尿自立を促すケアを患者に提供することにあります。

また、前立腺癌手術後の合併症の一つに尿失禁がありますが、この改善をはかるための骨盤底筋体操の指導も多くの患者さんに実施させていただき、効果が認められています。

マンパワー不足もありますが、少しずつ活動の幅を広げながら、実施しています。活動の効果が窺われる結果もみられており、今後も指導を継続していく予定です。

⑩ **精神科リエゾンチーム** リーダー：精神神経科部長 森崎 洋平

リエゾンとはフランス語で「連携・つなぐ」などを意味します。精神科リエゾンチームは、身体疾患のため一般病棟に入院中の患者様の精神症状に対し、多職種で精神科専門医療を行い、症状の緩和や早期退院をサポートするものです。対象はせん妄・抑うつ・不眠などがあり身体治療に支障が出ている患者様、精神疾患を有する患者様、自殺企図のある患者様などです。チームメンバーは精神神経科医師、精神看護専門看護師、臨床心理士です。毎週1回程度、チームメンバー全員で回診し、患者様とじっくりとお話し、困っていることや要望をお聞きし、精神症状を把握します。また、部屋環境を確認したり、主治医や看護師、ご家族からも情報収集したりします。これらの情報をもとに、カンファレンスで精神症状の評価を行い、適切な介入を検討します。慣れない入院環境により精神症状が生じるケースが多くみられます。向精神薬による薬物療法は、副作用が生じないように必要最小限に留め、患者様が安心してスムーズに身体治療が受けられるよう、一般病棟スタッフや家族と連携し心理的ケアを行うことを大切にしています。

令和6年度に介入したケースは、年齢は41～98歳で、精神疾患はせん妄が最も多く、次に認知症、知的障害、神経症、統合失調症でした。複数の身体合併症をもつ方が多く、経過中に主治医や病棟が変わることもしばしばありますが、顔馴染みのあるチームメンバーが継続して関わることで、患者様の表情がほぐれ、喜ばれることもあります。

⑪ **心不全チーム** リーダー：循環器科部長 井本 宏治

高齢化に伴い心不全患者は、2030年には130万人に達すると推測されている。また、再入院率は退院1年後で35%と高く、病院のベッドは高齢心不全患者で占拠され、救急医療破綻が危惧されている。

当院では、年間400～500名の心不全患者が入院しており、そのうち、2024年度は延べ273人の患者に心不全チームが介入、平均年齢は81.7歳と極めて高齢である。心不全再入院の要因としては、塩分過剰摂取のような自己管理の問題が50%以上を占め、多職種によるチーム医療が推奨されている。

そこで、当院では、2021年度より、多職種（医師、看護師、薬剤師、理学療法士、社会福祉士）で成る心不全チームを正式に発足し、週に一度チームカンファレンスを開催することで、問題となる心不全患者個々の多様な疾患、及び社会背景を共有し、全人的な支援・指導を行う体制を整備した。2024年度より、心不全クリニカルパスを導入し、より効率的にチーム医療が提供できる体制を整備した。

患者毎の退院支援や教育、および退院後の生活調整を行うことで、心不全患者の入院期間の短縮や、増悪による再入院予防を目指し、活動している。

⑫ **報告書確認チーム** リーダー：副院長 磯和 理貴

報告書確認チームは2022年度に発足し、安心・安全で質の高い医療の提供を推進する観点から、病院全体の医療安全の一環として行われる、画像診断報告書や病理診断報告書の確認漏れによる診断又は治療開始の遅延を防止することを目的として活動を行っています。

チームメンバーは医療安全推進室長、放射線科医師、病理診断科医師、診療放射線技師、看護師（医療安全推進室長補佐・医療安全担当副看護師長）で構成され、診療放射線技師は医療安全管理者養成講習を修了し、報告書確認管理者としての役割を担っています。

活動内容は、放射線科医が読影する検査、病理診断科医師が診断する組織検査・細胞診検査において、レポート完成後2週間以上未読の状態にあるデータを毎日抽出し、担当医にメールを送付し、その後の開封の有無を確認しています。オーダー医が異動等で不在の場合、あるいはオーダー医が非常勤医師の場合は、医療安全推進室長が内容を確認し、追加的な対応が必要な場合には担当診療科部長にメールしています。また、2023年9月より、画像検査の所見の見落とし防止対策として、検査目的以外の所見（予期しなかった、放置できない所見）があった場合、所見欄に放射線科医がチェックマークを付加する取り組みを実施しています。チェックマークが付加された所見のデータを一か月毎に抽出し、オーダー医が対応しているかを確認しています。未対応の場合はオーダー医もしくは診療科部長にメールで対応を促し、対応されるまで医療安全推進室で確認しています。

毎月チームカンファレンスを開催し報告書管理の実施状況の評価、業務改善計画の立案、院内研修の計画等を行い、全職員対象の医療安全研修会でチーム活動及び検査レポートの未読状況の報告、医師への周知を行っています。

チーム発足当初の2022年度は未読レポートが月60～80件ありましたが、2024年度は月40～60件で推移しています。オーダー医が異動により不在となったケースの未読が多く、全体の70～80%を占める月もあり、未読レポートが多い診療科には個別で対応を依頼しています。所見欄にチェックマークを付加した所見は月20～30件あり、そのうち未対応は4～5件ありました。

報告書の確認漏れ、所見の見落としによる診断・治療開始の遅延により患者が不利益を受けないように、今後もチームで活動を継続していきます。

⑬ **二次骨折予防チーム** リーダー：整形外科部長 飛田 正敏

令和4年3月18日から骨折リエゾンサービス（通称FLS）チームの活動を始めました。FLSとは、骨脆弱性骨折患者さんに対して骨粗鬆症治療開始率および治療継続率を上げるとともに、リハビリテーションの視点から転倒予防の実践により二次性骨折を防ぎ、骨折の連鎖を絶つことを目的とするものです。今後日本では高齢化率が上昇して、平均寿命も延びていきます。2016年は総人口1.3億人、65歳以上は3,500万人（高齢化率27%）であったものが2065年には総人口8,800万人、65歳以上は3,400万人（高齢化率38%）に、平均寿命も2013年は男性80歳、女性87歳であったものが、2060年には男性84歳、女性91歳になると推定されています。高齢化が進むにつれて骨粗鬆症が進行し、転倒して骨折を生じる人が増えてくると予想されます。

また今まで骨折したことがない人が初めて骨折する確率よりも、一度骨折した人が2回目の骨折をする二次性骨折の確率の方が高いことも分かってきました。骨折をきっかけに健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されずに生活できる期間）が尽きて、介護を受けるようになる人も増えています。要介護状態になる原因も脳血管障害・認知症で次いで骨折・転倒が挙げられています。

このような状況を背景にして令和4年度から「継続的な二次性骨折予防に係る評価」が新設され、「二次性骨折予防継続管理料」が算定できるようになりました。

当院ではFLSチームのメンバーとして現在、整形外科医師、病棟看護師、理学療法士、病棟薬剤師、管理栄養士、病棟医療事務、医療秘書、レセプト担当、広報担当、社会福祉士の方に参加頂き、各職種の立場から二次性骨折の予防に取り組んでいます。頻繁に一堂に会することは難しいのでメール会議を多用しながら、メンバーの負担がなるべく増えないように活動しています。

コスト算定も大切ですが、それ以上に、二次性骨折を予防して患者さんの健康寿命が少しでも延びていくことを目標に活動を続けていきたいと思っています。

⑭ **ポリファーマシー削減チーム** リーダー：総合診療科部長 増野 純二

ポリファーマシーとは、「poly（多くの）」と「pharmacy（薬局・薬）」を合わせてつくられた言葉で、患者さんが複数の薬剤（一般的には5－6種類以上）を服用している状態を指します。特に高齢の方は複数の病気や健康問題を抱えておられる方が多く、ポリファーマシーが起こりやすいと言われています。

ポリファーマシーには複数のリスクや問題点が存在します。異なる薬同士が相互作用を起こしたり、副作用が増えたりする可能性があります。薬の種類や用量の管理が難しくなり、薬の飲み忘れや飲み間違いが生じることもあります。また高齢者で5－6剤以上の薬を飲んでいると、転倒のリスクも高くなると報告もあります。

当院では2023年よりポリファーマシー削減チームを発足し、ポリファーマシー対策を強化していく事と致しました。薬剤師を中心に、医師・看護師・理学療法士・地域連携室スタッフ等多職種のメンバーで対策を行っております。現在入院患者さんのポリファーマシー対策を行っており、転倒予防を中心に、多剤服用による有害事象の発症リスク軽減を目標に活動中です。

患者さんが適切な薬剤治療が受けられるようにチームで活動をすすめていきます。

⑮ **身体拘束最小化チーム** リーダー：脳神経内科部長 安部 哲史

身体拘束が医療、介護現場で特に問題視されてきたのは2000年代に入ってからです。高齢化によりやむを得ず、人生の大半を過ごしていた自宅や地域といった生活の場を離れなければならない方が増えたことが背景にあります。こうした現象は、独居や老老夫婦二人暮らしの増加と介護力の不足、認知症・心不全・骨折・脳血管障害・高齢者肺炎での入院などによる高齢者の入院、施設利用の増加によってもたらされています。家族が面倒を見られないことから想像が出来るかと思いますが、お一人お一人の看護や介護に多くの時間を要します。当院は急性期病院であり高齢の骨折をはじめとした手術を要する患者さん、心不全・肺炎・脳血管障害など重症の患者さんが多く入院されてきますが、夜間は40人程度を3人の看護師でみているように、限られた看護体制（実は診療報酬上の最高の看護体制）でお世話しています。全体の患者さんの安全と適正な医療提供を守るために、やむを得ずベッドを離れたら知らせてくれるセンサーや点滴などを抜いて血だらけにならないよう手袋をつけたりすることがあります。ベッド柵で降り口をふさぐこともあります。こうした行為が身体拘束と呼ばれます。

国は身体拘束を減らすよう指導してきています。身体拘束は基本的人権の尊重に反する行為とみなされるからです。身体拘束が許されるのは、本人または周囲の患者さんの生命や身体的安全性を脅かす切迫性があり、身体拘束という手段を使わなければこの危険を回避できない非代償性があり、拘束が一時的である場面です。身体拘束最小化チームでは、この原則に基づいて身体拘束が行われるよう、マニュアルや同意書などの整備に尽力し、過剰や不適切な身体拘束が行われていないかを記録と病棟ラウンドでモニターし、身体拘束を極力減らせるよう相談にのっていきます。身体拘束を減らすには発想の転換が必要です。まず、「身体拘束ありき」から「身体拘束はしない」への転換、「転倒したら、ベッドから落ちたらといった不安」から「もっとそばにいる時間があれば大丈夫」への転換、「悪いところ探し」から「うまくいっているところの話を知りたい」への転換などが求められます。こうした発想の転換の未来にある、患者さんと家族、そして私たち医療従事者の笑顔があふれる病院を追い求めて活動が出来たらと思っています。2024年に新しく立ち上がったチームですが、この活動が在宅介護にも還元できたり、在宅からの意見でこちらが勉強させてもらえたりといった、双方向的なものへと発展してくれたら望外の喜びです。

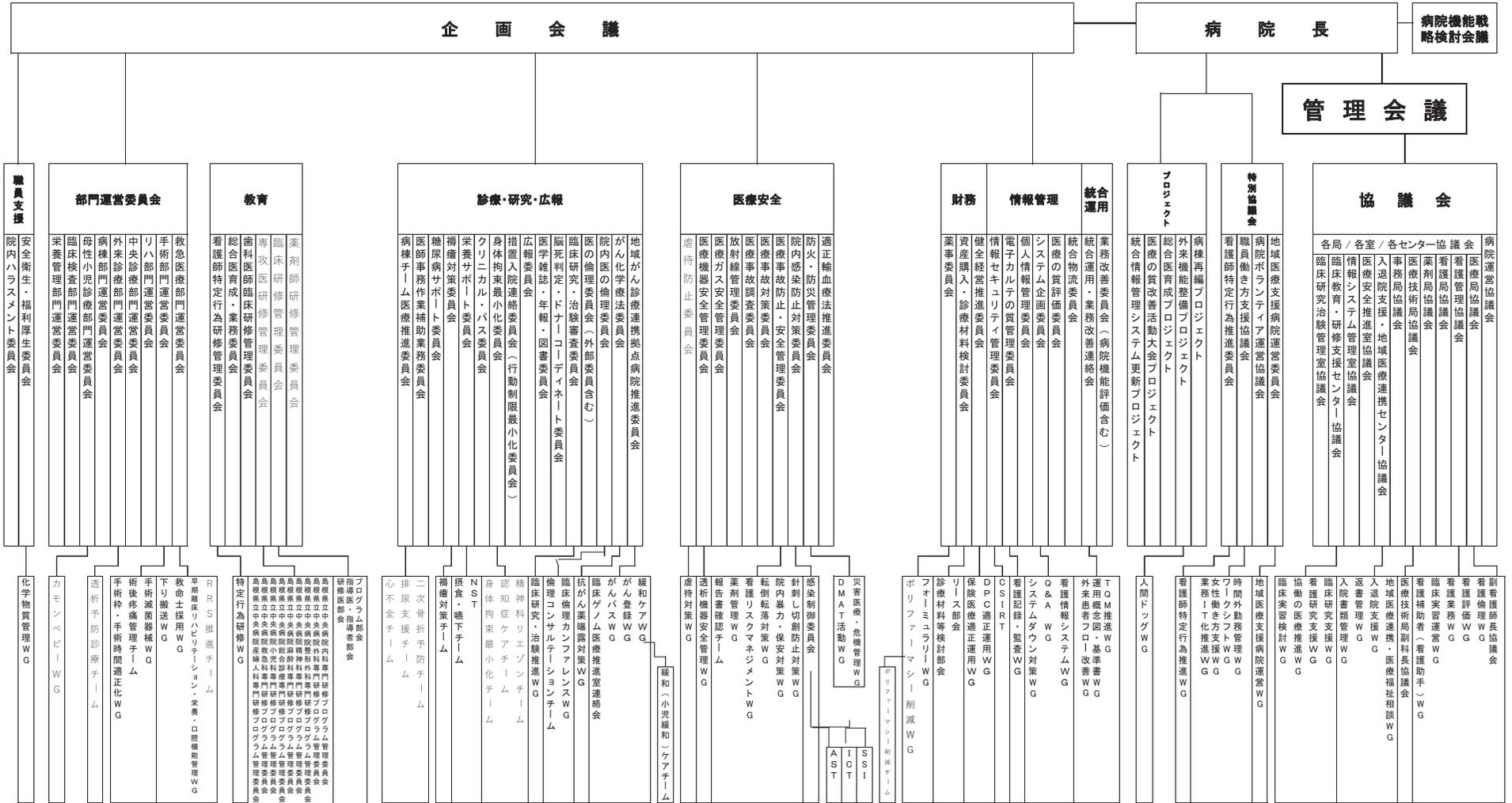
⑯ **透析予防診療チーム** リーダー：腎臓科部長 高瀬 健太郎

透析予防診療チームは2024年度より活動を開始しました。日本の慢性腎臓病（CKD）の現状として2022年末時点の慢性維持透析患者さんは347,474人（日本透析学会：わが国の慢性透析療法の現況より）であり、一人当たりの人工透析に係る医療費は月額約39万円（日本透析学会：第27回透析医療費実態調査報告より）で、人工透析に係る医療費は年間約1.6兆円と推察されます。一方で、人工透析に至る原疾患として腎硬化症は増加しており、2019年以降は糸球体腎炎を抜き第2位となっています。

透析予防診療チームの主な活動の対象は、日本腎臓学会の「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン」等に基づき、CKDのなかでも、重症度分類から将来的に透析となるリスクの高い患者さん（糖尿病と維持透析を除く）です。医師、看護師、管理栄養士等の多職種によって共同カンファレンスを開催し、個別にCKDのリスク要因に関する評価を行い、その結果に基づいて、指導計画を立案・実施します。具体的には、外来で食塩制限及び蛋白制限等の食事指導、運動指導、その他生活習慣に関する指導等を継続的に実施してまいります。将来的に透析へ至る患者さんを減らせることを目標に活動していく予定です。

5.15 会議、協議会、委員会

令和7年度 島根県立中央病院 会議・協議会・委員会組織



2024年度 病院統計

第6章 資料（電子カルテ（IIMS）データ）

6.1 患者統計

6.1.1 診療科別新規入院患者数

入院時診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	42	49	46	56	56	42	44	44	47	39	38	42	545
脳神経内科	39	49	43	45	54	43	48	42	45	56	29	46	539
精神神経科	11	11	19	18	16	17	15	10	5	12	6	12	152
呼吸器科	42	45	41	46	58	36	49	43	44	55	47	54	560
循環器科	103	87	81	91	79	92	85	79	104	112	101	93	1,107
消化器科	158	135	145	145	116	140	133	127	140	152	118	136	1,645
血液腫瘍科	32	35	34	37	33	35	32	27	24	26	29	33	377
リウマチ・アレルギー科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内分泌代謝科	26	18	23	22	18	15	14	19	18	14	21	22	230
乳腺科	14	14	11	12	13	17	14	13	15	11	7	16	157
脳神経外科	32	42	45	48	31	35	32	43	44	35	24	38	449
整形外科	82	67	72	73	79	59	92	80	82	78	87	72	923
心臓血管外科	15	13	23	24	12	15	16	19	12	15	10	17	191
呼吸器外科	21	25	20	22	22	14	22	20	21	19	19	18	243
腎臓科	17	9	22	12	13	16	13	13	15	11	9	14	164
泌尿器科	50	55	46	59	74	51	57	58	44	48	48	53	643
形成外科	9	21	15	20	24	18	11	12	17	13	12	21	193
耳鼻咽喉科	33	33	19	34	35	41	37	26	32	36	31	35	392
眼科	6	6	5	6	6	5	6	5	5	6	5	5	66
皮膚科	14	10	20	14	9	10	10	11	10	17	5	4	134
歯科口腔外科	38	31	31	35	39	41	27	29	25	30	23	29	378
救命救急科	44	46	46	58	60	57	60	59	60	61	50	51	652
産婦人科	100	87	79	103	85	84	77	77	64	67	52	75	950
小児科	109	96	97	139	112	81	80	73	92	75	73	92	1,119
消化器外科	79	84	76	87	68	71	82	73	74	71	78	70	913
合計	1,116	1,068	1,059	1,206	1,112	1,035	1,056	1,002	1,039	1,059	922	1,048	12,722

6. 1. 2 診療科別外来患者数（救急外来含む）

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	476	497	567	536	524	521	576	467	473	491	413	445	5,986
リハ科	24	27	33	69	88	105	112	73	93	77	62	78	841
血液浄化科	659	676	601	670	636	593	648	631	601	615	529	604	7,463
放射線科	153	131	113	138	109	131	151	143	116	95	93	123	1,496
ドック科	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	6
放射線治療科	223	209	189	134	131	119	170	191	197	151	176	193	2,083
病理診断科	7	0	0	1	0	1	2	4	2	5	8	1	31
脳神経内科	446	486	427	543	534	454	547	512	510	495	443	517	5,914
精神神経科	801	841	723	882	825	789	929	789	771	819	713	793	9,675
呼吸器科	348	393	378	452	418	388	475	419	380	420	378	407	4,856
循環器科	1,105	1,073	1,035	1,139	1,036	1,078	1,157	1,093	1,116	1,078	993	967	12,870
消化器科	1,699	1,540	1,613	1,731	1,647	1,630	1,863	1,623	1,746	1,613	1,579	1,779	20,063
血液腫瘍科	456	453	452	546	488	444	488	416	475	450	390	462	5,520
リウマチ・アレルギー科	136	126	133	178	122	138	176	123	139	142	136	159	1,708
内分泌代謝科	1,040	1,043	1,076	1,203	1,091	1,020	1,125	1,051	1,081	979	924	1,057	12,690
乳腺科	872	923	802	903	829	871	987	873	865	748	747	871	10,291
臨床腫瘍科	6	5	1	4	7	11	10	9	7	4	3	6	73
肝臓内科	91	57	94	91	86	100	96	78	84	91	80	84	1,032
脳神経外科	434	442	360	400	418	339	434	371	392	360	352	413	4,715
整形外科	447	502	494	549	510	558	550	535	624	584	529	617	6,499
心臓血管外科	240	191	238	206	177	207	203	181	179	152	130	203	2,307
呼吸器外科	350	356	370	370	342	345	362	342	349	360	328	338	4,212
腎臓科	288	237	273	319	265	250	275	245	240	233	241	266	3,132
泌尿器科	894	858	815	954	917	771	1,063	862	884	899	831	898	10,646
形成外科	315	402	382	414	380	382	311	301	330	345	290	413	4,265
耳鼻咽喉科	525	421	398	471	456	411	452	374	369	389	321	481	5,068
眼科	413	406	387	457	471	396	439	364	389	326	369	430	4,847
皮膚科	357	348	329	372	304	293	372	320	309	315	248	300	3,867
歯科口腔外科	797	801	738	774	727	695	778	680	691	593	583	714	8,571
救命救急科	1,332	1,435	1,347	1,567	1,752	1,400	1,292	1,301	1,697	1,646	1,211	1,383	17,363
集中治療科	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
麻酔科	8	8	11	13	4	9	3	9	4	4	13	12	98
産婦人科	1,463	1,395	1,333	1,419	1,249	1,264	1,332	1,193	1,220	1,150	1,084	1,329	15,431
小児科	334	330	382	479	526	422	409	339	385	378	338	476	4,798
消化器外科	756	752	740	803	736	722	838	738	763	781	681	697	9,007
緩和ケア科	12	19	16	15	11	12	11	16	6	11	11	10	150
ペースメーカー外来	82	77	94	93	82	69	77	80	104	73	71	111	1,013
肝臓外来	95	53	90	74	56	60	84	66	79	84	69	59	869
ストマ外来	17	12	13	12	14	14	25	17	19	16	14	16	189
不妊・内分泌	101	118	103	110	106	97	99	96	72	47	47	64	1,060
産後健診外来	55	70	60	59	62	53	61	49	43	44	35	29	620
ハイリスク妊婦	39	31	21	27	25	15	31	12	11	31	34	26	303
腫瘍外来	23	25	18	25	17	22	27	20	22	36	24	42	301
小児神経外来	63	83	84	62	89	66	72	80	89	72	93	69	922
小児循環器	10	10	14	14	19	11	7	4	7	6	6	14	122
乳児検診外来	47	64	55	57	52	51	63	41	44	41	29	23	567
小児アレルギー	94	93	84	96	100	81	108	96	90	101	83	84	1,110
すくすく外来	6	6	8	8	12	24	20	12	16	16	7	14	149
予防接種外来	3	7	14	16	23	18	17	11	19	18	17	28	191
助産師妊婦健診	92	88	65	76	74	55	45	33	26	36	41	47	678

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総診インフルワクチン	0	0	0	0	1	4	6	12	4	0	1	0	28
婦人科ワクチン	6	4	0	5	8	8	5	22	12	10	6	16	102
周術期口腔ケア	594	590	613	724	645	579	618	601	550	549	529	559	7,151
麻酔科外来	77	78	81	94	74	84	105	104	124	134	131	101	1,187
遺伝相談外来	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
ワクワク外来	16	12	16	25	27	13	15	22	15	11	14	14	200
航空身体検査	1	0	3	1	1	0	0	0	1	0	3	0	10
新生児2週間	1	2	5	3	0	2	2	1	3	1	0	1	21
短期入所外来	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	4
産婦健診2週間	54	55	49	55	57	46	51	42	38	27	20	40	534
ゲノム外来	12	14	9	12	13	18	14	15	12	9	11	7	146
すこやか外来	62	78	59	67	60	41	34	42	36	25	15	28	547
脳ドック外来	0	0	2	0	1	1	3	5	2	1	0	0	15
脊椎外来	202	143	133	187	145	163	180	145	171	152	121	204	1,946
短期入所	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
総診ワクチン外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
ペインクリニック外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	53	60
合計	19,260	19,098	18,543	20,705	19,580	18,468	20,408	18,294	19,096	18,341	16,656	19,184	227,633

6.1.3 年齢別新規入院患者数

年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10歳未満	118	101	101	142	118	81	82	78	87	84	76	86	1,154
10歳代	17	12	15	26	33	26	26	12	40	21	8	35	271
20歳代	48	53	57	81	48	68	52	48	32	51	40	50	628
30歳代	87	78	60	76	80	69	65	56	56	59	62	61	809
40歳代	56	66	55	61	51	51	63	59	51	56	40	53	662
50歳代	80	85	101	92	87	86	79	83	78	82	61	76	990
60歳代	149	146	121	158	126	136	129	124	135	149	125	102	1,600
70歳代	282	234	275	274	270	275	291	264	274	274	249	279	3,241
80歳代	190	198	200	206	197	164	186	196	191	189	173	203	2,293
90歳代	85	93	71	82	99	78	78	80	92	90	85	102	1,035
100歳以上	4	2	3	8	3	1	5	2	3	4	3	1	39
合計	1,112	1,066	1,056	1,198	1,109	1,034	1,051	1,000	1,036	1,055	919	1,047	12,683

6.1.4 年齢別外来患者数（救急外来含む）

年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10歳未満	798	890	857	1,118	1,116	867	872	762	1,006	886	771	923	10,866
10歳代	433	425	424	587	758	504	475	392	545	481	383	652	6,059
20歳代	964	1,010	977	1,157	1,106	1,003	1,073	908	923	939	793	1,063	11,916
30歳代	1,620	1,650	1,479	1,650	1,581	1,396	1,452	1,289	1,314	1,379	1,262	1,394	17,466
40歳代	1,658	1,731	1,634	1,820	1,553	1,668	1,757	1,579	1,664	1,586	1,432	1,664	19,746
50歳代	2,282	2,239	2,202	2,458	2,367	2,192	2,507	2,228	2,276	2,165	2,066	2,248	27,230
60歳代	3,131	3,046	2,895	3,179	2,970	2,988	3,340	2,962	3,061	3,027	2,670	2,946	36,215
70歳代	5,089	4,911	4,837	5,332	4,979	4,852	5,451	5,057	5,127	4,879	4,478	5,078	60,070
80歳代	2,682	2,622	2,687	2,820	2,549	2,432	2,881	2,528	2,651	2,436	2,321	2,607	31,216
90歳代	592	563	536	563	583	555	579	580	523	555	475	603	6,707
100歳以上	11	11	15	21	18	11	21	9	6	8	5	6	142
合計	19,249	19,087	18,528	20,684	19,562	18,457	20,387	18,285	19,090	18,333	16,651	19,178	227,491

6.1.5 都道府県別新規入院患者数

都道府県	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北海道	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
埼玉県	0	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	6
千葉県	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
東京都	4	1	8	1	3	0	1	4	0	2	0	0	24
神奈川県	2	0	1	2	1	1	1	0	1	0	0	0	9
新潟県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
富山県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
山梨県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
静岡県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
愛知県	1	0	0	0	1	1	1	2	3	0	0	0	9
三重県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
滋賀県	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
京都府	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	2	7
大阪府	5	5	0	5	4	1	3	0	1	1	1	1	27
兵庫県	2	2	4	2	6	1	2	2	2	6	0	2	31
奈良県	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
鳥取県	1	1	2	2	2	3	1	2	2	1	0	1	18
島根県	1,093	1,051	1,041	1,183	1,081	1,017	1,038	985	1,027	1,042	914	1,031	12,503
岡山県	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	1	0	7
広島県	4	4	1	1	7	2	2	3	2	4	4	4	38
山口県	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
徳島県	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
香川県	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
愛媛県	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	5
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
福岡県	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4
長崎県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
熊本県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
大分県	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
合計	1,116	1,068	1,059	1,206	1,112	1,035	1,056	1,002	1,039	1,059	922	1,048	12,722

島根県 市町村別新規入院患者数

市区町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
松江市	28	5	9	10	14	12	16	10	9	11	13	11	148
浜田市	5	15	3	5	3	9	6	2	9	4	2	3	66
出雲市	879	854	849	982	851	795	827	824	843	838	738	826	10,106
益田市	2	2	0	1	4	8	2	3	2	0	0	0	24
大田市	64	75	72	68	82	75	69	59	64	89	75	65	857
安来市	1	4	2	1	1	0	3	1	1	3	0	1	18
江津市	9	7	6	11	6	7	8	6	7	9	2	5	83
雲南市	57	45	52	66	65	59	62	42	52	44	40	72	656
仁多郡	17	14	19	13	19	16	12	13	15	15	16	18	187
飯石郡	7	11	10	10	14	9	13	8	6	12	6	13	119
邑智郡	12	12	8	9	17	22	16	16	17	11	15	12	167
鹿足郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
隠岐郡	12	7	11	7	5	5	4	1	2	6	7	4	71
合計	1,093	1,051	1,041	1,183	1,081	1,017	1,038	985	1,027	1,042	914	1,031	12,503

6. 1. 6 都道府県別外来患者数（救急外来含む）

都道府県	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北海道	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
茨城県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
栃木県	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
群馬県	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
埼玉県	4	7	9	6	6	3	3	3	3	1	0	5	50
千葉県	0	0	1	4	2	0	0	0	0	4	3	6	20
東京都	17	27	17	36	30	17	20	24	30	14	10	11	253
神奈川県	6	8	9	11	25	9	5	7	9	8	1	0	98
新潟県	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
富山県	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
石川県	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	6
福井県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山梨県	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
長野県	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
岐阜県	0	1	3	0	0	0	0	0	3	3	4	3	17
静岡県	3	4	8	1	2	1	0	0	0	4	4	6	33
愛知県	11	10	1	6	10	4	5	5	7	9	1	0	69
三重県	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
滋賀県	0	0	0	2	1	2	1	9	1	2	0	1	19
京都府	4	6	2	4	14	9	5	0	1	2	4	5	56
大阪府	20	30	29	29	25	28	14	11	14	12	11	11	234
兵庫県	17	21	20	20	26	10	20	25	21	16	16	11	223
奈良県	0	3	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	9
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
鳥取県	33	20	23	31	27	19	24	9	20	19	8	21	254
島根県	19,075	18,896	18,362	20,508	19,331	18,295	20,267	18,147	18,926	18,194	16,561	19,014	225,576
岡山県	4	1	10	13	18	3	8	1	3	3	3	17	84
広島県	27	31	33	21	33	40	17	31	37	33	19	44	366
山口県	1	5	5	2	5	2	0	2	0	1	2	3	28
徳島県	0	0	0	3	5	7	6	2	0	0	0	1	24
香川県	6	6	0	2	1	0	1	2	0	0	0	0	18
愛媛県	5	9	0	1	2	7	3	3	4	2	2	11	49
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
福岡県	11	3	1	1	2	0	3	2	2	3	3	0	31
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
長崎県	8	5	4	0	1	1	0	0	2	0	0	1	22
熊本県	0	0	0	1	3	2	0	0	8	4	2	1	21
大分県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
宮崎県	4	1	2	1	1	1	1	1	2	0	0	0	14
鹿児島県	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
沖縄県	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	5	9
不明	1	1	0	0	2	3	0	5	0	3	1	2	18
合計	19,260	19,098	18,543	20,705	19,580	18,468	20,408	18,294	19,096	18,341	16,656	19,184	227,633

島根県 市町村別外来患者数

市区町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
松江市	335	333	288	324	329	277	323	288	286	296	262	312	3,653
浜田市	87	103	92	67	63	62	69	50	67	68	44	83	855
出雲市	15,474	15,389	14,980	16,740	15,806	14,922	16,373	14,869	15,515	15,015	13,711	15,528	184,322
益田市	19	23	31	45	48	31	44	26	25	19	18	23	352
大田市	1,301	1,277	1,135	1,347	1,156	1,150	1,373	1,134	1,157	1,105	990	1,143	14,268
安来市	25	21	16	21	19	22	20	21	12	21	16	21	235
江津市	109	105	135	126	129	121	145	107	116	117	87	115	1,412
雲南市	1,066	1,038	1,058	1,155	1,111	1,048	1,168	1,024	1,064	955	944	1,117	12,748
仁多郡	227	185	227	240	227	211	237	174	223	179	160	223	2,513
飯石郡	147	162	129	164	166	156	181	172	164	154	157	185	1,937
簸川郡	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
邇摩郡	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4
邑智郡	240	216	218	237	236	245	280	244	260	219	141	211	2,747
鹿足郡	0	1	2	2	2	3	0	2	0	1	1	3	17
隠岐郡	45	43	50	40	38	46	54	36	36	45	29	50	512
合計	19,075	18,896	18,362	20,508	19,331	18,295	20,267	18,147	18,926	18,194	16,561	19,014	225,576

6. 1. 7 ICD10コード大分類別 退院患者数（転科含む）

ICD10コード 大分類	大分類名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A00-B99	感染症および寄生虫症	28	38	33	41	31	33	36	38	22	32	23	21	376
C00-D48	新生物	237	245	252	243	233	245	256	245	236	207	211	259	2,869
D50-D89	血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害	16	10	14	11	10	12	10	8	5	9	8	10	123
E00-E90	内分泌、栄養および代謝疾患	44	31	37	46	46	22	32	31	40	22	36	33	420
F00-F99	精神および行動の障害	19	13	34	22	39	20	26	16	12	18	17	10	246
G00-G99	神経系の疾患	32	36	32	22	26	26	30	40	29	38	20	28	359
H00-H59	眼および付属器の疾患	6	7	5	7	7	5	8	5	6	8	5	5	74
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	7	8	7	8	7	6	11	7	12	7	7	12	99
I00-I99	循環器系の疾患	144	158	156	169	152	141	139	115	187	146	137	164	1,808
J00-J99	呼吸器系の疾患	100	111	120	132	131	98	100	95	151	159	109	124	1,430
K00-K93	消化器系の疾患	145	123	142	129	115	133	138	138	154	112	123	124	1,576
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	15	23	17	20	21	15	18	23	14	22	10	17	215
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	32	34	31	37	27	32	31	26	26	24	14	34	348
N00-N99	腎尿路生殖器系の疾患	64	53	60	52	71	66	60	56	57	47	55	52	693
O00-O99	妊娠、分娩および産褥	70	75	59	77	75	62	54	49	61	39	35	64	720
P00-P96	周産期に発生した病態	35	32	35	34	35	26	29	18	26	19	9	38	336
Q00-Q99	先天奇形、変形および染色体異常	2	4	3	3	3	5	4	5	0	4	1	5	39
R00-R99	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22	19	18	15	21	26	23	24	23	20	19	16	246
S00-T98	損傷、中毒およびその他の外因の影響	130	115	128	130	134	133	129	122	150	118	122	133	1,544
U00-U89	特殊目的用コード	5	8	4	20	40	15	4	5	5	10	14	17	147
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	2	5	0	3	2	2	2	1	2	3	3	2	27
合 計		1,155	1,148	1,187	1,221	1,226	1,123	1,140	1,067	1,218	1,064	978	1,168	13,695

6.2 死因統計

6.2.1 診療科別死亡患者数及び剖検件数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	3	5	5	6	3	3	8	4	9	8	3	7	64
脳神経内科	1	2	2	0	2	1	0	4	3	3	2	2	22
精神神経科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
呼吸器科	6	4(2)	3	5	5	7	2	10	3	5	11	4	65(2)
循環器科	2	3	5(1)	2	3	2	2	1	13	5	5	8(1)	51(2)
消化器科	6	5	7	5	5	6	5(1)	0	12	5	10	1	67(1)
血液腫瘍科	1	2	2	1	2	2	2	2	3	5	2	2	26
内分泌代謝科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
消化器外科	2	0	4	4	2	1	6	2	0	4	2	4	31
乳腺科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	5
脳神経外科	3	2	1	5	1	0	0	3	3	3	1	2	24
整形外科	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5
心臓血管外科	1	0	3	0	1	0	2	0	1	0	2	2	12
呼吸器外科	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4
腎臓科	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3
泌尿器科	2	1	0	0	1	0	1	3	2	0	1	2	13
耳鼻咽喉科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
救命救急科	8	3	6	11	8	6	7	8	8	18	10	8	101
産婦人科	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	38	30(2)	38(1)	40	35	29	38(1)	38	60	60	51	44(1)	501(5)

() 内、剖検件数

6.2.2 直接死因 ICD10コード中分類別 死亡患者数

ICD10 大分類	大分類名	ICD10 中分類	中分類名	中分類 患者数	大分類 患者数
A00-B99	感染症及び寄生虫症	A16	呼吸器結核，細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	1	28
		A19	粟粒結核	2	
		A41	その他の敗血症	19	
		A48	その他の細菌性疾患，他に分類されないもの	1	
		A49	部位不明の細菌感染症	2	
		B34	部位不明のウイルス感染症	1	
		B37	カンジダ症	1	
		B49	詳細不明の真菌症	1	
C00-D48	新生物<腫瘍>	C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	1	124
		C15	食道の悪性新生物<腫瘍>	6	
		C16	胃の悪性新生物<腫瘍>	10	
		C17	小腸の悪性新生物<腫瘍>	1	
		C18	結腸の悪性新生物<腫瘍>	4	
		C20	直腸の悪性新生物<腫瘍>	5	
		C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8	
		C23	胆のう<嚢>の悪性新生物<腫瘍>	2	
		C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>	6	
		C25	膵の悪性新生物<腫瘍>	12	
		C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	31	
		C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>	4	
		C54	子宮体部の悪性新生物<腫瘍>	2	
		C56	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	2	
		C61	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	1	
		C66	尿管の悪性新生物<腫瘍>	1	
		C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	3	
		C80	悪性新生物<腫瘍>，部位が明示されていないもの	6	
		C83	非ろ<濾>胞性リンパ腫	5	
		C85	非ホジキン< non-Hodgkin >リンパ腫のその他及び詳細不明の型	4	
		C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	2	
		C92	骨髄性白血病	5	
		C93	単球性白血病	1	
		D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	1	
D46	骨髄異形成症候群	1			
D50-D89	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D70	無顆粒球症	1	1
E00-E90	内分泌、栄養及び代謝疾患	E16	その他の膵内分泌障害	1	1
F00-F99	精神及び行動の障害	F03	詳細不明の認知症	1	2
		F50	摂食障害	1	
G00-G99	精神系の疾患	G06	頭蓋内及び脊椎管内の膿瘍及び肉芽腫	1	15
		G40	てんかん	1	
		G91	水頭症	1	
		G93	脳のその他の障害	12	

ICD10 大分類	大分類名	ICD10 中分類	中分類名	中分類 患者数	大分類 患者数
I00-I99	循環器系の疾患	I21	急性心筋梗塞	7	111
		I23	急性心筋梗塞の続発合併症	2	
		I25	慢性虚血性心疾患	1	
		I26	肺塞栓症	1	
		I27	その他の肺性心疾患	2	
		I31	心膜のその他の疾患	1	
		I33	急性及び亜急性心内膜炎	1	
		I40	急性心筋炎	1	
		I46	心停止	11	
		I49	その他の不整脈	5	
		I50	心不全	34	
		I60	くも膜下出血	5	
		I61	脳内出血	11	
		I63	脳梗塞	10	
		I70	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	1	
		I71	大動脈瘤及び解離	16	
I74	動脈の塞栓症及び血栓症	2			
J00-J99	呼吸器系の疾患	J15	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	5	113
		J18	肺炎, 病原体不詳	26	
		J44	その他の慢性閉塞性肺疾患	1	
		J69	固形物及び液状物による肺臓炎	57	
		J81	肺水腫	1	
		J84	その他の間質性肺疾患	11	
		J85	肺及び縦隔の膿瘍	1	
		J86	膿胸(症)	1	
		J90	胸水, 他に分類されないもの	1	
		J93	気胸	2	
		J94	その他の胸膜病態	1	
		J96	呼吸不全, 他に分類されないもの	6	
K00-K93	消化器系の疾患	K25	胃潰瘍	3	21
		K55	腸の血行障害	3	
		K56	麻痺性イレウス及び腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	3	
		K63	腸のその他の疾患	1	
		K66	腹膜のその他の障害	1	
		K70	アルコール性肝疾患	1	
		K72	肝不全, 他に分類されないもの	3	
		K75	その他の炎症性肝疾患	1	
		K81	胆のう<嚢>炎	2	
		K92	消化器系のその他の疾患	3	
M00-M99	筋骨格系及び結合組織の疾患	M30	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	1	3
		M32	全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>	1	
		M46	その他の炎症性脊椎障害	1	
N00-N99	腎尿路生殖器系の疾患	N10	急性尿細管間質性腎炎	1	10
		N12	尿細管間質性腎炎, 急性又は慢性と明示されないもの	1	
		N17	急性腎不全	1	
		N18	慢性腎臓病	4	
		N19	詳細不明の腎不全	2	
		N20	腎結石及び尿管結石	1	

ICD10 大分類	大分類名	ICD10 中分類	中分類名	中分類 患者数	大分類 患者数
R00-R99	症状、徴候及び異常 臨床所見・異常検査 所見で他に分類され ないもの	R02	え<壊>疽, 他に分類されないもの	1	56
		R04	気道からの出血	1	
		R06	呼吸の異常	2	
		R09	循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候	3	
		R13	えん<嚥>下障害	9	
		R25	異常不随意運動	1	
		R54	老衰	24	
		R57	ショック, 他に分類されないもの	8	
		R58	出血, 他に分類されないもの	1	
		R68	その他の全身症状及び徴候	5	
		R96	その他の突然死<急死>, 原因不明	1	
S00-T98	損傷、中毒及びその 他の外因の影響	S06	頭蓋内損傷	2	13
		T17	気道内異物	1	
		T68	低体温 (症)	2	
		T71	窒息	1	
		T75	その他の外因の作用	5	
		T80	輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症	1	
		T82	心臓及び血管のプロステーシス, 挿入物及び移植片の 合併症	1	
U00-U85	エマージェンシーコード	U07	エマージェンシーコード U07	3	3
合 計				501	501

6.3 病棟稼働状況

6.3.1 病棟別稼働状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
一般	12,032	12,566	12,180	12,618	12,256	11,506	11,452	12,164	12,672	13,009	11,608	13,349	147,412	12,284.3
ICU	278	291	264	278	262	256	280	288	291	281	266	289	3,324	277.0
HCU	297	297	292	288	247	185	211	220	227	212	186	203	2,865	238.8
NICU	85	81	88	81	87	73	86	61	94	69	64	65	934	77.8
GCU	177	139	168	138	178	78	84	66	196	60	67	114	1,465	122.1
精神	675	711	689	761	659	586	643	442	373	403	383	398	6,723	560.3
合計	13,544	14,085	13,681	14,164	13,689	12,684	12,756	13,241	13,853	14,034	12,574	14,418	162,723	13,560.3

※ ICU 稼働実績は「第7章 7.3救急診療部統計」を参照

6.3.2 無菌室稼働状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
41	52	67	88	74	61	49	7	6	80	78	56	659

第7章 各部門統計

7.1 救命救急診療部統計

7.1.1 入院患者数

救命救急科入院患者数（転科含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	72	53	68	74	81	73	79	60	64	59	61	62	806
2024年度	48	48	53	60	64	62	66	62	64	67	53	54	701
前年度比(%)	66.7	90.6	77.9	81.1	79.0	84.9	83.5	103.3	100.0	113.6	86.9	87.1	87.0

救命救急科延べ患者数（入院）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	380	301	310	408	523	405	446	334	301	277	297	321	4,303
2024年度	269	233	247	278	230	211	235	245	215	228	209	167	2,767
前年度比(%)	70.8	77.4	79.7	68.1	44.0	52.1	52.7	73.4	71.4	82.3	70.4	52.0	64.3

救命救急病棟延べ患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	498	528	497	555	680	639	605	552	551	603	585	601	6,894
2024年度	570	578	561	608	576	478	549	583	613	620	519	602	6,857
前年度比(%)	114.5	109.5	112.9	109.5	84.7	74.8	90.7	105.6	111.3	102.8	88.7	100.2	99.5

7.1.2 救急外来患者数

救急外来患者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	1,352	1,564	1,389	1,744	1,736	1,478	1,439	1,347	1,582	1,555	1,273	1,341	17,800
2024年度	1,328	1,427	1,328	1,565	1,737	1,394	1,280	1,293	1,681	1,630	1,202	1,374	17,239
前年度比(%)	98.2	91.2	95.6	89.7	100.1	94.3	89.0	96.0	106.3	104.8	94.4	102.5	96.8

最終トリアージ別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急	70	91	78	76	69	69	71	106	109	98	75	101	1,013
準緊急	403	392	389	444	472	381	370	378	463	455	359	383	4,889
非緊急	812	903	830	995	1,159	907	810	776	1,084	1,051	748	853	10,928
妊婦緊急	7	4	5	1	3	3	6	4	2	1	1	0	37
妊婦一般	34	37	26	45	31	33	22	27	21	19	19	32	346
死亡患者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
処置外来	2	0	0	3	3	1	1	1	2	6	0	5	24
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

診療科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	59	80	61	84	97	80	67	67	77	73	56	61	862
血液浄化科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経内科	40	57	57	60	62	49	50	55	53	70	35	44	632
精神神経科	13	6	18	22	14	15	10	4	4	3	7	10	126
呼吸器科	22	29	27	26	36	20	35	31	33	45	36	42	382
循環器科	71	56	60	62	60	56	60	66	85	97	77	80	830
消化器科	96	85	100	79	73	79	77	86	98	93	74	70	1,010
血液腫瘍科	6	12	11	11	15	8	10	8	10	11	13	15	130
リウマチ・アレルギー科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
内分泌代謝科	9	5	6	7	6	5	4	5	5	13	6	6	77
乳腺科	1	3	1	0	6	4	0	0	1	5	1	3	25
脳神経外科	32	49	48	45	40	30	36	39	55	35	28	45	482
整形外科	106	100	88	75	102	83	99	104	104	95	94	89	1,139
心臓血管外科	4	3	4	6	9	7	5	7	9	4	4	16	78
呼吸器外科	5	11	8	10	16	5	15	10	7	12	15	8	122
腎臓科	5	5	2	3	8	4	2	4	3	8	6	3	53
泌尿器科	42	41	36	43	62	57	42	46	24	39	43	37	512
形成外科	37	76	53	45	54	39	41	42	39	40	37	37	540
耳鼻咽喉科	4	18	9	4	15	18	8	8	8	17	10	13	132
眼科	0	2	1	0	0	1	0	1	1	2	0	0	8
皮膚科	18	22	27	26	16	15	13	10	21	20	12	13	213
歯科口腔外科	2	2	2	0	2	0	0	2	0	1	2	1	14
救命救急科	538	587	532	711	834	631	536	537	838	780	483	605	7,612
集中治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	64	60	62	71	52	62	49	46	49	45	47	61	668
小児科	104	80	78	137	126	86	80	86	124	86	92	92	1,171
消化器外科	50	37	37	38	32	39	41	28	33	36	24	23	418

来院方法別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車	303	308	273	342	328	317	311	323	405	377	317	331	3,935
ドクターヘリ	46	33	43	37	55	50	27	31	39	23	18	34	436
防災ヘリ	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	5
その他ヘリ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4
自家用車	942	1,070	982	1,155	1,335	1,001	925	910	1,219	1,199	843	990	12,571
徒歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タクシー	8	1	6	4	2	3	0	4	0	3	7	8	46
バス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	27	15	23	26	17	23	17	24	18	28	16	8	242

疾患別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
蘇生後	3	1	5	7	5	9	9	7	9	15	6	8	84
多発性外傷	3	1	4	0	5	2	4	4	2	0	0	2	27
外傷	269	324	263	253	307	241	293	286	251	253	228	250	3,218
呼吸不全	6	9	6	7	3	2	2	6	6	4	4	4	59
急性循環不全	1	0	0	0	1	2	3	3	2	1	0	1	14
敗血症	8	3	5	1	9	4	5	12	4	7	0	1	59
熱傷	4	2	8	9	13	6	5	4	11	4	4	9	79
心不全	29	16	19	16	9	19	16	23	37	30	33	31	278
急性心筋梗塞	11	9	4	7	7	9	4	9	10	9	6	12	97
大動脈解離	2	3	2	3	5	2	3	2	5	2	4	6	39
脳血管疾患	26	40	35	38	40	30	22	40	46	34	18	34	403
その他	966	1,019	977	1,224	1,333	1,068	914	897	1,298	1,271	899	1,016	12,882

年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳代	235	259	228	338	342	207	205	210	364	272	228	248	3,136
10歳代	78	89	81	85	80	83	86	65	85	78	43	88	941
20歳代	89	105	98	119	101	91	81	87	96	108	72	104	1,151
30歳代	103	110	99	111	126	110	69	73	98	99	84	66	1,148
40歳代	81	87	67	102	115	91	82	72	99	126	66	91	1,079
50歳代	94	110	90	97	110	93	103	84	123	125	64	77	1,170
60歳代	111	136	106	127	149	152	112	111	143	173	86	108	1,514
70歳代	215	201	232	221	291	237	226	237	279	266	223	219	2,847
80歳代	216	215	231	241	268	190	195	244	262	251	210	228	2,751
90歳代	101	111	92	114	148	137	115	107	128	127	122	141	1,443
100歳以上	5	4	4	10	7	3	6	3	4	5	4	4	59

都道府県	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北海道	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
茨城県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
栃木県	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
群馬県	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
埼玉県	0	2	2	3	3	1	2	3	0	1	0	3	20
千葉県	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4	0	3	10
東京都	4	2	7	5	10	3	4	2	3	5	2	7	54
神奈川県	2	2	0	0	5	2	2	1	1	5	1	0	21
新潟県	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
富山県	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
石川県	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
福井県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山梨県	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
長野県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
岐阜県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
静岡県	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	1	5
愛知県	4	1	0	2	5	1	1	3	4	3	1	0	25
三重県	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
滋賀県	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	6
京都府	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	3	9
大阪府	2	3	0	8	7	5	4	2	4	4	2	1	42
兵庫県	2	5	6	3	10	3	3	4	4	7	2	3	52
奈良県	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
鳥取県	3	3	5	5	2	3	6	4	4	4	1	0	40
島根県	1,288	1,387	1,293	1,522	1,649	1,353	1,245	1,253	1,647	1,576	1,184	1,340	16,737
岡山県	1	0	1	3	9	0	2	0	2	3	2	0	23
広島県	8	10	8	5	12	13	5	9	4	6	0	4	84
山口県	1	2	3	1	3	1	0	0	0	1	1	3	16
徳島県	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
香川県	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	5
愛媛県	1	0	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	6
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
福岡県	5	3	1	1	1	0	3	2	2	3	1	0	22
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
長崎県	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
熊本県	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
大分県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
宮崎県	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
鹿児島県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
沖縄県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	5
不明	1	1	0	0	2	0	0	3	0	1	1	0	9

市区町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
松江市	21	14	12	14	25	15	19	10	12	23	19	16	200
浜田市	6	9	3	3	2	4	4	0	3	6	0	3	43
出雲市	1,108	1,213	1,125	1,352	1,428	1,172	1,086	1,111	1,444	1,372	1,042	1,162	14,615
益田市	1	3	1	1	2	4	0	0	2	1	3	2	20
大田市	51	67	51	55	83	49	51	51	73	81	62	54	728
安来市	2	1	0	4	2	1	1	0	2	2	0	3	18
江津市	3	1	6	6	4	8	6	5	7	9	1	8	64
雲南市	52	47	51	55	62	62	42	44	58	42	30	55	600
仁多郡	18	5	16	10	15	9	9	8	14	9	9	14	136
飯石郡	5	4	5	10	7	8	7	4	8	8	2	8	76
邑智郡	10	10	6	5	11	15	14	12	13	15	9	6	126
鹿足郡	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3
隠岐郡	11	13	17	7	8	5	6	7	11	8	7	8	108

7. 1. 3 ICU新規入室患者数

新規入室患者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	71	66	67	84	72	64	89	77	65	78	69	71	873
2024年度	69	74	67	68	56	57	65	81	85	72	56	73	823
前年度比(%)	97.2	112.1	100.0	81.0	77.8	89.1	73.0	105.2	130.8	92.3	81.2	102.8	94.3

診療科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	4
脳神経内科	3	0	3	0	2	2	1	1	2	1	1	2	18
精神神経科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
呼吸器科	2	2	1	1	2	0	0	3	0	3	1	1	16
循環器科	18	17	13	15	10	9	12	19	20	23	17	20	193
消化器科	3	7	8	3	2	2	5	5	3	4	2	3	47
血液腫瘍科	0	0	1	0	0	4	3	1	1	0	0	1	11
内分泌代謝科	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
乳腺科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	6	14	13	12	10	10	8	12	14	6	4	11	120
整形外科	3	0	0	1	0	1	2	0	1	1	2	1	12
心臓血管外科	9	4	7	10	8	11	11	13	8	7	8	10	106
呼吸器外科	0	0	0	1	2	0	0	0	3	2	0	1	9
腎臓科	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	4
泌尿器科	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	2	1	7
形成外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻咽喉科	0	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	2	7
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
救命救急科	14	14	12	13	12	9	13	21	23	17	12	13	173
産婦人科	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4
小児科	1	3	1	1	3	1	1	2	3	2	1	1	20
消化器外科	8	11	3	6	4	5	7	1	4	6	5	5	65

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	46	47	39	34	30	40	43	59	50	48	32	50	518
女性	23	27	28	34	26	17	22	22	35	24	24	23	305

年代別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10歳未満	1	3	1	1	3	1	1	1	2	0	1	1	16
10歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	5
20歳代	0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	0	1	7
30歳代	0	3	1	3	2	0	1	0	0	0	1	1	12
40歳代	2	1	3	1	0	3	2	3	3	3	2	3	26
50歳代	9	9	5	4	2	6	3	3	9	9	3	5	67
60歳代	7	11	7	16	7	9	13	9	14	13	8	9	123
70歳代	23	27	26	21	18	19	18	32	28	26	22	30	290
80歳代	20	15	16	13	17	17	18	25	19	17	13	17	207
90歳代	6	5	8	5	6	2	8	7	8	2	6	5	68
100歳以上	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

入室時間別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
00時	3	0	0	0	3	2	3	1	4	2	0	2	20
01時	1	3	0	2	0	0	2	2	2	1	1	2	16
02時	1	1	0	0	2	1	0	2	1	0	0	1	9
03時	1	2	0	0	3	1	1	1	2	0	0	1	12
04時	1	0	2	2	1	1	1	1	0	1	0	1	11
05時	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	5
06時	1	1	1	0	0	0	1	1	2	1	0	1	9
07時	1	3	1	1	1	2	1	4	1	2	2	0	19
08時	0	1	1	1	0	0	1	0	3	0	2	3	12
09時	1	2	3	3	1	3	3	7	7	5	4	4	43
10時	8	7	8	5	4	3	4	5	4	2	2	3	55
11時	6	4	7	13	11	7	5	11	6	8	7	6	91
12時	6	2	6	2	2	5	4	5	4	4	4	4	48
13時	6	9	6	9	4	2	9	3	9	5	2	7	71
14時	9	6	3	8	2	3	5	7	8	11	4	6	72
15時	3	9	4	1	2	5	8	7	4	2	4	6	55
16時	4	4	6	4	1	5	6	6	5	5	7	4	57
17時	3	0	2	6	1	2	4	5	4	6	2	7	42
18時	0	4	1	0	2	0	2	4	5	2	0	3	23
19時	1	3	5	4	2	5	0	2	3	8	0	3	36
20時	5	2	5	1	4	3	1	2	1	3	4	4	35
21時	1	4	3	3	5	2	3	2	4	1	6	2	36
22時	3	2	2	2	2	1	0	2	0	1	1	1	17
23時	4	5	1	1	3	4	1	1	3	1	3	2	29

7.1.4 ドクターヘリ出動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	47	49	37	39	37	48	52	45	39	36	34	42	505
2023年度	30	61	44	57	64	40	62	44	43	35	42	52	574
2024年度	57	46	55	44	67	62	32	37	45	26	25	50	546
前年度比(%)	190.0	75.4	125.0	77.2	104.7	155.0	51.6	84.1	104.7	74.3	59.5	96.2	95.1

7.2 母性小児診療部統計

7.2.1 産科編

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全分娩数：12週以降	59	55	44	62	54	48	44	42	34	28	30	42	542
12-21週（流産）	0	1	1	0	1	0	0	0	2	1	0	1	7
22週以降	59	54	43	62	53	48	44	42	32	27	30	41	535
新生児の性別：男	37	24	24	31	25	18	30	26	14	15	16	25	285
新生児の性別：女	22	30	22	31	28	30	14	16	19	12	14	17	255
新生児の性別：不明	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
死産数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早産数	2	3	4	2	2	2	1	2	1	4	1	2	26
双胎	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5
品胎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出生前形態異常診断	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	5
帝王切開分娩	33	26	23	29	24	18	18	15	15	11	13	16	241
吸引分娩	3	2	3	3	3	4	3	1	1	3	1	2	29
医師間に合わず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（正常）経膈分娩	23	27	18	30	26	26	23	26	16	13	16	24	268
里帰り分娩	6	10	7	8	7	6	4	6	1	5	1	5	66
母体搬送	6	2	3	2	1	3	5	2	3	1	0	0	28
へり搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紹介数	35	34	20	37	39	30	24	24	21	14	10	22	310

低出生体重児・巨大児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,000g 未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,000-1,499g	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500-2,500g 未満	3	6	8	8	2	5	6	4	3	5	4	2	56
4,000g 以上	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	4

週数別分娩	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22-24週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25-27週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28-30週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31-33週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34-36週	2	3	4	2	2	2	1	2	1	4	1	2	26
37週	6	8	10	5	5	4	5	4	8	2	5	7	69
38週	15	25	8	26	13	9	17	11	7	9	7	9	156
39週	11	6	8	12	13	12	9	11	7	7	6	11	113
40週	17	5	11	13	17	15	8	10	8	3	8	8	123
41週	8	7	2	4	3	6	4	4	1	2	3	4	48
42週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

母体年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
20歳未満	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
20-24歳	4	1	5	10	2	3	6	7	2	4	2	2	48
25-29歳	11	19	12	22	16	18	11	13	12	5	6	15	160
30-34歳	28	20	16	21	21	11	15	15	9	10	11	15	192
35-39歳	11	11	5	8	8	11	8	4	7	7	10	5	95
40歳以上	5	3	5	1	5	3	4	3	2	1	1	4	37
合計	59	54	43	62	53	48	44	42	32	27	30	41	535

(流産省く)

初産・経産婦	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初産婦	32	25	20	34	23	27	20	18	15	10	11	15	250
1回経産婦	21	19	16	19	23	10	14	14	11	10	13	20	190
2回経産婦	6	6	5	7	5	9	8	10	5	6	5	3	75
3回経産婦	0	2	0	2	1	1	0	0	1	1	1	2	11
4回以上経産婦	0	1	2	0	1	1	2	0	0	0	0	1	8

(流産省く)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
不妊治療	9	6	8	9	11	4	9	3	5	4	1	4	73

基礎疾患	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
HB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HCV	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ATL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液型不適合	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	6
中枢神経系(含脳血管)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	4
てんかん	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
呼吸器(含喘息)	6	6	6	5	8	3	3	3	2	0	1	2	45
循環器	1	1	0	3	2	0	1	0	0	1	1	1	11
消化器	0	3	3	2	1	1	1	0	1	0	0	2	14
腎・泌尿器	1	0	1	0	1	5	2	1	0	0	2	1	14
甲状腺	5	4	3	3	4	1	5	4	2	1	3	3	38
DM	13	10	6	10	10	15	11	6	5	3	5	10	104
血液疾患	0	0	1	2	2	1	4	2	1	0	2	3	18
血栓症	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
精神科疾患	7	2	8	5	8	8	7	4	2	1	5	4	61
骨・筋肉	0	1	1	1	2	0	2	0	1	0	0	0	8
眼科	1	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	6
子宮	7	3	4	8	8	4	3	2	5	4	2	3	53
HPV 陽性	2	2	3	8	4	2	5	1	3	0	2	2	34
細胞診異常	2	1	4	4	3	2	6	3	4	1	3	2	35
コンジローマ	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
頸管ポリープ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
卵巣腫瘍	2	1	1	3	1	0	0	1	0	0	1	1	11
悪性腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	0	3	2	3	4	4	0	2	0	2	27
COVID-19	2	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	2	8

産科合併症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
PIH	1	2	1	2	5	1	2	2	6	9	5	6	42
FGR	1	0	0	5	0	3	0	1	1	1	2	0	14
切迫早産・切迫流産	14	8	14	14	12	12	13	11	10	11	7	14	140
P-PROM	0	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	7
CAM	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
頸管無力症	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	5
重症悪阻	2	1	2	2	3	2	4	4	3	1	2	1	27
羊水過少	0	1	0	0	0	2	0	1	1	1	3	1	10
羊水過多	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨盤位（多胎は除外）	4	2	0	4	3	4	3	2	0	0	0	0	22
既往帝王切開術	11	9	13	13	11	6	11	7	5	7	7	7	107
前置胎盤	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
癒着胎盤	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5
CPD	3	3	2	5	2	1	0	0	2	1	0	2	21
常位胎盤早期剥離	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
HELLP 症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子癇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DIC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弛緩出血（輸血）	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
輸血	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	6
自己血	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	6

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胎児異常	1	1	2	0	0	1	1	1	0	1	1	0	9

7.2.2 新生児診療統計（2024年度）

月別新生児集中治療病棟入院数（NICU/GCU 入院患者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
新生児病棟全新規入院数	36	30	32	38	29	26	29	21	25	17	19	26	328	
新生児の性別：男	23	13	13	20	19	12	21	12	12	10	11	19	185	56.4
新生児の性別：女	13	17	19	18	10	14	8	9	13	7	8	7	143	43.6
新生児の性別：不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

入院形態	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
院内出生	36	30	32	38	28	25	29	21	18	16	18	26	317	96.7
入院形態	母体緊急搬送	6	2	3	1	4	1	4	1	4	0	0	26	
	母体非緊急搬送	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	6	
	母体紹介	18	19	12	22	14	14	13	11	11	4	11	150	
	院内フォロー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	飛び込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	里帰り	6	5	3	5	4	3	5	3	1	3	1	39	
	病診連携(セミオープン)	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	6	
院外出生	0	0	0	0	1	1	0	0	7	1	1	0	11	3.4
入院形態	当院医師添乗 救急車搬送	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	当院医師添乗 ヘリ搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	前医スタッフ搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	1	7	
	施設外分娩 (自宅分娩など)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	転院後帰院再入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※再入院の場合、重複の可能性もあり

単胎・多胎	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
単胎	36	30	26	38	28	25	29	21	16	16	18	24	307	96.9
双胎 ^{*1}	0	0	6	0	0	0	0	0	2	0	0	2	10	3.2
品胎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要胎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

※再入院の場合、重複の可能性もあり

※1：双胎10組

分娩様式	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
帝王切開分娩	33	26	27	29	24	18	19	15	16	11	13	18	249	78.5
緊急帝切	15	13	9	10	10	8	5	5	9	6	4	6	100	
予定帝切	18	13	18	19	14	10	14	10	7	5	9	12	149	
うち分娩立会い	10	11	9	7	5	5	4	2	12	4	4	3	76	
経膈分娩	3	4	5	9	4	7	10	6	2	5	5	8	68	21.5
自然経膈	2	3	2	7	4	6	10	5	2	3	5	7	56	
吸引	1	1	3	2	0	1	0	1	0	2	0	1	12	
クリステルル圧出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
うち分娩立会い	2	2	4	3	0	1	4	4	0	3	4	3	30	

※再入院の場合、重複の可能性もあり

日 齡	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
日齡0	34	28	31	34	26	20	23	20	16	13	16	20	281	85.7
日齡1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	6	1.8
日齡2-5	1	1	0	4	3	5	4	1	1	3	1	4	28	8.5
日齡6-14	0	0	1	0	0	0	1	0	6	0	0	1	9	2.7
日齡15以上	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4	1.2

出生体重	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
1,250-1,499g	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0.9
1,500-1,749g	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.3
1,750-1,999g	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	4	1.2
2,000-2,249g	1	1	1	1	0	0	0	1	5	1	2	0	13	4.0
2,250-2,499g	1	5	7	2	1	4	3	3	1	2	2	2	33	10.1
2,500-2,999g	21	9	13	15	15	4	12	10	12	6	7	12	136	41.6
3,000-3,999g	13	15	11	17	12	17	13	7	4	7	7	11	134	41.0
4,000g 以上	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0.9

週数別分娩	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
29週	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.6
30週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
31週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
32週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
33週	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3	0.9
34週	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	0.9
35週	1	0	2	1	0	0	1	2	4	0	0	0	11	3.4
36週	1	3	4	1	2	2	0	0	0	4	1	2	20	6.1
37週	4	7	9	4	4	3	5	4	6	2	5	8	61	18.6
38週	13	14	6	19	9	7	14	6	5	6	6	7	112	34.2
39週	6	1	4	4	4	3	2	4	2	2	1	4	37	11.3
40週	8	1	5	7	7	10	4	3	2	2	3	4	56	17.1
41週	3	4	2	2	2	1	3	2	1	0	2	1	23	7.0
42週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
43週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

新生児集中治療病棟における治療

治 療	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人工換気症例	2	0	0	2	2	0	3	0	1	0	0	0	10
2,250-2,499g	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2,500-2,999g	2	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	6
3,000-3,999g	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
4,000g 以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37週	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	4
38週	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
39週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40週	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	4
人工肺サーファクタント補充	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2,500g 以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胸腔穿刺・胸腔ドレナージ※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中心静脈確保（患者数）	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
末梢型※1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
輸血（患者数）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1：該当月に出生した児が処置を受けた場合

疾患別件数

疾患別分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
極低出生体重児（1,000-1,499g）	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	4
極低出生体重児死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
極低出生体重児生存率	0	0	0	0	0	100	0	100	0	100	0	0	100
低出生体重児（1,500-2,499g）	2	6	8	5	1	5	4	7	3	3	5	2	51
低出生体重児死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低出生体重児生存率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
全低出生体重児(<2,500g)死亡率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

病 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心室中隔欠損症	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
心房中隔欠損症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
二次孔型心房中隔欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
卵円孔開存症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ファロー四徴症	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
先天性心疾患	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
動脈管開存症	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
末梢性肺動脈狭窄症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

染色体異常症候群	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
21トリソミー症候群	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
18トリソミー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13トリソミー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイリアムズ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22番染色体 DiGeorge 症候群欠乏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

新生児仮死	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
APGAR 値1分後	1	3	1	4	2	1	4	2	1	0	1	3	23
APGAR 値5分後	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3
在胎36週以上 生後5分 / Ap5点以下	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
在胎36週以上 臍帯動脈血 pH7.0未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NICU 入院中の MRSA 保菌者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出生月別 ^{※1}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MRSA 保菌率 (%) (MRSA 保菌者 / 新規入院数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1：誕生日を該当月として表記

死 亡	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡数 (死亡日) ^{※1}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
剖検数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死後画像診断 (A.I.) 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1：死亡日を該当日として集計

新生児健診関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
先天代謝異常検査													
初回検査	53	52	48	58	52	56	41	39	38	30	20	50	537
再検査	2	0	0	2	0	1	1	1	1	0	0	0	8
TSH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17α-OHP	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
ガラクトース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タンデマス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精査対象者	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
TSH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17α-OHP	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
ガラクトース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タンデマス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
新生児聴覚スクリーニング検査													
検査実施者 (実患者数)	62	57	55	63	70	60	47	44	43	32	24	48	605
院内出生児	56	51	47	55	57	55	41	36	39	27	20	46	530
院外出生児	6	6	8	8	13	5	6	8	4	5	4	2	75
1回目検査													
1回目正常	61	57	54	62	70	60	47	43	43	32	24	48	601
1回目両側 refer	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1回目右側 refer	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
1回目左側 refer	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2回目検査													
2回目正常	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
2回目両側 refer	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2回目右側 refer	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2回目左側 refer	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7.3 薬剤局統計

7.3.1 外来処方件数

処方区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①院内(救外含)	766	902	796	879	892	780	739	691	941	947	655	740	9,728
②救急外来	407	508	462	515	667	482	419	408	685	680	447	478	6,158
③院外	6,476	6,580	6,090	7,032	6,534	6,295	7,079	6,325	6,585	6,516	5,912	6,443	77,867
全処方件数①+③	7,242	7,482	6,886	7,911	7,426	7,075	7,818	7,016	7,526	7,463	6,567	7,183	87,595
院外処方率 ③/(①+③-②)	94.7%	94.4%	94.8%	95.1%	96.7%	95.5%	95.7%	95.7%	96.3%	96.1%	96.6%	96.1%	95.6%

※院外処方率は救急外来処方を除いています。

7.3.2 TPN調製件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TPN調製数	46	64	129	84	123	92	33	43	82	135	74	134	1,039

※実際にTPN無菌調剤を行った数です。無菌製剤加算を算定した件数ではありません。

7.3.3 初期投与量設計件数、TDM解析件数

薬品名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
バンコ マイシン	投与患者数(開始月の人数)	25	26	23	27	28	21	22	32	25	18	21	23	291	24.3
	初期投与量設計(依頼あり)	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	6	0.5
	投与開始後のシミュレーション	20	20	12	19	20	12	18	21	14	13	15	16	200	16.7
	TDM解析(1人に複数回あり)	24	36	28	54	51	32	41	36	34	36	51	48	471	39.3
テイコ プラニン	投与患者数(開始月の人数)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0.2
	初期投与量設計(依頼あり)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	投与開始後のシミュレーション	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0.2
	TDM解析(1人に複数回あり)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0.3

※薬剤の血中濃度は検査技術科にて測定しています。

※薬剤局では上記以外の薬剤のTDM解析は行っていません。

7.3.4 薬剤管理指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
①安全管理	771	724	690	755	689	606	720	588	565	538	491	562	7,699	641.6
②その他	580	576	533	561	510	496	528	413	412	403	372	404	5,788	482.3
全体	1,351	1,300	1,223	1,316	1,199	1,102	1,248	1,001	977	941	863	966	13,487	1123.9

①：特に安全管理が必要な薬品が投薬されている患者に対して行う場合

②：①以外

※診療報酬として請求した件数です。実際に行った指導の回数とは異なります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
全指導件数	1,495	1,449	1,375	1,456	1,332	1,230	1,392	1,127	1,109	1,089	968	1,047	15,069	1,256
加算なし件数	144	149	152	140	133	128	144	126	132	148	105	81	1,582	132

※加算なし件数 = 全指導件数 - 加算件数全体

7.3.5 麻薬管理指導加算件数、退院時薬剤情報管理指導料件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
麻薬管理指導加算	9	10	0	13	10	12	12	6	8	7	12	8	107	8.9
退院時薬剤情報 管理指導料	453	445	454	451	438	438	424	335	379	324	331	394	4,866	405.5

※診療報酬として請求した件数です。実際に行った指導の回数とは異なります。

7.3.6 常用薬鑑別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
鑑別件数	844	801	807	886	824	777	817	760	754	818	729	796	9,613	801.1

※常用薬ありの患者のみを対象としています。

※1患者1入院期間に対して、複数回鑑別を行っている場合も1回として集計しています。

7.3.7 入退院サポートセンター対応件数

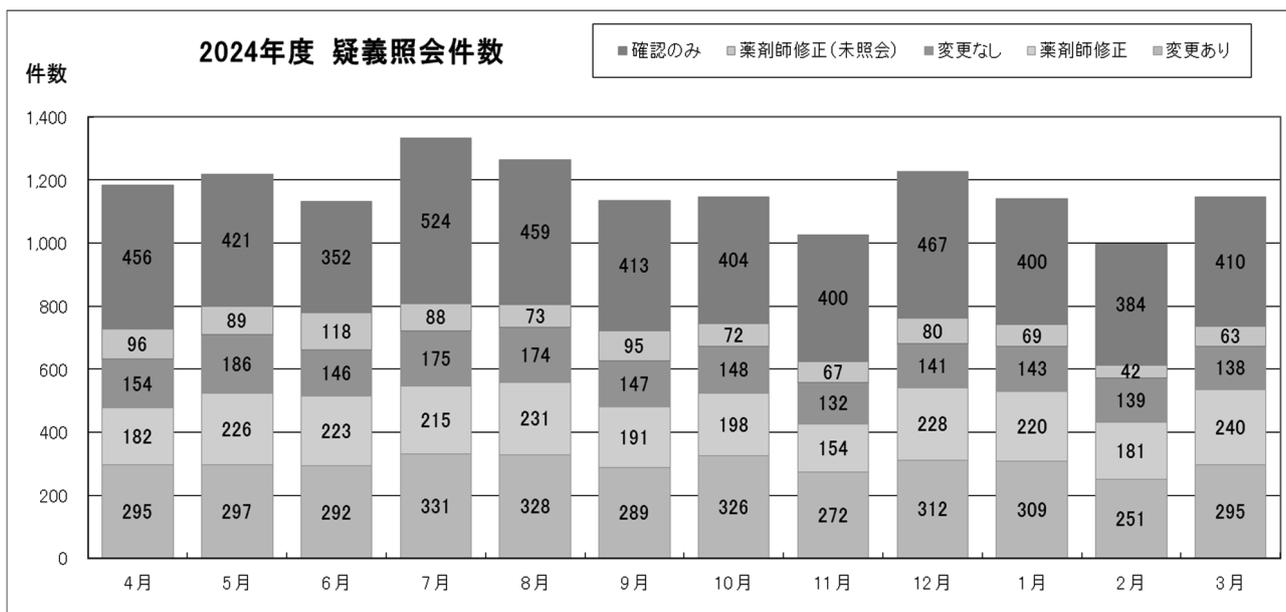
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入院決定時の常用 薬確認件数	264	268	278	294	304	248	299	283	267	278	239	298	3,320	276.7
休薬指示薬の説明 件数	43	41	27	43	45	34	46	36	39	43	35	38	470	39.2

7.3.8 院内製剤払出し実績

分類	名 称	規格	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
普通製剤	SADBE アセトン溶液セット		セット	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	40%塩化第二鉄液	5ml	本	10	8	10	8	8	8	8	8	8	0	12	8	96
	3%酢酸	500ml	本	10	2	4	2	6	3	2	2	2	2	4	2	41
	5%硝酸銀液	10ml	本	6	5	4	7	7	5	5	4	5	6	5	5	64
	テーカイン鼓膜麻酔液	20ml	本	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
	50%トリクロル酢酸	30ml	本	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	5
	0.05%ピオクタニン液100ml	100ml	本	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	2	1	17
	ベクロメタゾン腸溶性カプセル	1mg	Cap	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ミラクリッド腔坐剤	5000U	個	41	25	20	34	21	6	4	10	17	25	5	13	221
	滅菌済ピオクタニンブルー 注1%5ml	5ml	本	5	5	12	6	9	10	10	12	6	6	7	5	93
	滅菌墨汁	3ml	本	7	5	8	5	4	4	9	9	8	7	5	7	78
	1.2%ルゴール液	100ml	本	1	1	4	4	4	2	2	2	2	3	2	2	29
	3%亜硝酸ナトリウム注射液	10ml	本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予約製剤	0.6%グルタルアルデヒド溶液	200ml	本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20%自己血清点眼液5ml	5ml	本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5%スコボラミン軟膏5g	5g	個	0	0	0	0	0	0	1	1	4	2	4	5	17
	チラーヂンS坐薬50 μ g	50 μ g	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チラーヂンS坐薬100 μ g	100 μ g	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14
	0.4%トリパンプルー液	1ml	本	2	2	3	2	2	2	2	1	2	2	3	1	24
	バリウム嚥下造影剤 (コロイド状)		個	2	2	1	3	0	1	3	4	1	1	2	3	23
	バリウム嚥下造影剤 (ゼラチン状)		個	2	2	1	3	0	1	3	4	1	1	2	3	23
	バリウム嚥下造影剤 (液状)		個	2	3	1	3	0	1	3	4	1	1	2	3	24
	バリウム嚥下造影剤 (寒天)		個	2	2	1	2	0	1	3	4	1	1	2	3	22
	フェノールグリセリン注	5ml	本	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	Mohs ペースト	100g	個	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	0.1%リファンピシン液	100ml	本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
プロゲステロン腔坐剤	100mg	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

7.3.9 疑義照会件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
照会あり	変更あり	295	297	292	331	328	289	326	272	312	309	251	295	3,597
	薬剤師修正	182	226	223	215	231	191	198	154	228	220	181	240	2,489
	変更なし	154	186	146	175	174	147	148	132	141	143	139	138	1,823
	照会	631	709	661	721	733	627	672	558	681	672	571	673	7,909
照会なし	薬剤師修正 (未照会)	96	89	118	88	73	95	72	67	80	69	42	63	952
	確認のみ	456	421	352	524	459	413	404	400	467	400	384	410	5,090



※薬剤師修正は、院内プロトコールに基づき薬剤師が処方修正を行った件数です。

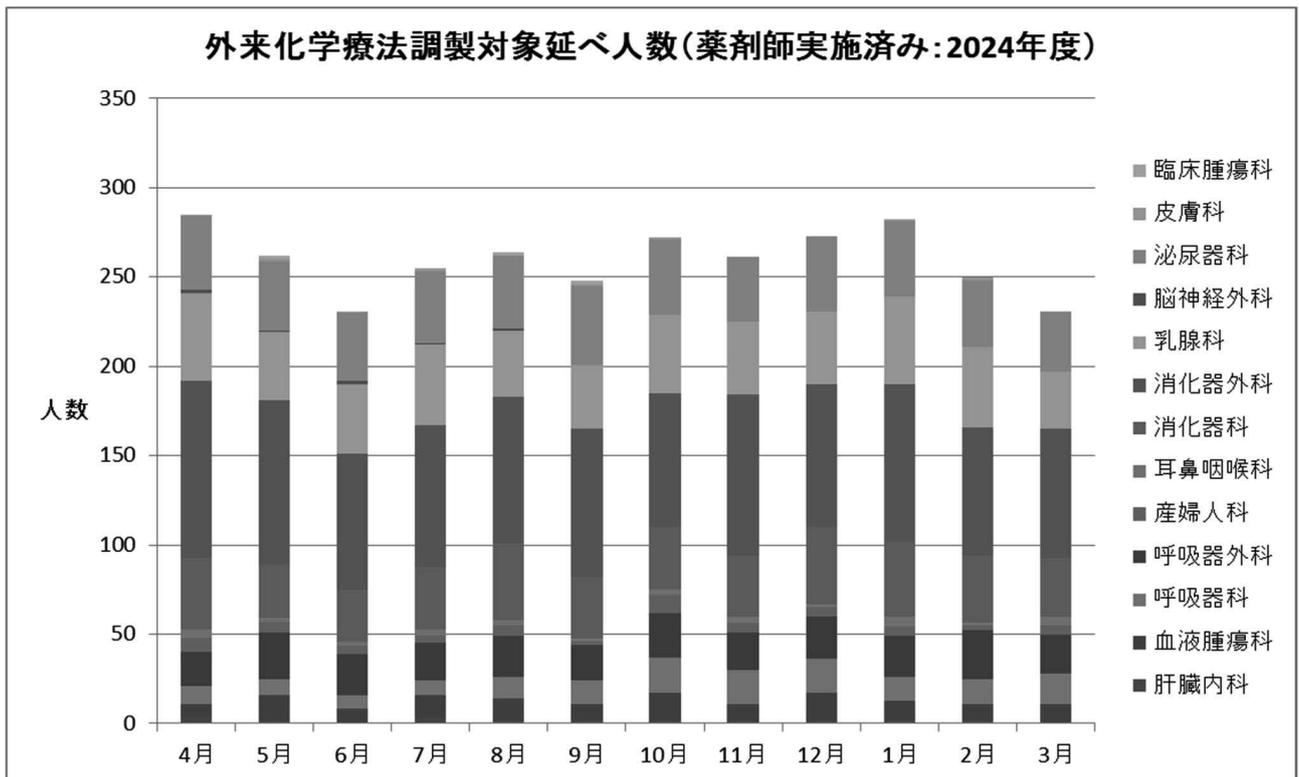
「変更あり」「薬剤師修正」「変更なし」の合計が、医師への疑義照会件数です。

「薬剤師修正(未照会)」は、医師への疑義照会なしで薬剤師が修正を行った件数です。

「確認のみ」は、薬剤師がカルテ確認をして解決した件数です。

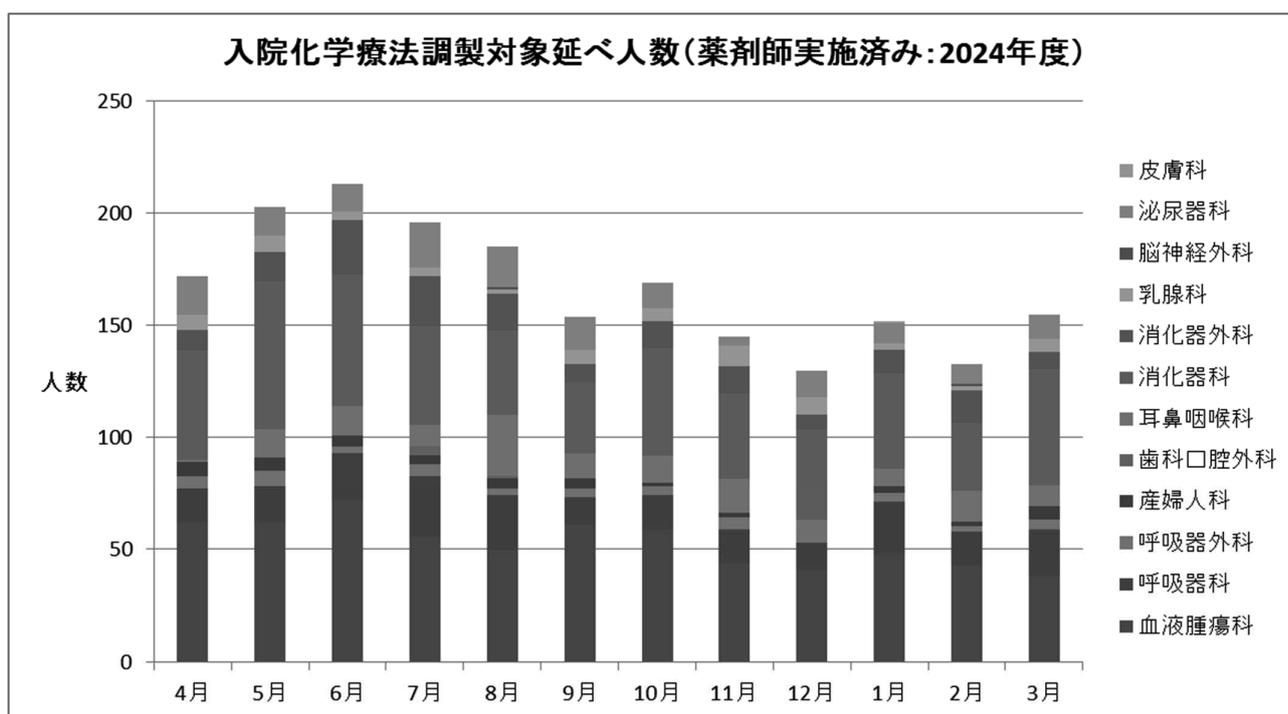
7.3.10 診療科別 外来化学療法混注対象延べ人数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
肝臓内科	4	2	1	3	2	2	2	2	2	2	2	1	25
血液腫瘍科	7	14	7	13	12	9	15	9	15	11	9	10	131
呼吸器科	10	9	8	8	12	13	20	19	19	13	14	17	162
呼吸器外科	19	26	23	21	23	20	25	21	24	23	27	22	274
産婦人科	8	6	4	4	6	2	10	5	5	5	3	5	63
耳鼻咽喉科	5	2	3	4	3	2	3	4	2	6	2	5	41
消化器科	40	30	29	35	43	34	35	34	43	42	37	33	435
消化器外科	99	92	76	79	82	83	75	90	80	88	72	72	988
乳腺科	49	38	39	45	37	36	44	41	41	49	45	32	496
脳神経外科	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7
泌尿器科	41	39	38	40	41	44	42	36	42	42	37	33	475
皮膚科	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	2	1	8
臨床腫瘍科	1	2	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	9
合計	285	262	231	255	264	248	272	261	273	282	250	231	3,114



7.3.11 診療科別 入院化学療法混注対象延べ人数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液腫瘍科	62	62	72	56	50	61	59	44	41	48	43	38	636
呼吸器科	15	16	21	27	24	12	15	15	12	23	15	21	216
呼吸器外科	6	7	3	5	3	4	4	5	2	4	2	4	49
産婦人科	6	6	5	4	5	5	2	2	0	3	2	6	46
歯科口腔外科	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
耳鼻咽喉科	1	13	13	10	27	11	12	16	8	8	14	10	143
消化器科	49	66	59	44	38	32	48	38	41	43	31	52	541
消化器外科	9	13	24	22	16	8	12	12	6	10	14	7	153
乳腺科	7	7	4	4	2	6	6	9	8	3	2	6	64
脳神経外科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
泌尿器科	17	13	12	20	18	15	11	4	12	9	9	11	151
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	172	203	213	196	185	154	169	145	130	152	133	155	2,007



7.3.12 がん患者指導管理料ハ算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
2024年度	29	29	24	20	22	22	22	21	20	28	22	23	282	23.5

※診療報酬として請求した件数です。実際に行った指導の回数とは異なります。

7.3.13 連携充実加算算定件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
2024年度	17	11	15	7	20	19	19	24	23	21	20	21	217	18.1

※診療報酬として請求した件数です。実際に行った指導の回数とは異なります。

7.3.14 がん薬物療法体制充実加算件数

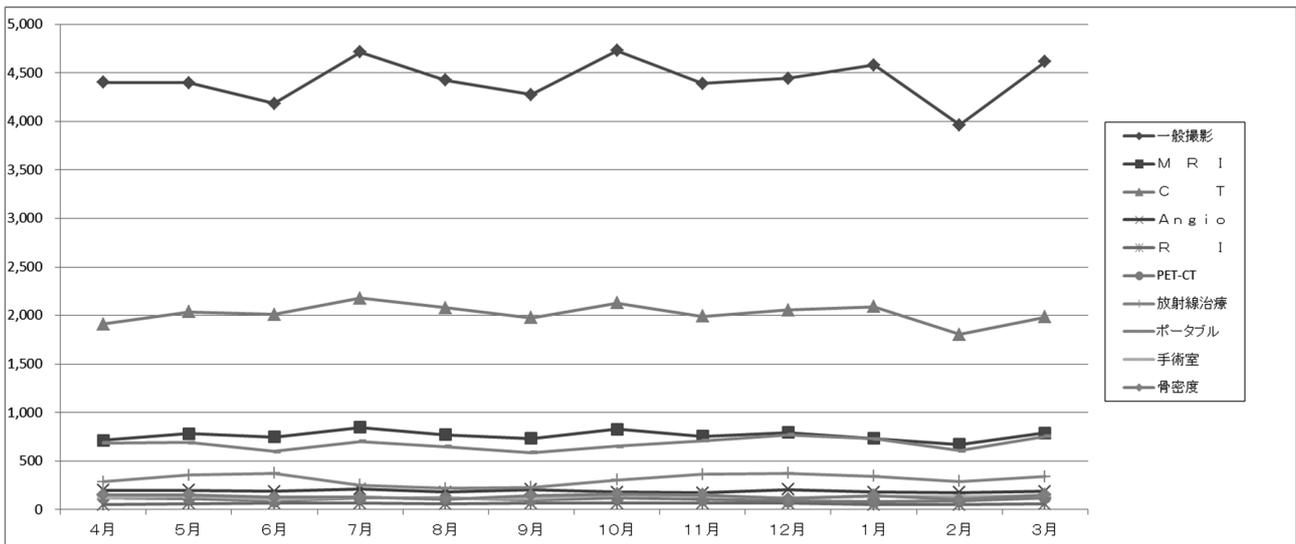
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
2024年度	0	0	13	7	20	20	21	26	28	25	24	24	208	20.8

※診療報酬として請求した件数です。実際に行った指導の回数とは異なります。

7.4 放射線技術科統計

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
一般撮影	4,400	4,395	4,182	4,713	4,422	4,274	4,729	4,391	4,441	4,580	3,964	4,614	53,105	4,425
MRI	716	782	750	847	773	732	827	758	793	735	674	789	9,176	765
CT	1,913	2,036	2,011	2,177	2,080	1,975	2,127	1,990	2,056	2,089	1,803	1,982	24,239	2,020
Angio	201	198	189	211	182	206	181	172	209	182	177	190	2,298	192
RI	51	63	68	65	60	68	66	66	68	52	50	60	737	61
PET-CT	122	115	88	118	120	99	120	105	91	80	88	125	1,271	106
放射線治療	288	358	374	252	218	231	306	365	374	346	291	339	3,742	312
合 計	7,691	7,947	7,662	8,383	7,855	7,585	8,356	7,847	8,032	8,064	7,047	8,099	94,568	7,881

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
ポータブル	688	690	601	703	650	587	655	712	773	729	608	755	8,151	679
手術室	123	135	103	131	117	115	151	140	122	138	138	145	1,558	130
骨密度	156	154	127	129	110	147	162	155	112	145	106	154	1,657	138



7.5 検査技術科統計

7.5.1 生理検査年度別実施件数

検査項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
呼吸機能検査等	4,515	4,136	4,112	3,926	4,384	2,805	3,571	3,591	3,991	4,856
循環機能検査等										
心電図 12誘導	14,720	14,051	13,606	13,119	12,562	11,980	12,846	12,418	12,769	13,190
負荷心電図検査	91	65	45	26	21	20	25	66	72	43
長時間心電図検査	492	536	550	573	607	499	577	604	634	645
心臓超音波検査	7,446	6,886	6,871	6,715	6,759	6,331	6,542	6,502	6,471	6,468
経食道超音波検査	105	110	126	168	211	161	66	72	64	70
脈波検査	1,366	1,289	1,171	1,238	1,203	1,021	875	849	841	846
サーモグラフィー	10	2	3	8	3	2	5	5	5	5
加算平均心電図	43	33	16	6	7	4	29	41	19	19
皮膚灌流圧	22	46	38	32	25	22	16	18	29	24
経皮酸素分圧	4	13	9	18	9	1	3	2	4	4
超音波検査										
腹部	5,309	5,106	5,240	5,184	5,094	4,669	4,845	4,876	4,854	4,851
甲状腺	1,460	1,321	1,391	1,369	1,388	1,426	1,619	1,571	1,553	1,672
乳腺	3,945	4,196	4,182	4,126	3,943	3,616	4,003	4,101	4,084	4,041
下肢血管					579	690	707	793	796	838
その他表在部位	1,299	1,191	1,256	1,427	842	829	835	770	764	750
頸動脈	689	672	609	664	659	627	649	701	648	653
超音波ガイド下穿刺	832	796	703	696	607	519	584	565	524	554
脳波・筋検査等										
脳波	1,041	867	882	845	896	774	728	796	817	775
誘発電位検査	208	178	173	162	170	165	155	151	145	96
神経・筋検査 (2010年度より神経数)	3,231	3,143	2,931	2,901	3,220	3,056	2,631	2,749	2,879	2,940
術中誘発反応検査	179	108	92	93	112	117	199	204	227	173
睡眠ポリグラフィー	287	214	228	208	165	173	195	235	209	252
新生児聴覚スクリーニング検査	990	911	918	821	785	716	737	686	645	608
耳鼻科系検査										
聴力検査	1,226	851	923	983	943	814	880	851	830	742
平衡機能検査	447	265	299	274	305	232	248	211	295	195
眼科系検査										
屈折・矯正・視力検査	4,635	3,108	2,904	2,924	3,130	3,423	3,720	4,142	4,135	4,327
精密眼圧測定	2,851	1,808	1,752	1,881	2,114	2,441	2,470	2,540	2,883	3,270
コントラスト感度検査										3
視野検査(片眼)	1,005	491	766	897	1,142	1,165	1,059	1,319	1,227	1,231
角膜曲率半径計測	328	190	2	0	188	619	805	883	948	1,010
色覚検査	30	16	24	13	16	12	16	25	13	16
眼筋機能検査	584	314	358	591	760	659	611	717	632	539
両眼視機能検査	17	6	9	34	47	38	115	112	93	65
涙液分泌機能検査	20	12	11	9	11	8	14	15	17	19
PL法	74	49	42	44	54	53	52	49	49	43
中心フリッカー検査	114	98	66	81	97	77	73	93	79	123
網膜電位図	5	0	1	4	3	3	0	4	1	1
視能訓練	48	0	0	42	73	35	116	113	105	91
眼底画像検査(片眼)	1,487	749	959	1,541	2,847	2,886	2,687	3,404	5,345	5,777
角膜内皮細胞顕微鏡検査	215	74	11	2	10	75	85	115	112	117
眼軸長測定	183	59	0	0	4	35	57	49	54	46
超音波検査Bモード法								13	7	6
ロービジョンケア										8

7.5.2 生理検査実施件数

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
呼吸機能検査等													
肺気量分画測定	155	156	159	252	226	184	233	180	158	141	156	158	2,158
フローボリュームカーブ	155	156	159	252	226	184	233	180	158	141	156	158	2,158
残気量	22	17	17	22	18	17	19	22	18	20	12	19	223
胸腔内気量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロージングボリューム測定	8	4	4	3	5	6	8	12	4	7	2	6	69
肺拡散能力検査	21	16	17	18	17	15	16	18	16	16	10	15	195
基礎代謝	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
呼吸抵抗測定	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
気道抵抗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静肺コンプライアンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動肺コンプライアンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
換気応答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼気ガス	5	6	1	3	4	1	2	5	2	2	2	0	33
気道可逆性検査													
肺気量分画	0	2	1	1	0	0	0	2	0	1	0	1	8
フローボリュームカーブ	0	2	1	1	0	0	0	2	0	1	0	1	8
呼吸抵抗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気道抵抗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環機能検査等													
心電図12誘導	1,128	1,070	1,069	1,300	1,109	1,066	1,185	1,055	1,077	1,093	976	1,062	13,190
負荷心電図検査12誘導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホルター型心電図検査	60	56	55	49	62	54	55	49	51	60	46	42	639
トレッドミル負荷心機能検査	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	6
バイシクルエルゴメーター心肺検査	5	6	2	3	4	1	3	6	2	3	2	0	37
心臓超音波検査	568	560	533	599	502	520	579	515	524	533	505	530	6,468
経食道超音波検査	8	10	5	4	5	3	7	5	5	7	4	7	70
サーモグラフィー検査	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5
サーモグラフィー検査+負荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脈波図(指尖脈波2誘導)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
脈波図(指尖脈波2誘導)+負荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血圧脈波	89	72	77	89	67	67	83	68	62	60	53	57	844
血圧脈波+負荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加算平均心電図	2	0	2	0	1	1	2	4	0	5	0	2	19
皮膚灌流圧	6	4	4	0	1	2	3	0	2	1	1	0	24
発作時心電図検査	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2	1	0	6
経皮酸素分圧	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
超音波検査													
腹部	383	398	396	481	451	403	475	373	377	395	352	367	4,851
甲状腺	166	114	147	164	145	128	173	144	119	118	106	148	1,672
乳腺	324	366	322	363	323	340	378	356	345	294	301	329	4,041
下肢血管	59	74	67	69	61	79	72	89	72	59	61	76	838
その他表在部位	60	63	70	62	76	62	49	65	70	48	53	70	750
頸動脈	42	58	56	59	57	54	66	59	61	49	37	55	653
超音波ガイド下穿刺	57	44	42	56	40	43	57	39	33	49	46	48	554
脳波検査等													
脳波	56	59	50	61	55	66	68	50	47	62	56	68	698
薬物賦活・睡眠賦活脳波	3	5	4	9	10	7	5	4	10	5	4	11	77

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳誘発電位検査													
上肢体性感覚誘発電位	0	1	5	4	5	1	4	5	0	2	3	0	30
下肢体性感覚誘発電位	2	0	1	3	1	0	1	1	1	0	1	0	11
視覚誘発電位	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	7
聴性脳幹反応	3	3	3	6	4	4	4	5	7	2	3	4	48
P-300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経・筋検査													
筋電図（筋）	5	7	6	5	0	2	8	3	3	3	2	0	44
神経伝導速度（神経）	338	223	181	280	266	201	266	259	210	144	216	213	2,797
ブリンクリフレックス（神経）	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
疲労試験（神経）	2	5	5	4	2	0	6	0	2	2	1	3	32
MMEP	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
表面筋電図（肢）	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
自律神経機能検査	10	5	5	7	6	3	4	5	4	2	4	1	56
OP 誘発反応													
手術件数	5	14	5	7	6	5	6	8	6	6	7	5	80
術中体性感覚誘発電位	1	1	2	3	3	2	3	2	0	2	1	1	21
術中聴性誘発反応	0	1	0	3	2	0	0	2	1	1	0	1	11
術中 MEP	3	6	2	5	4	2	3	5	4	3	2	2	41
術中筋電図	4	14	6	14	9	4	6	10	8	6	10	6	97
術中顔面神経誘発電位	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3
術中視覚誘発電位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AABR	62	58	55	63	71	60	47	44	43	32	25	48	608
睡眠ポリグラフィー													
スクリーニング	8	5	5	6	3	3	2	4	2	1	4	6	49
精密検査	1	4	0	0	2	1	1	3	0	2	0	2	16
在宅 CPAP 解析	15	19	18	12	20	13	15	18	16	11	17	13	187
聴力検査													
標準純音聴力検査	21	33	21	37	33	23	28	28	21	33	19	28	325
標準語音聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
簡易聴力検査	22	13	23	34	31	27	32	21	20	28	20	33	304
内耳機能検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中耳機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
自記オージオメトリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チンパノメトリー	6	4	4	11	6	11	6	11	5	9	2	7	82
耳小骨筋反射検査	2	3	0	4	4	2	1	4	0	4	4	2	30
平衡機能検査													
標準平衡検査	1	3	1	3	2	3	1	2	3	1	1	2	23
頭位眼振および 頭位変換眼振検査	1	3	1	3	2	4	1	2	4	1	1	3	26
温度眼振検査	1	3	1	3	2	2	1	2	3	1	1	2	22
視運動性眼振	1	3	1	3	2	3	1	2	3	1	1	2	23
視標追跡検査	1	3	1	3	2	3	1	2	3	1	1	2	23
電気眼振検査	1	3	1	3	2	3	1	2	3	1	1	2	23
重心動揺検査	0	5	1	2	0	2	2	1	3	7	4	1	28
重心動揺検査+負荷	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
パワー・ベクトル	0	5	1	3	0	2	2	1	3	5	3	1	26

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
眼科系検査													
屈折検査	25	19	25	29	37	21	32	20	24	26	20	25	303
屈折・矯正視力検査	52	54	86	135	131	96	111	68	51	61	64	60	969
矯正（その他）	261	224	229	242	288	219	256	210	223	185	203	242	2,782
近見視力調節検査	8	5	10	6	4	6	12	6	8	4	11	6	86
コントラスト感度検査	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
精密眼圧測定（NCT）	246	235	274	317	342	275	341	244	248	231	247	270	3,270
角膜曲率半径計測	72	76	98	89	104	78	88	76	77	83	81	88	1,010
色覚検査（アノマロ、色相配列検査）	0	0	1	1	2	2	0	0	0	1	0	3	10
色覚検査（石原式 / 東京医大式）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	6
眼筋機能精密検査及び輻湊検査	54	35	31	75	79	37	32	21	45	38	37	55	539
両眼視機能精密検査	1	1	0	2	0	0	1	0	0	2	0	2	9
立体視検査	3	2	3	9	7	5	5	1	3	7	3	7	55
網膜対応検査	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
涙液分泌機能検査	0	3	3	2	3	1	2	1	1	1	0	2	19
PL（Preferential Looking）法	5	5	4	5	3	2	5	1	3	3	2	5	43
中心フリッカー検査	11	10	12	7	12	7	10	6	13	6	15	14	123
眼底カメラ（片眼）	119	73	115	253	240	153	205	109	90	94	92	121	1,664
自発蛍光撮影（片眼）	4	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	8
眼底三次元画像解析（片眼）	270	263	313	293	279	270	317	262	266	231	271	305	3,340
光干渉断層血管撮影（片眼）	58	64	76	50	62	66	71	53	72	51	48	70	741
前眼部三次元画像解析（片眼）	0	2	4	2	6	0	2	4	0	0	2	2	24
眼鏡処方	13	8	12	15	22	10	18	9	17	8	16	11	159
動的量の視野検査（片眼）	31	21	27	26	28	4	19	12	16	16	20	23	243
静的量の視野検査（片眼）	79	80	87	82	78	87	83	75	72	60	90	96	969
精密視野検査（片眼）	0	0	2	2	0	2	1	0	6	2	4	0	19
調節麻痺前後屈折検査	2	2	3	3	3	2	3	1	3	0	3	3	28
網膜電位図（ERG 検査）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
視能訓練	5	6	2	9	7	10	10	7	9	8	7	11	91
角膜内皮細胞顕微鏡検査	9	9	11	7	15	7	13	9	8	9	8	12	117
超音波検査Aモード法（眼軸長測定）	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4
光学式眼軸長測定	3	3	5	3	4	3	4	4	3	3	3	4	42
超音波検査Bモード法	1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	6
ロービジョンケア	0	0	0	0	1	0	1	0	2	1	2	1	8

7.5.3 輸血

検査項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
免疫血液学的検査										
ABO 血液型	3,566	3,073	3,214	3,327	3,191	2,761	2,698	2,765	2,627	2,582
RhO（D）血液型	3,564	3,073	3,214	3,327	3,191	2,760	2,698	2,765	2,626	2,581
直接クームス試験	84	81	74	51	76	89	81	78	46	71
間接クームス試験	88	76	78	50	73	80	67	60	42	59
輸血に伴う検査等										
不規則抗体検査	2,725	2,254	2,265	2,279	2,319	2,184	2,163	2,270	2,392	1,178
血液交差試験	4,454	3,378	2,923	3,217	2,997	2,743	2,928	3,351	3,124	2,289
間接クームス試験	4,384	3,281	2,821	3,139	2,929	2,577	2,865	3,190	2,920	2,250

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
免疫血液学的検査													
ABO 血液型	253	210	178	194	218	206	236	231	226	222	179	229	2,582
Rho (D) 血液型	252	210	178	194	218	206	236	231	226	222	179	229	2,581
直接クームス試験	7	6	5	7	3	7	9	0	5	6	8	8	71
間接クームス試験	6	5	5	5	4	8	7	0	5	3	5	6	59
Rh-hr 因子判定検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ABO 不適合妊娠検査	1	1	1	2	0	0	2	2	1	3	0	4	17
Rh 不適合妊娠検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抗 A 抗 B 抗体価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
輸血に伴う検査等													
抗血小板抗体	0	0	1	0	1	0	1	0	3	1	0	1	8
不規則抗体検査	123	97	95	93	97	84	104	105	109	79	88	104	1,178
(保険請求不可)	82	92	83	85	70	80	86	82	102	95	99	94	1,050
血液交差試験	193	194	169	184	161	194	216	152	193	192	195	246	2,289
(保険請求不可)	111	108	101	104	72	105	89	90	85	88	118	133	1,204
間接クームス試験	190	183	165	180	159	192	216	151	192	190	193	239	2,250
(保険請求不可)	105	99	85	102	64	102	77	88	84	82	112	116	1,116
ラジエーション	0	2	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0	9
(保険請求不可)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

血液製剤		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
赤血球製剤	依頼単位数	534	572	510	560	458	530	606	466	532	540	584	668	6,560
	輸血実績単位数	380	372	336	368	322	358	460	292	390	386	392	484	4,540
血小板製剤	依頼単位数	350	510	650	370	790	840	800	640	760	760	620	740	7,830
	輸血実績単位数	340	490	580	360	740	790	760	620	760	750	620	740	7,550
血漿製剤	依頼単位数	162	156	132	172	116	142	284	56	74	154	146	258	1,852
	輸血実績単位数	116	74	84	128	56	66	202	20	40	104	100	180	1,170
自己血輸血	依頼単位数	10	14	0	7	0	9	0	4	2	0	2	2	50
	輸血実績単位数	6	14	0	3	0	4	0	2	0	0	2	2	33
末梢血幹細胞移植	保管バック数	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	8
	実績バック数	0	0	0	0	1	0	4	0	0	1	0	0	6
自家骨髄細胞移植	保管バック数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績バック数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7.5.4 病理・細胞診検査

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織顕微鏡検査													
1臓器	354	318	322	323	309	301	372	314	298	270	308	327	3,816
2臓器	58	58	55	50	46	49	56	46	47	48	44	53	610
3臓器以上	23	28	29	39	29	21	23	24	16	25	32	20	309
迅速顕微鏡検査	17	14	20	25	15	15	15	13	13	11	10	12	180
悪性腫瘍加算	40	46	42	46	39	44	38	33	35	26	26	40	455
他施設標本診断のみ	1	3	3	5	0	2	5	1	1	1	3	1	26
セルブロック	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3
免疫抗体法	148	161	146	172	180	135	155	145	128	118	161	166	1,815
免疫抗体法4種以上	49	31	43	48	34	41	42	35	27	40	47	48	485
電子顕微鏡検査	3	1	2	2	3	2	3	5	4	1	3	3	32
コンパニオン診断													
ER (エストロゲンレセプター)	13	11	10	18	10	15	12	11	6	6	8	5	125
PgR (プロゲステロンレセプター)	13	11	10	18	10	15	12	11	6	6	8	5	125
HER2	13	12	12	20	11	18	15	13	9	7	11	7	147
PD-L1	4	4	10	5	5	5	6	8	2	4	8	4	65
剖 検	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5
細胞診検査													
婦人科材料	186	182	181	215	201	205	208	190	212	172	168	235	2,355
その他	181	201	182	217	172	150	208	172	198	203	156	171	2,211
迅速細胞診	1	1	2	5	0	2	1	3	0	0	0	2	17

7.5.5 その他の検査

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出血時間測定	2	2	7	5	2	2	2	3	1	5	6	3	40
血小板粘着能	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	1	6
薬毒物検査	1	0	3	0	0	1	1	1	0	1	1	1	10
SARS-CoV-2核酸検出検査	1	2	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	8

7.5.6 その他の業務

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体外受精													
採卵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移植	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受精卵凍結	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍結胚解凍移植	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精子凍結	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ICSI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卵子凍結	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7.5.7 検体検査件数

検査分野 (外注)	検査内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿糞便 - 穿刺	BJ 蛋白等	19	16	16	9	9	13	14	13	11	25	6	8	159
尿糞便 - 特殊	MBP	30	31	32	37	29	34	31	33	22	26	15	27	347
生化学 I	TTT・ZTT・ βリボ蛋白等	569	674	663	675	607	609	707	682	611	659	575	587	7,618
薬物	ゾニサミド・ テイコプラニン等	21	29	23	31	32	34	21	32	31	42	28	38	362
生化学 II - 特殊	BTR・ アミノ酸等	7	10	2	4	7	8	8	9	10	7	10	8	90
生化学 II - 内分泌	下垂体他	707	602	866	833	747	688	831	789	693	677	663	741	8,837
生化学 II - 内分泌負荷	下垂体他	67	4	3	1	0	4	0	0	1	2	1	3	86
生化学 II - 腫瘍マーカー	CA439など	397	357	336	384	356	326	405	352	365	350	308	368	4,304
免疫 - 感染症	ウィルス抗体価・ トキソ・クラミジア	673	694	664	631	726	654	776	715	800	715	641	777	8,466
免疫 - 肝炎	HbeAg・HbeAb・ HAAb 等	16	12	22	22	25	20	21	8	31	17	19	16	229
免疫 - 細胞性免疫	CD4・CD8・ T・B 細胞等	10	9	19	20	12	12	24	19	21	16	17	21	200
免疫 - 自己免疫	RF・MMP-3・ ANA 等	463	560	669	662	674	569	693	648	605	609	528	684	7,364
免疫 - 血漿蛋白	C3・C4・CH50・ IgD 等	404	557	531	490	553	429	479	529	490	458	325	439	5,684
免疫 - 免疫血液	遺伝子検査	2	2	1	4	1	1	1	2	4	2	0	3	23
血液 - 形態	CD45等	20	16	24	29	33	16	29	11	16	18	18	35	265
血液 - 止血	TAT・PIC・ 第Ⅷ因子等	32	37	30	62	30	42	40	44	45	40	30	29	461
血液 - 免疫関連遺伝子	遺伝子検査	56	49	48	40	39	51	51	38	45	38	54	72	581
血液 - 染色体	G バンド等	30	20	39	28	30	30	44	33	12	19	27	37	349
微生物 - 核酸同定	HCV-DNA・ クラミジア DNA 等	224	209	199	205	238	209	230	222	270	187	183	275	2,651
微生物 - 抗酸菌培養同定		67	41	31	57	39	54	41	113	64	67	77	36	687
微生物 - 抗酸菌感受性		2	0	3	3	2	5	7	5	4	6	0	2	39
病理	ER・PgR・HER2	10	9	4	10	12	12	15	23	14	13	8	12	142
未保点	HPV 等	13	20	16	14	19	27	31	19	14	22	11	16	222
合計		3,839	3,958	4,241	4,251	4,220	3,847	4,499	4,339	4,179	4,015	3,544	4,234	49,166

検査分野 (院内)	検査内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿糞便 －一般	尿定性・沈渣	3,772	4,364	4,135	4,810	4,536	4,261	4,634	4,297	4,291	4,378	4,016	4,381	51,875
尿糞便 －糞便	潜血反応	119	113	115	249	215	165	205	112	80	94	100	87	1,654
尿糞便 －穿刺	穿刺液・髄液	34	41	33	31	24	20	15	19	18	37	13	17	302
尿糞便 －特殊	尿蛋白定量・ 尿糖定量	605	563	581	678	538	585	594	567	560	565	537	649	7,022
生化学 I	AST・ALT・ ALP・TP・TC 等	106,215	106,666	104,351	119,037	109,205	106,105	112,288	101,483	105,070	114,933	97,064	108,426	1,290,843
生化学 I －糖負荷	GLU	196	116	117	119	100	89	130	110	137	138	131	134	1,517
薬物	テオフィリン・ ジゴキシン等	128	111	106	143	152	140	164	126	116	140	133	158	1,617
生化学 II －内分泌	インスリン・FT3・ FT4・性ホルモン等	2,674	2,603	2,868	3,033	2,714	2,583	2,706	2,575	2,673	2,589	2,363	2,733	32,114
生化学 II －内分泌負荷	性ホルモン等	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
生化学 II －腫瘍マーカー	PIVKA II・CEA・ AFP・CA125等	2,594	2,550	2,468	2,755	2,407	2,516	2,767	2,420	2,505	2,597	2,266	2,475	30,320
免疫 －感染症	TPLA・RPR	1,424	1,359	1,108	1,517	1,341	1,160	1,232	1,315	1,776	2,176	1,280	1,449	17,137
免疫 －肝炎	HBsAg・HBsAb・ HCV・HIV 等	1,260	1,326	1,187	1,540	1,461	1,303	1,372	1,091	1,165	1,335	1,007	1,272	15,319
免疫 －細胞性免疫	NBT 還元能	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
免疫 －自己免疫	TRAb	69	68	80	92	66	77	79	72	89	60	63	89	904
免疫 －血漿蛋白	CRP・IgG・ IgA・IgM 等	6,058	5,932	5,791	6,647	6,092	5,855	6,101	5,511	5,641	6,471	5,309	5,935	71,343
血液 －形態	血算・血液像・ 血沈	15,696	15,636	15,252	17,204	15,831	15,434	16,237	14,894	15,250	16,811	14,247	15,947	188,439
血液 －止血	PT・APTT・ FIB・HPT 等	3,945	3,718	3,743	4,164	3,663	3,865	3,933	3,521	3,725	4,119	3,539	3,962	45,897
微生物 －顕微鏡	グラム染色・ チールネルゼン	579	603	524	543	578	516	568	581	577	722	499	561	6,851
微生物 －培養同定	一般細菌培養同定	1,890	1,837	1,677	1,610	1,471	1,412	1,576	1,660	1,672	2,182	1,541	1,704	20,232
微生物 －感受性	一般細菌感受性	424	467	414	510	443	434	403	410	375	501	405	434	5,220
微生物 －核酸同定	TB-TRC・ MAC-TRC	36	52	50	55	58	74	104	55	62	89	34	62	731
未保点	クレアチニン・ クリアランス等	41	27	33	37	72	49	28	32	77	34	17	25	472
合 計		147,779	148,152	144,633	164,774	150,967	146,643	155,137	140,851	145,859	159,971	134,564	150,500	1,789,830

7.6 栄養管理科統計

7.6.1 食種別・月別延食数

(数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
特別治療食	加算食	糖尿病食	4,452	4,055	4,193	5,210	4,680	4,280	4,021	3,670	3,787	3,664	3,777	4,924	50,713	4,226
		肥満症食	76	20	45	45	4	11	1	14	0	1	15	23	255	21
		腎臓病食	1,224	1,152	1,259	1,445	1,537	1,742	1,765	1,417	1,602	1,325	1,285	1,604	17,357	1,446
		妊娠高血圧症候群食	16	13	36	29	29	0	32	15	20	11	18	52	271	23
		心臓病食	3,778	3,417	2,953	2,707	2,666	2,537	2,898	3,437	3,975	4,436	3,398	4,678	40,880	3,407
		肝臓病食	148	281	305	317	340	291	187	343	221	311	286	159	3,189	266
		膵臓病食	272	404	340	222	228	237	147	186	252	222	271	379	3,160	263
		胆石・胆のう疾患食	90	28	230	248	0	63	109	111	90	113	82	140	1,304	109
		潰瘍食	839	1,415	1,294	1,095	754	898	686	880	676	903	869	845	11,154	930
		貧血食	96	37	0	25	0	9	21	20	21	58	37	27	351	29
		検査食	13	5	12	20	7	15	15	17	11	8	19	17	159	13
		痛風病食	44	4	12	11	46	72	26	4	10	59	0	32	320	27
		特殊ミルク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		調乳+母乳添加粉末	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		母乳添加粉末	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	16	72	6
	脂質異常症食	596	651	468	503	437	691	174	415	566	258	185	211	5,155	430	
	低残渣食	1,014	1,143	1,260	808	815	866	860	1,091	1,079	843	1,121	1,104	12,004	1,000	
	加算食数	12,658	12,625	12,407	12,685	11,543	11,712	10,942	11,620	12,310	12,212	11,419	14,211	146,344	12,195	
	加算食率	39.1%	37.2%	37.5%	37.8%	34.7%	38.1%	35.8%	36.4%	37.6%	36.4%	37.6%	40.4%	37.4%	37.4%	
	非加算食	肥満症食	13	0	8	19	0	14	2	1	0	42	15	34	148	12
		高血圧食	1,039	1,142	1,079	1,815	2,028	1,245	1,073	1,899	1,319	1,535	1,612	1,708	17,494	1,458
		胆石・胆のう疾患食	517	578	519	460	433	568	501	403	287	264	600	399	5,529	461
		潰瘍食	96	129	138	308	166	148	166	208	164	249	108	275	2,155	180
		貧血食	0	1	55	191	95	10	0	0	0	0	0	0	352	29
		検査食	27	40	30	37	21	35	22	21	41	22	19	41	356	30
		経管栄養食	1,014	1,394	1,589	1,429	741	734	547	1,146	882	781	1,129	1,401	12,787	1,066
		脂質異常症食	158	111	95	140	10	2	27	12	11	69	4	11	650	54
非加算食		2,864	3,395	3,513	4,399	3,494	2,756	2,338	3,690	2,704	2,962	3,487	3,869	39,471	3,289	
非加算食率		8.9%	10.0%	10.6%	13.1%	10.5%	9.0%	7.7%	11.5%	8.3%	8.8%	11.5%	11.0%	10.1%	10.1%	
一般食	常食	5,695	5,797	5,304	5,133	4,913	4,790	5,109	5,372	4,552	3,993	4,052	4,552	59,262	4,939	
	産後食	789	730	686	812	750	720	612	559	534	415	284	620	7,511	626	
	小・中学生食	153	123	142	208	274	135	149	116	179	184	46	240	1,949	162	
	幼児食	251	166	203	335	271	140	166	215	193	184	139	221	2,484	207	
	軟食	2,232	3,208	2,822	2,579	3,535	2,991	3,199	2,379	3,114	2,939	2,285	1,782	33,065	2,755	
	嚥下調整食	6,695	6,914	6,790	6,231	7,244	6,649	7,261	7,505	8,189	10,022	7,796	8,814	90,110	7,509	
	刻み食	233	215	277	284	279	224	242	138	231	234	232	166	2,755	230	
	流動食	75	41	116	107	102	102	53	40	25	125	124	50	960	80	
	離乳食・調乳	707	743	800	814	832	513	469	332	733	319	477	635	7,374	615	
	母乳添加粉末	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般食	16,830	17,937	17,140	16,503	18,200	16,264	17,260	16,656	17,750	18,415	15,435	17,080	205,470	17,123	
	一般食率	52.0%	52.8%	51.8%	49.1%	54.8%	52.9%	56.5%	52.1%	54.2%	54.8%	50.9%	48.6%	52.5%	52.5%	
	食数総計	32,352	33,957	33,060	33,587	33,237	30,732	30,540	31,966	32,764	33,589	30,341	35,160	391,285	32,607	
欠食	4,562	4,773	4,488	4,968	4,034	4,042	4,478	4,542	5,113	5,032	4,417	4,671	55,120	4,593		

7.6.2 食種別・月別延患者数

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
特別治療食	加算食	糖尿病食	1,484	1,352	1,398	1,737	1,560	1,427	1,340	1,223	1,262	1,221	1,259	1,641	16,904	1,409
		肥満症食	25	7	15	15	1	4	0	5	0	0	5	8	85	7
		腎臓病食	408	384	420	482	512	581	588	472	534	442	428	535	5,786	482
		妊娠高血圧症候群食	5	4	12	10	10	0	11	5	7	4	6	17	90	8
		心臓病食	1,259	1,139	984	902	889	846	966	1,146	1,325	1,479	1,133	1,559	13,627	1,136
		肝臓病食	49	94	102	106	113	97	62	114	74	104	95	53	1,063	89
		膵臓病食	91	135	113	74	76	79	49	62	84	74	90	126	1,053	88
		胆石・胆のう疾患食	30	9	77	83	0	21	36	37	30	38	27	47	435	36
		潰瘍食	280	472	431	365	251	299	229	293	225	301	290	282	3,718	310
		貧血食	32	12	0	8	0	3	7	7	7	19	12	9	117	10
		検査食	4	2	4	7	2	5	5	6	4	3	6	6	53	4
		痛風病食	15	1	4	4	15	24	9	1	3	20	0	11	107	9
		特殊ミルク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		調乳+母乳添加粉末	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		母乳添加粉末	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	5	24	2
	脂質異常症食	199	217	156	168	146	230	58	138	189	86	62	70	1,718	143	
	低残渣食	338	381	420	269	272	289	287	364	360	281	374	368	4,001	333	
	加算食患者数	4,219	4,208	4,136	4,228	3,848	3,904	3,647	3,873	4,103	4,071	3,806	4,737	48,781	4,065	
	特別食加算率	39.1%	37.2%	37.5%	37.8%	34.7%	38.1%	35.8%	36.4%	37.6%	36.4%	37.6%	40.4%	37.4%	37.4%	
	非加算食	肥満症食	4	0	3	6	0	5	1	0	0	14	5	11	49	4
高血圧食		346	381	360	605	676	415	358	633	440	512	537	569	5,831	486	
胆石・胆のう疾患食		172	193	173	153	144	189	167	134	96	88	200	133	1,843	154	
潰瘍食		32	43	46	103	55	49	55	69	55	83	36	92	718	60	
貧血食		0	0	18	64	32	3	0	0	0	0	0	0	117	10	
検査食		9	13	10	12	7	12	7	7	14	7	6	14	119	10	
経管栄養食		338	465	530	476	247	245	182	382	294	260	376	467	4,262	355	
脂質異常症食		53	37	32	47	3	1	9	4	4	23	1	4	217	18	
非加算食患者数		955	1,132	1,171	1,466	1,165	919	779	1,230	901	987	1,162	1,290	13,157	1,096	
特別食非加算率		8.9%	10.0%	10.6%	13.1%	10.5%	9.0%	7.7%	11.5%	8.3%	8.8%	11.5%	11.0%	10.1%	10.1%	
一般食	常食	1,898	1,932	1,768	1,711	1,638	1,597	1,703	1,791	1,517	1,331	1,351	1,517	19,754	1,646	
	産後食	263	243	229	271	250	240	204	186	178	138	95	207	2,504	209	
	小・中学生食	51	41	47	69	91	45	50	39	60	61	15	80	650	54	
	幼児食	84	55	68	112	90	47	55	72	64	61	46	74	828	69	
	軟食	744	1,069	941	860	1,178	997	1,066	793	1,038	980	762	594	11,022	918	
	嚥下調整食	2,232	2,305	2,263	2,077	2,415	2,216	2,420	2,502	2,730	3,341	2,599	2,938	30,037	2,503	
	刻み食	78	72	92	95	93	75	81	46	77	78	77	55	918	77	
	流動食	25	14	39	36	34	34	18	13	8	42	41	17	320	27	
	離乳食・調乳	236	248	267	271	277	171	156	111	244	106	159	212	2,458	205	
	母乳添加粉末	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般食患者数	5,610	5,979	5,713	5,501	6,067	5,421	5,753	5,552	5,917	6,138	5,145	5,693	68,490	5,708	
	一般食率	52.0%	52.8%	51.8%	49.1%	54.8%	52.9%	56.5%	52.1%	54.2%	54.8%	50.9%	48.6%	52.5%	52.5%	
患者数総計	10,784	11,319	11,020	11,196	11,079	10,244	10,180	10,655	10,921	11,196	10,114	11,720	130,428	10,869		
欠食患者数	1,521	1,591	1,496	1,656	1,345	1,347	1,493	1,514	1,704	1,677	1,472	1,557	18,373	1,531		

7.6.3 食種別栄養指導 外来・入院別延患者数

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
胃腸病	入院	32	27	36	30	26	38	41	43	32	36	33	35	409	34
	外来	9	5	10	9	8	10	15	10	14	7	6	7	110	9
肝臓病	入院	1	1	1	0	1	2	2	2	2	1	2	0	15	1
	外来	11	7	4	12	4	5	16	8	5	16	7	10	105	9
糖尿病	入院	56	43	53	44	50	35	34	36	39	30	42	39	501	42
	外来	103	108	88	109	96	101	108	103	110	106	96	90	1,218	102
腎臓病	入院	7	7	10	9	5	11	12	13	10	14	14	22	134	11
	外来	10	9	15	19	15	14	21	15	13	12	16	9	168	14
高血圧症	入院	8	5	5	12	7	1	6	8	8	5	5	7	77	6
	外来	0	2	1	2	3	3	2	3	2	2	3	2	25	2
心臓病	入院	35	35	30	36	31	32	32	26	39	43	28	36	403	34
	外来	0	3	0	2	1	4	2	0	3	2	5	3	25	2
脂質異常症	入院	1	1	2	4	0	2	6	2	6	5	2	2	33	3
	外来	12	8	11	15	9	11	17	16	17	15	11	16	158	13
貧血	入院	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	0
	外来	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0
肥満	入院	3	0	1	0	1	0	0	0	1	2	1	0	9	1
	外来	13	9	11	9	13	13	15	8	10	13	8	14	136	11
妊産婦	入院	1	0	0	1	1	0	0	2	1	2	0	1	9	1
	外来	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0
乳幼児	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がん	入院	5	9	11	9	11	8	10	3	12	5	4	16	103	9
	外来	12	12	12	12	11	17	13	11	12	8	7	6	133	11
低栄養	入院	3	0	2	3	3	5	3	1	2	2	1	2	27	2
	外来	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0
嚥下調整食	入院	10	9	6	5	13	5	10	5	8	11	9	6	97	8
	外来	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	4	0
その他	入院	4	4	7	6	5	11	5	7	5	4	4	9	71	6
	外来	5	1	7	10	10	1	8	10	5	5	3	4	69	6
小計	入院	166	142	165	159	154	150	161	149	165	160	145	176	1,892	158
	外来	175	164	160	199	172	180	219	186	193	187	162	161	2,158	180
合計		341	306	325	358	326	330	380	335	358	347	307	337	4,050	338

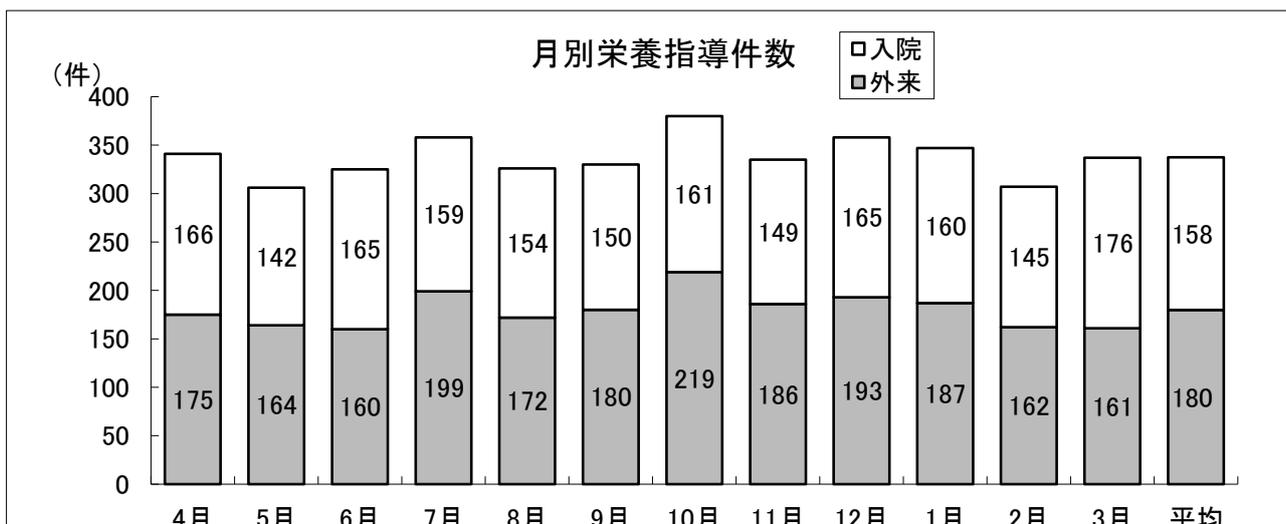
7.6.4 診療科別 栄養指導延患者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
内分泌代謝科	127	115	118	146	138	115	116	123	126	116	110	114	1,464	122
教育入院 (個別) (再掲)	12	5	7	4	8	4	4	8	6	3	7	4	72	6
教育入院 (集団) (再掲)	3回 9件	1回 3件	1回 3件	3回 6件	2回 4件	0	2回 4件	2回 4件	2回 4件	0	2回 4件	0	18回 41件	2回 3件
腎臓科	4	5	15	10	12	14	20	16	12	12	12	20	152	13
循環器科	34	38	29	39	34	38	37	31	42	50	43	37	452	38
脳神経内科	6	6	8	9	6	6	5	8	8	14	2	3	81	7
消化器外科	35	33	43	35	32	45	53	46	37	27	31	29	446	37
総合診療科	10	7	8	4	5	11	9	11	11	12	9	8	105	9
消化器科	60	46	53	55	47	52	75	52	58	62	48	59	667	56
心臓血管外科	6	7	8	4	5	3	6	3	3	2	5	6	58	5
小児科	3	0	3	5	1	2	4	4	4	2	1	2	31	3
産婦人科	15	14	10	17	12	16	17	17	22	15	12	15	182	15
精神神経科	1	0	0	0	0	2	1	0	2	1	0	0	7	1
脳神経外科	1	1	0	5	3	0	2	2	2	3	2	2	23	2
血液腫瘍科	0	2	1	0	2	1	4	0	2	1	2	5	20	2
その他	39	32	29	29	29	25	31	22	29	30	30	37	362	30
合 計	341	306	325	358	326	330	380	335	358	347	307	337	4,050	338

測定のみ
1件測定のみ 測定のみ
2件 2件測定のみ
2件

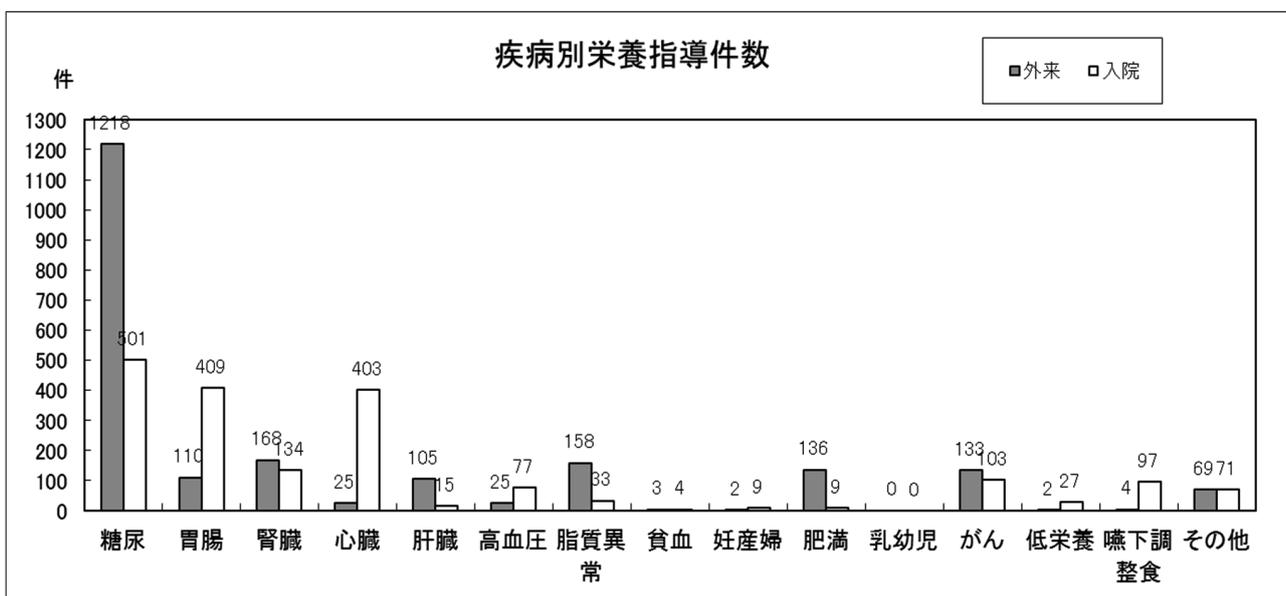
7.6.5 栄養指導状況



〈月別指導件数（令和4年度）〉

(件)

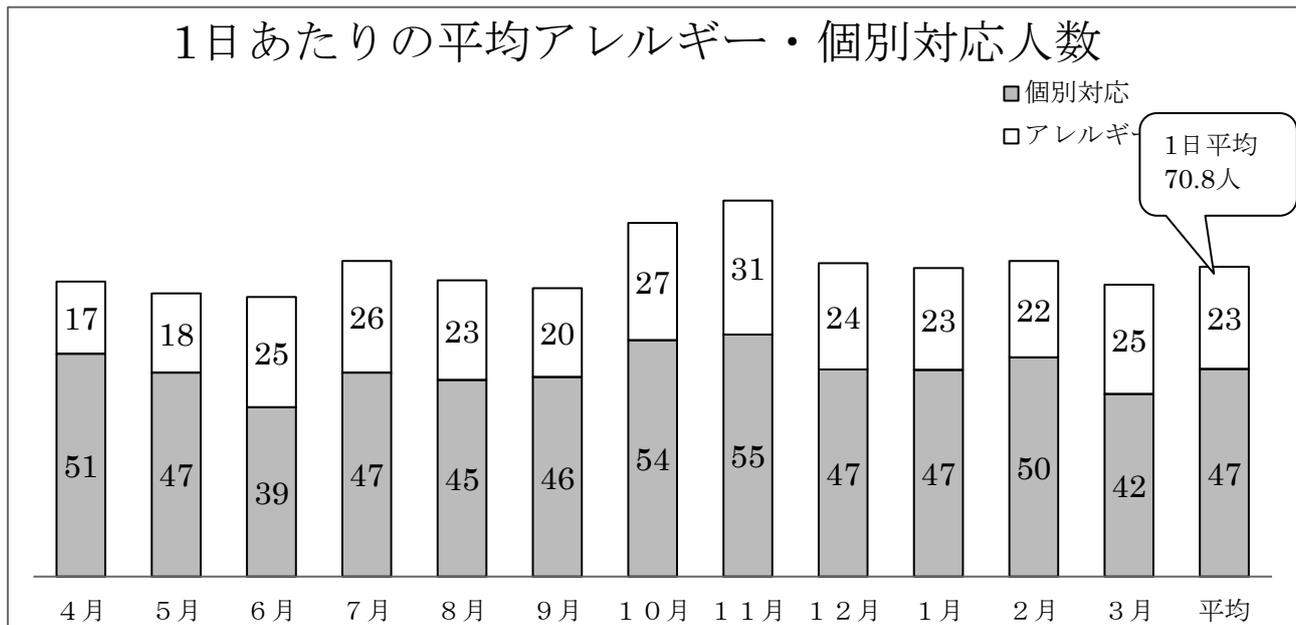
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
外来	175	164	160	199	172	180	219	186	193	187	162	161	2,158	180
入院	166	142	165	159	154	150	161	149	165	160	145	176	1,892	158
合計	341	306	325	358	326	330	380	335	358	347	307	337	4,050	338
教育入院 (集団) (再掲)	3回 9件	1回 3件	1回 3件	3回 6件	2回 4件	0回	2回 4件	2回 4件	2回 4件	0回	2回 4件	0回 4件	18回 45件	2回 3件



(件)

栄養指導内訳	糖尿	胃腸	腎臓	心臓	肝臓	高血圧	脂質異常	貧血	妊産婦	肥満	乳幼児	がん	低栄養	嚥下調整食	その他	合計
外来	1,218	110	168	25	105	25	158	3	2	136	0	133	2	4	69	2,158
入院	501	409	134	403	15	77	33	4	9	9	0	103	27	97	71	1,892
合計	1,719	519	302	428	120	102	191	7	11	145	0	236	29	101	140	4,050

7.6.6 個別・アレルギー対応状況



(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
個別対応	50.9	46.6	38.7	46.6	44.9	45.6	54.0	55.3	47.3	47.2	50.1	41.7	47.4
アレルギー	16.5	18.1	25.2	25.5	22.8	20.3	26.8	30.6	24.3	23.3	22.0	25.0	23.4

・食欲不振の方（化学療法等治療による食欲低下等）

- 主食の工夫（温かいめん、冷たいめん、パン、トースト等）
- 肉、魚など食べにくいものをやめ代替品にかえる
- 食べやすい果物、アイス、汁物を付ける
- においの気になる方に配膳車の冷コーナーで提供する
- メラミン食器のにおいが気になる方には、強化磁器に変えて提供する。
- 練り梅、のり佃煮などを添付する
- 分食用にパンをつける

・栄養不良の方

- 栄養補助食品（飲むタイプ、ゼリー類）を添付する
- 栄養強化食品を献立に加える（トウフィールなど）
- 食べられるものに替える

・エンゲ困難な方

- あんかけ用のとろみあんをつける
- お茶ゼリーをつける

・咀嚼力が弱い方、開口しづらい方

- 肉一口大、魚は骨を除き一口大、葉もの、固めの野菜を一口大にカットする
- 果物はスライス、又は一口大にカットする

・麻痺のある方、骨折の方

- 麺類刻み・一口おにぎりで提供する
- 麺類禁止の際は別献立で提供する

・栄養管理上の個別対応

- 特殊な経腸栄養食品を提供する
- 下痢、便秘への対処として、オリゴ糖、サンファイバー等を添付

7.7 臨床工学科（ME センター）統計 2024年度 院内・院外保守状況（定期点検・修理件数）

7.7.1 定期点検件数：1,645件

2024年度 医療機器保守状況（定期点検）

医療機器分類名	登録台数 (台)	院内件数 (件)	院外件数 (件)
診療用処置用具・器具 (例：輸液ポンプ類・診療台・吸入器・清拭車など)	899	773	17
検査用内視鏡 (例：電子スコープ・内視鏡ユニット・軟性ファイバーなど)	178	0	148
生理検査診断関連装置 (例：超音波診断装置・心電計・脳波計など)	241	16	45
検体・病理検査関連機器 (例：生化学分析装置・固定包埋装置・顕微鏡など)	129	4	31
生体现象計測用機器 (例：生体情報モニター・血圧計・パルスオキシメーターなど)	1,228	53	32
外科的処置・手術機器関連装置 (例：電気メス・超音波手術装置・手術支援ロボットなど)	138	16	16
生体機能代行・制御装置 (例：透析関連装置・人工呼吸器・除細動器など)	256	131	131
放射線管理部門関連装置 (例：原発関連管理装置・放射線計測機器など)	135	0	62
放射線診断部門関連装置 (例：X線CT装置・リニアック装置・MRI装置など)	188	3	138
診療施設用機械装置 (例：手術台・无影灯・特殊ベッドなど)	541	1	20
トレーナー・シミュレーター (例：蘇生トレーナー・電気メステスタなど)	113	0	2
結石破碎装置 (例：結石破碎装置・レーザー手術装置など)	15	0	6
合 計	4,061	997	648

7.7.2 修理実施件数 947件

2024年度 医療機器保守状況（修理）

医療機器分類名	登録台数 (台)	院内件数 (件)	院外件数 (件)
診療用処置用具・器具 (例：輸液ポンプ類・診療台・吸入器・清拭車など)	899	125	27
検査用内視鏡 (例：電子スコープ・内視鏡ユニット・軟性ファイバーなど)	178	5	38
生理検査診断関連装置 (例：超音波診断装置・心電計・脳波計など)	241	11	74
検体・病理検査関連機器 (例：生化学分析装置・固定包埋装置・顕微鏡など)	129	0	23
生体现象計測用機器 (例：生体情報モニター・血圧計・パルスオキシメーターなど)	1,228	204	155
外科的処置・手術用機器関連装置 (例：電気メス・超音波手術装置・手術支援ロボットなど)	138	11	39
生体機能代行・制御装置 (例：透析関連装置・人工呼吸器・除細動器など)	256	33	49
放射線管理部門関連装置 (例：原発関連管理装置・放射線計測機器など)	135	3	1
放射線診断部門関連装置 (例：X線 CT 装置・リニアック装置・MRI 装置など)	188	4	93
診療施設用機械装置 (例：手術台・無影灯・特殊ベッドなど)	225	8	32
リハビリテーション機器関連 (例：電気刺激装置・エルゴメーター・CPM など)	45	2	0
歯科・歯科技工用機器 (例：診療用ユニット・歯科用ドリル・技工用機器など)	44	0	10
合 計	3,706	406	541

7.8 リハビリテーション技術科統計

7.8.1 療法区分別 初回処方件数

(件)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理学療法	237	239	222	248	260	218	245	241	272	278	230	274
作業療法	79	88	96	95	87	91	108	105	116	103	79	117
言語聴覚療法	79	90	95	87	78	81	113	84	100	98	77	89

年度別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
理学療法	1,656	2,114	2,338	2,493	2,964
作業療法	651	843	892	945	1,164
言語聴覚療法	413	626	766	865	1,071

7.8.2 疾患分類別 療法実施単位数

(単位)

年度別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
心大血管疾患リハビリテーション	2,262	4,507	4,433	4,923	4,244
脳血管疾患等リハビリテーション	39,044	42,262	40,751	42,327	45,158
廃用症候群リハビリテーション	6,936	10,587	15,044	21,730	23,870
運動器リハビリテーション	27,474	30,832	27,055	26,518	30,235
呼吸器リハビリテーション	3,034	5,634	8,216	10,789	15,413
がん患者リハビリテーション	3,346	5,310	4,206	5,877	6,621
摂食機能療法					67
合計	82,096	99,132	99,705	112,164	125,608

年度別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
早期加算・14日以内	30,783	37,531	40,136	46,558	53,698
早期加算・15日以上30日以内	26,846	32,294	29,707	32,063	36,253
病棟加算	341	295	455	256	329
急性期加算					7,701

(単位)

2024年度 療法区分別	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師
心大血管疾患リハビリテーション	4,198	46		254
脳血管疾患等リハビリテーション	15,729	16,239	13,190	
廃用症候群リハビリテーション	12,042	8,039	3,789	
運動器リハビリテーション	24,063	6,172		
呼吸器リハビリテーション	8,240	666	6,507	
がん患者リハビリテーション	5,364	663	594	
摂食機能療法			67	
合計	69,636	31,825	24,147	254

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師
早期加算・14日以内	29,812	12,741	11,145	225
早期加算・15日以上30日以内	19,937	9,274	7,042	22
病棟加算	140	133	56	
急性期加算	3,643	1,108	2,950	

7.8.3 疾患別療法実施件数

理学療法

(件)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
心大血管	261	244	158	173	172	174	226	153	223	303	294	297
脳血管等	710	998	916	874	746	633	679	852	796	712	547	684
廃用症候群	620	659	622	855	710	526	680	596	538	677	652	865
運動器	1,156	1,102	889	904	879	992	1,021	1,363	1,390	1,394	1,308	1,421
呼吸器	419	403	437	348	672	481	589	379	557	585	382	424
がん患者	337	320	360	323	339	371	347	256	325	303	283	346
基本診療内	131	173	151	166	171	135	129	183	214	196	176	183
合計	3,634	3,899	3,533	3,643	3,689	3,312	3,671	3,782	4,043	4,170	3,642	4,220

年度別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
心大血管	1,548	3,007	2,995	2,885	2,678
脳血管等	8,624	9,643	9,275	8,874	9,147
廃用症候群	2,995	4,094	5,663	7,028	8,000
運動器	13,541	14,466	13,880	12,237	13,819
呼吸器	1,151	2,075	3,128	3,947	5,676
がん患者	1,706	2,359	1,978	2,768	3,910
基本診療内	1,003	1,446	1,386	1,449	2,008
合計	30,568	37,090	38,305	39,188	45,238

作業療法

(件)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
心大血管	3	0	8	0	0	0	0	6	0	16	3	0
脳血管等	559	847	845	753	669	594	653	808	809	689	558	649
廃用症候群	442	430	389	488	352	321	462	340	325	455	339	449
運動器	183	239	151	211	225	242	221	287	324	261	327	353
呼吸器	16	0	31	8	29	51	77	30	28	30	43	42
がん患者	27	30	38	30	13	47	72	37	38	58	30	50
基本診療内	47	64	59	73	52	58	77	64	93	69	75	66
合計	1,277	1,610	1,521	1,563	1,340	1,313	1,562	1,572	1,617	1,578	1,375	1,609

年度別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
心大血管			19	29	36
脳血管等	7,124	8,403	7,937	7,850	8,433
廃用症候群	846	1,634	2,253	3,888	4,792
運動器	2,157	2,385	1,663	2,160	3,024
呼吸器	283	204	83	242	385
がん患者	350	927	780	570	470
基本診療内	504	860	745	741	797
合計	11,264	14,413	13,480	15,480	17,937

言語聴覚療法

(件)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
脳血管等	472	713	734	767	505	501	550	701	644	543	478	539
廃用症候群	263	200	227	225	203	158	266	188	127	241	171	207
呼吸器	283	283	315	227	345	272	453	300	405	422	282	300
がん患者	20	20	32	49	44	46	26	19	23	36	61	30
摂食機能	0	0	1	11	9	5	7	16	10	1	3	4
基本診療内	35	74	52	51	49	28	53	71	49	63	44	58
合 計	1,073	1,290	1,361	1,330	1,155	1,010	1,355	1,295	1,258	1,306	1,039	1,138

年度別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管等	5,796	6,698	6,583	6,416	7,147
廃用症候群	751	1,114	1,882	2,513	2,476
呼吸器	566	1,474	2,302	2,746	3,887
がん患者	137	337	265	435	406
摂食機能					67
基本診療内	123	334	420	500	627
合 計	7,373	9,957	11,452	12,610	14,610

7. 9 内視鏡診療部統計

検査・治療項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
上部消化管	胃十二指腸内視鏡	340	276	287	370	326	303	384	314	249	250	248	292	3,639	
	内視鏡下生検	70	56	64	74	69	55	76	59	59	44	55	76	757	
	迅速ウレアーゼ試験	2	5	0	1	3	4	1	1	1	2	4	2	6	31
	色素散布（インジゴ）	51	46	42	56	60	38	54	46	35	40	50	48	566	
	色素散布（ルゴール）	13	6	6	7	6	6	4	5	4	8	5	2	72	
	胃・十二指腸粘膜切除術（G/D・EMR）	1	0	1	4	1	1	0	0	0	1	0	1	0	10
	胃・十二指腸粘膜下層剥離術（G/D・ESD）	5	6	7	6	6	8	8	6	6	3	8	6	8	77
	食道粘膜切除術（E・EMR）	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	食道粘膜下層剥離術（E・ESD）	0	2	0	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	14
	内視鏡的止血術	10	15	9	4	3	5	7	14	13	16	9	13	118	
	超音波内視鏡（EUS）	19	20	11	11	16	9	19	16	11	16	11	13	172	
	超音波内視鏡下吸引生検（EUS-FNA）	5	2	5	5	5	1	1	2	3	2	3	5	39	
	胃内異物除去術	0	1	0	0	1	1	1	2	2	1	0	2	11	
	食道異物除去術	3	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	8	
	食道静脈瘤硬化療法（EIS）	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	
	食道静脈瘤結紮術（EVL）	0	2	2	0	0	1	1	0	0	3	0	1	10	
	食道・胃・十二指腸狭窄拡張術	6	1	3	3	6	1	2	2	1	0	0	1	26	
	胃瘻造設術	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	2	2	10	
	胃瘻交換	1	0	1	1	1	2	3	1	1	0	1	0	12	
	食道ステント留置術	0	0	1	1	0	2	2	0	0	1	0	0	7	
胃・十二指腸ステント留置術	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	5		
下部消化管	実施件数	181	153	165	161	130	157	174	155	144	148	163	158	1,889	
	直腸まで	7	8	7	7	1	7	16	7	9	7	6	10	92	
	S状結腸まで	10	6	8	3	7	3	5	3	7	10	3	8	73	
	下行結腸まで	3	1	4	0	3	6	4	0	2	1	0	2	26	
	上行結腸まで	161	138	144	150	119	141	149	145	126	130	154	138	1,695	
	小腸まで	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	内視鏡下生検	35	46	46	58	45	44	45	52	31	45	41	27	515	
	色素散布（インジゴ）	74	58	83	68	61	70	82	79	62	62	70	62	831	
	色素散布（ピオクタニン）	3	1	0	0	2	1	2	3	1	0	0	0	13	
	結腸ポリープ切除術（2cm未満）	75	67	74	65	55	70	66	71	61	68	75	67	814	
	結腸ポリープ切除術（2cm以上）	0	0	2	1	2	1	3	2	4	2	1	0	18	
	大腸粘膜下層剥離術（C・ESD）	4	2	4	1	2	4	6	1	2	4	3	1	34	
	内視鏡的止血術	4	13	6	8	2	2	3	6	2	10	4	3	63	
	超音波内視鏡（EUS）	3	4	2	0	4	2	5	4	3	4	3	2	36	
大腸ステント留置術	3	0	3	0	0	2	5	5	3	3	2	1	27		
粘膜点墨法	8	4	8	4	3	4	9	9	8	6	5	7	75		
膵・胆管系	胆道鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
	逆行性膵胆管造影（ERCP）	12	18	20	18	17	23	25	18	21	23	26	19	240	
	乳頭切開術（EST）	5	9	6	6	6	12	8	3	13	7	9	8	92	
	乳頭拡張術（EPBD）	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	6	

検査・治療項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
膵・胆管系	胆管ドレナージ (ERBD・MS)	1	9	10	12	8	13	9	12	9	13	7	9	112
	経鼻胆管ドレナージ(ENBD)	4	3	4	8	5	3	5	3	2	5	6	4	52
	膵管ドレナージ	1	3	1	1	2	0	2	0	1	3	2	1	17
	総胆管結石除去	7	9	10	3	10	13	15	8	10	5	14	5	109
	総胆管碎石術	1	0	2	0	1	1	3	3	0	0	2	1	14
	EST+碎石	2	0	1	0	0	0	1	3	2	1	1	1	12
	管腔内超音波 (IDUS)	0	4	3	0	2	3	0	1	0	0	0	0	13
呼吸器系	気管支鏡検査	15	9	16	14	14	4	11	8	13	8	11	9	132
	内視鏡下生検	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5
	経気管支肺生検	10	5	8	8	8	2	8	3	4	4	4	5	69
	気管支ブラッシング	10	7	9	9	9	3	8	4	5	4	4	5	77
	気管支洗浄	8	7	9	9	9	3	9	5	5	4	3	5	76
	気管支肺胞洗浄 (BAL)	3	1	2	1	2	0	1	0	5	2	3	3	23
	超音波気管支鏡下吸引生検 (EBUS-TBNA)	1	1	0	0	1	0	0	3	0	1	2	0	9
	気管支異物除去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気管支狭窄拡張術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気管ステント留置術	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	4
延べ患者数	548	456	488	563	487	487	594	495	428	430	448	478	5,902	

第8章 医事統計

8.1 病棟種別平均在院日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
一般病棟	11.4	12.2	12.2	11.2	11.2	11.4	11.4	12.6	11.7	13.3	13.2	13.2	12.1
精神病棟	48.7	57.9	23.4	41.6	34.4	33.9	27.5	30.8	45.0	21.4	30.0	39.3	33.8
病院全体	11.9	12.7	12.5	11.7	11.6	11.8	11.8	12.9	12.0	13.5	13.5	13.5	12.4

8.2 診療科別平均在院日数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
総合診療科	18.12	15.83	17.15	15.05	16.08	16.88	18.62	16.75	16.54	17.94	17.15	15.49	16.74
脳神経内科	14.25	14.57	16.54	16.08	14.86	14.57	12.69	15.49	14.60	13.54	17.55	16.40	14.97
精神神経科	50.92	60.96	27.06	37.10	34.65	30.70	28.18	30.50	40.44	20.92	30.67	37.14	34.03
呼吸器科	9.91	10.99	11.98	10.70	10.18	12.43	10.86	10.78	12.18	15.13	10.11	11.10	11.41
循環器科	11.42	10.57	8.29	8.51	7.84	7.29	8.16	11.34	9.67	11.41	10.81	11.54	9.80
消化器科	9.54	11.83	10.64	11.43	11.11	10.23	9.07	9.14	8.71	11.23	11.50	10.08	10.36
血液腫瘍科	15.72	13.90	13.92	11.68	17.20	17.97	20.20	20.67	21.77	18.18	19.02	19.97	17.29
リウマチ・アレルギー科	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
内分泌代謝科	8.65	8.10	5.27	5.72	6.90	5.59	7.03	7.19	5.78	7.53	7.33	5.47	6.69
消化器外科	9.83	11.52	11.76	10.94	10.89	11.43	8.40	9.73	8.95	9.71	10.52	11.18	10.39
乳腺科	7.69	11.00	13.36	10.08	11.04	6.78	5.87	4.62	5.48	9.26	5.63	7.27	8.01
脳神経外科	18.83	19.88	18.49	16.39	17.03	14.26	18.15	15.40	14.35	21.77	24.74	15.27	17.57
整形外科	19.68	21.72	18.68	20.25	20.19	22.38	20.22	26.49	23.01	27.57	25.01	25.83	22.58
心臓血管外科	17.94	17.37	11.29	12.49	21.47	21.25	14.92	15.80	18.19	19.76	16.85	18.28	16.67
呼吸器外科	6.53	7.41	6.10	7.95	5.92	3.38	7.05	9.78	8.65	7.30	6.19	6.21	7.00
腎臓科（血液浄化含む）	5.79	3.73	5.57	6.78	5.11	7.89	9.54	11.93	10.11	3.27	12.24	10.29	7.70
泌尿器科	9.63	8.94	9.56	9.01	9.15	8.80	8.29	9.14	8.46	10.31	8.20	10.30	9.12
形成外科	9.04	8.83	10.13	8.43	6.15	11.61	5.15	7.85	8.97	8.15	9.68	7.64	8.42
耳鼻咽喉科	5.09	6.97	9.32	9.51	8.64	7.05	7.86	9.56	8.99	8.38	9.59	9.72	8.35
眼科	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.20	1.00	1.00	1.20	1.00	1.00	1.00	1.03
皮膚科	6.79	8.58	10.30	8.53	6.11	8.55	7.10	6.06	12.10	7.62	7.43	10.20	8.18
歯科	1.68	1.50	2.79	2.06	2.77	1.82	1.55	2.00	1.37	1.57	1.32	2.35	1.95
救命救急科	4.93	4.56	4.75	3.82	3.28	3.00	3.57	3.73	3.07	2.68	3.40	2.82	3.57
産婦人科	6.66	6.33	7.51	7.26	6.51	6.63	6.40	7.61	7.01	5.37	7.04	7.10	6.79
小児科	4.22	4.40	4.22	3.80	4.24	3.71	4.04	5.09	5.81	4.43	4.26	4.96	4.41
緩和ケア科	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

8.3 紹介率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
初診患者数	1,040	1,050	1,133	1,228	1,264	1,032	1,146	1,072	997	939	879	1,053	12,833
紹介患者数	683	677	700	787	772	698	746	693	652	631	577	693	8,309
救急患者数	201	194	198	219	246	229	210	214	303	236	189	207	2,646
紹介割合	85.0%	83.0%	79.3%	81.9%	80.5%	89.8%	83.4%	84.6%	95.8%	92.3%	87.1%	85.5%	85.7%

診療科別紹介割合

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
総合診療科	85.0%	83.0%	79.3%	81.9%	80.5%	89.8%	83.4%	84.6%	95.8%	92.3%	87.1%	85.5%	85.4%
リハビリテーション科	92.0%	81.0%	76.5%	74.7%	63.4%	85.0%	92.5%	85.2%	106.8%	86.2%	86.2%	81.4%	83.0%
放射線科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
脳神経内科	104.0%	109.1%	90.7%	98.0%	100.0%	100.0%	98.2%	98.0%	93.5%	102.5%	103.1%	100.0%	99.6%
精神神経科	144.1%	152.4%	145.8%	132.1%	136.4%	146.4%	116.7%	156.5%	156.5%	170.8%	119.0%	166.7%	144.6%
呼吸器科	63.6%	57.1%	57.1%	78.6%	72.7%	63.6%	40.0%	36.4%	36.4%	54.5%	60.0%	45.5%	56.1%
循環器科	133.3%	137.5%	105.6%	96.6%	102.9%	104.8%	117.9%	117.6%	115.0%	128.6%	112.5%	135.0%	114.9%
消化器科	128.3%	115.0%	108.2%	101.8%	114.9%	115.6%	115.9%	119.6%	133.3%	160.0%	128.2%	150.0%	121.7%
血液腫瘍科	104.0%	102.7%	103.8%	104.3%	93.6%	99.0%	98.4%	94.1%	108.5%	106.1%	103.8%	102.5%	101.5%
リウマチ・アレルギー科	66.7%	83.3%	100.0%	77.8%	150.0%	137.5%	120.0%	100.0%	200.0%	150.0%	133.3%	142.9%	114.3%
内分泌代謝科	0.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	92.6%
外科	86.7%	75.0%	73.8%	80.0%	82.1%	90.0%	77.8%	78.9%	82.8%	105.6%	65.2%	65.7%	79.7%
乳腺科	111.1%	107.7%	96.0%	112.5%	104.3%	126.3%	89.5%	111.8%	126.7%	100.0%	92.9%	80.0%	105.1%
脳神経外科	50.0%	36.4%	41.2%	42.9%	50.0%	57.1%	64.7%	52.4%	35.7%	125.0%	22.2%	55.0%	49.7%
整形外科	111.1%	104.5%	115.8%	123.5%	100.0%	90.9%	105.9%	82.8%	208.3%	133.3%	91.7%	129.4%	112.7%
心臓血管外科	106.1%	111.1%	138.0%	100.0%	134.5%	117.6%	111.1%	115.4%	131.3%	128.3%	126.9%	110.2%	119.2%
呼吸器外科	100.0%	75.0%	112.5%	128.6%	128.6%	112.5%	100.0%	85.7%	160.0%	133.3%	400.0%	144.4%	121.1%
腎臓科（血液浄化含む）	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.1%
泌尿器科	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.1%
形成外科	103.8%	81.5%	82.8%	108.7%	95.7%	95.5%	95.8%	80.8%	111.5%	100.0%	121.1%	94.7%	96.8%
耳鼻咽喉科	76.2%	70.0%	52.4%	80.0%	96.2%	100.0%	76.9%	100.0%	100.0%	81.5%	81.3%	69.6%	80.9%
眼科	100.0%	97.5%	94.1%	100.0%	104.2%	93.0%	100.0%	97.1%	96.8%	103.2%	100.0%	103.7%	99.1%
皮膚科	50.0%	50.0%	71.4%	80.0%	71.4%	100.0%	88.9%	85.7%	71.4%	83.3%	100.0%	70.0%	75.9%
歯科	83.3%	79.2%	72.0%	96.0%	62.2%	69.6%	68.2%	69.2%	85.2%	85.7%	73.3%	84.6%	76.6%
救命救急科	39.8%	42.3%	42.9%	40.4%	39.7%	44.2%	42.0%	37.5%	41.2%	36.2%	36.8%	40.2%	40.3%
産婦人科	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	11.1%	66.7%	0.0%	60.0%	100.0%	85.7%	43.4%
小児科	74.7%	73.0%	69.1%	73.2%	60.5%	64.6%	76.9%	78.7%	82.1%	71.0%	60.6%	71.6%	71.6%
臨床腫瘍科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
肝臓内科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
緩和ケア科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

紹介割合（％）＝文書により紹介された初診患者数＋救急搬送された初診患者数／初診患者数

8. 4 地域医療支援病院紹介率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
紹介患者数	683	677	700	787	772	698	746	693	652	631	577	693	8,309
初診患者数	1,040	1,050	1,133	1,228	1,264	1,032	1,146	1,072	997	939	879	1,053	12,833
紹介率	65.7%	64.5%	61.8%	64.1%	61.1%	67.6%	65.1%	64.6%	65.4%	67.2%	65.6%	65.8%	64.7%

診療科別地域医療支援病院紹介率

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
総合診療科	72.0%	65.5%	68.2%	58.7%	47.3%	75.0%	80.6%	68.9%	69.5%	69.2%	67.2%	66.1%	66.7%
リハビリテーション科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
放射線科	104.0%	109.1%	90.7%	98.0%	100.0%	100.0%	98.2%	98.0%	93.5%	102.5%	103.1%	100.0%	99.6%
脳神経内科	79.4%	81.0%	83.3%	78.6%	81.8%	82.1%	66.7%	87.0%	73.9%	91.7%	76.2%	86.7%	80.5%
精神神経科	45.5%	42.9%	50.0%	64.3%	45.5%	45.5%	40.0%	27.3%	36.4%	54.5%	60.0%	27.3%	45.5%
呼吸器科	100.0%	93.8%	94.4%	86.2%	91.4%	90.5%	94.9%	100.0%	90.0%	95.2%	81.3%	95.0%	92.7%
循環器科	89.1%	88.3%	93.9%	87.7%	89.4%	95.6%	93.2%	92.9%	91.1%	86.7%	92.3%	94.1%	91.1%
消化器科	91.0%	84.0%	90.0%	90.3%	85.5%	87.8%	87.7%	90.1%	94.7%	92.9%	93.3%	91.7%	90.0%
血液腫瘍科	66.7%	83.3%	66.7%	77.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%	100.0%	87.5%
リウマチ・アレルギー科	0.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	92.6%
内分泌代謝科	85.7%	95.0%	73.7%	90.9%	94.7%	81.0%	100.0%	95.5%	94.1%	100.0%	94.1%	95.0%	91.5%
外科	88.9%	84.6%	92.0%	95.8%	91.3%	94.7%	78.9%	76.5%	80.0%	64.3%	92.9%	66.7%	85.2%
乳腺科	50.0%	36.4%	41.2%	42.9%	50.0%	52.4%	64.7%	52.4%	35.7%	100.0%	22.2%	55.0%	48.6%
脳神経外科	66.7%	59.1%	31.6%	58.8%	71.4%	27.3%	64.7%	48.3%	58.3%	72.2%	58.3%	58.8%	57.3%
整形外科	75.8%	74.6%	86.0%	76.1%	79.3%	86.3%	68.5%	75.4%	81.3%	91.7%	88.5%	84.7%	80.5%
心臓血管外科	100.0%	75.0%	87.5%	85.7%	85.7%	100.0%	75.0%	85.7%	100.0%	100.0%	100.0%	88.9%	88.7%
呼吸器外科	83.3%	75.0%	60.0%	90.0%	100.0%	66.7%	33.3%	88.9%	42.9%	50.0%	100.0%	100.0%	73.8%
腎臓科（血液浄化含む）	85.7%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.1%
泌尿器科	96.2%	66.7%	75.9%	82.6%	78.3%	81.8%	87.5%	80.8%	96.2%	95.2%	94.7%	89.5%	84.9%
形成外科	71.4%	60.0%	42.9%	72.0%	69.2%	64.3%	46.2%	75.0%	69.2%	74.1%	68.8%	65.2%	65.5%
耳鼻咽喉科	96.8%	97.5%	91.2%	100.0%	100.0%	93.0%	97.4%	97.1%	96.8%	100.0%	97.0%	100.0%	97.2%
眼科	50.0%	50.0%	71.4%	80.0%	71.4%	100.0%	88.9%	85.7%	71.4%	83.3%	100.0%	70.0%	75.9%
皮膚科	83.3%	79.2%	64.0%	84.0%	62.2%	69.6%	68.2%	69.2%	77.8%	78.6%	73.3%	84.6%	73.4%
菌科	39.8%	42.3%	41.3%	39.6%	38.1%	44.2%	39.8%	33.3%	39.4%	34.3%	35.8%	39.1%	39.0%
救命救急科	15.9%	14.8%	19.6%	18.3%	13.6%	16.1%	20.3%	13.8%	19.2%	26.2%	28.3%	29.6%	19.2%
産婦人科	72.6%	71.6%	67.6%	73.2%	58.0%	61.5%	71.8%	76.0%	80.8%	71.0%	60.6%	71.6%	70.0%
小児科	47.7%	55.5%	54.1%	55.7%	61.0%	61.8%	45.1%	52.0%	49.4%	58.0%	50.0%	62.4%	54.7%
臨床腫瘍科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
肝臓内科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
緩和ケア科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

8.5 地域医療支援病院逆紹介率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
逆紹介患者数	1,143	1,188	1,140	1,269	1,202	1,168	1,274	1,030	1,200	1,061	1,081	1,259	14,015
初診患者数	1,040	1,050	1,133	1,228	1,264	1,032	1,146	1,072	997	939	879	1,053	12,833
逆紹介率	109.9%	113.1%	100.6%	103.3%	95.1%	113.2%	111.2%	96.1%	120.4%	113.0%	123.0%	119.6%	109.2%

診療科別地域医療支援病院逆紹介率

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
総合診療科	174.0%	158.6%	117.6%	110.7%	95.7%	106.3%	110.4%	121.3%	147.5%	127.7%	124.1%	157.6%	125.8%
リハビリテーション科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
放射線科	156.0%	138.6%	123.3%	150.0%	132.6%	131.8%	138.6%	139.2%	141.3%	145.0%	150.0%	161.3%	141.8%
脳神経内科	155.9%	295.2%	241.7%	235.7%	327.3%	221.4%	266.7%	326.1%	304.3%	291.7%	319.0%	393.3%	271.1%
精神神経科	172.7%	257.1%	178.6%	235.7%	263.6%	181.8%	260.0%	109.1%	154.5%	127.3%	190.0%	209.1%	193.2%
呼吸器科	233.3%	150.0%	127.8%	69.0%	91.4%	123.8%	69.2%	47.1%	155.0%	152.4%	106.3%	180.0%	108.4%
循環器科	245.7%	243.3%	236.7%	254.4%	276.6%	264.4%	309.1%	180.4%	311.1%	423.3%	359.0%	408.8%	281.2%
消化器科	96.0%	129.3%	128.8%	129.0%	85.5%	96.9%	113.1%	102.0%	138.3%	109.1%	111.5%	107.4%	111.1%
血液腫瘍科	733.3%	300.0%	316.7%	211.1%	650.0%	262.5%	420.0%	566.7%	850.0%	700.0%	533.3%	300.0%	389.3%
リウマチ・アレルギー科	900.0%	133.3%	233.3%	75.0%	400.0%	200.0%	200.0%	0.0%	0.0%	200.0%	0.0%	120.0%	237.0%
内分泌代謝科	266.7%	210.0%	310.5%	322.7%	373.7%	323.8%	292.6%	313.6%	323.5%	410.0%	294.1%	340.0%	310.2%
外科	122.2%	246.2%	100.0%	104.2%	108.7%	152.6%	131.6%	105.9%	226.7%	50.0%	142.9%	166.7%	132.9%
乳腺科	108.3%	236.4%	70.6%	81.0%	112.5%	95.2%	152.9%	104.8%	114.3%	300.0%	111.1%	85.0%	114.2%
脳神経外科	133.3%	150.0%	157.9%	211.8%	135.7%	218.2%	105.9%	89.7%	225.0%	166.7%	175.0%	182.4%	153.6%
整形外科	150.0%	187.3%	164.0%	219.6%	134.5%	219.6%	227.8%	166.2%	165.6%	190.0%	209.6%	206.8%	184.9%
心臓血管外科	1300.0%	875.0%	537.5%	728.6%	414.3%	475.0%	700.0%	500.0%	620.0%	966.7%	2700.0%	488.9%	662.0%
呼吸器外科	83.3%	87.5%	160.0%	60.0%	233.3%	166.7%	133.3%	77.8%	100.0%	200.0%	200.0%	266.7%	123.1%
腎臓科（血液浄化含む）	457.1%	344.4%	250.0%	163.2%	340.0%	270.0%	357.1%	227.3%	0.0%	285.7%	383.3%	414.3%	323.3%
泌尿器科	184.6%	140.7%	124.1%	265.2%	187.0%	227.3%	187.5%	126.9%	215.4%	171.4%	173.7%	221.1%	182.8%
形成外科	42.9%	45.0%	71.4%	100.0%	84.6%	107.1%	146.2%	68.8%	84.6%	51.9%	50.0%	56.5%	72.8%
耳鼻咽喉科	148.4%	110.0%	158.8%	146.9%	120.8%	127.9%	142.1%	88.2%	119.4%	122.6%	97.0%	174.1%	128.4%
眼科	62.5%	100.0%	71.4%	160.0%	100.0%	200.0%	33.3%	57.1%	71.4%	50.0%	71.4%	70.0%	79.5%
皮膚科	127.8%	58.3%	96.0%	96.0%	56.8%	95.7%	113.6%	115.4%	63.0%	207.1%	86.7%	146.2%	96.1%
歯科	38.9%	35.6%	30.8%	27.9%	44.8%	33.6%	29.9%	22.9%	33.9%	30.5%	34.4%	18.1%	31.4%
救命救急科	76.2%	75.4%	52.2%	42.7%	34.4%	61.3%	54.1%	58.5%	68.5%	55.7%	73.6%	53.5%	56.3%
産婦人科	35.8%	48.6%	69.1%	59.8%	48.1%	72.3%	47.4%	48.0%	50.0%	36.2%	33.3%	48.1%	49.3%
小児科	44.0%	53.8%	32.6%	25.5%	24.7%	38.2%	44.0%	33.3%	49.4%	46.9%	137.1%	115.3%	48.3%
臨床腫瘍科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
肝臓内科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
緩和ケア科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

逆紹介率（％）＝逆紹介率／初診患者数

8.6 術式別算定件数

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
J000	抜歯手術	134	144	115	139	133	140	113	121	108	114	110	133	1,504
J001	ヘミセクション（分割抜歯）	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
J003	歯根嚢胞摘出手術	4	4	1	3	7	4	3	0	2	2	3	4	37
J004	歯根端切除手術	4	2	0	1	5	3	1	0	2	2	3	2	25
J004-2	歯の再植術	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
J004-3	歯の移植手術	0	0	0	1	0	1	0	0	3	1	0	2	8
J006	歯槽骨整形手術	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
J008	歯肉・歯槽部腫瘍手術	0	0	2	0	2	0	2	0	0	2	1	2	11
J009	浮動歯肉切除術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
J012	おとがい神経移動術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
J013	口腔内消炎手術	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	4
J019	口蓋腫瘍摘出術	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
J027	頬・口唇・舌小帯形成術	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	5
J030	口唇腫瘍摘出術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
J034	頬粘膜腫瘍摘出術	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
J040	下顎骨部分切除術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
J043	顎骨腫瘍摘出術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
J044-2	埋伏歯開窓術	0	0	0	3	2	1	0	0	1	4	0	1	12
J045	口蓋隆起形成術	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
J046	下顎隆起形成術	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4
J047	腐骨除去手術	2	1	2	3	0	0	2	2	1	0	0	3	16
J048	口腔外消炎手術	3	2	2	1	6	4	3	0	3	4	2	3	33
J052	がま腫摘出術	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
J063	歯周外科手術・歯肉切除手術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
J065	歯槽骨非観血的整復術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
J066	歯槽骨骨折観血的整復術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
J073	口腔内軟組織異物除去術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
J077	顎関節脱臼非観血的整復術	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
J082	歯科インプラント摘出術	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
J084	口腔内縫合術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
J109	広範囲顎骨支持型装置埋入手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
K000	創傷処理	53	79	69	65	75	55	57	60	49	42	54	55	713
K000-2	小児創傷処理	9	7	5	7	7	4	7	6	7	10	5	12	86
K001	皮膚切開術	5	12	3	6	11	12	9	7	9	7	8	13	102
K002	デブリードマン	3	7	2	1	9	6	5	3	6	4	3	4	53
K003	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出術（露出部）	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
K005	皮膚皮下腫瘍摘出術（露出部）	10	17	12	9	6	10	10	1	4	12	10	12	113
K006	皮膚皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	5	5	12	4	11	2	6	9	5	2	5	6	72
K007	皮膚悪性腫瘍切除術	5	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	13
K008	腋臭症手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
K010	癬痕拘縮形成手術	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3	6
K011	顔面神経麻痺形成手術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K013	分層植皮術	0	1	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	6

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K013-2 全層植皮術	3	4	0	3	5	5	3	1	3	3	7	3	40
K013-3 自家皮膚非培養細胞移植術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K015 皮弁作成術・移動術・切断術	3	6	3	1	7	2	3	6	6	1	4	3	45
K016 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	2	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	7
K019 複合組織移植術	0	2	0	0	1	0	4	2	1	0	0	0	10
K020 自家遊離複合組織移植術	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
K022 組織拡張器による再建手術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K022-3 慢性膿皮症手術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
K025 股関節内転筋切離術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
K028 腱鞘切開術	1	3	2	2	1	0	1	3	0	2	0	3	18
K029 筋肉内異物摘出術	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4
K030 四肢軀幹軟部腫瘍摘出術	0	0	1	0	1	2	2	0	1	2	1	0	10
K031 四肢軀幹軟部悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
K035 腱剥離術	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	1	6
K037 腱縫合術	0	1	1	1	3	1	0	2	0	1	2	0	12
K037-2 アキレス腱断裂手術	0	1	2	3	1	2	0	1	2	0	0	0	12
K039 腱移植術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K043 骨搔爬術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K044 骨折非観血的整復術	3	6	5	7	10	2	5	9	1	5	5	4	62
K045 骨折経皮的鋼線刺入固定術	4	6	4	3	2	1	3	3	1	1	2	1	31
K046 骨折観血の手術	25	21	20	14	32	27	29	24	26	33	30	29	310
K046-2 観血の整復固定術	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	5
K046-3 一時的創外固定骨折治療術	1	3	0	0	2	3	0	0	1	2	0	2	14
K047-2 難治性骨折超音波治療法	0	0	0	1	0	2	0	0	1	1	1	0	6
K047-3 超音波骨折治療法	1	1	0	0	0	2	1	1	1	1	3	1	12
K048 骨内異物(挿入物)除去術	5	7	4	11	5	4	9	7	8	9	8	5	82
K050 腐骨摘出術	1	0	2	1	0	1	0	0	1	2	1	0	9
K052 骨腫瘍切除術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
K054 骨切り術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
K056 偽関節手術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K057 変形治療骨折矯正手術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
K059 骨移植術	5	0	6	5	2	4	3	2	1	0	0	1	29
K061 関節脱臼非観血的整復術	16	12	11	6	13	10	12	9	17	13	7	14	140
K063 関節脱臼観血的整復術	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
K066 関節滑膜切除術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
K066-2 関節鏡下関節滑膜切除術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
K070 ガングリオン摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
K073 関節内骨折観血の手術	5	2	3	5	6	1	2	2	0	1	1	0	28
K074 靭帯断裂縫合術	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
K077 観血的関節制動術	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K081 人工骨頭挿入術	6	4	4	5	2	4	9	14	9	10	8	8	83
K082 人工関節置換術	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2	6
K083 鋼線等による直達牽引	2	0	1	0	2	3	0	5	1	0	3	2	19
K084 四肢切断術	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	6
K085 四肢関節離断術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
K086 断端形成術(軟部形成のみ)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
K087	断端形成術（骨形成要する）	2	5	2	3	1	0	1	0	1	2	2	0	19
K088	切断四肢再接合術	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
K089	爪甲除去術	0	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0	0	6
K091	陥入爪手術	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	1	6
K093	手根管開放手術	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	2	0	7
K097	手掌、足底異物摘出術	1	1	2	1	1	0	1	0	1	1	0	1	10
K100	多指症手術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
K110-2	第一足指外反症矯正手術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
K124-2	寛骨臼骨折観血の手術	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
K125	骨盤骨折観血の手術	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4
K128	脊椎、骨盤内異物（挿入物）除去術	0	1	0	1	2	2	1	1	0	2	1	0	11
K131-2	内視鏡下椎弓切除術	3	2	2	4	4	2	3	2	2	2	3	5	34
K133	黄色靭帯骨化症手術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
K134	椎間板摘出術	3	1	1	3	0	2	3	2	1	5	5	7	33
K134-2	内視鏡下椎間板摘出（切除）術	0	2	2	2	0	0	1	1	1	2	1	1	13
K142	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術	8	8	8	8	4	7	8	6	5	5	5	7	79
K142-4	経皮的椎体形成術	3	1	0	4	5	1	4	6	3	2	5	5	39
K144	体外式脊椎固定術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
K145	穿頭脳室ドレナージ術	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	6
K148	試験開頭術	0	0	0	1	1	0	2	2	0	0	1	0	7
K149	減圧開頭術	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
K149-2	後頭蓋窩減圧術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
K150	脳膿瘍排膿術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K160-2	頭蓋内微小血管減圧術	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	4
K164	頭蓋内血腫除去術	3	1	1	0	1	1	0	2	1	2	0	0	12
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	3	3	6	7	6	6	5	8	3	5	1	6	59
K164-5	内視鏡下脳内血腫除去術	0	2	1	0	1	1	0	2	0	0	1	2	10
K169	頭蓋内腫瘍摘出術	0	0	0	3	1	2	0	2	3	2	1	0	14
K171-2	内視鏡下経鼻の腫瘍摘出術	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	6
K174	水頭症手術	2	0	5	1	3	0	0	0	1	0	1	0	13
K174-2	髄液シャント抜去術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
K175	脳動脈瘤被包術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K177	脳動脈瘤頸部クリッピング	3	4	0	2	0	1	0	0	1	0	1	1	13
K178	脳血管内手術	1	3	3	3	2	3	3	1	1	1	3	2	26
K178-2	経皮的脳血管形成術	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3
K178-4	経皮的脳血栓回収術	2	4	6	4	3	3	2	7	7	2	2	5	47
K178-5	経皮的脳血管ステント留置術	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
K179	髄液漏閉鎖術	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
K180	頭蓋骨形成手術	0	3	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	8
K182	神経縫合術	1	2	3	0	2	2	0	0	0	0	2	2	14
K182-3	神経再生誘導術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K188-2	硬膜外腔癒着剥離術	3	2	3	2	1	2	1	0	1	1	3	2	21
K189	脊髄ドレナージ術	1	4	1	6	2	1	2	2	3	5	2	2	31
K193	神経腫切除術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K198	神経移植術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K200-2	涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
K215-2	眼瞼結膜腫瘍手術	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
K217	眼瞼内反症手術	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	5
K218	眼瞼外反症手術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K219	眼瞼下垂症手術	1	0	0	1	0	1	5	2	2	4	0	23
K224	翼状片手術	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	7
K252	角膜・強膜異物除去術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
K276	網膜光凝固術	1	4	9	2	2	6	8	2	0	0	0	36
K282	水晶体再建術	6	6	5	7	6	5	6	5	5	6	5	67
K282-2	後発白内障手術	0	0	1	0	2	1	1	2	0	0	0	7
K286	外耳道異物除去術	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
K287	先天性耳瘻管摘出術	3	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	7
K288	副耳（介）切除術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K291	耳介腫瘍摘出術	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	7
K296	耳介形成手術	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
K300	鼓膜切開術	0	0	1	0	3	0	0	0	0	2	2	9
K309	鼓膜（排液換気）チューブ挿入術	0	0	0	0	1	1	1	0	2	3	0	8
K311	鼓膜穿孔閉鎖術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
K331	鼻腔粘膜焼灼術	1	4	1	1	2	5	2	2	1	2	2	24
K333	鼻骨骨折整復固定術	1	3	1	0	2	0	0	1	1	1	0	11
K333-3	鼻骨骨折徒手整復術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K336	鼻内異物摘出術	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3
K340	鼻茸摘出術	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
K340-3	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅰ型	1	0	2	0	1	2	0	2	1	0	0	9
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型	5	6	5	5	4	3	1	2	5	2	1	44
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型	4	4	4	4	2	2	8	6	0	2	14	52
K342	鼻副鼻腔腫瘍摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K347-3	内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型	9	4	4	5	3	3	6	4	5	2	7	59
K347-5	内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型	14	3	4	6	4	6	9	3	5	3	2	66
K347-9	内視鏡下鼻腔手術Ⅳ型	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
K352	上顎洞根治手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K367	咽後膿瘍切開術	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	2	4	1	0	2	5	1	2	3	3	3	29
K369	咽頭異物摘出術	0	3	0	0	0	2	1	0	0	2	0	11
K370	アデノイド切除術	0	0	0	0	3	0	3	3	1	2	1	15
K373	下咽頭腫瘍摘出術	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
K374	咽頭悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
K374-2	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
K377	口蓋扁桃手術	4	2	0	20	20	10	14	6	15	16	11	131
K384	喉頭膿瘍切開術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K384-2	深頸部膿瘍切開術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
K386	気管切開術	7	3	2	1	1	1	4	1	3	3	4	35
K389	喉頭・声帯ポリープ切除術	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	5
K390	喉頭異物摘出術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
K391	気管異物除去術	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4
K392-2	喉頭蓋嚢腫摘出術	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
K393	喉頭腫瘍摘出術	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
K394	喉頭悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
K394-2	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K395	喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
K396	気管切開孔閉鎖術	0	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	6
K407	顎・口蓋裂形成手術	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
K407-2	軟口蓋形成手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
K412	頬粘膜悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K413	舌腫瘍摘出術	1	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	2	9
K415	舌悪性腫瘍手術	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	4
K419	舌小帯形成手術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K421	口唇腫瘍摘出術	2	5	1	3	2	1	0	0	1	2	0	1	18
K422	口唇悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
K426	口唇裂形成手術（片側）	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
K426-2	口唇裂形成手術（両側）	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
K427	頬骨骨折靦血の整復術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K429	下顎骨骨折靦血の手術	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
K430	顎関節脱臼非靦血の整復術	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	4
K434	顔面多発骨折靦血の手術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
K436	顎骨腫瘍摘出術	2	1	1	3	0	2	1	1	2	0	1	1	15
K442	上顎骨悪性腫瘍手術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
K445	顎関節形成術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K450	唾石摘出術	0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	5
K451	がま腫摘出術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K454	顎下腺摘出術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
K457	耳下腺腫瘍摘出術	0	0	2	1	0	1	0	0	0	1	2	1	8
K458	耳下腺悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
K461	甲状腺部分切除術、 甲状腺腫瘍摘出術	1	4	0	0	1	0	1	2	2	1	1	0	13
K462	バセドウ甲状腺全摘術	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
K463	甲状腺悪性腫瘍手術	1	2	0	0	1	1	1	1	0	1	2	0	10
K464	副甲状腺上皮小体腺腫過形成 手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
K467	頸嚢摘出術	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	4
K469	頸部郭清術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
K472	乳腺膿瘍切開術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K474	乳腺腫瘍摘出術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K474-3	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	1	1	0	1	1	0	2	2	1	0	2	2	13
K476	乳腺悪性腫瘍手術	4	5	7	8	6	6	8	3	6	1	1	4	59
K477	胸壁膿瘍切開術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
K485	胸壁腫瘍摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
K488	試験開胸術	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
K496	膿胸膜、胸膜肺膵切除術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K496-2	胸腔鏡下膿胸膜切除術	2	0	1	0	3	0	1	1	1	1	0	11
K496-5	経皮的膿胸ドレナージ術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K501-2	胸腔・腹腔シャントバルブ設置術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
K502	縦隔腫瘍、胸腺摘出術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
K502-3	胸腔鏡下縦隔切開術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
K504-2	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
K508-2	気管・気管支ステント留置術	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4
K510-3	気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
K511	肺切除術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
K513	胸腔鏡下肺切除術	1	2	1	2	1	0	1	3	2	2	0	16
K513-2	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	6
K513-4	胸腔鏡下肺縫縮術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	5
K514	肺悪性腫瘍手術	0	2	1	1	0	1	0	1	0	0	1	8
K514-2	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	4	3	4	6	2	2	3	3	8	4	4	45
K522	食道狭窄拡張術	5	1	3	3	5	1	1	2	1	0	0	23
K522-2	食道ステント留置術	0	0	1	0	0	2	2	0	0	1	0	6
K526	食道腫瘍摘出術	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
K526-2	内視鏡的食道粘膜切除術	0	2	0	1	1	3	1	1	1	3	1	15
K527	食道悪性腫瘍手術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K529-2	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
K533	食道・胃静脈瘤硬化療法	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
K533-2	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	0	2	1	0	0	0	1	0	0	2	0	7
K539	心膜切開術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K545	開胸心臓マッサージ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K546	経皮的冠動脈形成術	2	2	2	3	2	2	2	1	3	1	3	23
K548	経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	1	4	4	1	3	1	2	7	5	1	4	36
K549	経皮的冠動脈ステント留置術	15	6	15	19	9	13	17	15	22	18	13	178
K552	冠動脈、大動脈バイパス移植術	3	3	1	2	2	4	3	1	1	1	1	24
K552-2	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺使用なし)	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
K553-2	心室中隔穿孔閉鎖術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
K554	弁形成術	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
K555	弁置換術	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	8
K556-2	経皮的冠動脈弁拡張術	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
K560	大動脈瘤切除術	0	0	2	1	1	1	1	0	0	2	1	11
K560-2	オープン型ステントグラフト 内挿術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
K561	ステントグラフト内挿術	4	4	2	3	4	4	4	6	3	4	4	48
K594	不整脈手術	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	7
K595	経皮的カテーテル心筋焼灼術	11	14	13	15	12	16	14	7	16	14	13	153
K596	体外ペースメーカー術	10	3	3	5	6	7	0	6	11	3	3	61
K597	ペースメーカー移植術	9	7	5	9	4	3	4	7	6	4	2	66
K597-2	ペースメーカー交換術	5	1	3	3	6	4	5	2	1	2	4	41
K597-3	植込型心電図記録計移植術	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	5
K597-4	植込型心電図記録計摘出術	1	0	0	1	0	0	1	4	0	0	0	7

手術名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K598	両心室ペースメーカー移植術	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
K598-2	両心室ペースメーカー交換術	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	4
K599	植込型除細動器移植術	1	3	0	1	1	0	3	1	2	0	1	1	14
K599-4	両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	4
K600	大動脈バルーンパンピング法	5	16	22	1	12	14	19	20	22	7	16	4	158
K601	人工心肺	3	2	3	3	1	1	2	0	0	4	2	4	25
K601-2	体外式膜型人工肺	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
K602	経皮的心肺補助法	3	4	0	6	1	4	3	1	5	3	4	4	38
K602-2	経皮的循環補助法	11	5	4	5	4	0	7	0	12	0	15	14	77
K607	血管結紮術	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
K607-2	血管縫合術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K607-3	上腕動脈表在化法	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3
K608	動脈塞栓除去術	1	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	5
K608-3	内シャント血栓除去術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
K609	動脈血栓内膜摘出術	0	1	3	2	2	1	1	2	0	1	0	1	14
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	1	0	1	2	0	0	2	2	1	2	1	1	13
K610	動脈形成術、吻合術	5	0	4	2	5	5	4	1	1	0	1	3	31
K611	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈内注入植込型カテーテル設置	10	7	13	10	10	14	16	15	15	9	11	18	148
K612	末梢動静脈瘻造設術	1	1	1	1	1	1	0	3	1	2	1	1	14
K614	血管移植術、バイパス移植術	0	1	1	2	0	2	2	2	1	0	1	1	13
K615	血管塞栓術	2	8	4	7	3	4	5	3	4	6	4	5	55
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	8	7	8	12	2	3	2	2	4	4	2	5	59
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	5	6	9	7	4	4	5	4	6	2	2	5	59
K617	下肢静脈瘤手術	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	5
K618	中心静脈注射用植込型カテーテル設置	1	3	0	0	0	2	1	1	0	4	0	1	13
K620	下大静脈フィルター留置術	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
K620-2	下大静脈フィルター除去術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
K623	静脈形成術、吻合術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K626	リンパ節摘出術	3	4	0	1	0	3	2	2	1	0	3	5	24
K627	リンパ節群郭清術	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
K628	リンパ管吻合術	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	5
K631	腹壁瘻手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
K632	腹壁腫瘍摘出術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K633	ヘルニア手術	1	1	0	3	1	3	0	1	5	3	2	1	21
K633-2	腹腔鏡下ヘルニア手術	2	1	1	1	1	1	0	0	6	1	1	2	17
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	5	6	5	8	7	5	4	7	7	6	6	8	74
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	5	1	4	6	4	4	3	5	5	3	0	2	42
K635-3	連続携行式カテーテル腹腔内留置術	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
K636	試験開腹術	4	2	0	1	2	0	0	1	2	1	0	0	13
K636-3	腹腔鏡下試験開腹術	1	1	0	1	1	1	1	0	1	2	1	1	11
K637	限局性腹腔膿瘍手術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K637-2 経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1	1	2	2	1	2	2	2	1	2	2	0	18
K639 急性汎発性腹膜炎手術	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	7
K639-3 腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	4
K640 腸間膜損傷手術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K642-2 腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
K647 胃縫合術	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
K647-2 腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3
K651 内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	5
K652 胃・十二指腸ポリープ切除術	1	0	1	3	1	1	0	1	1	0	1	1	11
K653 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	5	6	7	7	6	8	8	6	3	8	5	8	77
K653-3 内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	2	2	1	0	0	1	2	3	2	1	1	2	17
K654 内視鏡的消化管止血術	9	16	8	8	3	3	7	17	13	21	10	13	128
K654-2 胃局所切除術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K654-3 腹腔鏡下胃局所切除術	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	5
K655 胃切除術	0	1	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	7
K655-2 腹腔鏡下胃切除術	2	2	4	2	0	5	6	2	1	2	3	0	29
K655-4 噴門側胃切除術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K655-5 腹腔鏡下噴門側胃切除術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K657 胃全摘術	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	6
K662 胃腸吻合術	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	7
K664 胃瘻造設術	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	3	2	12
K665 胃瘻閉鎖術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
K665-2 胃瘻除去術	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
K668-2 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K672 胆嚢摘出術	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	1	5
K672-2 腹腔鏡下胆嚢摘出術	13	10	8	9	11	6	14	12	17	12	10	11	133
K675 胆嚢悪性腫瘍手術	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	5
K681 胆嚢外瘻造設術	9	1	4	4	4	5	6	2	4	4	7	2	52
K682-2 経皮的胆管ドレナージ術	1	2	0	0	0	3	1	0	1	1	4	2	15
K682-3 内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術	3	2	1	2	2	1	2	0	1	5	4	1	24
K685 内視鏡的胆道結石除去術	1	0	4	0	2	3	3	1	3	2	3	1	23
K687 内視鏡的乳頭切開術	6	3	3	3	3	5	8	5	8	3	9	4	60
K688 内視鏡的胆道ステント留置術	1	8	8	8	7	10	6	8	8	6	6	6	82
K689 経皮経肝胆管ステント挿入術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
K691-2 経皮的肝膿瘍ドレナージ術	1	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	2	9
K692-2 腹腔鏡下肝嚢胞切開術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K695 肝切除術	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	5
K695-2 腹腔鏡下肝切除術	0	2	1	0	1	1	3	1	0	2	2	1	14
K697-2 肝悪性マイクロ波凝固法	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K697-3 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	2	2	5	2	3	3	2	3	3	4	0	1	30
K702 臍体尾部腫瘍切除術	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K702-2 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
K703 腓頭部腫瘍切除術	3	3	1	4	2	0	1	0	0	0	1	2	17
K708-3 内視鏡的腓管ステント留置術	1	3	1	1	2	0	2	0	1	2	2	1	16
K711 脾摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
K711-2 腹腔鏡下脾摘出術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K714 腸管癒着症手術	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4
K714-2 腹腔鏡下腸管癒着剥離術	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
K716 小腸切除術	1	2	0	0	1	3	1	2	2	1	3	2	18
K716-2 腹腔鏡下小腸切除術	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
K717 小腸腫瘍, 小腸憩室摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
K718 虫垂切除術	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K718-2 腹腔鏡下虫垂切除術	6	9	10	4	6	7	5	4	5	6	4	1	67
K719 結腸切除術	2	0	2	3	0	1	3	3	4	2	5	2	27
K719-2 腹腔鏡下結腸切除術	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	8
K719-3 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	2	5	5	1	1	2	3	4	2	4	4	3	36
K721 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	75	68	76	67	57	72	69	73	64	68	75	67	831
K721-3 内視鏡的結腸異物摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
K721-4 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	4	2	4	1	2	4	6	1	2	5	3	1	35
K722 小腸結腸内視鏡的止血術	4	9	5	2	2	1	1	2	0	3	3	1	33
K724 腸吻合術	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
K726 人工肛門造設術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K726-2 腹腔鏡下人工肛門造設術	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	4
K731 結腸瘻閉鎖術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K732 人工肛門閉鎖術	2	1	2	2	0	0	0	0	0	4	0	0	11
K732-2 腹腔鏡下人工肛門閉鎖術	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	5
K735-2 小腸・結腸狭窄部拡張術	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	4
K735-4 下部消化管ステント留置術	4	0	3	1	0	2	4	5	3	3	2	1	28
K738 直腸異物除去術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
K740 直腸切除・切断術	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
K740-2 腹腔鏡下直腸切除・切断術	4	6	2	2	5	1	2	5	0	3	4	2	36
K742 直腸脱手術	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
K742-2 腹腔鏡下直腸脱手術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K743 痔核手術	1	0	0	0	1	1	2	1	0	1	1	1	9
K745 肛門周囲膿瘍切開術	0	2	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	7
K746 痔瘻根治手術	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	1	0	6
K747 肛門良性腫瘍、 肛門ポリープ切除術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
K753 毛巣洞手術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K754-2 腹腔鏡下副腎摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
K755-2 腹腔鏡副腎髄質腫瘍摘出術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
K768 体外衝撃波腎尿管結石破碎術	2	2	2	5	2	5	2	2	3	1	3	1	30
K772-2 腹腔鏡下腎摘出術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K773-2 腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	1	2	0	2	2	2	2	0	1	2	1	2	17

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K773-5 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術	0	0	0	2	0	1	1	1	2	0	1	0	8
K775 経皮的腎（腎盂）瘻造設術	2	2	5	0	1	3	1	1	0	0	0	4	19
K775-2 経皮的腎（腎盂）瘻拡張術	1	1	3	1	2	2	1	0	0	0	0	2	13
K778-2 腹腔鏡下腎盂形成手術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K781 経尿道の尿路結石除去術	1	2	1	0	0	1	3	2	4	3	1	4	22
K783 経尿道の尿管狭窄拡張術	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
K783-2 経尿道の尿管ステント留置術	42	27	27	52	35	28	56	26	37	37	31	26	424
K783-3 経尿道の尿管ステント抜去術	3	3	7	9	8	7	5	3	9	3	5	1	63
K786 尿管膀胱吻合術	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K798 膀胱結石、異物摘出術	2	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	7
K800-2 経尿道の電気凝固術	4	1	3	1	0	1	3	3	1	0	4	0	21
K803 膀胱悪性腫瘍手術	7	4	3	7	9	6	6	4	8	7	1	5	67
K803-2 腹腔鏡下膀胱悪性術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K805 膀胱瘻造設術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
K816 外尿道腫瘍切除術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
K821 尿道狭窄内視鏡手術	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	5
K828 包茎手術	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	5
K830 精巣摘出術	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K833 精巣悪性腫瘍手術	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
K835 陰嚢水腫手術	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
K838 精索捻転手術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
K841 経尿道の前立腺手術	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
K841-7 経尿道の前立腺水蒸気治療	0	0	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	16
K843-2 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K843-4 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 （支援機器を用いるもの）	4	5	4	4	5	5	5	4	3	4	3	4	50
K844 バルトリン腺膿瘍切開術	0	0	2	0	0	0	1	1	1	2	0	1	8
K849 女子外性器腫瘍摘出術	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
K850 女子外性器悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
K851-2 外陰・陰血腫除去術	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
K851-3 癒合陰唇形成手術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K856-4 陰壁尖圭コンジローム切除術	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K860 陰壁形成手術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K861 子宮内膜掻爬術	1	1	4	1	3	1	3	2	2	1	0	2	21
K865 子宮脱手術	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
K866 子宮頸管ポリープ切除術	4	4	0	4	2	2	1	3	1	4	0	6	31
K867 子宮頸部（腔部）切除術	0	4	5	3	4	1	3	1	5	5	5	2	38
K867-4 子宮頸部異形成上皮レーザー 照射治療	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
K871 子宮息肉様筋腫摘出術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K872 子宮筋腫摘出（核出）術	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
K872-3 子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出 術、子宮内膜ポリープ切除術	0	2	0	4	2	1	1	1	2	0	1	1	15
K873 子宮鏡下子宮筋腫摘出術	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	1	0	6
K877 子宮全摘術	4	2	0	3	1	2	1	4	1	0	0	4	22
K877-2 腹腔鏡下腔式子宮全摘術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

手術名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K879	子宮悪性腫瘍手術	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
K883-2	子宮頸管閉鎖症手術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K884-2	人工授精	11	11	7	12	5	5	3	6	6	2	5	5	78
K886	子宮附属器癒着剥離術	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
K888	子宮附属器腫瘍摘出術	6	5	1	3	3	11	5	7	6	1	0	3	51
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	4
K893	吸引娩出術	3	2	3	3	3	5	3	1	1	3	1	2	30
K895	会陰（陰門）切開及び縫合術	3	1	1	3	2	5	2	1	1	2	0	2	23
K896	会陰（膣壁）裂創縫合術	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	5
K897	頸管裂創縫合術	2	1	4	1	2	1	3	2	1	0	2	1	20
K898	帝王切開術	33	26	23	29	24	18	18	16	15	11	13	16	242
K901	子宮双手圧迫術	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
K902	胎盤用手剥離術	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
K906	子宮頸管縫縮術	1	0	0	3	2	0	0	1	1	2	0	1	11
K907	胎児外回転術	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K909	流産手術	2	2	0	1	4	1	0	3	1	1	0	0	15
K911	胞状奇胎除去術	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
K913	新生児仮死蘇生術	1	3	1	3	2	1	4	2	0	0	1	3	21
K917-3	胚凍結保存管理料	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
合計		947	953	872	966	908	878	933	863	877	830	831	912	10,770

第9章 研究実績

9.1 学術書、原著・総説、症例報告（発行年：2024年1月～12月）

9.1.1 学術書

医療局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年；巻（号）：頁
地域総合医育成科	壊死性筋膜炎	樋口 大、羽田野義郎	感染症診療の掟. 中外医学社, 2024; 218-227
脳神経内科	感覚障害・感覚異常	青山淳夫	内科診断学 第4版. 医学書院, 2024; 959-960
脳神経内科	失語・失行・失認	山口修平	内科診断学 第4版. 医学書院, 2024; 694-699
脳神経内科	構音障害	山口修平	内科診断学 第4版. 医学書院, 2024; 712-716
脳神経内科	歩行障害	山口修平	内科診断学 第4版. 医学書院, 2024; 757-762
血液腫瘍科	眼内リンパ腫の治療方針	三宅隆明、大國典子、高橋史匡	EBM 血液疾患の治療2025-2026. 中外医学社, 2024; 335-339
脳神経外科	診療放射線技師と“一緒”に画像作成することが大切	石倉諒一、井川房夫	医療用3Dワークステーションで学ぶ脳神経外科手術戦略シミュレーション. 2024; 49-56
脳神経外科	脳動脈瘤	落合淳一郎、井川房夫	医療用3Dワークステーションで学ぶ脳神経外科手術戦略シミュレーション. 2024; 152-160
脳神経外科	頭蓋底髄膜種	井川房夫	医療用3Dワークステーションで学ぶ脳神経外科手術戦略シミュレーション. 2024; 236-244
脳神経外科	松果体部腫瘍	井川房夫	医療用3Dワークステーションで学ぶ脳神経外科手術戦略シミュレーション. 2024; 245-249
救命救急科	壊死性筋膜炎	樋口 大、羽田野義郎	感染症診療の掟. 中外医学社, 2024; 218-227
歯科口腔外科	痛覚変調性疼痛合併の疑いのある筋・筋膜性疼痛を歯原性疼痛と間違えた症例	片山暁恵	“痛み”の臨床推論 診断過程を可視化するための教科書. デンタルダイヤモンド社, 2024; 176-180

医療技術局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年；巻（号）：頁
放射線技術科	画像シミュレーション 診療放射線技師と“一緒”に画像作成することが大切	石倉諒一、井川房夫	医療用3Dワークステーションで学ぶ脳神経外科手術戦略シミュレーション. 中外医学社, 2024; 0: 49-56

9.1.2 原著、総説

医療局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年; 巻 (号) : 頁
地域総合医育成科	Osteoporosis management in a rural community hospital in Japan: a cross-sectional retrospective study	Mabuchi S, Ohta R, Sano C	BMJ Open, 2024; 14(11): e086845
地域総合医育成科	目で見るトレーニング 問題1081・1082・1083	樋口 大 他	medicina, 2024; 61(2): 393-397
地域総合医育成科	医学部早期からの島根県全体での総合診療医育成：高度総合診療力修得コース	樋口 大	月間地域医学, 2024; 38(8): 814-820
地域総合医育成科	目で見るトレーニング 問題1102・1103・1104	樋口 大 他	medicina, 2024; 61(10): 1756-1762
地域総合医育成科	プライマリ・ケアにおける腰痛診療 総論 運動器以外の腰痛	小田川誠治	治療, 2024; 106(5): 494-497
地域総合医育成科	ここからはじめる感染症診療 研修医がマスターしておきたい抗菌薬10選	小田川誠治、羽根田義郎	レジデントノート, 2024; 26(8): 1370-1383
内視鏡科	Clinicopathologic differences of gastric neoplasms between Helicobacter pylori-infected and -naïve patients: a multicenter retrospective analysis.	Kotani S, Shibagaki K, Hirahara N, Hasegawa N, Tanabe R, Ebisutani Y, Nonomura S, Kishimoto K, Kodama Y, Takahashi Y, Kataoka M, Oka A, Fukuba N, Mishima Y, Oshima N, Kawashima K, Ishimura N, Araki A, Kadota K, Itawaki A, Nagasaki M, Miyaoka Y, Onuma H, Ishihara S	Journal of gastroenterology, 2024; 59(1): 1-10
内分泌代謝科	Incidence of and factors associated with emergency caesarean section in pregnant women with gestational diabetes mellitus: A retrospective cohort study	Nabika S, Nakamura T, Ito Y, Nagasawa A	Journal Obstetrics and gynaecology research, 2024; 50(5): 849-855
内分泌代謝科	Osteoporosis management in a rural community hospital in Japan: a cross-sectional retrospective study	Mabuchi S, Ohta R, Sano C	BMJ Open, 2024; 14(11): e086845
感染症科	Prevalence and prognostic impact of respiratory syncytial virus among hospitalized patients with acute respiratory symptoms during July-December, 2023 in Japan.	Tsukasa Nakamura, MD, PhD, Toru Morikawa, MD, PhD, Haruki Imura, MD, MPH, Mari Nezu, MD, PhD, Kenya Hamazaki, MD, Mio Sakuma, MD, PhD, MPH, Takeshi Morimoto, MD, PhD, MPH.	Journal Infection and Chemotherapy, 2024; 30(10): 1085-1087
整形外科	二次性骨折予防継続管理料が算定できなかった原因と対策	飛田正敏、松崎雅彦、野崎健治、杉原太郎、西 真一郎、本田 健、江角直人、勝部浩介	島根県立中央病院医学雑誌, 2024; 48: 3-6
呼吸器外科	左上肺静脈部分還流異常を伴う胸腺腫の1例	阪本 仁、松本和久、磯和理貴、小阪真二	胸部外科, 2024; 77(5): 394-398
呼吸器外科	高悪性度病変を含む若年者肺粘表皮癌の1例	阪本 仁、松本和久、磯和理貴、小阪真二	胸部外科, 2024; 77(12): 1047-1051

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年 ; 卷 (号) : 頁
形成外科	非焼成ハイドロキシアパタイト (u-HA) + ポリ-L-乳酸 (PLLA) プレートを用いた眼窩底骨折整復術後の眼窩底骨片と骨折面積の検討	井上真一、松本紘子、貝田 亘	創傷, 2024; 15(3): 67-75
歯科口腔外科	Impact of COVID-19 pandemic on the dynamic of patients with oral and maxillofacial trauma: Interrupted time-series analysis.	Hiroto Tatsumi, Yuhei Matsuda, Tatsuo Okui, Masaaki Karino, Takashi Koike, Satoe Okuma, Erina Toda, Shinji Ishizuka, Rie Sonoyama-Osako, Reon Morioka, Tatsuhiko Kotani, Yukiho Shimamura, Takahiro Kanno.	Scientific Reports., 2024; 14(1): 13202
救命救急科	日本紅斑熱の重症化因子の検討	桑原正樹、楠 正勝、山崎啓一、金井克樹、樋口 大、森 浩一、石田亮介、北野忠志、山森祐治	島根県立中央病院医学雑誌, 2024; 49: 9-12
救命救急科	Accuracy of odor-based microorganism identification by microbiological technologists with different years of experience: A cross-sectional study.	Fujihara T, Matsuo H, Yamamoto G, Sunada A, Hamaguchi S, Onozuka D, Kutsuna S.	Heliyon., 2024; 10(16): e36573
救命救急科	目で見るトレーニング 問題1081・1082・1083	樋口 大 他	medicina, 2024; 61(2): 393-397
救命救急科	医学部早期からの島根県全体での総合診療医育成：高度総合診療力修得コース	樋口 大	月刊地域医学, 2024; 38(8): 814-820
救命救急科	目で見るトレーニング 問題1102・1103・1104	樋口 大 他	medicina, 2024; 61(10): 1756-1762
産婦人科	中国・四国地方における卵巣癌に対する分子標的治療薬の使用状況およびコンパニオン検査が与える HBOC 診療への影響の調査	田中圭紀、斎藤 渉、下屋浩一郎、石川雅子、奈良井曜子 他	日本婦人科腫瘍学会雑誌, 2024; 42(1): 6-15
小児科	Enteric duplicatin cyst in an infant with recurrent vomiting	Hirade T, Ueno Y, Fukushima S, Kumori K	International Journal of Pediatric adolescent medicine, 2024; 10(1): 18-20
消化器外科	Midesophageal diverticulum with elevated intrabolus pressure: a case report	Mihara K, Tsunoda S, Nishigori T, et al.	Surgical Case Reports, 2024; 10(1): 108
消化器外科	Plasma Angiogenic Factors as Predictors of the Efficacy of Second-line Chemotherapy Combined with Angiogenesis Inhibitors in Metastatic Colorectal Cancer: Results From the GI-SCREEN CRC-Ukit Study	Yuki S, Yamazaki K, Sunakawa Y, Taniguchi H, Bando H, Shiozawa M, Nishina T, Yasui H, Kanazawa A, et al.	Clinical Colorectal Cancer, 2024; 23(2): 147-159. e7
消化器外科	Different efficacy of tyrosine kinase inhibitors by KIT and PGFRA mutations identified in circulating tumor DNA for the treatment of refractory gastrointestinal stromal tumors	Hashimoto T, Kanazawa A, et al.	BJC reports, 2024; 2(1): 54
消化器外科	Successful curative treatment for a ruptured pancreatic acinar cell carcinoma by radical resection following modified FOLFIRINOX: a case report and literature review	Yamane K, Tsukano K, Umino Y, Nagami T, Tarumoto K, Hattori K, Maemoto R, Iwasaki J, Kanazawa A	International Cancer Conference Journal, 2024; 13(3): 281-288

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年; 卷 (号) : 頁
消化器外科	Colorectal Cancer Recurrence Prediction Using a Tissue-Free Epigenomic Minimal Residual Disease Assay	Nakamura Y, Kanazawa A, et al.	Clinical cancer research, 2024; 30(19): 4377-4387
脳神経内科	血液疾患と神経疾患	大森直樹、長井 篤	Brain and Nerve, 2024; 76(3): 221-229
呼吸器科	進行非小細胞肺癌の二次治療 (ドライバー変異陽性例を除く)	堀田尚誠、津端由佳里	呼吸器内科, 2024; 45(3): 269-274
脳神経外科	無症状で発見された画像上低悪性度グリオーマを疑う非造影病変の自然経過: 年齢に着目した対応手順の提案	井上祐輔、山崎文之、米澤 潮、田口 慧、大西俊平、大園伊織、堀江信貴	小児の脳神経, 2024; 49(4): 147-153
脳神経外科	脳ドックにおける AI の役割	井川房夫	総合健診, 2024; 51(2): 242-251
脳神経外科	IT を駆使した術前シミュレーション術前シミュレーションのための院内体制	井川房夫	NEUROLOGICAL SURGERY, 2024; 52(2): 270-277
脳神経外科	性差医学・医療認定制度の概要と展望	井川房夫、片井みゆき、秋下雅弘	医学のあゆみ, 2024; 290(10): 928-934
脳神経外科	Allogeneic Stem Cell Therapy for Acute Ischemic Stroke: The Phase 2/3 TREASURE Randomized Clinical Trial.	Houkin K, Osanai T, Uchiyama S, Minematsu K, Taguchi A, Maruichi K, Niiya Y, Asaoka K, Kuga Y, Takizawa K, Haraguchi K, Yoshimura S, Kimura K, Tokunaga K, Aoyama A, Ikawa F, Inenaga C, Abe T, Tominaga A, Takahashi S, Kudo K, Fujimura M, Sugiyama T, Ito M	JAMA Neurology, 2024; 81(2): 154-162
脳神経外科	Surgical Risk in Elderly Patients with Meningiomas in Japan.	Ikawa F, Michihata N, Oya S, Yasunaga H, Horie N	Journal of Clinical Medicine, 2024; 13: 2882
脳神経外科	Dose-Dependent Effect of Current Smoking on Enlarged Perivascular Space Identified on Brain Magnetic Resonance Imaging.	Omori N, Ikawa F, Chiku M, Kitamura N, Tomimoto H, Aoyama A, Shuhei Y, Nagai A	Cerebrovascular diseases, 2024; Sep 30. doi: 10.1159/000541657
脳神経外科	Artificial intelligence for volumetric measurement of cerebral white matter hyperintensities on thick-slice fluid-attenuated inversion recovery (FLAIR) magnetic resonance images from multiple centers.	Kuwabara M, Ikawa F, Nakazawa S, Koshino S, Ishii D, Kondo H, Hara T, Maeda Y, Sato R, Kaneko T, Maeyama S, Shimahara Y, Horie N	Scientific reports, 2024; 14(1): 10104
脳神経外科	Declining trend in the estimated annual rupture rate of unruptured cerebral aneurysms in Japan: a nationwide study.	Maeda Y, Ikawa F, Kuwabara M, Hosogai M, Ishii D, Morimoto T, Nakayama T, Suzuki M, Horie N	Neurosurgery review, 2024; 47(1): 336
脳神経外科	Lack of Association of Chronological Age and Antithrombotic Agents With Acute Intracranial Hemorrhage in the Group of Older Adults With Traumatic Brain Injury.	Kambara M, Ikawa F, Hidaka T, Yamamori Y, Yamamoto Y, Michihata N, Uchimura M, Yoshikane T, Akiyama Y, Horie N, Hayashi K	Neurosurgery, 2024; Oct 23. doi: 10.1227/neu.0000000000003240

看護局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年；巻（号）：頁
9階西病棟看護科	新型コロナウイルスの流行による面会制限が退院支援に与えた影響	松崎愛莉、押越佳奈	島根県立中央病院医学雑誌, 2024; 48: 39-43

薬剤局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年；巻（号）：頁
臨床薬剤科	病棟薬剤師業務における Robotic Process Automation の活用とその評価	景山修介、藤原 亮、石原裕介、安食健一、園山智宏、横手克樹	日本病院薬剤師会雑誌, 2024; 60(2): 158-164

医療技術局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年；巻（号）：頁
検査技術科	Vector Flow Mapping 解析による若年健常者の左室相対的圧較差の特徴	内田舞桜 他	島根医学検査, 2024; 52(1): 1-7
リハビリテーション技術科	透析時運動指導等加算算定に合わせて開始した透析中の運動療法が身体機能に及ぼす影響について	藤丘政明、岡 理歩、原 千都、足立雄亮、坪内史子	島根県立中央病院医学雑誌, 2024; 48: 13-17

退院支援・地域医療連携センター

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年；巻（号）：頁
地域医療連携医療福祉相談スタッフ	島根県立中央病院に大腿骨骨折で入院した認知機能低下のある高齢者の疼痛評価に対してアビー痛みスケールを活用したことによる効果.	立原 怜、吉井あかり	島根県立中央病院医学雑誌, 2024; 48: 7-11

9. 1. 3 症例報告、研究報告

医療局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年; 巻 (号): 頁
放射線科	Acute on chronic pancreatitis affecting the ectopic pancreas located in the jejunal mesentery: A case report	Okamura K, Ishibashi E, Araki K, Kanasaki Y, Kodama K, Kanazawa A, Onuma H	Acta Radiologica Open, 2024; 13(8): 20584601241269617
呼吸器科	Lipod pneumonia caused by esophageal achalasia	Kono K, Hamaguchi M, Tanino A, Nakao M, Hotta T, Amano Y, Kurimoto N, Tsubata Y, Isobe T	Internal Medicine, 2024; 63(3): 443-446
腎臓科	Severe Hypophosphatemia Potentially Associated with Intracellular phosphate Shift Concomitant with Acute Kidney Injury in a Patient with Rapidly Proliferating Diffuse large B-cell Lymphoma.	Chayama S, Sato H, Takase K, Hayashi K, Miyake T, Kin S	Internal medicine, 2024; Nov 21. doi: 10.2169/internalmedicine.3982-24
形成外科	Combination of enzymatic debridement with Nexobrid and surgical debridement under intensive care in patient with massive burn injury: A case report	Nakamura S, Inoue S, Matsumoto H, Kaita W	Medical journal of Shimane Prefectural Central Hospital, 2024; 48: 59-65
耳鼻咽喉科	22q11.2欠損を伴った先天性喉頭横隔膜症の1症例	木村光宏、 卜部晋平	頭頸部外科, 2024; 34(1): 65-69
歯科口腔外科	再発上顎肉癌に対してペムブロリズマブ投与中に重度皮膚障害を生じた1例	大熊里依、 狩野正明、 松田悠平、 辰巳博人、 奥井達雄、 菅野貴浩	癌と化学療法, 2024; 51(3): 343-345
歯科口腔外科	A rare case involving a giant condylar head osteochondroma diagnosed coincidentally during the assessment of a simultaneous subcondylar fracture.	Karino M, Tatsumi H, Okuma S, Toda E, Okui T, Kanno T	Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery, 2024; 35(2): 159-165
歯科口腔外科	Surgical and Prosthetic Treatment for Bilateral Temporomandibular Joint Ankylosis With Micrognathia: A Case Report.	Nariai Y, Takamura Y, Okuma S, Karino M, Tatsumi H, Kanno T	Shimane Journal of Medical Science, 2024; 41(1): 15-21
歯科口腔外科	下顎骨区域切除後に偏位が後遺した下顎に広範囲顎骨支持型装置を適用した1例	成相義樹、 大熊里依、 狩野正明、 辰巳博人、 菅野貴浩	Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery, 2024; 36(1): 101-106
歯科口腔外科	認知症を伴った在宅緩和ケア希望の終末期口腔癌患者の治療経験	小池尚史、 狩野正明、 辰巳博人、 小林真左子、 菅野貴浩	癌と化学療法, 2024; 51(13): 1504-1507
救命救急科	Fatal Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome Virus and Pasteurella multocida Coinfection.	Sako Y, Fujihara T, Ishida R, Sato M, Sato H, Yamamoto T, Mine S, Katano H, Yamamori Y	Internal Medicine, 2024; 63(5): 749-752
麻酔科	外傷後の前胸部痛に対し、超音波ガイド下局所パルス高周波法治療が著効した1例	奈良井康宏、 佐々木敦子、 越崎雅行	日本ペインクリニック学会誌, 2024; 31(9): 202-204
小児科	A Japanese Boy With Spotted Fever and Overlapping Symptoms of Kawasaki Disease: A Case Report	Sasaki K, Yamada K, Matama C, Koike D, Hirade T, Mashino J, Kato F, Taketani T	Cureus, 2024; 16(1): e51915

医療技術局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年; 巻 (号) : 頁
検査技術科	SARS-CoV-2 PCR 検査において増幅曲線の変化から変異株への移行を捉えた事例の経験	糸賀真人、松原真奈美、藤江 茜、片寄充男、成相陽香、金坂侑美、領家敬子	島根医学検査, 2024; 52(1): 26-33

9. 1. 4 その他の論文

医 療 局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年; 巻 (号) : 頁
地域総合医育成科	感染症分野	小田川誠治、国試対策問題編集委員会	第118回医師国家試験問題解説, メディックメディア, 2024
心臓血管外科	多職種によるクリニカルパス活動活性化に向けた取り組みと成果	山内正信、昌子実加、福田成美、加村菜月、内谷隆之、金 聲根、小阪真二	日本クリニカルパス学会誌, 2024; 26(4): 414-418
歯科口腔外科	徹底攻略!! 抜歯後疼痛⑦ 抜歯後ドライソケット/治癒不全 その原因と対応	狩野正明	DENTAL DIAMOND, 2024; 49(9): 76-83
歯科口腔外科	徹底攻略!! 抜歯後疼痛⑨ 抜歯後の器具・歯根の遺残と迷入 その原因と対応	狩野正明	DENTAL DIAMOND, 2024; 49(12): 78-89

看 護 局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年; 巻 (号) : 頁
看護局管理	身体抑制削減プロジェクトチームの取り組みと成果 ～認知症看護認定看護師 (DCN) と老人看護専門看護師 (GCNS) の活動から～	曾田摂子, 立原 怜, 岡 愛, 山中ゆかり	全国自治体病院協議会雑誌, 2024; 63(3): 940-943

医療技術局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年; 巻 (号) : 頁
医療情報管理	診療情報管理業務に特化した RPA 導入 ～業務精度と時間削減の向上へ～	加村菜月	医事業務, 2024; 31(668): 21-24

事務局

所属部署	論 題	著 者 名	誌 名 発行年；巻（号）：頁
経営部	医療の質の評価・公表等推進事業から見る脳梗塞患者における早期リハビリテーション強度とADL改善度の関係	内谷隆之, 関 真美, 粟倉康之, 有我朋樹, 大畑志帆, 渡部周作, 岩淵勝好	全国自治体病院協議会雑誌, 2024; 63(8): 1317-1321

9.2 学会、研究会発表

9.2.1 指定講演（特別講演、教育講演）

医 療 局

所属部署	演 題	発 表 者	共同演者	学会等名称	発表日
循環器科	高血圧と心血管障害	井本宏治		出雲市出前講座2024（出雲市, 島根県）	2024/07/08
脳神経外科	脳腫瘍手術のシミュレーションとピットフォール	井川房夫		第29回日本脳腫瘍の外科学会 （高知市, 高知県）	2024/10/05
脳神経外科	脳神経外科領域の感染対策ガイドラインについて	井川房夫		一般社団法人 日本脳神経外科学会 第83回学術総会（横浜市, 神奈川県）	2024/10/18
心臓血管外科	新しい EVAR 武器を手に入れよう	上平 聡		第30回日本血管内治療学会学術総会 （横浜市, 神奈川県）	2024/07/13
心臓血管外科	あなたも明日から二刀流（Relay Pro の進化と実力）	上平 聡		第54回日本血管外科学会中国四国地方会 （徳島市, 徳島県）	2024/08/03
産婦人科	倫理と法を考慮した母体保護法の適正運用	岩成 治		島根県母体保護指定医研修会 （松江市, 島根県）	2024/10/27
小児科	小児アトピー性皮膚炎診療をスムーズに行うために ～治療の要点とコメディカル連携～	羽根田泰宏		第76回中国四国小児科学会 （山口市, 山口県）	2024/10/26

9.2.2 シンポジウム

医療局

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
脳神経外科	抗血栓薬内服中高年齢者頭部外傷 －Talk & Deteriorate と転帰不良例の検討－	井川房夫	神原瑞樹	第37回日本老年脳神経外科学会 (秩父市, 埼玉県)	2024/04/13
脳神経外科	脳ドック健診における脳動脈瘤と脳白質変化 AI の構築	井川房夫	桑原政志、日高敏和、 落合淳一郎、井上祐輔、 川本雄一郎、堀江信貴	第47回日本脳神経 CI 学会総会 (長崎市, 長崎県)	2024/04/19
脳神経外科	国内無症候性髄膜種の治療適応 －DPC データにおけるレジストリー研究－	日高敏和	井川房夫、落合淳一郎、井上祐輔、 川本雄一郎、道端伸明、康永秀生、 堀江信貴	第33回日本脳ドック学会総会 (広島市, 広島県)	2024/06/14
脳神経外科	Visualization of nonlinear correlation between age and poor outcome in subarachnoid hemorrhage	Fusao Ikawa		11th European-Japanese Cerebrovascular Congress (Vienna, Austria)	2024/06/27
脳神経外科	脳ドックにおける認知症早期診断と予防の取り組み	井川房夫		第8回日本脳神経外科認知症学会学 術総会 (名古屋市, 愛知県)	2024/06/29
脳神経外科	脳動脈瘤直達術教育のための頭蓋底手術手技の工夫 とピットフォール ーいかに次世代に継承するかー	井川房夫	日高敏和、落合淳一郎、井上祐輔、 川本雄一郎、堀江信貴	第33回脳神経外科手術と機器学会 (CNTT) (新宿区, 東京都)	2024/07/03
脳神経外科	脳神経外科手術術後感染症予防実践マニュアルとア ンケート調査結果	井川房夫	日高敏和、落合淳一郎、 奥 真一朗、三島寛人、 堀江信貴、三國信啓	第17回日本整容脳神経外科学会 (JSAN) (新宿区, 東京都)	2024/07/04
脳神経外科	頭蓋底外科の失敗学 頭蓋底外科をいかに次世代に伝えるか －術前シミュレーション、経験共有システムの重要性－	井川房夫	日高敏和、落合淳一郎、井上祐輔、 川本雄一郎、堀江信貴	第36回日本頭蓋底外科学会 (JSBS) (新宿区, 東京都)	2024/07/05
脳神経外科	Preoperative simulation and sharing experience system of skull base surgery for cerebral aneurysm	Fusao Ikawa		The 17th Japan - Korea Joint Conference on Surgery for Cerebral Stroke (Seoul, Korea)	2024/09/06
脳神経外科	脳腫瘍の外科手術合併症回避方法 －経験共有データベースと術前シミュレーションの活用－	井川房夫	日高敏和、落合淳一郎、井上祐輔、 川本雄一郎、堀江信貴	第29回日本脳腫瘍の外科学会 (高知市, 高知県)	2024/10/04
脳神経外科	くも膜下出血頻度減少の原因調査研究 －未破裂動脈瘤の発見率と年間破裂率の年次推移から－	井川房夫	日高敏和、落合淳一郎、 井上祐輔、川本雄一郎、 三島寛人、前田雄洋、堀江信貴	一般社団法人日本脳神経外科学会 第83回学術総会 (横浜市, 神奈川県)	2024/10/16
脳神経外科	国内無症候性髄膜種の治療適応 －DPC データにおけるレジストリー研究－	日高敏和	井川房夫、落合淳一郎、井上祐輔、 川本雄一郎、道端伸明、康永秀生、 堀江信貴	日本脳神経外科学会第83回学術集会 (横浜市, 神奈川県)	2024/10/16

所属部署	演 題	発 表 者	共同演者	学会等名称	発表日
脳神経外科	脳神経外科領域の感染症・SSI 対策ガイドライン構築に向けて	井川房夫		第37回日本外科感染症学会総会学術集会（台東区，東京都）	2024/11/08
脳神経外科	Preoperative simulation and sharing experience system of skull base surgery for cerebral aneurysm	Fusao Ikawa		The 14th Asian Congress of Neurological Surgeons (ACNS) 2024 (Cairo, Egypt)	2024/12/18
脳神経外科	The brain check-up (Brain Dock) system in Japan	Fusao Ikawa		The 14th Asian Congress of Neurological Surgeons (ACNS) 2024 (Cairo, Egypt)	2024/12/20
脳神経外科	Visualization of nonlinear correlation between age and poor outcome in subarachnoid hemorrhage	Fusao Ikawa		The 14th Asian Congress of Neurological Surgeons (Cairo, Egypt)	2024/12/20
心臓血管外科	Self-made Branched TEVAR (Surgeon-Modified Fenestrated and Retrograde Branched TEVAR) の中期治療成績	上平 聡	金築一摩、花田智樹、山内正信	第52回日本血管外科学会総会（大分市，大分県）	2024/05/30
心臓血管外科	胸腹部大動脈瘤に対する Snorkel, Periscope, Sandwich 法を駆使した TEVAR	上平 聡	金築一摩、花田智樹、山内正信	第55回日本心臓血管外科学会学術集会（下関市，山口県）	2025/02/21
歯科口腔外科	口腔がん患者さんの社会復帰を早める栄養管理	古谷龍人	松田悠平 菅野貴浩	第4回大塚製薬工場株式会社 Web セミナー（出雲市，島根県）	2024/07/16
救命救急科	島根県における原子力災害医療のこれまでとこれから	山森祐治		第40回日本救急医学会中国四国地方会（広島市，広島県）	2024/05/18
消化器外科	ロボット支援下直腸手術における reduced port surgery の試み	前本 遼	佐藤総太、伊藤拓馬、三原開人、海野陽資、服部晋明、岩崎純治、金澤旭宣	第11回 Reduced port surgery forum（金沢市，石川県）	2024/08/10

医療技術局

所属部署	演 題	発 表 者	共同演者	学会等名称	発表日
臨床工学科	みんなどうしてるの？ 育休・産休	錦織伸司		第14回中四国臨床工学会（松山市，愛媛県）	2024/09/22
臨床工学科	オンライン HDF と I-HDF の使い分け	錦織伸司	山中英樹、高瀬健太郎、金 聲根	第33回中国腎不全研究会（広島市，広島県）	2024/12/08

9.2.3 講演、発表

医療局

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
脳神経内科	GFAP アストロサイトパチーに対して経口ステロイド治療を継続していたが、経過中にサイトメガロウイルス腸炎を発症した一例	大森直樹	稲垣諭史、高吉宏幸、青山淳夫	第115回日本神経学会 中国・四国地方会（出雲市，島根県）	2024/06/22
リハ科	当院における摂食・嚥下チームの取り組み	山本幹枝	山本佳昭	第51回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会（出雲市，島根県）	2024/07/14
リハ科	摂食嚥下機能回復体制支援加算について	山本佳昭		第57回中四国リハビリテーション医学研究会、第52回日本リハビリテーション医学会中国四国地方会（山口市，山口県）	2024/12/01
地域総合医育成科	SGLT2阻害薬服用中に正常血糖ケトアシドーシスをきたした症例	池田晃輝	樋口 大、小田川誠治、石橋和樹、今田敏宏、増野純二	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（浜松市，静岡県）	2024/06/08
地域総合医育成科	シアナミド服用中の飲酒で急性循環不全をきたし、離島からのヘリ搬送を要した1例	森江祥平	樋口 大	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（浜松市，静岡県）	2024/06/08
地域総合医育成科	ジストニアが初期症状であったパーキンソン病の一例	茶山涼花	樋口 大	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（浜松市，静岡県）	2024/06/08
地域総合医育成科	へき地で緩和ケア中の下大静脈症候群患者に対しての下大静脈ステント留置の適応について	木下アンリ	樋口 大、小田川誠治、石橋和樹、今田敏宏、増野純二	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（浜松市，静岡県）	2024/06/08
地域総合医育成科	左顔面帯状疱疹に関連した抗利尿ホルモン分泌不適合症候群の1例	江藤祐司	小田川誠治、石橋和樹、樋口 大、今田敏宏、増野純二	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（浜松市，静岡県）	2024/06/08
地域総合医育成科	自宅での皮疹の写真撮影が診断に有用であった成人 Still 病の1例	岸本燦太	樋口 大、小田川誠治、石橋和樹、今田敏宏、増野純二	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（浜松市，静岡県）	2024/06/08
地域総合医育成科	尿閉の解除で呼吸困難感が即時に改善した Cystocerebral syndrome の一例	山田将大	樋口 大、小田川誠治、石橋和樹、今田敏宏、増野純二	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（浜松市，静岡県）	2024/06/08
地域総合医育成科	離島の若手総合診療医による「持続可能な診療体制」を目指した実践	鈴木真紀	樋口 大	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（浜松市，静岡県）	2024/06/08
地域総合医育成科	胸神経領域の帯状疱疹後神経痛に対してはデルマトームを意識した神経ブロックが重要である	小田川誠治	佐々木弘輔、福田瑤子、白石良彦	第29回日本病院総合診療医学会学術総会（江東区，東京都）	2024/09/08
地域総合医育成科	高齢 CKD 患者の情報リテラシーと CKD 進行との関連	小田川誠治	大庭雅史、高瀬健太郎、金 聲根	第54回日本腎臓学会西部学術大会（姫路市，兵庫県）	2024/10/06
地域総合医育成科	診断に苦慮した化膿性仙腸関節炎の1例	広戸 岳	保坂聖一、上田智広、小田川誠治	第131回日本内科学会中国地方会（広島市，広島県）	2024/10/19

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
総合診療科	帯状疱疹に膀胱直腸障害を合併した2例	石田真知子	小田川誠治、樋口 大、石橋和樹、吹譚紀子、今田敏宏、増野純二	第130回日本内科学会中国地方会(米子市, 鳥取県)	2024/05/26
総合診療科	左顔面帯状疱疹に関連した抗利尿ホルモン分泌不適合症候群の1例	江藤祐司	小田川誠治、石橋和樹、樋口 大、今田敏宏、増野純二	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(浜松市, 静岡県)	2024/06/08
総合診療科	可逆性脳梁膨大部病変を有する軽度脳炎・脳症による意識変容を合併した日本紅斑熱の1例	石田真知子	小田川誠治、上田真大、竹谷洋子、石橋和樹、吹譚紀子、今田敏宏、増野純二	第131回日本内科学会中国地方会(広島市, 広島県)	2024/10/19
放射線科	CTと18F-FDG-PET/CTが有効であった再発性多発軟骨炎の一例	床並亜有子	岡村和弥、榎原侑子、上村朋未、石橋恵美、荒木和美、金崎佳子、湯浅貢司、児玉光史、増野純二、大沼秀行	第140回日本医学放射線学会中国・四国地方会(出雲市, 島根県)	2024/06/08
放射線科	T2WI高信号を呈する症候性子宮筋腫の子宮動脈塞栓術(UAE)治療効果予測の検討	岡村和弥	湯浅貢司、榎原侑子、上村朋未、石橋恵美、荒木和美、金崎佳子、児玉光史	第37回中国四国IVR研究会(岡山市, 岡山県)	2024/09/28
放射線科	子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術(UAE)の治療効果とMRI信号強度の検討	岡村和弥	湯浅貢司、榎原侑子、上村朋美、石橋恵美、荒木和美、金崎佳子、児玉光史	第7回IVRセミナー出雲(出雲市, 島根県)	2024/11/22
内視鏡科	MUC5ACびまん性陽性を認めた胃底腺粘膜型胃癌の1例	宮岡洋一	田中雅樹、小川さや香、山之内智志、藤代浩史、大沼秀行	第2回ピロリ陰性時代の胃癌に関する研究会(品川区, 東京都)	2024/06/01
内視鏡科	内視鏡治療(Endoscopic Laryngo-Pharyngeal Surgery: ELPS)にて診断しえた喉頭神経内分泌腫瘍(NET)の1例	宮岡洋一	大町泰介、日野孝信、藤原文、塚野航介、小川さや香、山之内智志、田中雅樹、三宅達也、藤代浩史、高下成明、木村光宏、大沼秀行	第132回日本消化器内視鏡学会中国支部例会(広島市, 広島県)	2024/07/14
内視鏡科	当院における潰瘍性大腸炎治療の現状	宮岡洋一	大町泰介、日野孝信、藤原文、塚野航介、小川さや香、山之内智志、田中雅樹、三宅達也、藤代浩史、高下成明	オンボー発売1周年記念講演会 in 松江(松江市, 島根県)	2024/10/11
精神神経科	単科精神科病院における修正型電気痙攣療法の導入に向けた活動報告	佐藤弘樹	挾間玄以、高尾 碧、宮原直樹、林 真一郎	第71回山陰精神神経学会(米子市, 鳥取県)	2024/07/06
精神神経科	単科精神科病院における身体的急変による緊急搬送事例のNEWS(National Early Warning Score)と転機について	佐藤弘樹	挾間玄以、高尾 碧	第64回中国・四国精神神経学会(高松市, 香川県)	2024/11/16

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
循環器科	1度房室ブロックと完全左脚ブロックに加え、左脚前枝と後枝ブロックを交代性に認めた3束ブロックの一例	永田紘功	井本宏治、村上 慧、山口まどか、木下奈津、加藤孝佳、吉田雅昭、園山一彦、小田 強	第124回日本循環器学会中国四国合同地方会（広島市、広島県）	2024/06/22
循環器科	A case of cardiogenic shock due to severe three-vessel disease successfully treated with Rotablator-assisted PCI under ECPPELLA management.	Madoka Yamaguchi	Koji Imoto, Masaaki Yoshida, Tsuyoshi Oda	第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会（札幌市、北海道）	2024/07/25
循環器科	薬剤溶出性ステント留置後に冠動脈穿孔をきたした冠動脈石灰化結節を伴う急性冠症候群の1例	吉田雅昭	山口まどか、井本宏治、小田 強	第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会（札幌市、北海道）	2024/07/25
循環器科	診断に難渋した心アミロイドーシスの一例	小田啓太	井本宏治、永田紘功、河野由依、村上 慧、木下奈津、加藤孝佳、吉田雅昭、園山一彦、小田 強	第125回日本循環器学会中国地方会（倉敷市、岡山県）	2024/11/30
循環器科	両側腋窩－大腿動脈人工血管バイパス術施行により救命し得た胸部下行大動脈狭窄を有する高安動脈炎の一例	中嶋健人	木下奈津、永田紘功、河野由依、村上 慧、加藤孝佳、吉田雅昭、園山一彦、上平 聡、山内正信、井本宏治、小田 強	第125回日本循環器学会中国地方会（倉敷市、岡山県）	2024/11/30
循環器科	狭小化した下大静脈を介してリードレスペースメーカー植込みを挿入できた洞不全症候群の一例	加藤孝佳	吉田雅昭、永田紘功、村上 慧、木下奈津、園山一彦、小田 強	第17回植込みデバイス関連冬季大会（福岡市、福岡県）	2025/02/21
循環器科	An autopsy case of acute bioprosthesis aortic insufficiency 10 years after surgical aortic valve replacement	Nagata H	Imoto K, Kono Y, Murakami K, Kinoshita N, Kato T, Yoshida M, Sonoyama K, Oda T	第89回日本循環器学会学術集会（横浜市、神奈川県）	2025/03/28
消化器科	直腸 MALTリンパ腫からびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫（DLBCL）を内視鏡的に診断しえた1例	藤原 文	宮岡洋一、大町泰介、日野孝信、塚野航介、小川さや香、山之内智志、田中雅樹、三宅達也	第121回日本消化器病学会中国支部例会（米子市、鳥取県）	2024/06/08
消化器科	症例発表：腸管子宮内膜症の1例	日野孝信		第516回山陰消化器研究会（WEB開催）	2024/11/15
消化器科	混合性肝癌に対してアテゾリズマブ+ベバシズマブ化学療法後に TACE を施行し conversion 切除できた一例	藤原 文	三宅達也、大町泰介、日野孝信、塚野航介、小川さや香、山之内智志、田中雅樹、宮岡洋一、藤代浩史、高下成明、岩崎純治	第122回日本消化器病学会中国支部例会（岡山市、岡山県）	2024/12/15
血液腫瘍科	当院における濾胞性リンパ腫に対する GB 療法の後方視的検討	林 克起	三宅隆明、高橋史匡、若山聡雄	第64回日本リンパ網内系学会学術集会・総会（新宿区、東京）	2024/06/29
血液腫瘍科	腎生検で病変を認めた血管内大細胞型 B リンパ腫（IVLBCL）の一例	池田晃輝	三宅隆明、林 克起、高橋史匡、若山聡雄	第64回日本リンパ網内系学会学術集会・総会（新宿区、東京）	2024/06/29

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
血液腫瘍科	A Multicenter, Prospective, Observational Study of Polar-CHP in Patients With Previously Untreated Diffuse Large B-Cell Lymphoma (POLASTAR): A Preliminary Analysis.	Hirohiko Shibayama	Atsushi Satake, Kohta Miyawaki, Yuki Fujiwara, Shuichi Ota, Tsuyoshi Muta, Shinya Rai, Hisashi Tsurumi, Ritsuro Suzuki, Takaaki Miyake, Hideki Goto, Noriko Fukuhara, Mamiko Sakata-Yanagimoto, Koji Izutsu, Momoko Nishikori, Takahiro Kumode, Daisuke Ennishi	The 66th American Society of Hematology Annual Meeting & Exposition (San Diego, USA)	2024/12/07
内分泌代謝科	甲状腺半切後の残存甲状腺より発症した高齢バセドウ病の2例	馬淵沙弥佳	足立奈緒子、永澤篤司、並河哲志、野津和巳、市橋早都、中島賢一郎、武田真紀子、中村陽祐、伊藤和行	第67回日本甲状腺学会学術集会(横浜市, 神奈川県)	2024/10/03
内分泌代謝科	ニボルマブ使用から23か月で劇症1型糖尿病を発症した一例	馬淵沙弥佳	足立奈緒子、永澤篤司、並河哲志	第62回総会糖尿病中国・四国地方会(岡山市, 岡山県)	2024/12/06
乳腺科	当院で経験した乳房血管肉腫の2例	渡部可那子	武田啓志、高村通生、橋本幸直	第32回日本乳癌学会学術総会(仙台市, 宮城県)	2024/07/11
乳腺科	異なる浸潤様式を呈した乳腺 solid papillary carcinoma の2例	橋本幸直	武田啓志、高村通生、渡部可那子、大沼秀行	第32回日本乳癌学会学術総会(仙台市, 宮城県)	2024/07/18
脳神経外科	Atypical meningioma か否か診断に苦慮した一例	日高敏和	井川房夫、落合淳一郎、井上祐輔、川本雄一郎、大沼繁幸	第42回日本脳腫瘍病理学会(呉市, 広島県)	2024/05/24
脳神経外科	無症状で発見された画像上低悪性度グリオーマを疑う非造影病変の自然経過: 年齢に着目した対応手順の提案	井上祐輔	井川房夫、山崎文之、米澤 潮、田口 慧、大西俊平、大園伊織、堀江信貴	第33回日本脳ドック学会総会(広島市, 広島県)	2024/06/14
脳神経外科	重ね置きした頸動脈ステントの kinking により閉塞に至った一例	井上祐輔	井川房夫、日高敏和、落合淳一郎、川本雄一郎	第41回島根脳血管障害研究会(出雲市, 島根県)	2024/09/14
脳神経外科	遺伝子パネル検査にてリンチ症候群と診断した anaplastic astrocytoma の一例	日高敏和	井川房夫、落合淳一郎、井上祐輔、川本雄一郎、川上耕史	第38回中国四国脳腫瘍研究会(松山市, 愛媛県)	2024/09/20
脳神経外科	アテローム性主幹動脈閉塞に対して超急性期血行再建で Wingspan を留置した1例	川本雄一郎	井川房夫、日高敏和、落合淳一郎、井上祐輔、堀江信貴	第33回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会中国四国地方会(松山市, 愛媛県)	2024/09/21
脳神経外科	くも膜下出血転帰の因子における多機関共同研究	井上祐輔	井川房夫、日高敏和、落合淳一郎、川本雄一郎、勝木将人、瀧澤克己、中富浩文、沈 正樹、森岡基浩、栗田浩樹、反町隆俊、入江是明、中原一郎、堀江信貴	一般社団法人日本脳神経外科学会第83回学術総会(横浜市, 神奈川県)	2024/10/16

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
脳神経外科	ICAD-LVO に対する Rescuc stent への考察 - Rescuc stent を避ける方法 / stent の選び方 -	落合淳一郎	井川房夫、川本雄一郎、 井上祐輔、日高敏和、堀江信貴	一般社団法人日本脳神経外科学会 第83回学術総会（横浜市，神奈川県）	2024/10/18
脳神経外科	慢性硬膜下血腫再発と漢方薬効果因子の検討	川本雄一郎	井川房夫、日高敏和、落合淳一郎、 井上祐輔、堀江信貴	一般社団法人日本脳神経外科学会 第83回学術総会（横浜市，神奈川県）	2024/10/18
脳神経外科	くも膜下出血後遅発性脳虚血の多施設コホート研究	井川房夫	日高敏和、落合淳一郎、 井上祐輔、川本雄一郎、 勝木将人、瀧澤克己、中富浩文、 沈 正樹、森岡基浩、栗田浩樹、 反町隆俊、入江是明、中原一郎、 堀江信貴	第67回日本脳循環代謝学会学術集会 （富山市，富山県）	2024/11/01
脳神経外科	漢方薬投与による慢性硬膜下血腫の再発への影響と その関連因子の検討	川本雄一郎	井川房夫、日高敏和、落合淳一郎、 井上祐輔、堀江信貴	第32回日本脳神経漢方医学会 （品川区，東京都）	2024/11/16
脳神経外科	WHO grade II or III 髄膜腫の検討 単施設からの報告	落合淳一郎	井川房夫、川本雄一郎、 井上祐輔、日高敏和、堀江信貴	第98回中国四国脳神経外科地方会 （広島市，広島県）	2024/12/07
整形外科	抗菌薬を局所投与せずに髄内釘抜去部の髄腔内持続 洗浄を行い治癒した脛骨骨幹部慢性骨髓炎の1例	飛田正敏		第47回日本骨・関節感染症学会 （出雲市，島根県）	2024/07/27
心臓血管外科	高位腹部大動脈腸骨動脈完全閉塞病変に対する血管 内治療（CERAB + Double D 法）の一例	中嶋健人	上平 聡、金築一摩、花田智樹、 山内正信	第54回日本血管外科学会中国四国地 方会（徳島市，徳島県）	2024/08/03
呼吸器外科	胸腺嚢胞壁に胸腺腫を合併した2例	阪本 仁	松本和久、磯和理貴、小阪真二	第151回山陰外科集談会 （米子市，鳥取県）	2024/06/22
呼吸器外科	妊娠中に発症した胸腔子宮内膜症性気胸の1例	阪本 仁	松本和久、磯和理貴、小阪真二	第28回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 総会（札幌市，北海道）	2024/08/30
呼吸器外科	肺葉切除後に拡大し1年7か月後に破裂した肺嚢胞 の1例	阪本 仁	松本和久、磯和理貴、小阪真二	第28回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 総会（札幌市，北海道）	2024/08/31
呼吸器外科	術後再発胸腺腫に対する4次治療としてオクトレオ チドとプレドニゾロンによる治療を行った1例	阪本 仁	松本和久、磯和理貴、小阪真二、 河野謙人、堀田尚誠	第65回日本肺癌学会学術集会 （横浜市，神奈川県）	2024/10/31
呼吸器外科	診断に難渋した肺コロイド腺癌の1例	阪本 仁	松本和久、磯和理貴、小阪真二、 河野謙人、堀田尚誠	第65回日本肺癌学会学術集会 （横浜市，神奈川県）	2024/11/01
腎臓科	高齢 CKD 患者の歩行速度低下は CKD 進行と関連する	小田川誠治	大庭雅史、高瀬健太郎、 金 聲根	日本腎臓学会（横浜市，神奈川県）	2024/06/29
腎臓科	コロナワクチン接種後に肉眼的血尿を認め腎生検に て IgA 腎症と診断した一例	大庭雅史	高瀬健太郎、金 聲根、 小田川誠治、神田武志	東部腎臓学会（宇都宮市，栃木県）	2024/09/29
腎臓科	腎移植17年後に発症した腎オンコサイトーマの一例	大庭雅史	高瀬健太郎、金 聲根、 小田川誠治、神田武志	東部腎臓学会（宇都宮市，栃木県）	2024/09/29

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
腎臓科	COVID-19ワクチン接種後にIgA腎症を発症し扁摘パルスにて寛解に至った症例	高瀬健太郎	大庭雅史、金 聲根、小田川誠治、神田武志	西部腎臓学会（姫路市，兵庫県）	2024/10/06
腎臓科	高齢CKD患者の情報リテラシーとCKD進行との関連	小田川誠治	大庭雅史、高瀬健太郎、金 聲根	西部腎臓学会（姫路市，兵庫県）	2024/10/06
泌尿器科	当院における進行性尿路上皮癌に対するEnfortumab Vedtinの初期経験	杉谷智之	安藤 謙、藤川慎之介、吉野干城	第139回日本泌尿器科学会山陰地方会（米子市，鳥取県）	2024/06/22
泌尿器科	前立腺肥大症（BPH）に対する経尿道的水蒸気治療（WAVE治療：Water vapor energy therapy）	藤川慎之介	安藤 謙、杉谷智之、吉野干城	第12回山陰泌尿器内視鏡研究会（米子市，鳥取県）	2024/07/20
泌尿器科	骨髄癌腫症を合併した前立腺癌の1例	安藤 謙	藤川慎之介、永見太一、吉野干城、大沼秀行、大畑佑弥、芝原彰良、杉谷智之	第140回日本泌尿器科学会山陰地方会（出雲市，島根県）	2024/12/14
泌尿器科	全摘標本によって診断に至った前立腺原発濾胞性リンパ腫の1例	吉野干城	安藤 謙、藤川慎之介、永見太一、大沼秀行、大畑佑弥、芝原彰良、杉谷智之	第140回日本泌尿器科学会山陰地方会（出雲市，島根県）	2024/12/14
形成外科	熱中症を契機にComa Blisterを発症した3例	井上真一	中村彩芳、松本紘子、貝田 亘	第67回日本形成外科学会総会・学術集会（神戸市，兵庫県）	2024/04/10
形成外科	意識障害を呈した熱傷様皮膚潰瘍の1例	松本紘子	中村彩芳、貝田 亘、井上真一	第29回山陰形成外科懇話会（出雲市，島根県）	2024/06/16
形成外科	壊死組織除去剤ネキソブリッド®にて治療を行った熱傷の5例	中村彩芳	松本紘子、貝田 亘、井上真一	第29回山陰形成外科懇話会（出雲市，島根県）	2024/06/16
形成外科	大腿切断で救命し得た2症例	貝田 亘	中村彩芳、松本紘子、井上真一、石飛朋子、三原祐子、辻野佳雄	第29回山陰形成外科懇話会（出雲市，島根県）	2024/06/16
形成外科	陳旧性小指PIP関節脱臼の1例	井上真一	中村彩芳、松本紘子、貝田 亘	第29回山陰形成外科懇話会（出雲市，島根県）	2024/06/16
形成外科	顔面クマ外傷の2例	中村彩芳	井上真一、松本紘子、貝田 亘	第30回山陰形成外科懇話会（松江市，島根県）	2024/11/17
形成外科	浮遊型母指多指症の2例の病理像と治療	中村彩芳	井上真一、松本紘子、貝田 亘	第30回山陰形成外科懇話会（松江市，島根県）	2024/11/17
耳鼻咽喉科	2種類のPDE5阻害剤内服後に突発難聴とWallenberg症候群を呈した1症例	木村光宏		第83回日本めまい平衡医学学会総会（名古屋市，愛知県）	2024/11/15
皮膚科	スペソリマブを使用した膿疱性乾癬の1例	三原祐子	石飛朋子、辻野佳雄	日本皮膚科学会第142回山陰地方会（米子市，鳥取県）	2024/09/01
皮膚科	続発性皮膚ノカルジア症を疑われた1例	石飛朋子	三原祐子、辻野佳雄、貝田 亘、大沼秀行、中村 嗣	日本皮膚科学会第39回島根地方会（出雲市，島根県）	2025/03/09

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
歯科口腔外科	周術期口腔機能管理中に咀嚼筋転移による開口障害を生じた肺癌の一例	片山暁恵	狩野正明、尾原清司	第53回公益社団法人日本口腔外科学会中国四国支部学術集会(米子市, 鳥取県)	2024/06/08
歯科口腔外科	上顎に発症した硬化性歯原性癌の稀有なる一例	狩野正明	野口幸恵、島村薫穂、園山理江、宋元儒享、大熊里依、松田悠平、辰巳博人、管野貴浩	第46回日本癌局所療法研究会(長浜市, 滋賀県)	2024/06/21
歯科口腔外科	外傷後顎関節強直症に対して側頭筋膜弁を中間挿入とした顎関節授動術の一例	狩野正明	辰巳博人、小林真左子、管野貴浩	第25回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術集会(津市, 三重県)	2024/07/06
歯科口腔外科	外傷性動眼神経麻痺を後遺障害とする重症口腔顎顔面外傷の一例	小池尚史	狩野正明、辰巳博人、小林真左子、管野貴浩	第25回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術集会(津市, 三重県)	2024/07/06
歯科口腔外科	治療に苦慮した超高齢者の薬剤関連顎骨壊死の一例	狩野正明	片山暁恵	第33回日本口腔感染症学会総会・学術大会(福岡市, 福岡県)	2024/09/22
歯科口腔外科	年齢が口腔癌治療後の口腔機能に与える影響：単施設横断研究	古谷龍人	松田悠平、綾坂健太郎、坂田紀子、園山里江、辰巳博人、小林真左子、狩野正明、管野貴浩	第71回 NPO 法人口腔科学会中国四国地方部会、第22回中国四国口腔癌研究会(広島市, 広島県)	2024/10/26
歯科口腔外科	トシリズマブ投与中の関節リウマチ患者に生じた重症菌性感染症の2例	古谷龍人	辰巳博人、綾坂健太郎、嶋村薫穂、小林真左子、狩野正明、管野貴浩	第69回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術集会(横浜市, 神奈川県)	2024/11/24
歯科口腔外科	広範囲顎骨指示型装置及び補綴にて咬合再建した下顎骨中心性歯原性線維腫の一例	狩野正明	古谷龍人、片山暁恵	第28回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術集会(福岡市, 福岡県)	2024/11/30
歯科口腔外科	当院における周術期等口腔機能管理の現状と取り組み	富岡早苗	高木香織、吾郷花菜、石田帆奈美、幸野かおる、安立啓子、青木瑠那、端本ゆかり、古谷龍人、綾坂由里奈、片山暁恵、狩野正明	島根歯科医学会(松江市, 島根県)	2024/12/15
救命救急科	ドクターヘリ外傷症例に対する、救急現場での区域麻酔による積極的鎮痛 Case series of active analgesia with regional anesthesia on the scene for trauma cases responded by the emergency medical helicopter.	石田亮介	藤原辰也、金井克樹、森 浩一、石飛奈津子、山森祐治	日本麻酔科学会第71回学術集会(神戸市, 兵庫県)	2024/06/07
救命救急科	呼吸不全が先行し遅発性にコリン作動性症状を来した、有機リン中毒の1例	重柄慎典	藤岡 淳、桑原正樹、山崎啓一、金井克樹、森 浩一、石飛奈津子、北野忠志、石田亮介、山森祐治	日本集中治療医学会第8回中国・四国支部学術集会(広島市, 広島県)	2024/06/15
救命救急科	島根県における原子力災害医療の現状分析と課題	山森祐治		第12回日本放射線事故・災害医学会年次学術集会(北九州市, 福岡県)	2024/09/27

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
救命救急科	原子力災害医療派遣チームの派遣にかかる今後の課題～令和6年度愛媛県防災訓練より～	馬越健介	渡辺真由美、山森祐治、中村一彦、岩村卓明、廣橋伸之	第30回日本災害医療学会総会・学術集会（名古屋市，愛知県）	2025/03/08
産婦人科	悪性腫瘍との鑑別に苦慮したクレブシエラ子宮膿瘍の一例	田中綾子	西木正明、障子章大、宮本純子、坪倉かおり、森山政司、岩成 治、奈良井曜子	第76回日本産科婦人科学会学術講演会（横浜市，神奈川県）	2024/04/19
産婦人科	サイトメガロウイルス感染が原因で妊娠20週に子宮内胎児死亡となった一例	奈良井曜子	西木正明、障子章大、宮本純子、田中綾子、坪倉かおり	第60回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会（大阪市，大阪府）	2024/07/13
産婦人科	妊娠20週で子宮内胎児死亡となった症例でサイトメガロウイルス感染が原因と考えられた一例	松原瑠奈	奈良井曜子、障子章大、宮本純子、田中綾子、森山政司、岩成 治、坪倉かおり	令和6年度第2回島根県産科婦人科学会（出雲市，島根県）	2024/12/08
小児科	COVID-19と川崎病の推移	秋好瑞希	平出智裕、羽根田泰宏、山田健治、金井理恵	第127回日本小児科学会学術集会（福岡市，福岡県）	2024/04/19
小児科	Outbreak of Shiga toxin-producing Escherichia coli O157: H7 in a child care center in Izumo	Tomohiro Hirade	Mizuki Akiyoshi, Yasuhiro Haneda, Kenji Yamada, Rie Kanai	第127回日本小児科学会学術集会（福岡市，福岡県）	2024/04/19
小児科	Outbreak of Shiga toxin-producing Escherichia coli O157: H7 in a child care center in Japan	Tomohiro Hirade	Mizuki Akiyoshi, Yasuhiro Haneda, Kenji Yamada, Rie Kanai	第42回欧州小児感染症学会（コペンハーゲン，デンマーク）	2024/05/20
消化器外科	A case of laparoscopic repair of B5 bile duct injury after laparoscopic cholecystectomy	Ryo Maemoto	Junji Iwasaki	第36回日本肝胆膵外科学会・学術集会（広島市，広島県）	2024/06/29
消化器外科	Surgical outcome of laparoscopic distal pancreatectomy (LDP) and introduction of retroperitoneal-first laparoscopic approach DP (Retlap-DP)	Junji Iwasaki	Ryo Maemoto	第36回日本肝胆膵外科学会・学術集会（広島市，広島県）	2024/06/29
消化器外科	当院における腹腔鏡下膵体尾部切除術の短期成績と後腹膜アプローチの導入	岩崎純治	佐藤総太、伊藤拓馬、三原開人、海野陽資、佐々木将貴、服部晋明、前本 遼、金澤旭宣	The 11th Summer Seminar in Okinawa (2024)（浦添市，沖縄県）	2024/07/06
消化器外科	完全内臓逆位を伴う遠位胆管癌に対し膵頭十二指腸切除術を施行した一例	三原開人	岩崎純治、佐藤総太、伊藤拓馬、海野陽資、服部晋明、前本 遼、金澤旭宣	第79回日本消化器外科学会総会（下関市，山口県）	2024/07/17
消化器外科	妊婦の急性虫垂炎に対する手術成績の検討	前本 遼	伊藤拓馬、三原開人、海野陽資、服部晋明、岩崎純治、金澤旭宣	第79回日本消化器外科学会総会（下関市，山口県）	2024/07/18
消化器外科	執刀交代制にて行った若手外科医による腹腔鏡下肝S8部分切除術	三原開人	岩崎純治、佐藤総太、伊藤拓馬、海野陽資、服部晋明、前本 遼、金澤旭宣	第103回山陰肝胆膵疾患研究会（松江市，島根県）	2024/07/27
消化器外科	Short-term outcomes of laparoscopic versus open liver resection in our center: A propensity score-matched analysis	Junji Iwasaki	Sota Sato, Takuma Ito, Kaito Mihara, Yosuke Umino, Masaki Sasaki, Kuniaki Hattori, Ryo Maemoto, Akiyoshi Kanazawa	ILLS Single Topic Conference 2024 in Kyoto (ILLS STC 2024)（京都市下京区，京都府）	2024/10/01

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
消化器外科	肛門周囲膿瘍で発症した肛門腺由来肛門管癌の一例	前本 遼	佐藤総太、伊藤拓馬、三原開人、海野陽資、佐々木将貴、服部晋明、岩崎純治、金澤旭宣	第79回日本大腸肛門病学会学術集会 (横浜市, 神奈川県)	2024/11/30
消化器外科	当院の腹腔鏡下肝切除の短期成績とロボット支援下肝切除の導入： 傾向スコア分析を用いた開腹肝切除との比較	岩崎純治	三原開人、佐々木将貴、服部晋明、前本 遼、金澤旭宣	第37回日本内視鏡外科学会総会 (福岡市, 福岡県)	2024/12/06
消化器外科	複雑性大腸憩室症に対する腹腔鏡手術の検討	前本 遼	三原開人、海野陽資、佐々木将貴、服部晋明、岩崎純治、金澤旭宣	第37回日本内視鏡外科学会総会 (福岡市, 福岡県)	2024/12/06
消化器外科	完全内臓逆位に合併したS状結腸癌に対し腹腔鏡下S状結腸切除術を施行した一例	三原開人	前本 遼、佐藤総太、伊藤拓馬、海野陽資、服部晋明、岩崎純治、金澤旭宣	第37回日本内視鏡外科学会総会 (福岡市, 福岡県)	2024/12/06
消化器外科	Surgical outcome of laparoscopic distal pancreatectomy (LDP) and introduction of retroperitoneal-first laparoscopic approach DP (Retlap-DP)	J. Iwasaki	K. Mihara, Y. Umino, K. Hattori, R. Maemoto, A. Kanazawa.	APA/JPS/CAP/IAP 2024 Annual Meeting (ハワイ州ラハイナ, アメリカ合衆国)	2024/12/09
消化器外科	A case of pancreatoduodenectomy for distal cholangiocarcinoma in a patient with situs inversus totalis	J. Iwasaki	K. Mihara, Y. Umino, K. Hattori, R. Maemoto, A. Kanazawa.	APA/JPS/CAP/IAP 2024 Annual Meeting (ハワイ州ラハイナ, アメリカ合衆国)	2024/12/11

看護局

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
看護局管理	電子カルテデータ二次利用による褥瘡リスク患者抽出の試み	西村恭子	小原友子	第33回日本創傷・オストミー失禁管理学会学術集会 (下関市, 山口県)	2024/05/25
看護局管理	当院 Rapid response system における要請窓口の多様化における影響	西尾万紀	石田亮介、浦部涼子、山本真紀子、藤岡 淳、山森祐治	日本集中治療医学会 第8回中国・四国支部学術集会 (広島市, 広島県)	2024/06/15
看護局管理	看護業務効率化に向けたベッドサイド情報端末の導入	田根圭子		第62回全国自治体病院学会 (新潟市, 新潟県)	2024/10/31
看護局管理	身体抑制削減プロジェクトチームの取り組みと成果～認知症看護認定看護師 (DCN) と老人看護専門看護師 (GCNS) の活動から～	曾田摂子	立原 怜、岡 愛、山中ゆかり	第62回全国自治体病院学会 (新潟市, 新潟県)	2024/10/31
看護局管理	専門看護師・認定看護師が取り組む院内キャリアラダーレベル別研修のあり方の検討	西村恭子	古林映子、原 真紀	第62回全国自治体病院学会 (新潟市, 新潟県)	2024/10/31
中央診療看護科	A 病院における腎代替療法選択支援のための実態調査	細貝美美子		第27回日本腎不全看護学会学術集会 (富山市, 富山県)	2024/11/09
外来看護科	A 病院に勤務する看護職員の病院経営とベッドコントロールに対する認識の関連性	松岡文子	遠藤智弘、黒田優子、卜藏明子、一ノ名由恵、曾田悦子	第62回全国自治体病院学会 (新潟市, 新潟県)	2024/10/31

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
小児病棟看護科	医療的ケア児の短期入所におけるサービス拡大に向けた取り組み	藤原亜紀	足立美佳、竹田麻美、高橋美希	日本医療マネジメント学会第22回島根県支部学術集会（出雲市，島根県）	2024/09/28
母性病棟看護科	地域周産期母子医療センターであるA病院の産後訪問指導の取り組みと今後の課題	片寄 彩	黒田優子	第62回全国自治体病院学会（新潟市，新潟県）	2024/10/31
母性病棟看護科	特性のある母親に対する医療的ケア児の自宅退院に向けた支援	小堀亜子	藤原静子	島根県周産期新生児懇話会（出雲市，島根県）	2025/02/02
4階東病棟看護科	精神科病棟におけるクライシスプラン取り組みによる看護師の陰性感情の変化	松田達也	榎 喜久美	第49回日本精神科看護学術集会（熊本市，熊本県）	2024/06/28
4階東病棟看護科	患者情報共有の支援と業務効率化を目指したベッドサイドシステムの導入	一ノ名由恵	山本真理子	第62回全国自治体病院学会（新潟市，新潟県）	2024/10/31

薬 剤 局

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
薬剤管理科	島根県立中央病院におけるアナモレリン塩酸塩錠の適正使用調査	陶山裕平	山崎奈緒美、安食健一、園山智宏、横手克樹	第17回緩和医療薬学会年会（文京区，東京都）	2024/05/25
薬剤管理科	Bacillus cereus 菌による末梢カテーテル血流感染と末梢ブドウ糖加アミノ酸輸液の関連性の調査	木村菜美	錦織和真、藤原 亮、森山史就、安食健一、園山智宏、横手克樹	第63回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会（岡山市，岡山県）	2024/11/17
臨床薬剤科	医薬品の安定供給問題を踏まえた特例措置（2023年度）の算定状況および供給の影響を受けた医薬品の調査	頼光 翔	陶山裕平、尾崎俊幸、園山智宏、安食健一、横手克樹	第62回全国自治体病院学会（新潟市，新潟県）	2024/11/01
臨床薬剤科	地域での吸入指導の統一化のために構築した病薬連携システムにおける情報共有と課題	三浦佳江	田中 崇、高橋 由、石原慎之、玉木宏樹、景山修介、園山智宏、横手克樹、堀田尚誠、濱口俊一、天野芳宏、磯部 威、直良浩司、矢野貴久	第34回日本医療薬学会年会（千葉市，千葉県）	2024/11/03
臨床薬剤科	リバーロキサバン内服中患者の母乳育児の選択状況と乳児への影響調査	今岡美紀子	布野優子、安食健一、園山智宏、横手克樹	第63回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会（岡山市，岡山県）	2024/11/16

医療技術局

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
医療情報管理	院内がん登録からみた当院の大腸がん患者の特徴	加村菜月	繁浪幸代	日本がん登録協議会第33回学術集会 (出雲市, 島根県)	2024/06/15
医療情報管理	システムダウン時の体制強化	昌子実加	福田成美、永見由里子、加村菜月、 本郷美穂、森山久美子	第50回日本診療情報管理学会学術大会 (福岡市, 福岡県)	2024/08/23
放射線技術科	画像等手術支援における TQM による作業効率向上について	石倉諒一		第31回日本脳ドッグ学会 総会 (広島市, 広島県)	2024/06/14
放射線技術科	核医学部門におけるタスクシフト・シェアの現状把握と課題の検討	矢田俊介		日本核医学技術学会 第36回中国・ 四国地方会 (山口市, 山口県)	2024/06/22
放射線技術科	当院における核医学部門のタスクシェアの取り組み	難波祐樹		第20回中四国放射線医療技術フォー ラム(岡山市北区駅元町14-1, 岡山県)	2024/10/19
放射線技術科	パノラマ X 線撮影における介助者被ばくの低減	福田悠斗	福間雄介、山田聖悟	第62回全国自治体病院学会 (新潟市, 新潟県)	2024/11/01
放射線技術科	「医用画像表示用モニタの管理効率向上の取り組み」	石倉諒一	山下 猛、小川邦夫、佐用将隆、 福間雄介、錦織和朗	第25回フォーラム「医療の改善活動」 全国大会 (岐阜市, 岐阜県)	2024/11/16
放射線技術科	技師が注射始めました ー核医学部門における取り組みー	矢田俊介		2024年度島根県診療放射線技師会 秋季学術大会 (安来市, 島根県)	2024/11/24
放射線技術科	股関節手術における移動型外科用イメージ装置使用時の散乱線分布の把握	赤田 遥	佐野滉介	2024年度島根県診療放射線技師会 春季学術大会 (江津市, 島根県)	2025/03/02
放射線技術科	当院 DMAT 隊員の普通自動車第一種運転免許で運転可能な車両について	松井 賢	山森祐治、佐々木友美、 山本悠太	第30回日本災害医学会総会・学術集会 (名古屋市, 愛知県)	2025/03/08
臨床工学科	スコープオペレータ業務の現状と展望	錦織伸司		第34回日本臨床工学会 (福井市, 福井県)	2024/05/18
臨床工学科	心臓カテーテル検査におけるタスクシフトの現状把握と時間的評価	藤原光翼		第34回日本臨床工学会 (福井市, 福井県)	2024/05/18
臨床工学科	臨床工学技士のタスクシェアに向けた多角的な取り組み	山中英樹		国際モダンホスピタルショー2024 (江東区東京ビッグサイト, 東京都)	2024/07/11
臨床工学科	心筋炎に伴う LOS に対して V-A ECMO 及び Impella を導入した 1 例	杉原克彦		第14回中四国臨床工学会 (松山市, 愛媛県)	2024/09/21
臨床工学科	当院の着用型自動除細動器における臨床工学技士の関わり	木原奈々子		第14回中四国臨床工学会 (松山市, 愛媛県)	2024/09/21
臨床工学科	症例数の少ない施設での PERFUSIONIST の育成について	錦織伸司		第49回日本体外循環技術医学会大会 (旭川市, 北海道)	2024/10/12

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
臨床工学科	事務職として配置された CE の1年後評価と今後の展望	山中英樹	錦織伸司、宮里恵美、福島成文、福間優太、出雲昌浩、鳥田純子、栗栖明知、吾郷由美子	第62回全国自治体病院学会 (新潟市, 新潟県)	2024/10/31
リハビリテーション技術科	急性心筋梗塞後に着用型除細動器が導入された症例に対する心臓リハビリテーションの経験	足立真也		第21回島根県理学療法士学会 (益田市, 島根県)	2024/05/25
リハビリテーション技術科	細菌性髄膜炎発症後に生じた四肢麻痺に対し、体重免荷式リフトを使用することで歩行能力改善を図った一症例	足立雄亮		第21回島根県理学療法士学会 (益田市, 島根県)	2024/05/25
リハビリテーション技術科	当科でのミッションビジョン作成の試み～より良い組織を作るための実践報告～	藤丘政明		第21回島根県理学療法士学会 (益田市, 島根県)	2024/05/25
リハビリテーション技術科	当科ではどのように科員の新生涯学習制度履修を支援しているか～前期研修・後期研修履修者 各1名での実践状況について～	藤丘政明		第21回島根県理学療法士学会 (益田市, 島根県)	2024/05/25
リハビリテーション技術科	急性期病院における腰部術後患者の転帰先予測に3-dayCASは有用か？	長谷川福斗		第56回中国四国リハビリテーション医学研究会 (出雲市, 島根県)	2024/07/14
リハビリテーション技術科	総合病院における精神科作業療法の取り組み～現状と課題、今後の展望～	大橋正吾	坪内史子	第56回中国四国リハビリテーション医学研究会 (出雲市, 島根県)	2024/07/14
リハビリテーション技術科	帯状疱疹ウイルスによる末梢神経障害で重度嚥下障害を呈した一例	石富ひな	山本幹枝、山本佳昭	第56回中国四国リハビリテーション医学研究会 (出雲市, 島根県)	2024/07/14
リハビリテーション技術科	脱髄疾患の回復過程に合わせた作業療法の取り組み	上田成也		第56回中国四国リハビリテーション医学研究会 (出雲市, 島根県)	2024/07/14
リハビリテーション技術科	入院患者に対するリハビリテーション介入率向上の取り組み	坪内史子	足立真也、稲田敬典	第62回全国自治体病院学会 (新潟市, 新潟県)	2024/10/31
リハビリテーション技術科	幼児期での前腕損傷に対し筋電義手を導入した症例	伊藤誉晃		第18回島根県作業療法士学会 (松江市, 島根県)	2024/11/23
リハビリテーション技術科	過活動によるS-ICD再作動への不安に対し、歩数計を用いた運動量管理を行うことで体活動予防を図った一症例	藤丘政明		日本心臓リハビリテーション学会第10回中国四国地方会 (倉敷市, 岡山県)	2024/11/30
栄養管理科	歯科口腔外科との連携～当院版咀嚼能力評価表作成の取り組み～	石原久美子	吉岡美咲、松永佳容子、高野美喜子、片山暁恵	第1回日本病態栄養学会中国地方会 (岡山市, 岡山県)	2024/10/20
栄養管理科	当院のFLSチームにおける管理栄養士の栄養介入の実際	橋本梨未	高野美喜子、松永佳容子、吉岡美咲、飛田正敏、曾田悦子	第62回全国自治体病院学会 (新潟市, 新潟県)	2024/11/01
栄養管理科	サルコペニア診断における尿中Titin濃度測定の有用性の検討	原 加奈子		第40回日本栄養治療学会学術集会 (横浜市, 神奈川県)	2025/02/15

事務局

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
経営部	健診システム導入による脳ドック事務作業の効率化	内谷隆之	井川房夫、山口修平	第33回日本脳ドック学会総会 (広島市, 広島県)	2024/06/14

入退院支援・地域医療連携センター

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
地域医療連携 医療福祉相談 スタッフ	商業施設における市民へのアドバンス・ケア・プラン ニング普及・啓発活動とその効果	立原 怜	藤江さとみ、山根裕子、 岡 愛	日本老年看護学会第29回学術集会 (高知市, 高知県)	2024/06/29

医療安全推進室

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
看護局 医療安全担当	当院の Rapid Response System 起動数増加による効果	西尾万紀	石田亮介、山森祐治、浦部涼子	第52回日本集中治療医学会学術集会 (福岡市, 福岡県)	2025/03/15

臨床研修・研修支援センター

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
臨床研修・ 研修支援センター	JR-21サルモネラ腸炎に急性膵炎を合併した一例	佐藤光夏	大町泰介、日野孝信、藤原 文、 塚野航介、小川さや香、 山之内智志、田中雅樹、宮岡洋一、 三宅達也 藤代浩史、高下成明	第122回日本消化器病学会中国支部 例会 (岡山市, 岡山県)	2024/12/14
臨床研修・ 研修支援センター	E-JR-13 Cronkhite-Canada 症候群の経過中に大腸腺腫 内癌、管状腺腫、鋸歯状腺腫を同時に認めた1例	古田裕幸	宮岡洋一、大町泰介、日野孝信、 藤原 文、塚野航介、小川さや香、 山之内智志、田中雅樹、三宅達也、 藤代浩史、高下成明、大沼秀行	第133回日本消化器内視鏡学会中国 支部例会 (岡山市, 岡山県)	2024/12/14
臨床研修・ 研修支援センター	E-08内視鏡で発見、除去しえた鞭虫症の1例	山田将大	宮岡洋一、大町泰介、日野孝信、 藤原 文、塚野航介、小川さや香、 山之内智志、田中雅樹、三宅達也、 藤代浩史、高下成明	第133回日本消化器内視鏡学会中国 支部例会 (岡山市, 岡山県)	2024/12/15

9.2.4 その他の講演

医療局

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		ジャディアンズ講演会、地域医療に おけるCKD治療戦略 (隠岐の島町, web開催, 島根県)	2024/04/25
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		Oita Network Conference (別府市, web開催, 大分県)	2024/07/26
地域総合医 育成科	医療職を目指すみんなへ	樋口 大		メディカルアカデミー (出雲市, 島根県)	2024/08/06
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		心腎代謝連関学術講演会 (七尾市, web開催, 石川県)	2024/09/12
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		CKD WEB 講演会 (大分市, web開催, 大分県)	2024/10/02
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		慢性腎臓病の早期治療を考える会 (横手市, web開催, 秋田県)	2024/10/24
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		CKD Update Lecture (出雲市, web開催, 島根県)	2024/11/07
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		CKD治療とSGLT2阻害薬を考える会 (徳島市, web開催, 徳島県)	2025/01/20
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		かかりつけ医のための心腎代謝連関 セミナー (下関市, web開催, 山口県)	2025/01/21
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		CKD診療セミナー in Nakasorachi ～病診連携でつなぐ患者支援～ (砂川市, web開催, 北海道)	2025/01/29
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		明日からの慢性腎臓病治療を考える会 (仙台市, web開催, 宮城県)	2025/01/31
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		CKDを地域で考える会 (釧路市, web開催, 北海道)	2025/02/06
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		高梁医師会学術講演会 (高梁市, 岡山県)	2025/03/13
地域総合医 育成科	総合診療医が実践する慢性腎臓病診療 ～SGLT2阻害薬をどう使うか～	小田川誠治		CKD Expert Seminar in 雲南 (雲南市, 島根県)	2025/03/17
脳神経内科	特発性好酸球増多症候群による両側性多発脳梗塞を きたした一例	上田真大	稲垣諭史、高吉宏幸、青山淳夫、 山口修平	第41回島根脳血管障害研究会 (出雲市, 島根県)	2024/09/14

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
精神神経科	精神科救急医療	佐藤弘樹		島根県消防学校講義(松江市, 島根県)	2024/10/09
精神神経科	希死念慮のある方への支援における対応のポイント・留意事項について	佐藤弘樹		島根支部島根障害者職業センター(松江市, 島根県)	2024/12/02
精神神経科	措置入院に至ったてんかん精神病 —再発予防の責任について苦慮したケース—	森崎洋平		精神保健指定医研修会(更新・第36回)(品川区, 東京都)	2025/01/26
循環器科	感染性心内膜炎の一例	園山一彦	小田啓太、衣笠凌平、永田紘功、河野由依、村上 慧、木下奈津、加藤孝佳、吉田雅昭、井本宏治、小田 強、金築一摩、花田智樹、上平 聡、山内正信、江口内科医院/江口春樹	第30回島根臨床心エコー図研究会(出雲市, 島根県)	2024/06/08
循環器科	当院でのアイノフロー®の初期使用経験	井本宏治		島根 iNO フォーラム2025(出雲市, 島根県)	2025/01/31
循環器科	当院における ICD 植込み後の状況	加藤孝佳		YES2025 Yamaguchi EP Group Summit(山口市, 山口県)	2025/03/15
歯科口腔外科	高齢者の口腔の特徴と対応について	片山暁恵		栄養サポート研修会(出雲市, 島根県)	2024/10/10
救命救急科	DMAT の進化	山森祐治		令和6年度出雲医師会救急医療勉強会(出雲市, 島根県)	2024/09/05
救命救急科	災害医療×地域医療—へき地医療機関での災害対応	樋口 大		日本災害医学会学生部会 中国支部×九州支部第1回合同災害医療セミナー～へき地医療・離島医療について～(小倉市, 福岡県)	2024/11/23
救命救急科	重症脳梗塞の予測スケール“エルボ”を学ぶ 福祉×救急の連携で重症脳梗塞から患者を救う!	樋口 大		地域医療・ケア研修会(出雲市, 島根県)	2025/02/06

医療技術局

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
放射線技術科	医療被ばく低減について	矢田俊介		診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー(出雲市, 島根県)	2024/07/27
放射線技術科	原子力災害発生時避難退域時検査のポイント	矢田俊介		緊急被ばく医療におけるスクリーニング測定及び漏洩線量・散乱線測定講習会(出雲市, 島根県)	2024/10/06
放射線技術科	避難退域時検査時の放射線測定器の使用方法	矢田俊介		令和6年度避難退域時検査要員向け研修(松江市, 島根県)	2024/11/07

所属部署	演題	発表者	共同演者	学会等名称	発表日
放射線技術科	HW16chcoilを用いたMEDIC3D高速化に向けて	山本柚季		島根県マグネトム研究会 (松江市, 島根県)	2025/02/15

9.3 その他の業績（主催等）

※ 座長は中四国レベル以上の学会に限り、要望のあった診療科についてのみ掲載

医療局

所属部署	業績種類・論題・演題等	著者・発表者等	誌名・学会名称等	開催日
リハビリテーション科	当院における摂食・嚥下チームの取り組み	山本幹枝	第51回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会 (出雲市, 島根県)	2024/07/14
脳神経内科	一般演題	青山淳夫	第116回日本神経学会中国・四国地方会 (米子市, 鳥取県)	2024/11/16
精神神経科	「発達障害と思われた高齢者の1症例」 「老年期精神病と思われた一例」 「統合失調症の急性期入院治療での当院における各抗精神病薬の治療成績比較」	森崎洋平	第71回山陰精神神経学会 (米子市, 鳥取県)	2024/07/06
肝臓内科	消化器20-24	三宅達也	日本超音波医学界第60回中国地方会学術集会 (岡山市, 岡山県)	2024/09/07
脳神経外科	高難度の動脈瘤に対する治療戦略	井川房夫	第33回 脳神経外科手術と機器学会 (新宿区, 東京都)	2024/07/04
脳神経外科	感染創・瘢痕創の扱い	井川房夫	第17回 日本整容脳神経外科学会 (新宿区, 東京都)	2024/07/04
脳神経外科	血管障害に用いる頭蓋底外科	井川房夫	第36回 日本頭蓋底外科学会 (新宿区, 東京都)	2024/07/05
整形外科	地域で考える整形外科疾患連携セミナー	松崎雅彦	(出雲市, 島根県)	2024/08/28
整形外科	地域で考える整形外科疾患連携セミナー	飛田正敏	(出雲市, 島根県)	2024/08/28
整形外科	骨粗鬆症治療フォーラム in 出雲	松崎雅彦	(出雲市, 島根県)	2024/09/27
整形外科	第18回「さんいん骨折治療研究会」	飛田正敏	(松江市, 島根県)	2025/01/25
整形外科	日本整形外科勤務医会島根支部第25回集会・学術講演会	飛田正敏	(松江市, 島根県)	2025/03/08
整形外科	転倒予防法を紹介	飛田正敏	山陰中央新報	2024/11/15
皮膚科	一般演題13~18	辻野佳雄	日本皮膚科学会第39回島根地方会 (出雲市, 島根県)	2025/03/09
救命救急科	一般演題1 救急疾患 (循環器)	山森祐治	第40回日本救急医学会中国四国地方会 (広島市, 広島県)	2024/05/17
救命救急科	教育講演7 院外心停止患者を取り巻く倫理的課題の現状	石田亮介	日本集中治療医学会第8回中国・四国支部学術集会 (広島市, 広島県)	2024/06/15
救命救急科	教育講演2 ARDSにステロイドは必要かーそれって本当にARDS?	山森祐治	日本集中治療医学会第8回中国・四国支部学術集会 (広島市, 広島県)	2024/06/15

所属部署	業績種類・論題・演題 等	著者・発表者 等	誌名・学会名称 等	開催日
救命救急科	・救急治療におけるカリウム管理 ～ in - shift-out を意識する (松江日赤、田邊先生) ・非常時における高カリウム血症の対策を 考える(災害医療センター、大友先生)	山森祐治	救急・災害医療を地域で考える会(出雲市, 島根県)	2024/07/25
救命救急科	当院における救急現場でのオンデキサ使用 について～看護師の立場から考えてみる (演者; 川本千夏先生、鳥取県立中央 病院)	山森祐治	チームで出血管理を考える会(出雲市, 島根県)	2024/10/09
救命救急科	ポスター 72 (P) 終末期(症例) 2	石田亮介	第52回日本集中治療医学会学術集会(福岡市, 福岡県)	2025/03/15
地域総合医育成科	医療職を目指すみんなへ	樋口 大	メディカルアカデミー(出雲市, 島根県)	2024/08/06
地域総合医育成科	災害医療×地域医療へき地医療機関で の災害対応	樋口 大	日本災害医学会学生部会 中国支部×九州支部第1回合同災害 医療セミナー～へき地医療・離島医療について～ (小倉市, 福岡県)	2024/11/23
地域総合医育成科	「重症脳梗塞の予測スケール“エルボ” を学ぶ」福祉×救急の連携で重症脳梗塞 から患者を救う!	樋口 大	地域医療・ケア研修会(出雲市, 島根県)	2025/02/06
地域総合医育成科	合併症制御を中心に考える糖尿病診療 ～ GIP/GLP-1 dual agonist の可能性～	小田川誠治	総合診療×糖尿病治療 Update Seminar(出雲市, 島根県)	2024/10/08
内視鏡科	消化管腫瘍に対する内視鏡診断・治療の あれこれ ～内視鏡医に意見できる技師 を目指そう～	宮岡洋一	島根県「もっと内視鏡を学びたい」の集い(出雲市, 島根県)	2025/02/16
内視鏡科	SR04-SR06	宮岡洋一	第121回日本消化器病学会中国支部例会(米子市, 鳥取県)	2024/06/08
内視鏡科	消化器内視鏡学会中国支部一般演題部門賞	宮岡洋一	第133回日本消化器内視鏡学会中国支部例会(岡山市, 岡山県)	2024/12/14
内視鏡科	消化管 1	田中雅樹	第133回日本消化器内視鏡学会中国支部例会(岡山市, 岡山県)	2024/12/14
消化器科	消化器内視鏡学会中国支部専攻医奨励賞 胃・十二指腸	小川さや香	第133回日本消化器内視鏡学会中国支部例会(岡山市, 岡山県)	2024/12/14
リハ科	第56回中四国リハビリテーション医学研 究会・第51回日本リハビリテーション医 学会中国四国地方会	山本佳昭	(出雲市, 島根県)	2024/07/14
産婦人科	産婦人科領域便秘診療を考える	田中 綾子		2024/05/30
小児科		羽根田泰宏	第10回しまねこどものアレルギーセミナー(浜田市, 島根県)	2024/08/18
小児科	アレルギー診療のいろはを語る	羽根田泰宏	第61回日本小児アレルギー学会(名古屋, 愛知県)	2024/11/03

所属部署	業績種類・論題・演題 等	著者・発表者 等	誌名・学会名称 等	開催日
小児科		阿部恭大	山陰小児科学会（松江市，島根県）	2025/03/23
小児科	子どものてんかん	東本和紀	（出雲市，島根県）	2024/08/21
小児科	食物アレルギーとアナフィラキシー対応	羽根田泰宏	令和6年度出雲市学校等における食物アレルギー研修会（出雲市，島根県）	2024/08/08
小児科	小児アレルギー疾患と服薬指導	羽根田泰宏	島根県病院薬剤師会学術 WEB 研修会（出雲市，島根県）	2024/09/07
小児科	小児のアナフィラキシー対応とエピペンの実際	羽根田泰宏	出雲地区アナフィラキシー研修会（出雲市，島根県）	2024/10/25
小児科	日本新薬株式会社 社内研修会	東本和紀	（出雲市，島根県）	2024/12/11
小児科	地域で実践する小児アレルギー診療の実際～限られた時間とリソースの有効活用～	羽根田泰宏	地域で支える小児アレルギー診療を考える会（熊本市，熊本県）	2025/03/03
小児科	実習「食物経口負荷試験」	羽根田泰宏	第11回総合アレルギー講習会（神戸市，兵庫県）	2025/03/23

看護局

所属部署	業績種類・論題・演題 等	著者・発表者 等	誌名・学会名称 等	開催日
看護局管理	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	西村恭子	日本創傷・オストミー・失禁管理学会（下関市，山口県）	2024/05/25
看護局管理	終末期・家族看護	西尾万紀	日本集中治療医学会 第8回中国・四国支部学術集会（広島市，広島県）	2024/06/15
看護局管理	疾患管理プログラム・再入院予防	錦織慶子	第30回日本心臓リハビリテーション学会学術集会（神戸市，兵庫県）	2024/07/13
看護局管理	心不全医療における急性期病院と訪問看護との連携	錦織慶子	ノバルティスファーマ株式会社（出雲市，島根県）	2024/10/29
看護局管理	多職種で考える緩和ケアセミナー	古林映子	第一三共株式会社中国医薬営業部（出雲市，島根県）	2025/01/29
看護局管理	多職種で考える呼吸不全患者のアセスメント～その後の生活を見据えて～	西尾万紀	日本集中治療医学会 第8回中国・四国支部学術集会（広島市，広島県）	2024/04/20
看護局管理	ファーストレベル「統合演習Ⅰ」	田根圭子	公益社団法人島根県看護協会（松江市，島根県）	2024/10/19
看護局管理	循環器ナースのダイバーシティとキャリア～自分の未来をデザインしよう～	錦織慶子	第21回日本循環器看護学会学術集会（渋谷区，東京都）	2024/11/09
母性病棟看護科	島根県母性衛生学会	黒田優子	島根県母性衛生学会（出雲市，島根県）	2025/03/23
看護局医療安全担当	外部機能評価でどうかわる	妹尾千賀子	第90回山陰インフェクションコントロールセミナー（松江市，島根県）	2024/11/02
10階西病棟看護科	ELNEC-J 高齢者カリキュラム看護師教育プログラム	岡 愛	ELNEC-J 高齢者カリキュラム看護師教育プログラム（出雲市，島根県）	2024/10/26

所属部署	業績種類・論題・演題 等	著者・発表者 等	誌名・学会名称 等	開催日
母性病棟看護科	島根県母性衛生学会	稲垣 彩	島根県母性衛生学会（出雲市，島根県）	2025/03/23
新生児集中治療室 看護科（GCU）	保健師助産師看護師合同研修会	大西絵峰子	保健師助産師看護師合同研修会（出雲市，島根県）	2024/09/29

医療技術局

所属部署	業績種類・論題・演題 等	著者・発表者 等	誌名・学会名称 等	開催日
リハビリテーション 技術科	口述演題発表	坪内史子	第56回中国四国リハビリテーション医学研究会（出雲市，島根県）	2024/07/14
リハビリテーション 技術科	口述演題発表	足立真也	第56回中国四国リハビリテーション医学研究会（出雲市，島根県）	2024/07/14
リハビリテーション 技術科	口述演題発表	梶谷宏一	第56回中国四国リハビリテーション医学研究会（出雲市，島根県）	2024/07/14
リハビリテーション 技術科	口述演題発表	永瀬祐太	第56回中国四国リハビリテーション医学研究会（出雲市，島根県）	2024/07/14
リハビリテーション 技術科	口述演題発表	稲田敬典	第56回中国四国リハビリテーション医学研究会（出雲市，島根県）	2024/07/14
放射線技術科	一般演題（ポスター）31 病院災害訓練4	松井 賢	第30回日本災害医学会総会・学術集会（名古屋市，愛知県）	2025/03/07
検査技術科	第73回日本医学検査学会 示説（4演題）	松原真奈美	第73回日本医学検査学会（金沢市，石川県）	2024/05/11
検査技術科	一般演題 3題	手銭 遥	令和6年度日臨技中四国支部医学検査学会（第57回） （鳥取市，鳥取県）	2024/11/02
検査技術科	一般演題 生理12（4演題）	片寄志保	令和6年度日臨技中四国支部医学検査学会（第57回） （鳥取市，鳥取県）	2024/11/03
検査技術科	一般演題 2題	上野清美	第12回島根県医学検査学会（web開催）	2025/02/24
検査技術科	第34回島根県臨床細胞学会学術集会 一般演題（2演題）	松原真奈美	第34回島根県臨床細胞学会学術集会（出雲市，島根県）	2025/03/02
検査技術科	EUS-FNAにおける組織採取率向上の検討について	松原真奈美	島根県細胞検査士会、島根県臨床検査技師会 細胞研修会 （出雲市，島根県）	2025/02/09

臨床研修・研修支援センター

所属部署	業績種類・論題・演題 等	著者・発表者 等	誌名・学会名称 等	開催日
臨床研修・ 研修支援センター	日本医療マネジメント学会 第21回島根支部学術集会	狩野芳子	日本医療マネジメント学会 第21回島根支部学術集会 （出雲市，島根県）	2024/09/30

9.4 院内・院外開催イベント（当院主催等）

イベント名	内 容
地域医療ケア研修 感染防止対策連携医療機関合同カンファレンス 地域で連携して取り組む感染症対策について	開催日：2024/6/27 講師：島根県立中央病院 医師・感染管理認定看護師 他
地域医療ケア研修 CPPC 事例検討	開催日：2024/7/18 講師：島根県立中央病院 医師 他
地域医療ケア研修 緩和ケア研修会（PEACE） 緩和ケアについて学ぶ	開催日：2024/8/24 講師：島根県立中央病院 緩和ケア研修委員会
地域医療ケア研修 児童虐待研修（BEAMS） 子どもの命を守るために～地域一体での支援～	開催日：2024/8/26 講師：BEAMS 研修講師 武庫川女子大学 心理・社会福祉学部社会福祉学科 助教 浅井鈴子 氏
地域医療ケア研修 感染防止対策連携医療機関合同カンファレンス 地域で連携して取り組む感染症対策について	開催日：2024/9/19 講師：島根県立中央病院 医師・感染管理認定看護師 他
地域医療ケア研修 薬剤管理研修（がん化学療法） 保険薬局薬剤師と病院薬剤師のがん化学療法に関する 情報共有	開催日：2024/9/26 講師：島根県立中央病院 薬剤局 がん専門薬剤師 科長 園山智宏
地域医療ケア研修 NST 研修会 栄養サポートについて学ぶ	開催日：2024/10/10 講師：島根県立中央病院 NST チーム会 歯科口腔外科医長 片山暁恵
地域医療ケア研修 患者自己管理鎮痛法研修会 ～明日から使える PCA。在宅緩和医療の充実のために～	開催日：2024/12/7 講師：島根県立中央病院 総合診療科部長 今田敏宏 ファーマシ薬局すこやか 熊谷岳文 氏
地域医療ケア研修 感染防止対策連携医療機関合同カンファレンス及び訓練 地域で連携して取り組む感染症対策について	開催日：2024/12/19 講師：島根県立中央病院 医師・感染管理認定看護師 他
地域医療ケア研修 腎不全研修 慢性腎不全の治療	開催日：2025/1/30 講師：島根県立中央病院 域総合医育成科部長 小田川誠二 管理栄養科管理栄養主任 若槻倫子

イベント名	内 容
地域医療ケア研修 救命救急研修 救急外来医師から地域への発信 ～地域との連携を通して救命率向上を目指す～	開催日：2025/2/6 講師：島根県立中央病院 救命救急科医長 樋口 大 神経内科医長 稲垣諭史 出雲消防本部 救命救急センター長 梶谷貴志 氏
地域医療ケア研修 CPPC 事例検討	開催日：2025/2/13 講師：島根県立中央病院 医師 他
地域医療ケア研修 感染防止対策連携医療機関合同カンファレンス 地域で連携して取り組む感染症対策について	開催日：2025/3/13 講師：島根県立中央病院 医師・感染管理認定看護師 他
ギャラリーえにし (中央病院 2F 外来ホール、小児病棟、産婦人科病棟)	4月～7月：童画展 (佐々木恵未様) 8月：写真展 (臨床工学科 職員) 9月：写真展 (宇塚 勇様) 10月：写真パネル展 (NPO 法人クラヴィスアルクス) 11月：絵画展 (阿部裕江様) 12月：写真展 (一畑電車応援プロジェクト様) 1月、2月：写真展 (原 隆利様) 3月：写真展 (玉井謙治様) 通年：小児病棟、産婦人科病棟 童画展 (佐々木恵未様)
知って得する健康ミニ知識 (中央病院 1F ふれあいホール)	4月：ピロリ菌と胃の病気のはなし (消化器科 藤代医師) 5月：お口の健康は全身の健康につながる？ (医療技術局 石田歯科衛生士) 6月：緩和ケアってなんだろう？ (小松緩和ケア認定看護師) 7月：時は脳なりー脳梗塞の症状と治療法ー (脳神経外科 日高医師) 8月：抗菌薬について学ぼう！ (薬剤管理科 西薬剤師) 9月：無理してない？～メガネのすすめ～ (検査技術科 宮脇視能訓練士) 10月：「糖尿病」の名称が変わる！？～糖尿病の歴史から考えてみよう～ (内分泌代謝科 足立医師) 11月：知っておこう！訪問診療・訪問看護について (入退院支援・地域医療連携センター 渡部看護師) 12月：正月太りに要注意～血糖値と体重増加のはなし～ (糸賀糖尿病看護認定看護師) 1月：貧血の原因と治療 (血液腫瘍科 三宅医師) 2月：食事で丈夫な体に！～骨や筋肉に必要な栄養、足りていますか？～ (栄養管理科 橋本管理栄養士) 3月：薬の種類とその使い方 (臨床薬剤科 古田薬剤師)

イベント名	内 容
<p>出前講座 (コミュニティセンターほか)</p>	<p>4月：消化器がん外科治療の現在と未来（臨床ゲノム医療推進室 金澤医師） 5月：いつまでも強く丈夫な骨で、いきいき生活（山田主任看護師） 6月：認知症に伴うこころの症状（精神神経科 森崎医師） 7月：高血圧と心疾患疾患（循環器科部長 井本医師） ：腎不全にならないために（内分泌代謝科 並河医師） 9月：知って得する治療で治る認知度（脳神経外科 井川医師） 10月：糖尿病から眼を守るために（眼科 蝶野医師） 11月：人生会議（立原老人看護専門看護師） ：学校×救急の疑問にとにかく答えます！VOL.3 今年は実例の振り返り！！（救命救急科 樋口医師） ：人生会議（立原老人看護専門看護師） ：転んでも、杖は折っても骨折るな（整形外科 飛田医師） 12月：早期がんに対する内視鏡治療（内視鏡科 宮岡医師） ：学校×救急の疑問にとにかく答えます！－生徒と養護教諭を守るために－（救命救急科 樋口医師） 1月：認知症が気になったら（曾田認知症看護認定看護師） 2月：人生100年時代！こころの健康づくり（尾原精神看護専門看護師）</p>
<p>市民公開講座 (中央病院 大研修室ほか)</p>	<p>【第1回】 開催日：2024(令和6)年9月14日 テーマ：クスリのリスク ～減らせる薬、必要な薬～ 薬剤局</p> <p>【第2回】 開催日：2025(令和7)2月9日 テーマ：NO！脳卒中 ～自分と大切な人を脳卒中から守るために～ 脳神経外科、看護局、薬剤局、リハビリテーション技術科、栄養管理科ほか</p>

第10章 当院関係報道記事

掲載記事一覧表

日付	タイトル	掲載紙
2024/04	出前講座 消化器がん治療解説	山陰中央新報
2024/05	看護師の特定行為 習得へ6人研修 島根県立中央病院	山陰中央新報
	「看護の日」イベントについて	出雲ケーブル ビジョン
	看護師のチーム医療推進へ 特定行為研修が開講	島根日日新聞
2024/06	全国広報誌巡り 県立中央病院 広報誌「えにし」	医事業務
	医療機器体験イベント	出雲ケーブル ビジョン
2024/07	水彩画で癒されて 院内ギャラリー展示	山陰中央新報
	本物の医療機器を操作 出雲 児童が体験イベント	山陰中央新報
	小児医療に役立てて 出雲 ごうぎん財団が県中へ寄贈	島根日日新聞
2024/08	椎間板ヘルニア治療	出雲ケーブル ビジョン
2024/10	健康ミニ知識 糖尿病の名称が変わる 糖尿病の歴史から考えてみよう	NHK
	再稼働秒読み 災害弱者 「誰が助けるか」懸念強く	中国新聞
2024/12	産後ブラジルお祝い膳の試食会	出雲ケーブル ビジョン
	この冬一番の寒さに ヒートショックに注意	T S Kさんいん 中央テレビ
	和田毅さんが県功労者表彰	出雲ケーブル ビジョン
	産後 母国の味で一息	読売新聞
	ブラジル料理で産後祝い膳提供へ 出雲、県立中央病院	山陰中央新報
	故郷の味で育児に力を 「産後ブラジルお祝い膳」提供	島根日日新聞
	原発災害 患者の避難どうする 県と医師ら実務者会議	朝日新聞
	患者に元気与える Xマスコンサート 出雲・県立中央病院	山陰中央新報
2025/2	つなぐ 介護難民を出さないために 在宅強化の「出雲モデル」	山陰中央新報
	市民公開講座 NO！脳卒中 ～自分の大切な人を脳卒中から守るために～	山陰中央新報

編 集 後 記

来年度の診療報酬改定を控え、今年度は全国的な医療界の不況が続々と報道されています。働き方改革や医療 DX への対応、診療材料や医薬品費の高騰、人件費の上昇等問題は山積みですが、いかなる状況であっても当院は地域の医療を支え県民の皆さんにより良い高度医療を安定して提供する責務がございます。

本年度の年報においても当院で提供している医療の状況と質についてご報告させていただきました。我々自身も昨年度を振り返りながら当院の現状と今後必要とされる医療について年報を通じて考察を深めたいと思います。また年報をお届けさせていただいている院外の皆様にもぜひお目通しいただき、これまで同様ご指導ご支援を継続して賜りたく存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

医学雑誌・年報・図書委員会 委員長 金澤 旭宣 (薬剤局長)

2025年度年報編集委員会

責任者：山森 祐治（副院長）
委員長：金澤 旭宣（薬剤局長）
副委員長：狩野 芳子（教育担当看護部長）
委員：中村 嗣（感染症科 部長）
大畑 佑弥（臨床研修医）
嵐 和子（新人教育担当副看護師長）
伊藤 美穂（薬剤管理科 薬剤師）
藤江 茜（検査技術科 臨床検査主任）
細田隆太郎（放射線技術科 診療放射線主任）
井原 成美（事務局総務課 主任主事）
大屋智恵子（医療情報管理科 診療情報管理士）
中尾 太智（医療情報管理科 診療情報管理士）
中島 志乃（図書室 司書）

以上13名

島根県立中央病院 年報 2025年度(2024年度統計)

令和7年12月 発行

発行者 小 阪 真 二
編集者 年報編集委員会
印刷所 出雲市下横町350
（有）ナガサコ印刷